



Cisco ASR 9000 リーズ アグリゲーションサービス ルータ拡張 システム コマンド リファレンス リリース 4.3.x

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

はじめに vii

マニュアルの変更履歴 vii

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート vii

ASIC ドライバ コマンド 1

clear controller fabric 2

show controllers egressq queue 4

show controller fabric 7

show controllers plim asic SPAQFPBridgeCtrl 10

show controllers pse qfp statistics 12

show controllers pse qfp system state 14

show packet-memory 16

トラブルシューティング コマンド 21

show im database 22

show imds interface brief 27

show sysdb connections 29

show sysdb trace verification location 31

show sysdb trace verification shared-plane 34

show tbn hardware 37

show uidb data 40

show uidb trace 43

show uidb index 45

watchdog threshold memory 48

Tech-Support コマンド 51

show system verify 53

show tech-support 58

show tech-support aps 63

show tech-support bcdl 75

show tech-support bundles	83
show tech-support cef	94
show tech-support cfgmgr	100
show tech-support chdlc	109
show tech-support control-ethernet	111
show tech-support ethernet	119
show tech-support fabric	125
show tech-support gsp	130
show tech-support igmp snooping	136
show tech-support install	144
show tech-support l2vpn	149
show tech-support lrd	155
show tech-support mpls ldp	166
show tech-support mpls rsvp	170
show tech-support mpls traffic-eng	176
show tech-support multicast	181
show tech-support netflow	188
show tech-support nrs	194
show tech-support password	198
show tech-support performance-traffic	202
show tech-support pfi	205
show tech-support platform	209
show tech-support ppp	213
show tech-support qos	217
show tech-support rdsfs	238
show tech-support rib	241
show tech-support routing bfd	244
show tech-support routing isis	249
show tech-support routing ospf	254
show tech-support routing ospfv3	261
show tech-support routing rpl	267
show tech-support serial	273
show tech-support sanitized	278
show tech-support services	284
show tech-support snmp	288

show tech-support spaipc	291
show tech-support sysdb	296
show tech-support tty	300
show tty details	303
WatchDog コマンド	305
show critmon context	306
show critmon deadline	311
show critmon statistics	314
show critmon trace all	322
show critmon trace error	325
show critmon trace info	327
show critmon trace lib-error	329
show critmon trace lib-info	331
show reboot first	333
show reboot graceful	336
show reboot history	338
show reboot last	341
show reboot pcds	344
show watchdog	347



はじめに

『Cisco ASR 9000 リーズ アグリゲーション サービス ルータ拡張システム コマンドリファレンス』の「はじめに」の構成は、次のとおりです。

- マニュアルの変更履歴, [vii ページ](#)
- マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート, [vii ページ](#)

マニュアルの変更履歴

この表に、初版後、このマニュアルに加えられた技術的な変更の履歴を示します。

表 1: マニュアルの変更履歴

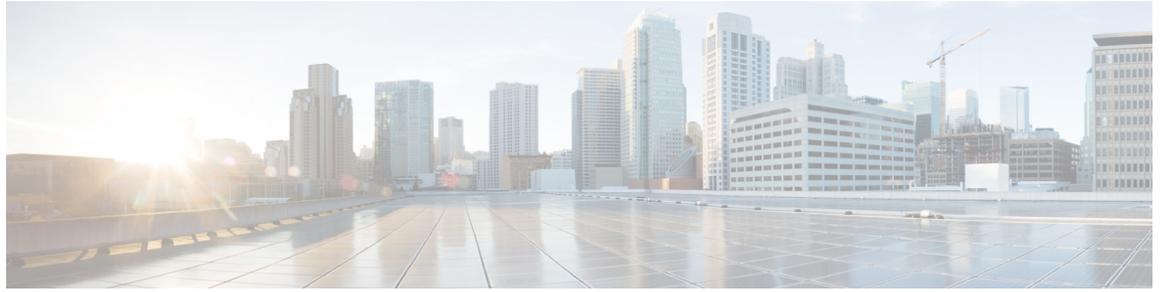
リビジョン	日付	変更点
OL-28458-01-J	2012 年 12 月	このマニュアルの初版

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



ASIC ドライバコマンド

このモジュールでは、Cisco IOS XR ソフトウェアを実行中の Application-Specific Integrated Circuit (ASIC) ドライバを設定および監視するために使用するコマンドについて説明します。

- [clear controller fabric, 2 ページ](#)
- [show controllers egressq queue, 4 ページ](#)
- [show controller fabric, 7 ページ](#)
- [show controllers plim asic SPAQFPBridgeCtrl, 10 ページ](#)
- [show controllers pse qfp statistics, 12 ページ](#)
- [show controllers pse qfp system state, 14 ページ](#)
- [show packet-memory, 16 ページ](#)

clear controller fabric

指定されたファブリック プレーンまたはすべてのプレーンのファブリック ASIC 統計情報をクリアするには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **clear controller fabric** コマンドを使用します。

clear controller fabric {**fia**| **crossbar-counters**} **location** *node-id*

構文の説明

fia	ファブリック カウンタの詳細をクリアします。
crossbar-counters	スロットのクロスバー カウンタをクリアします。
location <i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。 (注) ルータに取り付けられているすべてのノードの場所を表示するには、 show platform コマンドを使用します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

EXEC、管理者 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。 ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
drivers	read, write

例

次に、**clear controller fabric** コマンドの使用例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clear controllers fabric fia location cpu/1/0
```

show controllers egressq queue

特定の出力キューまたは出力キューの範囲に関する情報を表示するには、EXEC モードで **show controllers egressq queue** コマンドを使用します。

show controllers egressq queue {queue1 [queue2]} from-group {group-id| all}| from-interface {type instance| all}| from-port {port-id| all}| limits {max| min}| all} location node-id

構文の説明

<i>queue1</i>	出力キュー情報を表示する最初のポートを識別します。キュー ID によって <i>queue1</i> 引数を置き換えます。範囲は 1 ~ 8191 です。
<i>queue2</i>	(任意) 出力キュー情報を表示する最後のポートを識別します。キュー ID によって <i>queue2</i> 引数を置き換えます。範囲は 1 ~ 8191 です。
from-group <i>group-id</i>	特定のポートグループの出力キュー情報を表示します。情報を表示するポートグループを識別する番号によって <i>group-id</i> 引数を置き換えます。範囲は 1 ~ 2047 です。
from-group all	指定されたノードのすべてのポートグループの出力キュー情報を表示します。
from-interface <i>type instance</i>	特定のインターフェイスの出力キュー情報を表示します。物理インターフェイス ID または仮想インターフェイス ID によって <i>type instance</i> 引数を置き換えます。 (注) ルータに現在設定されているすべてのインターフェイスのリストを表示するには、 show interfaces コマンドを使用します。
from-interface all	指定された場所にあるすべてのインターフェイスの出力キュー情報を表示します。
from-port <i>port-id</i>	特定のポートの出力キュー情報を表示します。ポート ID によって <i>port-id</i> 引数を置き換えます。範囲は 0 ~ 1023 です。
from-port all	指定された場所にあるすべてのポートの出力キュー情報を表示します。
limits max	最大制限テーブルを表示します。
limits min	最小制限テーブルを表示します。
all	指定された場所のすべての出力キューに関する詳細情報を表示します。
location <i>node-id</i>	出力キュー情報を表示するノードの場所を指定します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド モデル

EXEC モデルの動作または値はありません。

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.5.0	<p>context キーワードおよび <i>max_elements</i> 引数は、show controllers egressq queue コマンドから削除されました。</p> <p>次のキーワードと引数が、show controllers egressq queue コマンドに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • from-group { <i>group-id</i> all } • from-interface { <i>type instance</i> all } • from-port { <i>port-id</i> all }

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
drivers	read
interface	read

例

次に、スロット 2 の CPU ノードの出力キュー 1 および 2 に関する情報を表示する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show controllers egressq queue 1 2 location 0/2/CPU0
-----
Queue 1
-----
Group           : 1
Priority        : Low
Max LB Tokens   : 7812
Max LB Limit Index : 38
Min LB Tokens   : 0
Min LB Limit Index : 0
Quantum        : 27
Instantaneous length : 0
Length high watermark : 0
-----
Queue 2
-----
Group           : 2
Priority        : Low
Max LB Tokens   : 7812
Max LB Limit Index : 38
Min LB Tokens   : 0
```

show controllers egressq queue

```

Min LB Limit Index   : 0
Quantum              : 27
Instantaneous length : 0
Length high watermark : 0

```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 2 : *show controllers egressq queue* のフィールドの説明

フィールド	説明
Group	グループ ID。
Priority	グループ プライオリティ。
Max LB Tokens	ポート LB トークンの最大数。
Max LB Limit Index	最大 LB 制限。
Min LB Tokens	ポート LB トークンの最小数。
Min LB Limit Index	最小 LB 制限。
Quantum	このキューの数量値。
Instantaneous length	出力キューの瞬間的な長さ。
Length high watermark	長さ高ウォーターマーク レジスタ。

show controller fabric

指定されたファブリック プレーンまたはすべてのプレーンのファブリック ASIC 統計情報を表示するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **show controller fabric** コマンドを使用します。

show controller fabric {*arbiter*|*crossbar*} {*readreg asic-offset instance module-instance*|*serdes location node-id instance module-instance*|*configstatus location node-id instance module-instance*}

構文の説明

arbiter	調停 ASIC の表示画面を表示します。
crossbar	クロスバー ASIC の表示画面を表示します。
readreg	読み取りファブリック ASIC レジスタを表示します。
configstatus	ファブリック ASIC の設定ステータスを表示します。
serdes	ファブリック シリアライザ デシリアライザ インターフェイスのステータスを表示します。
<i>asic-offset</i>	ASIC のオフセット。範囲は 0 ~ 4294967295 です。
instance <i>module-instance</i>	モジュールのインスタンス。範囲は 0 ~ 4 です。
location <i>node-i</i>	ノード ID。node-id 引数は、rack/slot/module の形式で入力します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID	タスク ID	操作
	drivers	read

例 次に、特定のコントローラインスタンスの Egressq の内部トレース情報を表示する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show controllers fabric crossbar serdes instance 1 location 0/1/cpu0
```

```

Location: 0/RSP0/CPU0 (physical slot 4)
Asic Instance: 1
Asic slot: 1

inst_num          12
usr_data_p        0x50064ce8
state             unused
encoding          EFCP
mode              normal

GLOBAL_CONTROL_0          0006
ENABLE_NE_ENCODING       enabled
LOOPBACK_CONTROL         0000
NEAR_LOOPBACK            disabled
RX_CHAN_CONTROL_0        0850
SERDES_RATE              20Gbps
SERDES_ENABLE            enabled
PARALLEL_BUS_ENABLE      enabled
SW_RX_RESET              disabled
RX_CHAN_FEATURE_CONTROL  0528
ENABLE_SHORT_QUEUE       disabled
ENABLE_START_TO_RATE     enabled
RX_SOFT_SYNC_CNTRL       0600
RX_SOFT_SYNC_CODE_BYPASS_EN disabled

CHAN_STATUS              0003
RX_SERIAL_CHANNEL_OK     1
SERIAL_CHANNEL_OK        1
NE_SYNC_STATUS           00

SERIAL LINK               0 1 2 3 4 5 6 7
--- -- -- -- -- -- -- --
SERDES_RX_PLL_LOCKED     1 1 1 1 1 1 1 1
PRBS_FAIL                 0 0 0 0 0 0 0 0

CHAN_INT_STATUS_0        0000
CHAN_INT_MASK_0          01ff
RX_CHANNEL_REALIGN_STATUS 0
RX_CHANNEL_REALIGN_MASK  1

SERIAL LINK               0 1 2 3 4 5 6 7
--- -- -- -- -- -- -- --
LINK_INTR_STATUS         0 0 0 0 0 0 0 0
LINK_INTR_MASK           1 1 1 1 1 1 1 1
SOURCE_INTR_MASK         00 00 00 00 00 00 00 00

```

```
inst_num      12
usr_data_p    0x50064ce8
state         unused
stats_p       0x500729c8
intr_stats_p  0x50072a90

inst_num      12
usr_data_p    0x50064cfc
state         unused

auto_sync     supported
reg_read_fn   0x40012174
reg_write_fn  0x40011c60
process_intr_fn 0x40043910
dev_id        70
ser_drv_cntl_a 0x9bffd670
```

show controllers plim asic SPAQFPBridgeCtrl

物理層インターフェイス モジュール (PLIM) asic の Shared Port Adapter Quantum Flow Processor ブリッジ制御 (SPAQFPBridgeCtrl) ドライバ情報を表示するには、EXEC モードで **show controllers plim asic SPAQFPBridgeCtrl** コマンドを使用します。

show controllers plim asic SPAQFPBridgeCtrl {counters| ingress-channel| egress-channel| spa}

構文の説明

counters	カウンタに関する情報を表示します。
ingress-channel	受信 SPI4.2 チャンネルに関する情報を表示します。
egress-channel	送信 SPI4.2 チャンネルに関する情報を表示します。
spa	SPA (共有ポート アダプタ) の情報を表示します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 4.0.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
interface	read
root-system	read

例 次に、要約された PLIM ASIC SPAQFPBridgeCtrl ドライバ情報を表示する例を示します。

```
RP/0/RP00/CPU0router# show controllers plim asic SPAQFPBridgeCtrl  
1
```

show controllers pse qfp statistics

特定のノードのパケットスイッチングエンジン (PSE) クアドフラットパッケージ (QFP) 統計情報を表示するには、EXEC モードで **show controllers pse qfp statistics** コマンドを使用します。

show controllers pse qfp statistics [drop|summary] [location node-id]

構文の説明

drop	(任意) PSE QFP デバイスのグローバル ドロップ統計情報を表示します。 (注) 特定のノードにコマンドを制限するには、 drop キーワードの後に location node-id キーワード/引数を続けます。
summary	(任意) PSE QFP デバイスのグローバル統計情報サマリーを表示します。 (注) 特定のノードにコマンドを制限するには、 summary キーワードの後に location node-id キーワード/引数を続けます。
location node-id	(任意) PSE デバイス情報を表示するノードの場所を指定します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。 (注) ルータに取り付けられているすべてのノードの場所を表示するには、 show platform コマンドを使用します。

コマンド デフォルト

なし。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID	タスク ID	操作
	interface	read
	cisco-support	read

例

次に、PSE QFP 統計情報を表示するコマンドを示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show controllers pse qfp statistics summary location 0/1/cpu0
```

```
Summary of Statistics for QFP 0
```

```
Dropped packets: 0  
Incoming packets: 0  
Outgoing packets: 0  
Incoming IPC packets: 0  
Outgoing IPC packets: 0  
Punted packets: 0  
Injected packets: 0
```

```
Summary of Statistics for QFP 1
```

```
Dropped packets: 0  
Incoming packets: 0  
Outgoing packets: 0  
Incoming IPC packets: 0  
Outgoing IPC packets: 0  
Punted packets: 0  
Injected packets: 0
```

show controllers pse qfp system state

特定のノードのパケットスイッチングエンジン（PSE）QFP HA ステート情報を表示するには、EXEC モードで **show controllers pse qfp system state** コマンドを使用します。

show controllers pse qfp system state [*location node-id*]

構文の説明

location node-id (任意) PSE デバイス情報を表示するノードの場所を指定します。 *node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

(注) ルータに取り付けられているすべてのノードの場所を表示するには、**show platform** コマンドを使用します。

コマンド デフォルト

なし。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
interface	read
cisco-support	read

例 次に、**show controllers pse qfp system state** コマンドの実行方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show controllers pse qfp system state location 0/1/cpu0
```

show packet-memory

パケットメモリの情報を表示するには、EXEC モードで **show packet-memory** コマンドを使用します。

show packet-memory [**clients**| **corrupt**| **failures**| **hssd**| **ifinput**| **ifoutput**| **internal**| **inuse**| **job**| **mutex**| **old**| **reserved**| **summary**| **trace**| **watch**] [**location** *node-id*]

構文の説明

clients	(任意) パケット マネージャのクライアントを表示します。
corrupt	(任意) 破損したパケットに関する情報を表示します。
failures	(任意) パケットバッファ、ヘッダー、ハードウェアバッファ割り当ての障害を表示します。
fsv	(任意) 機能固有の変数情報を表示します。
hssd	(任意) High Speed Small Data (HSSD) を表示します。
ifinput	(任意) 特定のインターフェイスからのパケットを表示します。
ifoutput	(任意) 特定のインターフェイスへのパケットを表示します。
internal	(任意) フリーリストのパーティクルの実際の数とともにパケットメモリを表示します。
inuse	(任意) 使用中のパケットの合計数を表示します。
job	(任意) 特定のプロセスが所有するパケットの数を表示します。
mutex	(任意) パケットマネージャの mutex モニタリング設定を表示します。
old	(任意) 1分を超えるパケットの合計数を表示します。
reserved	(任意) 予約メモリ情報を表示します。
summary	(任意) パケットメモリ使用状況サマリー情報を表示します。
trace	(任意) パケットメモリ トレースを表示します。
watch	(任意) パケット マネージャ ウォッチの設定を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) 指定されたノードの詳細なパケットメモリ情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド モデル

EXEC のパケットメモリに関する情報を表示します。

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。
リリース 3.9.0	次のキーワードが含まれました。 <ul style="list-style-type: none"> • clients • corrupt • failures • fsv • hssd • ifinput • ifoutput • internal • inuse • job • mutex • old • reserved • summary • trace • watch

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

show packet-memory コマンドは、システムに現在割り当てられているパケットメモリとともにパケット ヘッダーとパーティクル ヘッダーの合計数を表示するために使用できます。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、パケットメモリ情報を表示する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show packet-memory

Packet memory statistics :
=====
Packet headers
total: 32000, free: 32000, size: 448
Particle Pools(8)
Pool(0):total: 8000, free: 8000, size: 256
fallback: 0, region: 0
Pool(1):total: 4000, free: 3968, size: 512
fallback: 1, region: 0
Pool(2):total: 16, free: 16, size: 512
fallback: 2, region: 0
Pool(3):total: 8000, free: 7936, size: 768
fallback: 3, region: 0
Pool(4):total: 12800, free: 9172, size: 1648
fallback: 4, region: 0
Pool(5):total: 320, free: 320, size: 2560
fallback: 5, region: 0
Pool(6):total: 1600, free: 1088, size: 4608
fallback: 6, region: 0
Pool(7):total: 640, free: 640, size: 6240
fallback: 7, region: 0
Particle clone
total: 8000, free: 8000, size: 256
Packet Feature Specific Variable (FSV)
total: 16000, free: 16000, size: 88
Packet trace
total: 16384, free: 16384, size: 40
```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 3 : show packet memory のフィールドの説明

フィールド	説明
Packet headers	まとめてパケットと呼ばれるデータ構造体の集約を定義および制御するデータ構造。システムの各パケットに関する情報を含みます。
Particle Pools	パーティクルを記述し、リンクされたリストの他のパーティクルにチェーンされている可能性のあるデータ構造。このパケットにあれば、このパケットのパケットヘッダーおよびその他のパーティクルヘッダーの実際のデータに関する情報を含めます。
Particle clone	以前割り当てられたパーティクルを指す重複パーティクルヘッダー。パーティクルクローンは別のパーティクルヘッダーとパーティクルを共有する点がパーティクルヘッダーとは異なります。

フィールド	説明
Packet Feature Specific Variable (FSV)	パケットパスの機能間で共有されるスクラッチパッドで、パケットヘッダーのハングをリストします。
Packet trace	システムのパケットのトレースを支援する、パケットヘッダーに関連付けられたデータ。



トラブルシューティング コマンド

このモジュールでは、Cisco IOS XR ソフトウェアを実行中のルータのトラブルシューティングに使用するコマンドについて説明します。

シスコ サポート タスク ID を持つこの章のコマンドは、トラブルシューティングプロセスの一部として、『*Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router Feature Troubleshooting Module*』で使用されます。この章に記載されていないシスコ サポート タスク ID を持つコマンドについては、シスコのテクニカル サポートにお問い合わせください。



注 意

これらのシスコ サポート コマンドは、シスコのテクニカル サポート担当者のみが使用するために、通常は予約されています。適切に使用しないと製品に影響するパフォーマンスやその他の問題の原因となる可能性のある何らかのリスクがあります。これらのコマンドを使用する前に、シスコのテクニカル サポートに連絡することを推奨します。

- [show im database, 22 ページ](#)
- [show imds interface brief, 27 ページ](#)
- [show sysdb connections, 29 ページ](#)
- [show sysdb trace verification location, 31 ページ](#)
- [show sysdb trace verification shared-plane, 34 ページ](#)
- [show tbn hardware, 37 ページ](#)
- [show uidb data, 40 ページ](#)
- [show uidb trace, 43 ページ](#)
- [show uidb index, 45 ページ](#)
- [watchdog threshold memory, 48 ページ](#)

show im database

インターフェイス マネージャ (IM) の共有メモリ データベースに保存されている情報を表示するには、EXEC モードで **show im database** コマンドを使用します。

show im database [brief| detail| ifhandle| interface| summary| verbose| view] interface-type interface-instance location node-id

構文の説明

brief	(任意) IM データベースに関する要約情報を表示します。
detail	(任意) IM データベースに関する詳細情報を表示します。
ifhandle	(任意) ハンドルによって特定のインターフェイスを選択します。
interface	(任意) 名前によって特定のインターフェイスを選択します。
summary	(任意) IM データベース サマリー情報を表示します。
verbose	(任意) IM データベースに関する冗長情報を表示します。
view	(任意) ビューに基づいて情報をフィルタリングするためのデータベースビューを指定します。
<i>interface-type</i>	インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。

interface-instance 次に示す、物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスのいずれかです。

- 物理インターフェイス インスタンス。名前表記は *rack/slot/module/port* です。値の間に表記の一部としてスラッシュが必要です。
 - *rack* : ラックのシャーシ番号。
 - *slot* : モジュール サービス カードまたはラインカードの物理スロット番号。
 - *module* : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。
 - *port* : インターフェイスの物理ポート番号。
- (注) ルート プロセッサ カードにある管理イーサネット インターフェイスについては、物理スロット番号は英数字 (RP0 または RP1)、モジュールは CPU0 です。例: インターフェイス MgmtEth0/RP1/CPU0/0。
- 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイス タイプによって異なります。

ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。

location node-id 指定されたノードの IM データベース情報を表示します。 *node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID	タスク ID	操作
	cisco-support	read
	interface	read

例

次に、**show im database** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show im database verbose interface null 0
Mon Nov  9 22:10:37.964 PST

View: OWN - Owner, L3P - Local 3rd Party, G3P - Global 3rd Party,
      LDP - Local Data Plane, GDP - Global Data Plane, RED - Redundancy

Node 0/RP0/CPU0 (0x201)

Interface Null0, ifh 0x00080030 (up, 1500)
Interface flags:      0x00010097 (IFINDEX|VIRTUAL|CONFIG|VIS|DATA|CONTRO
Encapsulation:      null
Interface type:      IFT_NULL
Views:              GDP|LDP|G3P|L3P|OWN
Control location:    0/RP0/CPU0
Owner Private:      92 bytes
Flags:              <none>
State Transitions:  1
Dampening Config:   NO
Shared Locks:       0
MTU default:        1500
MTU ovh for bc/subif: 0/0
MTU min/max:        0/0
MTU avail/child:    0/1500
MTU actual/notified: 1500/1500
State (constraint): UP (UP)
Callback:           OWN GROUP OWNER - ID 17[-]
Ctrl Flags:         CFG_RDY|RDY|DNLD|INTF
Instance ID:        31
Checkpoint:         48 bytes
Resource in NetIO:  TRUE

Protocol           Caps (state, mtu)
-----
None               null (up, 1500)
Views:            LDP|G3P|L3P|OWN
Owner Private:    92 bytes
Flags:           <none>
MTU min/max:     0/0
MTU avail/child: 1500/1500
MTU actual/notified: 1500/1500
State (constraint): UP (UP)
Callback:        OWN GROUP OWNER - ID 17[-]
Ctrl Flags:      CFG_RDY|RDY|DNLD
Instance ID:     31
Checkpoint:      20 bytes
Resource in NetIO: TRUE
Demux limit:     0x00000000
```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 4 : show im database のフィールドの説明

フィールド	説明
nodeid	ノードに関連付けられた ID。
Interface	インターフェイス名。
Protocol	インターフェイスに関連付けられたプロトコルのカプセル化。
Caps (state, mtu)	関連付けられた状態および MTU 値を持つカプセル化の名前。

次に、show im database コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show im database brief location 0/0/CPU0
```

```
View: OWN - Owner, L3P - Local 3rd Party, G3P - Global 3rd Party,
      LDP - Local Data Plane, GDP - Global Data Plane, RED - Redundancy
```

```
Node 0/0/CPU0 (0x1)
```

Handle	Name	State	MTU	#P	#C	Views
0x01080020	FI0/0/CPU0	up	8000	11	12	GDP LDP L3P OWN
0x01080060	Gi0/0/0/0	up	9212	3	3	GDP LDP L3P OWN
0x01080080	Gi0/0/0/1	up	1514	3	3	GDP LDP L3P OWN
0x010800a0	Gi0/0/0/2	up	1514	3	3	GDP LDP L3P OWN
0x010800c0	Gi0/0/0/3	down	1514	4	4	GDP LDP L3P OWN
0x010800e0	Gi0/0/0/4	up	1514	3	3	GDP LDP L3P OWN
0x01080100	Gi0/0/0/5	up	1514	3	3	GDP LDP L3P OWN
0x01080120	Gi0/0/0/6	up	1514	8	17	GDP LDP L3P OWN
0x01080140	Gi0/0/0/7	down	1514	6	9	GDP LDP L3P OWN
0x010801c0	Gi0/0/0/6.1	up	1518	4	5	GDP LDP L3P OWN
0x010801e0	Gi0/0/0/6.101	up	1518	5	13	GDP LDP L3P OWN
0x01080200	Gi0/0/0/6.102	up	1518	5	13	GDP LDP L3P OWN
0x01080220	Gi0/0/0/6.103	up	1518	5	13	GDP LDP L3P OWN
0x01080240	Gi0/0/0/6.104	up	1518	5	13	GDP LDP L3P OWN
0x01080260	Gi0/0/0/6.105	up	1518	4	12	GDP LDP L3P OWN
0x01080280	Gi0/0/0/6.106	up	1518	4	12	GDP LDP L3P OWN
0x010802a0	Gi0/0/0/6.107	up	1518	4	12	GDP LDP L3P OWN
0x010802c0	Gi0/0/0/6.108	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x010802e0	Gi0/0/0/6.109	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080300	Gi0/0/0/6.110	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080320	Gi0/0/0/6.111	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080340	Gi0/0/0/6.112	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080360	Gi0/0/0/6.113	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080380	Gi0/0/0/6.114	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x010803a0	Gi0/0/0/6.115	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x010803c0	Gi0/0/0/6.116	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x010803e0	Gi0/0/0/6.117	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080400	Gi0/0/0/6.118	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080420	Gi0/0/0/6.119	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080440	Gi0/0/0/6.120	up	1518	4	10	GDP LDP L3P OWN
0x01080460	Gi0/0/0/6.121	up	1518	4	6	GDP LDP L3P OWN
0x01080480	Gi0/0/0/6.122	up	1518	4	6	GDP LDP L3P OWN
0x010804a0	Gi0/0/0/6.123	up	1518	4	6	GDP LDP L3P OWN
0x010804c0	Gi0/0/0/6.124	up	1518	4	6	GDP LDP L3P OWN
0x010804e0	Gi0/0/0/6.125	up	1518	4	6	GDP LDP L3P OWN
0x01080500	Gi0/0/0/6.126	up	1518	4	6	GDP LDP L3P OWN
0x01080520	Gi0/0/0/6.127	up	1518	4	6	GDP LDP L3P OWN

show im database

0x01080540	Gi0/0/0/6.128	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080560	Gi0/0/0/6.129	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080580	Gi0/0/0/6.130	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010805a0	Gi0/0/0/6.131	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010805c0	Gi0/0/0/6.132	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010805e0	Gi0/0/0/6.133	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080600	Gi0/0/0/6.134	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080620	Gi0/0/0/6.135	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080640	Gi0/0/0/6.136	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080660	Gi0/0/0/6.137	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080680	Gi0/0/0/6.138	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010806a0	Gi0/0/0/6.139	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010806c0	Gi0/0/0/6.140	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010806e0	Gi0/0/0/6.141	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080700	Gi0/0/0/6.142	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080720	Gi0/0/0/6.143	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080740	Gi0/0/0/6.144	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080760	Gi0/0/0/6.145	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080780	Gi0/0/0/6.146	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010807a0	Gi0/0/0/6.147	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010807c0	Gi0/0/0/6.148	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010807e0	Gi0/0/0/6.149	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080800	Gi0/0/0/6.150	up	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080820	Gi0/0/0/7.1	down	1518	2	5	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080840	Gi0/0/0/7.2	down	1518	4	6	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080860	Gi0/0/0/7.3	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080880	Gi0/0/0/7.4	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010808a0	Gi0/0/0/7.5	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010808c0	Gi0/0/0/7.6	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x010808e0	Gi0/0/0/7.7	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080900	Gi0/0/0/7.8	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080920	Gi0/0/0/7.9	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080940	Gi0/0/0/7.10	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01080960	Gi0/0/0/7.11	down	1518	3	4	GDP	LDP	L3P	OWN
0x01100020	Mg0/1/CPU1/0	N/A	-	0	0	GDP			
0x01100040	FI0/1/CPU1	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180020	FI0/1/CPU0	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180040	Mg0/1/CPU0/0	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180030	Nu0	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180050	En0	N/A	-	2	2	GDP	LDP		
0x01180070	En6tunnel0	N/A	-	2	2	GDP	LDP		
0x01180090	Lo0	N/A	-	0	0	GDP			
0x011800b0	Lo1	N/A	-	0	0	GDP			
0x011800d0	Lo2	N/A	-	0	0	GDP			
0x011800f0	Lo3	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180110	Lo5	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180130	Lo6	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180150	Lo7	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180170	BE102	N/A	-	0	0	GDP			
0x01180190	BE1080	N/A	-	3	4	GDP	LDP		
0x011801b0	BE1083	N/A	-	3	4	GDP	LDP		
0x011801d0	BE1084	N/A	-	3	4	GDP	LDP		
0x011801f0	BE1085	N/A	-	5	12	GDP	LDP		
0x01180210	BE1085.1	N/A	-	4	6	GDP	LDP		
0x01180230	BE1085.102	N/A	-	4	7	GDP	LDP		

show imds interface brief

インターフェイス マネージャ 配布サーバ (IMDS) に関するインターフェイス情報を表示するには、EXEC モードで **show imds interface brief** コマンドを使用します。

show imds interface brief

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

IMDS インターフェイス情報を表示するには、**show imds interface brief** コマンドを使用します。インターフェイスごとに、状態、使用されているカプセル化、最大伝送単位 (MTU)、およびインターフェイスハンドル (ifhandle) が期待どおりであるかどうかを調べるには、コマンド出力を使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show imds interface brief** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router show imds interface brief
IMDS BRIEF INTERFACE DATA (Node 0x201)
  handle          name          flags      state      mtu      encap
```

show imds interface brief

```

-----
0x00080000 FINT0/RP0/CPU0      0x0007 up          8000    91 (fint_base)
0x00080010 Null0                0x100ab up         1500    17 (null)
0x00080020 MgmtEth0/RP0/CPU0/0    0x1002f up         1514    30 (ether)
0x00080030 Loopback0            0x100ab up         1514    16 (loopback)
0x00080050 Bundle-POS24          0x104ab up         4474    14 (hdlc)
0x00080070 Bundle-Ether28      0x104ab up         1514    30 (ether)
0x00080090 Bundle-Ether28.1        0x10cab up         1500    107 (dot1q)
0x000800b0 Bundle-Ether28.2     0x10cab up         1500    107 (dot1q)
0x000800d0 Bundle-Ether28.3    0x10cab up         1500    107 (dot1q)
0x01180000 FINT0/1/CPU0      0x0007 up          8000    91 (fint_base)
0x01180020 GigabitEthernet0/1/5/0 0x1002f up         1514    30 (ether)
0x01180040 GigabitEthernet0/1/5/1 0x1002f up         1514    30 (ether)
0x01180060 GigabitEthernet0/1/5/2 0x1002f up         1514    30 (ether)
0x01180080 GigabitEthernet0/1/5/3 0x1002f admin-down 1514    30 (ether)
0x011800a0 GigabitEthernet0/1/5/4 0x1002f down        1514    30 (ether)
0x011800c0 GigabitEthernet0/1/5/5 0x1002f admin-down 1514    30 (ether)
.
.
.
0x01680480 SONET0/6/4/5        0x1006d up         10000   0 (Unknown)
0x016804a0 SonetPath0/6/4/5       0x10005 up         10000   0 (Unknown)
0x016804c0 POS0/6/4/5         0x1002f up         4474    14 (hdlc)
0x016804e0 SONET0/6/4/6       0x1006d up         10000   0 (Unknown)
0x01680500 SonetPath0/6/4/6       0x10005 up         10000   0 (Unknown)
0x01680520 POS0/6/4/6         0x1002f up         4474    14 (hdlc)
0x01680540 SONET0/6/4/7         0x1006d up         10000   0 (Unknown)
0x01680560 SonetPath0/6/4/7       0x10005 down        10000   0 (Unknown)
0x01680580 POS0/6/4/7           0x1002f admin-down 4474    14 (hdlc)

```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 5 : show imds interface briefのフィールドの説明

フィールド	説明
name	インターフェイス名。
state	インターフェイスの状態
mtu	インターフェイスに関連付けられているMTU。
encap	インターフェイスに関連付けられた基本カプセル化。

show sysdb connections

システム データベース (SYSDB) のクライアント接続の情報を表示するには、EXEC モードで **show sysdb connections** コマンドを使用します。

show sysdb connections [detail| job| path| location| shared-plane]

構文の説明

detail	(任意) 詳細なクライアント接続情報を表示します。
job	(任意) ジョブ ID を指定します。
path	(任意) パス フィルタを指定します。
location	(任意) 場所を指定します。
shared-plane	(任意) 共有プレーン データを表示します

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
sysmgr	read
cisco-support	read

例

次に、**show sysdb connections** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show sysdb connections detail location 0/1/CPU0

SysDB Connections:
"/debug/node/11/LR/sysdb/client/"
From:      shmwin_svr (jid 76, nid 0/1/CPU0, tid 1)
Connid:    00000001 Refcount: 0002 Options: 00000032
Connected: Y In trans:  N Verf susp:      N
Client connid: 00000000
Connected at: Jul 14 19:31:47.304
"/debug/node/11/LR/packet/"
From:      packet (jid 218, nid 0/1/CPU0, tid 1)
Connid:    00000002 Refcount: 0002 Options: 00000032
Connected: Y In trans:  N Verf susp:      N
Client connid: 00000000
Connected at: Jul 14 19:31:47.305
"/debug/node/11/LR/cdm/qsm/"
From:      qsm (jid 246, nid 0/1/CPU0, tid 4)
Connid:    00000003 Refcount: 0002 Options: 00000032
Connected: Y In trans:  N Verf susp:      N
Client connid: 00000000
Connected at: Jul 14 19:31:47.305
"/debug/node/11/LR/eem/"
From:      wdsysmon (jid 361, nid 0/1/CPU0, tid 5)
Connid:    00000005 Refcount: 0002 Options: 00000032
Connected: Y In trans:  N Verf susp:      N
Client connid: 00000000
Connected at: Jul 14 19:31:47.316
"/debug/node/11/LR/sysmgr/"
From:      sysmgr (jid 79, nid 0/1/CPU0, tid 7)
Connid:    00000013 Refcount: 0002 Options: 00000032
...
```

show sysdb trace verification location

システムデータベース (SYSDB) のトレース検証情報を表示するには、EXEC モードで **show sysdb trace verification location** コマンドを使用します。

show sysdb trace verification location *node-id*

構文の説明

node-id 特定のノード。 *node-id* 引数は、 *rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。 ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ローカルプレーンコンフィギュレーションの最近の検証 sysDB トランザクションおよび変更の詳細を表示するには、 **show sysdb trace verification shared-plane location** コマンドを使用します。 コマンド出力により、設定が検証され受け入れられたことを確認することができます。

タスク ID

タスク ID	操作
sysmgr	read
cisco-support	read

例

次に、**show sysdb trace verification shared-plane location** コマンドの出力例を示します。この出力は、SysDB ローカル プレーンへの変更が検証され受け入れられたことを示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show sysdb trace verification location 0/3/CPU0

Timestamp          jid      tid  reg handle  connid  action
      path
323 wrapping entries (4096 possible, 299 filtered, 622 total)
Jul  7 20:10:36.212    260      1    90      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.476    260      1    90      4912    Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_0.1/a/sub_vlan/0x2/_____/Gigab
itEthernet0_3_4_0/'
Jul  7 20:10:35.475    260      1    90      4912    verify reply: accep
t
      '---'
Jul  7 20:10:35.471    260      1    90      4912    Verify called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_0.1/a/sub_vlan/0x2/_____/Gigab
itEthernet0_3_4_0/'
Jul  7 20:10:35.471    144      1     4      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.471    144      1     4      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.471    144      1     4      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.471    144      1     4      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.471    144      1     4      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.471    144      1     4      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.471    144      1     4      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.471    144      1     4      8782    apply reply
      '---'
Jul  7 20:10:35.470    144      1     4      474     Apply/abort batch e
nded
      ''
Jul  7 20:10:35.470    144      1     4      474     Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_0/ord_x/im/shutdown'
Jul  7 20:10:35.470    144      1     4      474     Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_1/ord_x/im/shutdown'
Jul  7 20:10:35.470    144      1     4      474     Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_2/ord_x/im/shutdown'
Jul  7 20:10:35.470    144      1     4      474     Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_3/ord_x/im/shutdown'
Jul  7 20:10:35.470    144      1     4      474     Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_4/ord_x/im/shutdown'
Jul  7 20:10:35.469    144      1     4      474     Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_5/ord_x/im/shutdown'
Jul  7 20:10:35.469    144      1     4      474     Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_6/ord_x/im/shutdown'
Jul  7 20:10:35.469    144      1     4      474     Apply/abort called
      'cfg/if/act/GigabitEthernet0_3_4_7/ord_x/im/shutdown'
Jul  7 20:10:35.469    144      1     4      474     Apply/abort batch s
tarted
      ''
Jul  7 20:10:35.469    144      1     4      474     verify reply: accep
t
      '---'
Jul  7 20:10:35.469    144      1     4      474     verify reply: accep
t
      '---'
Jul  7 20:10:35.469    144      1     4      474     verify reply: accep
t
      '---'
!
!
!
```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 6 : show sysdb trace verification location のフィールドの説明

フィールド	説明
Timestamp	検証の時刻。
jid	検証のジョブ ID。
tid	スレッド ID。
reg handle	登録ハンドル。
connid	接続 ID。
action	sysDB サーバとクライアントの間で発生するアクション。
apply reply	適用アクションが発生したことをクライアントに示す SysDB 通知。
Apply/abort called	適用または中断が呼び出されたことをクライアントに示す SysDB 通知。
verify reply: accept	ベリファイアは検証要求を受け入れました。

関連コマンド

コマンド	説明
show sysdb connection path shared-plane	特定のパスのシステム データベース クライアント接続共有プレーン データを表示します。

show sysdb trace verification shared-plane

システムデータベース (SYSDB) のトレース検証情報を表示するには、EXEC モードで **show sysdb trace verification shared-plane** コマンドを使用します。

show sysdb trace verification shared-plane [**file**| **hexdump**]| **last**| **location**| **reverse**| **stats**| **tailf**| **unique**| **verbose**| **wrapping**]

構文の説明

file	(任意) ファイルの名前を指定します。
hexdump	(任意) 16 進数表記でパケットの内容を表示します。
last	(任意) 表示するキューのパケットの最後の個数を指定します。
location	(任意) カード位置を表示します。
reverse	(任意) 新たに追加されたトレースを指定します。
stats	(任意) トレース統計情報を表示します。
tailf	(任意) 新たに追加されたトレースを表示します。
unique	(任意) 一意のエントリとそのカウントのリストを表示します。
verbose	(任意) 内部デバッグ情報を表示します。
wrapping	(任意) すべてのトレース情報の折り返しエントリを表示します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

共有プレーンの最近の検証 sysDB トランザクションおよび変更の詳細を表示するには、**show sysdb trace verification shared-plane** コマンドを使用します。コマンド出力により、設定が正しく検証されたかどうかを確認することができます。

|include キーワードおよび path 引数を使用してパスを指定すると、ルータの sysDB パスだけを表示するようにデータはフィルタリングされます。パスを確認するには、**describe** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
sysmgr	read
cisco-support	read

例

次に、**show sysdb trace verification shared-plane** コマンドの出力例を示します。この出力は、SysDB 共有プレーンへの変更が検証され受け入れられたことを示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show sysdb trace verification shared-plane | include gl/a/hostname
May 18 19:16:17.143      340      3      210      962      Apply/abort called
                    'cfg/gl/a/hostname'
May 18 19:16:17.132      340      3      210      962      Verify called
                    'cfg/gl/a/hostname'
May 18 19:16:17.126      340      3      210      962      Apply/abort called
                    'cfg/gl/a/hostname'
May 18 19:16:17.109      340      3      210      962      Verify called
                    'cfg/gl/a/hostname'
May 18 18:43:16.065      340      3      210      962      register
                    'cfg/gl/a/hostname'
May 18 18:41:41.048      340      3      16      362      register
                    'cfg/gl/a/hostname'
```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 7: show sysdb trace verification shared-plane のフィールドの説明

フィールド	説明
Apply/abort called	SysDB サーバは検証を必要とするアクションを適用したかあるいは中断しました。
Verify called	クライアントは sysDB サーバに検証要求を発行しました。

show sysdb trace verification shared-plane

フィールド	説明
register	クライアントは検証のために sysDB サーバに登録されました。

関連コマンド

コマンド	説明
show sysdb connection path shared-plane	特定のパスの sysDB クライアント接続共有プレーンデータを表示します。

show tbm hardware

ツリー ビットマップ ハードウェア関連情報を表示するには、EXEC モードで **show tbm hardware** コマンドを使用します。

show tbm hardware {**ipv4**|**ipv6**|**mpls**|**vpn4**|**table-id**|**afi-all**|**sw-only**|**dual**|**egress**|**ingress**} {**unicast**|**multicast**|**safi-all**} {**dual**|**egress**|**ingress**|**sw-only**} {**brief**|**detail**|**lookup**|**prefix**|**prefix-hex-string**} **location** *node-id*

構文の説明

ipv4	IP Version 4 アドレス プレフィックスを指定します。
ipv6	IP Version 6 アドレス プレフィックスを指定します。
mpls	MPLS 関連のツリー ビットマップ情報を指定します。
vpn4	VPNv4 関連のツリー ビットマップ情報を指定します。
table-id	特定のテーブル ID のツリー ビットマップ情報を指定します。
afi-all	IPv4 および IPv6 コマンドを指定します。
sw-only	ソフトウェア専用のツリー ビットマップ情報を指定します。
dual	デュアル、入力および出力モードのツリー ビットマップ情報を指定します。
egress	出力のツリー ビットマップ情報を指定します。
ingress	入力のツリー ビットマップ情報を指定します。
unicast	ユニキャストアドレス プレフィックスを指定します。
multicast	マルチキャストアドレス プレフィックスを指定します。このオプションは、IPv4 アドレス ファミリでサポートされます。
safi-all	サブアドレス ファミリの場合に、すべてのサブアドレス ファミリのプレフィックスを指定します。このオプションは、IPv4 アドレス ファミリでサポートされます。
dual	入力および出力のツリー ビットマップ情報を指定します。
brief	概要情報を表示します。
detail	詳細情報を表示します。

lookup	テーブルで検索（最長一致）するキーまたはアドレス情報を表示します。
prefix	プレフィックス関連情報を表示します。
location <i>node-id</i>	指定されたノードのツリー ビットマップ ハードウェア関連情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。 ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ツリービットマップのハードウェア関連の入力および出力情報を表示するには、**show tbm hardware** コマンドを使用します。

タスク ID	タスク ID	操作
	cisco-support	read

例 下の例は、**show tbm hardware** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tbm hardware ipv4 unicast dual detail location 0/6/cpu0
TBM Table Type: IPv4 Unicast
-----
TBM: number of pulses: 71
TBM: number of Err fix attempts: 0
      No current failures
Past failures: leaf(0), mem(0), mipc(0), flush_mipc(0)
                post_compact(0), pre_compact(0)
```

```

PLU Bucket Statistics:
-----
    Bucket 0: 44
    Bucket 1: 44
    Bucket 2: 327
    Bucket 3: 44
    Bucket 4: 44
    Bucket 5: 43
    Bucket 6: 43
    Bucket 7: 45

Ingress PLU Info
-----
    PLU: Num Writes : 3064
    PLU: Num Copies : 2197

    PLU Memory Channel Statistics:
    -----
    Number of compactions: 0
    FCRAM0 Chan:      110 (Pages: 5, 1% used)
    FCRAM1 Chan:      125 (Pages: 8, 0% used)
    FCRAM2 Chan:      127 (Pages: 8, 0% used)
    FCRAM3 Chan:      148 (Pages: 8, 0% used)
    FCRAM4 Chan:      124 (Pages: 8, 0% used)

Egress PLU Info
-----
    PLU: Num Writes : 3064
    PLU: Num Copies : 2197

    PLU Memory Channel Statistics:
    -----
    Number of compactions: 0
    FCRAM0 Chan:      110 (Pages: 5, 1% used)
    FCRAM1 Chan:      125 (Pages: 8, 0% used)
    FCRAM2 Chan:      127 (Pages: 8, 0% used)
    FCRAM3 Chan:      148 (Pages: 8, 0% used)
    FCRAM4 Chan:      124 (Pages: 8, 0% used)
    
```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 8 : *show tbn hardware* のフィールドの説明

フィールド	説明
Past failures	プログラミングハードウェアで障害があった回数。
PLU: Num Writes	ハードウェアの PLU 部分への書き込みの数。
PLU: Num Copies	ハードウェアの PLU 部分へのコピーの数。
PLU Memory Channel Statistics	PLU メモリの各チャンネルの使用状況レベル。

show uidb data

マイクロインターフェイス記述子ブロック (uIDB) のインデックスデータ情報を表示するには、EXEC モードで **show uidb data** コマンドを使用します。

show uidb data [**shadow**] [**ingress**|**egress**] [*interface-type interface-instance*] **location node-id**

構文の説明

shadow	(任意) Metro HW の代わりにシャドウ コピーの Route Skill Mapping (RSM) から uIDB データを表示します。
ingress	(任意) 入力 of PSE 関連情報を表示します。
egress	(任意) 出力 of PSE 関連情報を表示します。
<i>interface-type</i>	インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>interface-instance</i>	次に示す、物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスのいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • 物理インターフェイス インスタンス。名前表記は <i>rack/slot/module/port</i> です。値の間に表記の一部としてスラッシュが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ <i>rack</i> : ラックのシャーシ番号。 ◦ <i>slot</i> : モジュラ サービス カードまたはラインカードの物理スロット番号。 ◦ <i>module</i> : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。 ◦ <i>port</i> : インターフェイスの物理ポート番号。 (注) ルートプロセッサカードにある管理イーサネットインターフェイスについては、物理スロット番号は英数字 (RP0 または RP1)、モジュールは CPU0 です。例: インターフェイス MgmtEth0/RP1/CPU0/0。 • 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイス タイプによって異なります。 <p>ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。</p>
location node-id	指定されたノードのマイクロ IDB インデックス データ情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

選択されたインターフェイスでイネーブルになっている機能を含むマイクロ IDB インデックスデータ情報をソフトウェアの視点から表示するには、**show uidb index** コマンドを使用します。

タスク ID	タスク ID	操作
	cisco-support	read

例 下の例は、**show uidb data** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# sh uidb data shadow ingress gigabitEthernet 0/2/4/4 loc 0/2/CPU0
-----
Location = 0/2/CPU0
Ifname/Ifhandle = GigabitEthernet0_2_4_4 / 0x12800a0
Index = 5
Pse direction = INGRESS
=====
*      (Not programmed in hardware)      *
-----
RSM STATUS: 0x7c000000
-> used: 0x1f
->dirty: 0x00
->badck: 0x00
-> prog: DONE
->count: 0
-----
BUNDLE IFHANDLE: 0
TUNNEL IFHANDLE: 0
L2 ENCAP: 3
=====

General 16 bytes:
```

show uidb data

```

-----
IFHANDLE: 0x12800a
STATUS: 1
ISSU State: 0
IPV4 ENABLE: 1
IPV6 ENABLE: 1
MPLS ENABLE: 0
STATS POINTER: 0x7ffd8
SPRAYER QUEUE: 36
IPV4 MULTICAST: 0
IPV6 MULTICAST: 0
USE TABLE ID IPV4: 0
USE TABLE ID IPV6: 0
USE TABLE ID MPLS: 0
TABLE ID: 0
QOS ENABLE: 0
QOS ID: 0
NETFLOW SAMPLING PERIOD: 0
L2 PKT DROP: 0
L2 QOS ENABLE: 0
SRC FWDING: 0
*[CHECKSUM]*: 0xff70f28c
    
```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 9 : show uidb data のフィールドの説明

フィールド	説明
Location	インターフェイスが存在するシステムのノード。
Ifname/Ifhandle	インターフェイスに関連付けられた名前。
SPRAYER QUEUE LSB	スプレーヤー キュー ID。
ICMP PUNT FLAG	ICMP パントがプロトコルに対してイネーブルになっていることを示すフラグ。

関連コマンド

コマンド	説明
show uidb trace , (43 ページ)	問題のトラブルシューティングに役立つ UIDB トレースデータのデバッグ情報を表示します。
show uidb data-dump	16進数表記で UIDB データ情報を表示します。

show uidb trace

マイクロインターフェイス記述子ブロック (IDB) のトレースデータ情報を表示するには、EXEC モードで **show uidb trace** コマンドを使用します。

show uidb trace {all| errors| events| init| rsm}

構文の説明

all	すべての UIDB トレース情報を表示します。
errors	UIDB エラー トレースに関する情報を表示します。
events	UIDB イベント トレースに関する情報を表示します。
init	UIDB init トレースに関する情報を表示します。
rsm	UIDB rsm トレースに関する情報を表示します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show uidb trace** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router sh uidb trace init loc 0/6/CPU0
-----
28 wrapping entries (512 possible, 0 filtered, 28 total)
Mar 31 02:27:35.368 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : Event manager init
Mar 31 02:27:36.641 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : Event manager int
Mar 31 02:27:36.641 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : Debug init
Mar 31 02:27:36.816 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : Debug init
Mar 31 02:27:36.816 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : MIPC bund
Mar 31 02:27:51.695 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : MIPC bind
Mar 31 02:27:51.695 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 PSE RSM : Init - main() : (50s
Mar 31 02:27:51.803 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : PSE RSM Init succ
Mar 31 02:27:51.803 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : Metro bind
Mar 31 02:27:51.828 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : Metro bind
Mar 31 02:27:51.828 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : PLIM ASIC register
Mar 31 02:27:51.922 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : PLIM ASIC registr
Mar 31 02:27:51.922 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : UIDB checkpoint int
Mar 31 02:27:51.944 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : UIDB checkpoint t
Mar 31 02:27:51.944 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : UIDB shadow memoryt
Mar 31 02:27:51.944 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : UIDB shadow memot
Mar 31 02:27:51.944 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : UIDB EDM init
Mar 31 02:27:51.951 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : UIDB EDM init
Mar 31 02:27:51.951 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : Checkpoint ingrese
Mar 31 02:27:51.951 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : Checkpoint ingree
Mar 31 02:27:51.951 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Entering : Checkpoint egress e

Mar 31 02:27:51.951 uidb_svr/initlog 0/6/CPU0 t1 Successful : Checkpoint egrese
```

関連コマンド

コマンド	説明
show uidb data , (40 ページ)	UIDB インデックス データ情報を表示します。
show uidb data-dump	16進数表記でUIDB データ情報を表示します。

show uidb index

マイクロ インターフェイス記述子ブロック (IDB) のインデックス情報を表示するには、EXEC モードで **show uidb index** コマンドを使用します。

show uidb index

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ソフトウェアによって割り当てられるマイクロ IDB インデックスを表示するには、**show uidb index** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

下の例は、**show uidb index** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show uidb index
```

```
-----
Location Interface-name      Interface-Type      Ingress-index  Egress-index
-----
0/1/CPU0          0                    Main interface    0              1
0/1/CPU0 GigabitEthernet0_1_5_0
```

show uidb index

```

1
0/1/CPU0 GigabitEthernet0_1_5_1      Main interface      2
2
0/1/CPU0 GigabitEthernet0_1_5_2      Main interface      3
3
0/1/CPU0 GigabitEthernet0_1_5_3      Main interface      4
4
0/1/CPU0 GigabitEthernet0_1_5_4      Main interface      5
5
0/1/CPU0 GigabitEthernet0_1_5_5      Main interface      6
6
0/1/CPU0 GigabitEthernet0_1_5_6      Main interface      7
7
0/1/CPU0 GigabitEthernet0_1_5_7      Main interface      8
8
0/1/CPU0 POS0_1_0_0                   Main interface      9
0/1/CPU0 POS0_1_4_0                   Main interface     10
0/1/CPU0 POS0_1_0_1                   Main interface     11
0/1/CPU0 POS0_1_4_1                   Main interface     12
0/1/CPU0 POS0_1_0_2                   Main interface     13
0/1/CPU0 POS0_1_4_2                   Main interface     14
0/1/CPU0 POS0_1_0_3                   Main interface     15
0/1/CPU0 POS0_1_4_3                   Main interface     16
0/1/CPU0 Bundle-POS24                 Bundle Interface   17
0/1/CPU0 Bundle-Ether28 Bundle Interfacel8 18
0/1/CPU0 Bundle-Ether28.1             Sub-interface     19
0/1/CPU0 Bundle-Ether28.2             Sub-interface     20
0/1/CPU0 Bundle-Ether28.3             Sub-interface     21
0/6/CPU0 0                             0                 0
0/6/CPU0 GigabitEthernet0_6_5_0      Main interface      1
1
0/6/CPU0 GigabitEthernet0_6_5_1      Main interface      2
2
0/6/CPU0 GigabitEthernet0_6_5_2      Main interface      3
3
0/6/CPU0 GigabitEthernet0_6_5_3      Main interface      4
4
0/6/CPU0 GigabitEthernet0_6_5_4      Main interface      5
5
0/6/CPU0 GigabitEthernet0_6_5_5      Main interface      6
6
0/6/CPU0 GigabitEthernet0_6_5_6      Main interface      7
7
0/6/CPU0 GigabitEthernet0_6_5_7      Main interface      8
8
0/6/CPU0 POS0_6_0_0                   Main interface      9
0/6/CPU0 POS0_6_4_0                   Main interface     10
0/6/CPU0 POS0_6_0_1                   Main interface     11
0/6/CPU0 POS0_6_4_1                   Main interface     12
0/6/CPU0 POS0_6_0_2                   Main interface     13
0/6/CPU0 POS0_6_4_2                   Main interface     14
0/6/CPU0 POS0_6_0_3                   Main interface     15
0/6/CPU0 POS0_6_4_3                   Main interface     16
0/6/CPU0 POS0_6_4_4                   Main interface     17
0/6/CPU0 POS0_6_4_5                   Main interface     18
0/6/CPU0 POS0_6_4_6                   Main interface     19
0/6/CPU0 POS0_6_4_7                   Main interface     20

```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 10 : show uidb index のフィールドの説明

フィールド	説明
Location	インデックスが見つかったノード。
Interface-name	インターフェイスの名前。

フィールド	説明
Interface-Type	インターフェイスのタイプ。
Ingress-index	インターフェイスでの入力処理に関連付けられた値。
Egress-index	インターフェイスでの出力処理に関連付けられた値。

関連コマンド

コマンド	説明
show uidb data, (40 ページ)	マイクロインターフェイス記述子ブロックのインデックス データ情報を表示します。
show uidb data-dump	16 進数表記でマイクロ インターフェイス記述子ブロックのデータ情報を表示します。

watchdog threshold memory

各アラームしきい値に使用できるメモリの値を設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたはインターフェイス コンフィギュレーション モードで **watchdog threshold memory** コマンドを使用します。デフォルトのしきい値のメモリに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

watchdog memory threshold [*location node-id*] **minor** *percentage-memory-available* **severe** *percentage-memory-available* **critical** *percentage-memory-available*

no watchdog memory threshold [*location node-id*] **minor** *percentage-memory-available* **severe** *percentage-memory-available* **critical** *percentage-memory-available*

構文の説明

location <i>node-id</i>	指定されたノードのしきい値メモリを設定します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
minor	マイナー状態のしきい値を指定します。
<i>percentage-memory- available</i>	メモリ使用率。 範囲は 5 ~ 40 です。
severe	重大な状態のしきい値を指定します。
critical	クリティカル状態のしきい値を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
 インターフェイス コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

メモリしきい値を設定するには、**watchdog threshold memory** コマンドを使用します。しきい値は、**location node-id** キーワード/引数を使用して、すべてのノードまたは特定のノードに適用できます。ローカルしきい値設定が削除されると、ローカル設定は、グローバルに設定された値に戻ります。さらに、デフォルトおよび設定済みのしきい値を表示できます。

この表には、マイナーしきい値が 20 パーセント、重大なしきい値が 10 パーセント、クリティカルしきい値が 5 パーセントに設定されている場合に推奨されるメモリしきい値の計算結果がリストされています。

表 11：推奨されるメモリしきい値

使用可能なメモリの合計 (MB)	マイナーしきい値 (使用可能なメモリの 20 パーセント)	重大なしきい値 (使用可能なメモリの 10 パーセント)	クリティカルしきい値 (使用可能なメモリの 5 パーセント)
128	25.6	12.8	6.4
256	51.2	25.6	12.8
512	102.4	51.2	25.6
1024	204.8	102.4	51.2
2048	409.6	204.8	102.4
4096	819.2	409.6	204.8

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read, write

例

次に、各アラームしきい値に使用できるメモリを設定する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router #configure
RP/0/RSP0/CPU0:router (config)# watchdog threshold memory location 0/RP0/CPU0 minor 30 severe
20 critical 10
```




Tech-Support コマンド

このモジュールでは、Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して **show** コマンドの出力を表示するために使用するコマンドについて説明します。コマンド出力は、ルータプラットフォームと設定によって異なります。

show tech-support コマンドはすべてが **show version** などのコマンドからの共通データを表示します。それぞれの **show tech-support** コマンドは、特定の領域の関連データも生成および収集します。このデータには特定の対象領域で使用可能なデバッグ情報を収集するトレース出力が含まれます。

- [show system verify](#), 53 ページ
- [show tech-support](#), 58 ページ
- [show tech-support aps](#), 63 ページ
- [show tech-support bcdl](#), 75 ページ
- [show tech-support bundles](#), 83 ページ
- [show tech-support cef](#), 94 ページ
- [show tech-support cfgmgr](#), 100 ページ
- [show tech-support chdlc](#), 109 ページ
- [show tech-support control-ethernet](#), 111 ページ
- [show tech-support ethernet](#), 119 ページ
- [show tech-support fabric](#), 125 ページ
- [show tech-support gsp](#), 130 ページ
- [show tech-support igmp snooping](#), 136 ページ
- [show tech-support install](#), 144 ページ
- [show tech-support l2vpn](#), 149 ページ
- [show tech-support lrd](#), 155 ページ

- [show tech-support mpls ldp, 166 ページ](#)
- [show tech-support mpls rsvp, 170 ページ](#)
- [show tech-support mpls traffic-eng, 176 ページ](#)
- [show tech-support multicast, 181 ページ](#)
- [show tech-support netflow, 188 ページ](#)
- [show tech-support nrs, 194 ページ](#)
- [show tech-support password, 198 ページ](#)
- [show tech-support performance-traffic, 202 ページ](#)
- [show tech-support pfi, 205 ページ](#)
- [show tech-support platform, 209 ページ](#)
- [show tech-support ppp, 213 ページ](#)
- [show tech-support qos, 217 ページ](#)
- [show tech-support rdsfs, 238 ページ](#)
- [show tech-support rib, 241 ページ](#)
- [show tech-support routing bfd, 244 ページ](#)
- [show tech-support routing isis, 249 ページ](#)
- [show tech-support routing ospf, 254 ページ](#)
- [show tech-support routing ospfv3, 261 ページ](#)
- [show tech-support routing rpl, 267 ページ](#)
- [show tech-support serial, 273 ページ](#)
- [show tech-support sanitized, 278 ページ](#)
- [show tech-support services, 284 ページ](#)
- [show tech-support snmp, 288 ページ](#)
- [show tech-support spaipc, 291 ページ](#)
- [show tech-support sysdb, 296 ページ](#)
- [show tech-support tty, 300 ページ](#)
- [show tty details, 303 ページ](#)

show system verify

システムパラメータを確認するには、EXEC モードで **show system verify** コマンドを使用します。

show system verify [start| report| detail]

構文の説明

start	(任意) システムの初期分析を実行し、その後の検証のため情報を保存します。
detail	(任意) システムの検証プロセスの詳細なレポートを生成します。
report	(任意) システムの検証プロセスのレポートを生成します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

レポートを生成する前に、**show system verify** コマンドを **start** キーワードとともに実行する必要があります。

タスク ID

タスク ID	操作
system	read

例

次の例は、システム検証の準備をする方法を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show system verify start
```

```
Storing initial router status ...
done.
```

次の例は、**show system verify** コマンドを実行した際の実出力例を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show system verify
```

```
Getting current router status ...
System Verification Report
=====
- Verifying Memory Usage
- Verified Memory Usage : [OK]
- Verifying CPU Usage
- Verified CPU Usage : [OK]

- Verifying Blocked Processes
- Verified Blocked Processes : [OK]
- Verifying Aborted Processes
- Verified Aborted Processes : [OK]
- Verifying Crashed Processes
- Verified Crashed Processes : [OK]

- Verifying LC Status
- Verified LC Status : [OK]
- Verifying QNET Status
Unable to get current LC status info
- Verified QNET Status : [FAIL]

- Verifying GSP Fabric Status
- Verified GSP Fabric Status : [OK]
- Verifying GSP Ethernet Status
gsp WARNING messages for router
Current set of gsp ping nodes does not match initial set of nodes
- Verified GSP Ethernet Status : [WARNING]

- Verifying POS interface Status
- Verified POS interface Status : [OK]
- Verifying TenGigE interface Status
- Verified TenGigE interface Status : [OK]

- Verifying TCP statistics
- Verified TCP statistics : [OK]
- Verifying UDP statistics
tcp_udp_raw WARNING messages for router
UDP Packets sent has not increased during this period.
- Verified UDP statistics : [WARNING]
- Verifying RAW statistics
- Verified RAW statistics : [OK]

- Verifying RIB Status
- Verified RIB Status : [OK]
- Verifying CEF Status
- Verified CEF Status : [OK]
- Verifying CEF Consistency Status
- Verified CEF Consistency Status : [OK]
- Verifying BGP Status
- Verified BGP Status : [OK]
- Verifying ISIS Status
- Verified ISIS Status : [OK]
- Verifying OSPF Status
- Verified OSPF Status : [OK]

- Verifying Syslog Messages
```

- Verified Syslog Messages : [OK]

System may not be stable. Please look into WARNING messages.

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 12 : *show system verify* のフィールドの説明

フィールド	説明
Type	メモリのタイプ
Initial	コマンドを start キーワードと共に実行した際に判定された初期の使用状況
Current	現在の使用状況
Application	アプリケーションに使用されているメモリ
Available	アプリケーションが使用できるメモリ
Physical	物理メモリ合計
nodes	ラインカード、ルートプロセッサ、ファブリックカードなどシステム内のデバイス
blocked processes	ルータ上のブロックされたプロセスの数
aborted processes	ルータ上の中断されたプロセスの数
crashed processes	ルータ上のクラッシュされたプロセスの数
LC Status on Router	ラインカードのステータス
QNET Status on router	内部の通信プロトコルのステータス
GSP Fabric Status on router	内部の通信プロトコルのステータス
GSP Ethernet Status on router	内部の通信プロトコルのステータス
Interface Status on router	Packet-over-SONET ステータス
Protocol	インターフェイスのプロトコル
IP address	インターフェイスの IP アドレス
Encapsulation	インターフェイスで使用されるカプセル化方式
MTU	インターフェイスの最大伝送単位

フィールド	説明
Keep alive	インターフェイスのキープアライブメッセージ
Packets Input	インターフェイスへのパケット入力合計数
Bytes Input	インターフェイスへのバイト入力合計数
Packets Output	インターフェイスによるパケット出力合計数
Byte Output	インターフェイスによるバイト出力合計数
TenGigE interface Status on router	10 ギガビット イーサネット インターフェイスのステータス
TCP statistics on router	トランスミッションコントロールプロトコル統計情報
UDP statistics on router	ユーザデータグラムプロトコル統計情報
RAW statistics on router	RAW 統計情報
PCBs	プロトコルコントロールブロック
RIB Status on router	ルーティング情報ベースのステータス
CEF Status on node.....	シスコエクスプレスフォワーディングのステータス
CEF Consistency Status on router	シスコエクスプレスフォワーディングの一貫性のステータス
BGP Status on router	ボーダーゲートウェイプロトコルのステータス
neighbors	BGP ネイバーの数
established	「established」状態の BGP ネイバーの数
ISIS Status on router	Intermediate System-to-Intermediate System のステータス
up	稼働中の ISIS リンクの数
failed	障害のある ISIS リンクの数
init	初期の ISIS リンクの数

フィールド	説明
OSPF Status on router	Open Shortest Path First のステータス
interfaces	OSPF で設定されているインターフェイスの数
interfaces_up	OSPF で設定されている「up」状態のインターフェイスの数
virtual_int	仮想インターフェイスの数
neighbors	設定済みの OSPF ネイバーの数
neighbors_adj	「adjacent」である設定済みの OSPF ネイバーの数
Syslog Messages on router	syslog メッセージの数

show tech-support

システム情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードおよび管理 EXEC モードで **show tech-support** コマンドを使用します。

show tech-support [**password**] {**terminal** [**page**] | **file** *send-to* [**background**] [**compressed**|**uncompressed**] }
[**location** *node-id*]

構文の説明

password	(任意) パスワードおよびその他のセキュリティ情報を出力に残します。使用しない場合、出力中のパスワードおよびその他のセキュリティ関連情報は、ラベル「<removed>」と置き換えられます。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>

background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

コマンド出力は、圧縮されません。
パスワードおよびその他のセキュリティ情報は表示されません。

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

**ヒント**

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

システム情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。

**(注)**

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show running-config**
- **show version**
- **show interfaces**
- **show arm summary**
- **show arm conflicts**
- **show install**
- **show filesystem**
- **dir location all: pwd = disk0:**
- **dir location all: pwd = bootflash:**
- **run top_procs**
- **show processes aborts location all**
- **show processes blocked location all**
- **show placement nodes all**
- **show placement policy program all**
- **show memory summary location all**
- **show lpts ifib brief**
- **show im database all**
- **run gsp_show**
- **show context all location all**
- **show redundancy**
- **show dsc all**
- **show lr all**
- **show ipv4 traffic**
- **show ipv6 traffic**
- **show logging**
- **show inventory**
- **show packet-memory**
- **show packet-memory corrupt**
- **show packet-memory failures**
- **show platform**
- **show led**
- **show buffer reserved-memory**

- **show controllers fabricq eio links all**
- **show controllers pse eio links all**
- **show controllers plim asic pla eio links all**
- **show controllers fia eio links all**
- **show controllers cpuctrl summary**
- **admin show controllers fabric plane all**
- **admin show controllers fabric plane all stat**
- **admin show controllers fabric sfe fabricq all detail**
- **admin show controllers fabric sfe ingressq all detail**
- **admin show controllers fabric sfe s1 all detail**
- **admin show controllers fabric sfe s2 all detail**
- **admin show controllers fabric sfe s3 all detail**
- **show environment all**

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID

操作

basic-services または cisco-support

read

例

次に、**show tech-support** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support terminal page
```

```
-----
show tech-support
-----
```

```
----- show running-config -----
```

```
Building configuration...
!! Last configuration change at Tue Mar 27 15:36:13 2007 by user_A
!
hostname CRS-1
line console
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
```

```

line default
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
clock timezone PST 8
clock summer-time DST recurring 2 sunday march 02:00 first sunday november 02:00
logging console informational
telnet vrf default ipv4 server max-servers no-limit
domain ipv4 host p1 172.16.52.72
domain ipv4 host p2 172.16.52.77
domain ipv4 host ce6 172.16.52.73
domain ipv4 host ce7 172.16.52.78
domain ipv4 host pe6 172.16.52.128
domain ipv4 host pe7 172.16.52.182
domain ipv4 host pe11 172.16.52.83
domain lookup disable
username CRS-1_2
  password 7 <removed>
!
aps group 1
  revert 1
  channel 0 local SONET0/1/4/3
  channel 1 local SONET0/1/4/2
!
vty-pool default 0 25
alias cr copy run disk0:/usr/base_config
alias sa show alias
alias sc show config commit list
alias sd show diag
alias si show ip int brief
alias sl show led
alias sm show mpls forwarding
alias sp show platform
alias sr show run
alias su show users
alias sv show version
alias sir show ip route
ipv4 virtual address 172.16.52.72 255.255.255.0
hw-module service sbc location 0/4/CPU0
hw-module service sbc location 0/4/CPU1
interface Bundle-Ether28
  description Connected to CRS-1_2 Bundle-Ether 28
  ipv4 address 10.0.28.1 255.255.255.0
  bundle minimum-active links 1
  bundle minimum-active bandwidth 1000000
!
interface Bundle-Ether28.1
  description Connected to CRS-1_2 Bundle-Ether 28.1
  ipv4 address 10.0.29.1 255.255.255.0
  dot1q vlan 29
!
interface Bundle-Ether28.2
  dot1q vlan 30
  description Connected to CRS-1_2 Bundle-Ether 28.2
  ipv4 address 10.0.30.1 255.255.255.0
!
interface Bundle-Ether28.3
  description Connected to CRS-1_2 Bundle-Ether 28.3
  ipv4 address 10.0.31.1 255.255.255.0
  dot1q vlan 31
!
interface Bundle-POS24
  bundle minimum-active bandwidth 2488320
  bundle minimum-active links 1
  ipv4 address 10.10.24.1 255.255.255.0
.
.

```

show tech-support aps

自動保護スイッチング（APS）に関するデバッグ情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support aps** コマンドを使用します。このコマンドは、すべてのロケーションの APS トレースおよび SONET ローカル トレースを収集し、すべてのポートおよびグループに対して **show controller** および **show aps** コマンドを実行します。

show tech-support aps file *send-to* [**group**] **show-only**] [**location** *node-id*]

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
group	(任意) APS のデバッグ用トレースなしで show group コマンドを表示します。
show-only	(任意) APS のデバッグ用トレースなしで show コマンドを表示します。
terminal	(任意) コマンド出力が端末に表示されるように指定します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカルサポート担当者に送信することも容易になります。

APS のデバッグ情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support aps** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、**show tech-support aps** コマンドの切り詰められた出力の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support aps show-only terminal
```

```

-----
show tech-support aps
-----

----- show aps -----
no aps group found

----- show aps agents -----
APS shows Agent: sysdb_dataalist failed: ('sysdb' detected the 'warning' conditi)

----- show controller sonet * -----

Port SONET0/6/0/0:
Status: Up
Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS   = 1          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI   = 1          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI   = 1          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0        PSE  = 0          NSE   = 0
  PLM = 0          TIM   = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: None
Asserted Alarms: None
Mask for Detected->Asserted: None
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: None
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable C2_rx = 0x16 (22) C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0 S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : STABLE
  Remote hostname : P11_CRS-4
  Remote interface: POS0/2/0/0
  Remote IP addr  : 10.111.4.11

APS
No APS Group Configured
  Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Remote Rx(K1/K2): 01/0 Remote Tx(K1/K2): 01/0

BER thresholds: SF = 10e-3 SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6 B2 = 10e-6 B3 = 10e-6

Optics type: OC3 SR-1/STM1 MM
Clock source: internal (actual) internal (configured)
Rx S1: 0xf Tx S1: 0xf

```

```

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Rx power = 0.0160 mW, -18.0 dBm
  Tx power = 0.0000 mW, -inf dBm
  Tx laser current bias = 0.0 mA

Port SONET0/6/0/1:

Status: Up

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS    = 1          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI    = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI    = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0          PSE  = 0          NSE   = 0
  PLM = 0          TIM    = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: None
Asserted Alarms: None
Mask for Detected->Asserted: None
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: None
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable  C2_rx = 0x16 (22)  C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0  S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : STABLE
  Remote hostname : P2_CRS-8
  Remote interface: POS0/6/0/1
  Remote IP addr  : 10.12.8.2

APS
No APS Group Configured
Protect Channel 0  DISABLED
Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
Remote Rx(K1/K2): 01/0  Remote Tx(K1/K2): 01/0

BER thresholds:  SF = 10e-3  SD = 10e-6
TCA thresholds:  B1 = 10e-6  B2 = 10e-6  B3 = 10e-6

  Optics type: OC3 SR-1/STM1 MM
  Clock source: internal (actual) internal (configured)
  Rx S1: 0xf  Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Rx power = 0.0223 mW, -16.5 dBm
  Tx power = 0.0000 mW, -inf dBm
  Tx laser current bias = 0.0 mA

Port SONET0/6/0/2:

Status: Down

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS    = 1          BIP(B1) = 0
LINE

```

```

    AIS = 0          RDI    = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
    AIS = 0          RDI    = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
    LOP = 0          NEWPTR = 0        PSE  = 0          NSE   = 0
    PLM = 0          TIM    = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: SLOS
Asserted Alarms: SLOS
Mask for Detected->Asserted: SLOF LAIS SF_BER SD_BER LRDI PLOP PAIS PRDI PUNEQ
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: B1-TCA B2-TCA B3-TCA
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable  C2_rx = 0x6D (109)  C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0  S1S0(rx): 0x2 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : UNSTABLE
  Remote hostname :
  Remote interface:
  Remote IP addr  :

APS
No APS Group Configured
  Protect Channel 0  DISABLED
  Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Remote Rx(K1/K2): 1/  Remote Tx(K1/K2): 1/

BER thresholds: SF = 10e-3  SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6  B2 = 10e-6  B3 = 10e-6

  Optics type: None
  Clock source: internal (actual) line (configured)
  Rx S1: 0xe  Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Not Supported

Port SONET0/6/0/3:

Status: Up

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS    = 0          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI    = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI    = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0        PSE  = 0          NSE   = 0
  PLM = 0          TIM    = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: None
Asserted Alarms: None
Mask for Detected->Asserted: None
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: None
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP

```

```

Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable   C2_rx = 0x16 (22)   C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0   S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : STABLE
  Remote hostname : PE21_C12406
  Remote interface: POS0/2/0/3
  Remote IP addr  : 10.121.4.21

APS
No APS Group Configured
Protect Channel 0   DISABLED
Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
Remote Rx(K1/K2): 01/0   Remote Tx(K1/K2): 01/0

BER thresholds:  SF = 10e-3   SD = 10e-6
TCA thresholds:  B1 = 10e-6   B2 = 10e-6   B3 = 10e-6

  Optics type: OC3 SR-1/STM1 MM
  Clock source: internal (actual) internal (configured)
  Rx S1: 0xf   Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Rx power = 0.0206 mW, -16.9 dBm
  Tx power = 0.0000 mW, -inf dBm
  Tx laser current bias = 0.0 mA

Port SONET0/6/4/0:

Status: Down

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0           LOS   = 1           BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0           RDI   = 0           FEBE = 0           BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0           RDI   = 0           FEBE = 0           BIP(B3) = 0
  LOP = 0           NEWPTR = 0           PSE  = 0           NSE   = 0
  PLM = 0           TIM   = 0           UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:      0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: SLOS
Asserted Alarms: SLOS
Mask for Detected->Asserted: SLOF LAIS SF_BER SD_BER LRDI PLOP PAIS PRDI PUNEQ
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: B1-TCA B2-TCA B3-TCA
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable   C2_rx = 0xFF (255)   C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0   S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : UNSTABLE
  Remote hostname :
  Remote interface:
  Remote IP addr  :

APS
No APS Group Configured
Rx(K1/K2) : 0x00/0x00

```

```

Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
Remote Rx(K1/K2): 1/ Remote Tx(K1/K2): 1/

BER thresholds: SF = 10e-3 SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6 B2 = 10e-6 B3 = 10e-6

Optics type: None
Clock source: internal (actual) line (configured)
Rx S1: 0x0 Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
Not Supported

Port SONET0/6/4/1:

Status: Down

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS = 1          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0       PSE = 0          NSE = 0
  PLM = 0          TIM = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:      0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: SLOS
Asserted Alarms: SLOS
Mask for Detected->Asserted: SLOF LAIS SF_BER SD_BER LRDI PLOP PAIS PRDI PUNEQ
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: B1-TCA B2-TCA B3-TCA
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable C2_rx = 0xFF (255) C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0 S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : UNSTABLE
  Remote hostname :
  Remote interface:
  Remote IP addr  :

APS
No APS Group Configured
Protect Channel 0 DISABLED
Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
Remote Rx(K1/K2): 1/ Remote Tx(K1/K2): 1/

BER thresholds: SF = 10e-3 SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6 B2 = 10e-6 B3 = 10e-6

Optics type: None
Clock source: internal (actual) line (configured)
Rx S1: 0x0 Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
Not Supported

Port SONET0/6/4/2:

Status: Down

```

```

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS   = 1          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI   = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI   = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0        PSE  = 0          NSE   = 0
  PLM = 0          TIM   = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: SLOS
Asserted Alarms: SLOS
Mask for Detected->Asserted: SLOF LAIS SF_BER SD_BER LRDI PLOP PAIS PRDI PUNEQ
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: B1-TCA B2-TCA B3-TCA
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable C2_rx = 0xEF (239) C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0 S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : UNSTABLE
  Remote hostname :
  Remote interface:
  Remote IP addr  :

APS
No APS Group Configured
  Protect Channel 0  DISABLED
  Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Remote Rx(K1/K2): 1/ Remote Tx(K1/K2): 1/

BER thresholds: SF = 10e-3 SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6 B2 = 10e-6 B3 = 10e-6

  Optics type: None
  Clock source: internal (actual) line (configured)
  Rx S1: 0x0 Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Not Supported

Port SONET0/6/4/3:

Status: Down

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS   = 1          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI   = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI   = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0        PSE  = 0          NSE   = 0
  PLM = 0          TIM   = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: SLOS

```

```

Asserted Alarms: SLOS
Mask for Detected->Asserted: SLOF LAIS SF_BER SD_BER LRDI PLOP PAIS PRDI PUNEQ
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: B1-TCA B2-TCA B3-TCA
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable C2_rx = 0xFF (255) C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0 S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : UNSTABLE
  Remote hostname :
  Remote interface:
  Remote IP addr  :

APS
No APS Group Configured
  Protect Channel 0  DISABLED
  Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Remote Rx(K1/K2): 1/ Remote Tx(K1/K2): 1/

BER thresholds: SF = 10e-3 SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6 B2 = 10e-6 B3 = 10e-6

  Optics type: None
  Clock source: internal (actual) line (configured)
  Rx S1: 0x0 Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Not Supported

Port SONET0/6/4/4:

Status: Up

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS = 0          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0        PSE = 0          NSE = 0
  PLM = 0          TIM = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: None
Asserted Alarms: None
Mask for Detected->Asserted: None
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: None
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable C2_rx = 0x16 (22) C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0 S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : STABLE
  Remote hostname : P4_C12810
  Remote interface: POS0/3
  Remote IP addr  : 10.14.4.4

```

```

APS
No APS Group Configured
  Protect Channel 0  DISABLED
  Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Remote Rx(K1/K2): F1/F  Remote Tx(K1/K2): 00/0

BER thresholds: SF = 10e-3  SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6  B2 = 10e-6  B3 = 10e-6

  Optics type: OC12 SR-1/STM4 MM
  Clock source: internal (actual) internal (configured)
  Rx S1: 0xf  Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Rx power = 0.0184 mW, -17.4 dBm
  Tx power = 0.0000 mW, -inf dBm
  Tx laser current bias = 0.0 mA

Port SONE0/6/4/5:

Status: Up

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS   = 1          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI   = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI   = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0          PSE = 0          NSE   = 0
  PLM = 0          TIM   = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONE0" counters never

Detected Alarms: None
Asserted Alarms: None
Mask for Detected->Asserted: None
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: None
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONE0
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable  C2_rx = 0x16 (22)  C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0  S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : STABLE
  Remote hostname : P2_CRS-8
  Remote interface: POS0/6/4/5
  Remote IP addr  : 10.12.4.2

APS
No APS Group Configured
  Protect Channel 0  DISABLED
  Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
  Remote Rx(K1/K2): 01/0  Remote Tx(K1/K2): 01/0

BER thresholds: SF = 10e-3  SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6  B2 = 10e-6  B3 = 10e-6

  Optics type: OC12 SR-1/STM4 MM
  Clock source: internal (actual) internal (configured)
  Rx S1: 0xf  Tx S1: 0xf

```

```

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Rx power = 0.0193 mW, -17.1 dBm
  Tx power = 0.0000 mW, -inf dBm
  Tx laser current bias = 0.0 mA

Port SONET0/6/4/6:

Status: Up

Loopback: None

SECTION
  LOF = 1          LOS    = 0          BIP(B1) = 0
LINE
  AIS = 0          RDI    = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
  AIS = 0          RDI    = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
  LOP = 0          NEWPTR = 0          PSE  = 0          NSE    = 0
  PLM = 0          TIM    = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: None
Asserted Alarms: None
Mask for Detected->Asserted: None
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: None
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable  C2_rx = 0x16 (22)  C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0  S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : STABLE
  Remote hostname : P3_C12008
  Remote interface: POS5/2
  Remote IP addr  : 10.13.4.3

APS
No APS Group Configured
Protect Channel 0  DISABLED
Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
Remote Rx(K1/K2): 00/0  Remote Tx(K1/K2): 00/0

BER thresholds:  SF = 10e-3  SD = 10e-6
TCA thresholds:  B1 = 10e-6  B2 = 10e-6  B3 = 10e-6

  Optics type: OC12 SR-1/STM4 MM
  Clock source: internal (actual) internal (configured)
  Rx S1: 0xf  Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
  Rx power = 0.0142 mW, -18.5 dBm
  Tx power = 0.0000 mW, -inf dBm
  Tx laser current bias = 0.0 mA

Port SONET0/6/4/7:

Status: Down

Loopback: None

SECTION
  LOF = 0          LOS    = 1          BIP(B1) = 0
LINE

```

show tech-support aps

```

    AIS = 0          RDI   = 0          FEBE = 0          BIP(B2) = 0
PATH
    AIS = 0          RDI   = 0          FEBE = 0          BIP(B3) = 0
    LOP = 0          NEWPTR = 0        PSE  = 0          NSE   = 0
    PLM = 0          TIM   = 0          UNEQ = 0

Line delays trigger:      0 ms clear: 10000 ms
Path delays trigger:     0 ms,      0 ms (configured), clear: 10000 ms
Last clearing of "show controllers SONET" counters never

Detected Alarms: SLOS
Asserted Alarms: SLOS
Mask for Detected->Asserted: SLOF LAIS SF_BER SD_BER LRDI PLOP PAIS PRDI PUNEQ
Detected Alerts: None
Reported Alerts: None
Mask for Detected->Reported: B1-TCA B2-TCA B3-TCA
Alarm reporting enabled for: SLOS SLOF SF_BER PLOP
Alert reporting enabled for: B1-TCA B2-TCA B3-TCA

Framing: SONET
SPE Scrambling: Enabled
C2 State: Stable   C2_rx = 0xF7 (247)   C2_tx = 0x16 (22) / Scrambling Derived
S1S0(tx): 0x0   S1S0(rx): 0x0 / Framing Derived

PATH TRACE BUFFER : UNSTABLE
  Remote hostname :
  Remote interface:
  Remote IP addr  :

APS
No APS Group Configured
Protect Channel 0   DISABLED
Rx(K1/K2) : 0x00/0x00
Tx(K1/K2) : 0x00/0x00
Remote Rx(K1/K2): 1/   Remote Tx(K1/K2): 1/

BER thresholds: SF = 10e-3 SD = 10e-6
TCA thresholds: B1 = 10e-6 B2 = 10e-6 B3 = 10e-6

Optics type: None
Clock source: internal (actual) internal (configured)
Rx S1: 0x0 Tx S1: 0xf

Optical Power Monitoring (accuracy: +/- 1dB)
Not Supported

-----

                        show tech-support aps complete

-----

```

show tech-support bcdl

バルク コンテンツ ダウンローダ (BCDL) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support bcdl** コマンドを使用します。

```
show tech-support bcdl [ bcdl-group ] {terminal [page]| file send-to [background] [compressed|uncompressed]}
```

構文の説明

<i>bcdl-group</i>	(任意) BCDL グループの名前。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• <i>filename</i>• bootflash: <i>filename</i>• compactflash: <i>filename</i>• disk0: <i>filename</i>• disk1: <i>filename</i>• flash: <i>filename</i>• ftp: <i>filename</i>• harddisk: <i>filename</i>• harddiska: <i>filename</i>• nvr: <i>filename</i>• rcp: <i>filename</i>• slot0: <i>filename</i>• slot1: <i>filename</i>• tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。

compressed (任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。

uncompressed (任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。 ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

BCDL のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support bcdl** コマンドを使用します。 BCDL は、転送情報ベース (FIB) の処理用に、ルーティング情報ベース (RIB) からラインカードにルーティング情報を渡すために使用されます。 また、BCDL によって、マルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) が FIB にラベル情報を送信でき、Local Packet Transport Services (LPTS) がラインカードプロセスに情報を送信できます。 このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ BCDL のデバッグ情報を生成します。 シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注) ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support bcdl コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show bcdl**
- **show bcdl consumers**
- **show bcdl tables**

- **show process bcdl_agent**
- **show bcdl trace location all**

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services または cisco-support	read
sysmgr	read

例

次に、**show tech-support bcdl** コマンドの切り詰められた出力の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support bcdl terminal page
Mon Nov 10 18:29:05.526 PST DST

-----

show tech-support bcdl

-----

----- show bcdl -----
grp ipv4_lmrib, gid 2104, sg cnt 1, agent jid 117, node 0/

RSP0/CPU0, pulse 0, ne0
sg  lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck  seq pulse-tot pulse-out
0 2105 16 6      no      yes  no      0      0      0      0

grp ipv4_mrrib, gid 2102, sg cnt 1, agent jid 116, node 0/

RSP0/CPU0, pulse 0, new0
sg  lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck  seq pulse-tot pulse-out
0 2103 16 6      no      yes  no      0      0      0      0

grp ipv4_rib, gid 2049, sg cnt 1, agent jid 111, node 0/

RSP0/CPU0, pulse 38335, 0
sg  lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck  seq pulse-tot pulse-out
0 2050 16 6      no      no   no      0 38387  38330  0

sg  lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck  seq pulse-tot pulse-out
0 2101 16 6      no      yes  no      0      0      0      0
```

show tech-support bcdl

```
sg  lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck  seq pulse-tot pulse-out
0 2052 16 6      no      no      no      0      1      1      0
```

```
grp mpls_lsd_v4, gid 2060, sg cnt 1, agent jid 113, node 0/
```

```
RSP0/CPU0, pulse 38430
```

```
sg  lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck  seq pulse-tot pulse-out
0 2061 17 6      no      no      no      0 38431  38432  0
```

```
grp mpls_lsd_v6, gid 2062, sg cnt 1, agent jid 114, node 0/
```

```
RSP0/CPU0, pulse 7, n0
```

```
sg  lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck  seq pulse-tot pulse-out
0 2063 17 6      no      no      no      0      1      2      0
```

```
grp pa_ff, gid 2021, sg cnt 1, agent jid 110, node 0/
```

```
RSP0/CPU0, pulse 271, new m0
```

```
sg  lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck  seq pulse-tot pulse-out
0 2022 16 6      no      no      no      0 260    259    0
```

```
Mon Nov 10 18:29:05.992 PST DST
```

```
----- show bcdl consumers -----
```

```
group ipv4_lmrib, gsp gid 2104, 6 consumers, agent jid 117, node 0/RP0/CPU0
(expected 6 consumers to reply, received 6 replies)
```

pid	node	asg	csg	lwg	sus	messages	bytes	errs	name
458887	0/RP0/CPU0	0	0	2105	N	0	0	0	fib_mgr
209032	0/RP1/CPU0	0	0	2105	N	0	0	0	fib_mgr
90198	0/6/CPU0	0	0	2105	N	0	0	0	fib_mgr
106592	0/4/CPU0	0	0	2105	N	0	0	0	fib_mgr
114782	0/4/CPU1	0	0	2105	N	0	0	0	fib_mgr
90198	0/1/CPU0	0	0	2105	N	0	0	0	fib_mgr

```
group ipv4_mrrib, gsp gid 2102, 6 consumers, agent jid 116, node 0/RP0/CPU0
(expected 6 consumers to reply, received 6 replies)
```

pid	node	asg	csg	lwg	sus	messages	bytes	errs	name
790787	0/RP0/CPU0	0	0	2103	N	0	0	0	ipv4_mfwd_pare
262380	0/RP1/CPU0	0	0	2103	N	0	0	0	ipv4_mfwd_pare
127125	0/1/CPU0	0	0	2103	N	0	0	0	ipv4_mfwd_pare
139404	0/4/CPU1	0	0	2103	N	0	0	0	ipv4_mfwd_pare
127114	0/6/CPU0	0	0	2103	N	0	0	0	ipv4_mfwd_pare
131214	0/4/CPU0	0	0	2103	N	0	0	0	ipv4_mfwd_pare

```
group ipv4_rrib, gsp gid 2049, 6 consumers, agent jid 111, node 0/RP0/CPU0
(expected 6 consumers to reply, received 6 replies)
```

pid	node	asg	csg	lwg	sus	messages	bytes	errs	name
458887	0/RP0/CPU0	0	0	2050	N	38387	4599212	0	fib_mgr
209032	0/RP1/CPU0	0	0	2050	N	38385	4599156	0	fib_mgr
114782	0/4/CPU1	0	0	2050	N	38330	4574016	0	fib_mgr
90198	0/6/CPU0	0	0	2050	N	38363	4597820	0	fib_mgr
90198	0/1/CPU0	0	0	2050	N	38385	4599156	0	fib_mgr
106592	0/4/CPU0	0	0	2050	N	38333	4580188	0	fib_mgr

```
group ipv6_mrrib, gsp gid 2100, 6 consumers, agent jid 115, node 0/RP0/CPU0
(expected 6 consumers to reply, received 6 replies)
```

pid	node	asg	csg	lwg	sus	messages	bytes	errs	name
790788	0/RP0/CPU0	0	0	2101	N	0	0	0	ipv6_mfwd_pare
262381	0/RP1/CPU0	0	0	2101	N	0	0	0	ipv6_mfwd_pare
127126	0/1/CPU0	0	0	2101	N	0	0	0	ipv6_mfwd_pare
127115	0/6/CPU0	0	0	2101	N	0	0	0	ipv6_mfwd_pare
139405	0/4/CPU1	0	0	2101	N	0	0	0	ipv6_mfwd_pare
131215	0/4/CPU0	0	0	2101	N	0	0	0	ipv6_mfwd_pare

```
group ipv6_rrib, gsp gid 2051, 6 consumers, agent jid 112, node 0/RP0/CPU0
(expected 6 consumers to reply, received 6 replies)
```

pid	node	asg	csg	lwg	sus	messages	bytes	errs	name
458887	0/RP0/CPU0	0	0	2052	N	1	28	0	fib_mgr
209032	0/RP1/CPU0	0	0	2052	N	2	56	0	fib_mgr
90198	0/1/CPU0	0	0	2052	N	2	56	0	fib_mgr
106592	0/4/CPU0	0	0	2052	N	2	56	0	fib_mgr
90198	0/6/CPU0	0	0	2052	N	2	56	0	fib_mgr

```

114782 0/4/CPU1 0 0 2052 N 2 56 0 fib_mgr

group mppls_lsd_v4, gsp gid 2060, 6 consumers, agent jid 113, node 0/RP0/CPU0
(expected 6 consumers to reply, received 6 replies)
pid node asg csg lwg sus messages bytes errs name
458887 0/RP0/CPU0 0 0 2061 N 38431 6895816 0 fib_mgr
209032 0/RP1/CPU0 0 0 2061 N 38431 6895816 0 fib_mgr
90198 0/1/CPU0 0 0 2061 N 38431 6895816 0 fib_mgr
90198 0/6/CPU0 0 0 2061 N 38431 6895816 0 fib_mgr
106592 0/4/CPU0 0 0 2061 N 38431 6895816 0 fib_mgr
114782 0/4/CPU1 0 0 2061 N 38431 6895816 0 fib_mgr

group mppls_lsd_v6, gsp gid 2062, 6 consumers, agent jid 114, node 0/RP0/CPU0
(expected 6 consumers to reply, received 6 replies)
pid node asg csg lwg sus messages bytes errs name
458887 0/RP0/CPU0 0 0 2063 N 1 228 0 fib_mgr
209032 0/RP1/CPU0 0 0 2063 N 1 228 0 fib_mgr
90198 0/1/CPU0 0 0 2063 N 1 228 0 fib_mgr
90198 0/6/CPU0 0 0 2063 N 1 228 0 fib_mgr
106592 0/4/CPU0 0 0 2063 N 1 228 0 fib_mgr
114782 0/4/CPU1 0 0 2063 N 1 228 0 fib_mgr

group pa_ff, gsp gid 2021, 6 consumers, agent jid 110, node 0/RP0/CPU0
(expected 6 consumers to reply, received 6 replies)
pid node asg csg lwg sus messages bytes errs name
471193 0/RP0/CPU0 0 0 2022 N 260 52876 0 pifibm_server
90221 0/6/CPU0 0 0 2022 N 33 18516 0 pifibm_server
90214 0/1/CPU0 0 0 2022 N 33 18516 0 pifibm_server
110695 0/4/CPU0 0 0 2022 N 209 48132 0 pifibm_server
118885 0/4/CPU1 0 0 2022 N 224 50052 0 pifibm_server
221341 0/RP1/CPU0 0 0 2022 N 251 52796 0 pifibm_server

Mon Nov 10 18:29:06.427 PST DST

----- show bcdl tables -----
grp ipv4_lmrib, gid 2104, sg cnt 1, agent jid 117, node 0/RP0/CPU0, pulse 0, ne0
sg lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck seq pulse-tot pulse-out
0 2105 16 6 no yes no 0 0 0 0
sgs: 1, table_cnt: 0, table_mid_cnt: 0, buf size: 20
Showing table info for 1 subgroups
sg 0: has 0 tables (messages: 0, bytes: 0)

grp ipv4_mrrib, gid 2102, sg cnt 1, agent jid 116, node 0/RP0/CPU0, pulse 0, new0
sg lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck seq pulse-tot pulse-out
0 2103 16 6 no yes no 0 0 0 0
sgs: 1, table_cnt: 0, table_mid_cnt: 0, buf size: 20
Showing table info for 1 subgroups
sg 0: has 0 tables (messages: 0, bytes: 0)

grp ipv4_rib, gid 2049, sg cnt 1, agent jid 111, node 0/RP0/CPU0, pulse 38335, 0
sg lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck seq pulse-tot pulse-out
0 2050 16 6 no no no 0 38387 38330 0
sgs: 1, table_cnt: 1, table_mid_cnt: 6, buf size: 124
Showing table info for 1 subgroups
sg 0: has 1 tables (messages: 0, bytes: 0)
table 0xe0000000: 6 members, dnld act: 0, messages: 38387, bytes: 4599212
cnsmr 0: pid 458887 on node 0/RP0/CPU0
cnsmr 1: pid 209032 on node 0/RP1/CPU0
cnsmr 2: pid 90198 on node 0/1/CPU0
cnsmr 3: pid 90198 on node 0/6/CPU0
cnsmr 4: pid 106592 on node 0/4/CPU0
cnsmr 5: pid 114782 on node 0/4/CPU1

grp ipv6_mrrib, gid 2100, sg cnt 1, agent jid 115, node 0/RP0/CPU0, pulse 0, new0
sg lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck seq pulse-tot pulse-out
0 2101 16 6 no yes no 0 0 0 0
sgs: 1, table_cnt: 0, table_mid_cnt: 0, buf size: 20
Showing table info for 1 subgroups
sg 0: has 0 tables (messages: 0, bytes: 0)

grp ipv6_rib, gid 2051, sg cnt 1, agent jid 112, node 0/RP0/CPU0, pulse 6, new 0
sg lwg fd csmr hdlr-act dnld-act susp wait-lck seq pulse-tot pulse-out
0 2052 16 6 no no no 0 1 1 0

```

show tech-support bcdl

```

sgs: 1, table_cnt: 1, table_mid_cnt: 6, buf size: 124
Showing table_info for 1 subgroups
sg 0: has 1 tables (messages: 0, bytes: 0)
table 0xe0800000: 6 members, dnld act: 0, messages: 1, bytes: 28
cnsmr 0: pid 458887 on node 0/RP0/CPU0
cnsmr 1: pid 209032 on node 0/RP1/CPU0
cnsmr 2: pid 90198 on node 0/1/CPU0
cnsmr 3: pid 90198 on node 0/6/CPU0
cnsmr 4: pid 106592 on node 0/4/CPU0
cnsmr 5: pid 114782 on node 0/4/CPU1

grp mpls_lsd_v4, gid 2060, sg cnt 1, agent jid 113, node 0/RP0/CPU0, pulse 38430
sg_lwg_fd_csmr_hdlr-act_dnld-act_susp_wait-lck_seq_pulse-tot_pulse-out
0 2061 17 6 no no no 0 38431 38432 0
sgs: 1, table_cnt: 0, table_mid_cnt: 0, buf size: 20
Showing table_info for 1 subgroups
sg 0: has 0 tables (messages: 38431, bytes: 6895816)

grp mpls_lsd_v6, gid 2062, sg cnt 1, agent jid 114, node 0/RP0/CPU0, pulse 7, n0
sg_lwg_fd_csmr_hdlr-act_dnld-act_susp_wait-lck_seq_pulse-tot_pulse-out
0 2063 17 6 no no no 0 1 2 0
sgs: 1, table_cnt: 0, table_mid_cnt: 0, buf size: 20
Showing table_info for 1 subgroups
sg 0: has 0 tables (messages: 1, bytes: 228)

grp pa_ff, gid 2021, sg cnt 1, agent jid 110, node 0/RP0/CPU0, pulse 271, new m0
sg_lwg_fd_csmr_hdlr-act_dnld-act_susp_wait-lck_seq_pulse-tot_pulse-out
0 2022 16 6 no no no 0 260 259 0
sgs: 1, table_cnt: 0, table_mid_cnt: 0, buf size: 20
Showing table_info for 1 subgroups
sg 0: has 0 tables (messages: 260, bytes: 52876)

```

Mon Nov 10 18:29:15.426 PST DST

----- show process bcdl_agent -----

```

Job Id: 110
PID: 462997
Executable path: /disk0/hfr-base-3.8.0.20I/sbin/bcdl_agent
Instance #: 1
Args: -p pa_ff -m 0 -b 0 -d libbcdl_pa_ff.dll
Version ID: 00.00.0000
Respawn: ON
Respawn count: 1
Max. spawns per minute: 12
Last started: Tue Nov 4 02:01:52 2008
Process state: Run
Package state: Normal
core: MAINMEM
Max. core: 0
startup_path: /pkg/startup/bcdl_agent.startup
Ready: 2.321s
Process cpu time: 3.115 user, 0.421 kernel, 3.536 total

```

JID	TID	Stack	pri	state	TimeInState	HR:MM:SS:MSEC	NAME
110	1	44K	10	Receive	160:27:23:0754	0:00:00:0053	bcdl_agent
110	2	44K	10	Condvar	89:29:17:0305	0:00:00:0003	bcdl_agent
110	3	44K	10	Receive	0:00:00:0745	0:00:01:0815	bcdl_agent
110	4	44K	10	Nanosleep	0:00:06:0200	0:00:00:0025	bcdl_agent
110	5	44K	10	Receive	0:00:12:0728	0:00:00:0000	bcdl_agent

```

-----
Job Id: 111
PID: 479442
Executable path: /disk0/hfr-base-3.8.0.20I/sbin/bcdl_agent
Instance #: 2
Args: -p ipv4_rib -m 0 -b 65200
Version ID: 00.00.0000
Respawn: ON
Respawn count: 1
Max. spawns per minute: 12
Last started: Tue Nov 4 02:02:35 2008
Process state: Run
Package state: Normal
core: MAINMEM
Max. core: 0

```

```

startup_path: /pkg/startup/bcdl_agent.startup
Ready: 3.682s
Process cpu time: 14.430 user, 1.416 kernel, 15.846 total
111  2    52K  10 Condvar    155:55:15:0696    0:00:00:0012 bcdl_agent
111  3    52K  10 Receive     160:25:30:0729    0:00:00:0000 bcdl_agent
111  4    52K  10 Nanosleep   0:00:01:0628      0:00:00:0026 bcdl_agent
111  5    52K  10 Receive     0:00:01:0441      0:00:08:0542 bcdl_agent
111  6    52K  10 Receive     0:00:13:0163      0:00:00:0000 bcdl_agent
-----

```

```

Job Id: 112
PID: 479443
Executable path: /disk0/hfr-base-3.8.0.20I/sbin/bcdl_agent
Instance #: 3
Args: -p ipv6_rib -m 0 -b 65200
Version ID: 00.00.0000
Respawn: ON
Respawn count: 1
Max. spawns per minute: 12
Last started: Tue Nov  4 02:02:36 2008
Process state: Run
Package state: Normal
core: MAINMEM
Max. core: 0
startup_path: /pkg/startup/bcdl_agent.startup
Ready: 3.545s

```

```

Process cpu time: 3.695 user, 0.428 kernel, 4.123 total
112  1    48K  10 Receive     160:26:39:0019    0:00:00:0054 bcdl_agent
112  2    48K  10 Condvar    155:55:17:0392    0:00:00:0002 bcdl_agent
112  3    48K  10 Receive     0:00:14:0512      0:00:03:0983 bcdl_agent
112  4    48K  10 Nanosleep   0:00:02:0509      0:00:00:0030 bcdl_agent
112  6    48K  10 Receive     0:00:02:0001      0:00:00:0001 bcdl_agent
-----

```

```

Job Id: 113
PID: 483569
Executable path: /disk0/hfr-base-3.8.0.20I/sbin/bcdl_agent
Instance #: 4
Args: -p mpl_s_lsd_v4 -m 10 -b 32768
Version ID: 00.00.0000
Respawn: ON
Respawn count: 1
Max. spawns per minute: 12
Last started: Tue Nov  4 02:03:06 2008
Process state: Run
Package state: Normal
core: MAINMEM
Max. core: 0
startup_path: /pkg/startup/bcdl_agent.startup
Ready: 1.987s

```

```

Process cpu time: 18.238 user, 1.777 kernel, 20.015 total
113  2    48K  10 Condvar    160:22:55:0518    0:00:00:0002 bcdl_agent
113  3    48K  10 Receive     160:26:09:0157    0:00:00:0000 bcdl_agent
113  4    48K  10 Nanosleep   0:00:16:0592      0:00:00:0018 bcdl_agent
113  5    48K  10 Receive     0:00:00:0289      0:00:00:0002 bcdl_agent
113  6    48K  10 Receive     0:00:15:0924      0:00:01:0234 bcdl_agent
-----

```

```

Job Id: 114
PID: 487660
Executable path: /disk0/hfr-base-3.8.0.20I/sbin/bcdl_agent
Instance #: 5
Args: -p mpl_s_lsd_v6 -m 10 -b 32768
Version ID: 00.00.0000
Respawn: ON
Respawn count: 1
Max. spawns per minute: 12
Last started: Tue Nov  4 02:03:06 2008
Process state: Run
Package state: Normal
core: MAINMEM
Max. core: 0
startup_path: /pkg/startup/bcdl_agent.startup
Ready: 2.145s
Process cpu time: 4.206 user, 0.496 kernel, 4.702 total
114  1    52K  10 Receive     0:00:04:0881      0:00:04:0595 bcdl_agent

```

show tech-support bcdl

```
114 2 52K 10 Condvar 160:22:56:0168 0:00:00:0003 bcdl_agent
114 3 52K 10 Receive 160:26:09:0766 0:00:00:0000 bcdl_agent
114 4 52K 10 Nanosleep 0:00:16:0666 0:00:00:0019 bcdl_agent
114 5 52K 10 Receive 0:00:16:0589 0:00:00:0001 bcdl_agent
```

```
--More--.
```

```
·
·
```

show tech-support bundles

バンドルのデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support bundles** コマンドを使用します。

show tech-support bundles [**interface type interface-path-id**] [**file sent-to**] [**background**] [**compressed|uncompressed**] [**show-only**] [**trace-only**] [**vrf vrf-name**] [**location node-id| all**]

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • compactflasha: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
interface	(任意) 特定のインターフェイスの情報を収集します。
<i>type</i>	インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。

<i>interface-path-id</i>	物理インターフェイスまたは仮想インターフェイス。 (注) ルータに現在設定されているすべてのインターフェイスのリストを表示するには、 show interfaces コマンドを使用します。ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用してください。
show-only	(任意) show コマンドの情報だけを収集します。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
trace-only	(任意) トレース情報だけを収集します。
vrf	(任意) VRF インスタンスを指定します。
<i>vrf-name</i>	(任意) VRF の名前。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべての場所を指定します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。 Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース

変更箇所

リリース 3.7.2

このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。 ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者へ送信することも容易になります。

802.3ad リンクバンドルには **show tech-support bundles** コマンドを使用します。 このコマンドは、バンドルの問題を特定するために使用されます。 シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。 Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support bundles** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support bundles terminal
```

```
-----
show tech-support bundles
-----
```

```
----- show running-config -----
Building configuration...
!! Last configuration change at Wed Oct 10 20:05:13 2007
!
hostname P1_CRS-8
line console
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
line default
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
clock timezone PST 8
clock summer-time DST recurring 2 sunday march 02:00 first sunday november 02:00
logging console informational
telnet vrf default ipv4 server max-servers no-limit
domain ipv4 host p1 172.29.52.72
domain ipv4 host p2 172.29.52.77
domain ipv4 host ce6 172.29.52.73
domain ipv4 host ce7 172.29.52.78
domain ipv4 host p11 172.29.52.83
domain ipv4 host pe6 172.29.52.128
domain ipv4 host pe7 172.29.52.182
```



```
    ipv4 address 172.29.52.46 255.255.255.0
!
interface MgmtEth0/4/CPU1/0
  description Connected to Lab LAN
  ipv4 address 172.29.52.47 255.255.255.0
!
interface MgmtEth0/RP0/CPU0/0
  description Connected to Lab LAN
  ipv4 address 172.29.52.70 255.255.255.0
!
interface MgmtEth0/RP1/CPU0/0
  description Connected to Lab LAN
  ipv4 address 172.29.52.71 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/1/5/0
  description Connected to P2_CRS-8 GE 0/1/5/0
  ipv4 address 10.12.16.1 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/1/5/1
  description Connected to P4_C12810 GE 5/2
  ipv4 address 10.14.8.1 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
  description Connected to PE6_C12406 GE 0/4/0/1
  ipv4 address 10.16.4.1 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/1/5/3
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/5/4
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/5/5
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/5/6
  description Connected to P2_CRS-8 GE 0/1/5/6
  bundle id 28 mode active
!
interface GigabitEthernet0/1/5/7
  description Connected to P2_CRS-8 GE 0/1/5/7
  bundle id 28 mode active
!
interface GigabitEthernet0/6/5/0
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
  description Connected to P2_CRS-8 GE 0/6/5/1
  ipv4 address 10.12.20.1 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
  description Connected to PE6_C12406 GE 0/4/0/2
  ipv4 address 10.16.8.1 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/6/5/3
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/4
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/5
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/6
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/7
  description Connected to P2_CRS-8 GE 0/6/5/7
  ipv4 address 10.12.40.1 255.255.255.0
!
interface POS0/1/0/0
  shutdown
!
```

```

interface POS0/1/0/1
  description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/0/1
  ipv4 address 10.12.8.1 255.255.255.0
!
interface POS0/1/0/2
  shutdown
!
interface POS0/1/0/3
  shutdown
!
interface POS0/1/4/0
  description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/4/0
  bundle id 24 mode active
!
interface POS0/1/4/1
  description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/4/1
  bundle id 24 mode active
!
interface POS0/1/4/2
  description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/4/2
  ipv4 address 10.12.32.1 255.255.255.0
  encapsulation ppp
  ppp pap sent-username P1_CRS-8 password encrypted 01100F175804
  ppp authentication chap pap
  ppp chap password encrypted 13061E010803
!
interface POS0/1/4/3
  description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/4/3
  ipv4 address 10.12.32.1 255.255.255.0
  encapsulation ppp
  ppp pap sent-username P1_CRS-8 password encrypted 070C285F4D06
  ppp authentication chap pap
  ppp chap password encrypted 1511021F0725
!
interface POS0/6/0/0
  description Connected to P11_CRS-4 POS 0/2/1/0
  ipv4 address 10.111.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/0/1
  description Connected to P2_CRS-8 POS 0/6/0/1
  ipv4 address 10.12.12.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/0/2
  shutdown
!
interface POS0/6/0/3
  description Connected to PE21_C12406 POS 0/2/0/3
  ipv4 address 10.121.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/4/0
  shutdown
!
interface POS0/6/4/1
  shutdown
!
interface POS0/6/4/2
  shutdown
!
interface POS0/6/4/3
  shutdown
!
interface POS0/6/4/4
  description Connected to P4_C12810 POS 0/3
  ipv4 address 10.14.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/4/5
  description Connected to P2_CRS-8 POS 0/6/4/5
  ipv4 address 10.12.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/4/6
  description Connected to P3_C12008 POS 5/2
  ipv4 address 10.13.4.1 255.255.255.0
!

```

```
interface POS0/6/4/7
  description Connected to PE7_C12406 POS 0/5/0/1
  ipv4 address 10.71.4.1 255.255.255.0
!
interface Serial0/1/1/0
  shutdown
!
interface Serial0/1/1/1
  shutdown
!
interface Serial0/1/1/2
  shutdown
!
interface Serial0/1/1/3
  shutdown
!
controller SONET0/1/0/1
  clock source internal
!
controller SONET0/1/4/0
  clock source internal
!
controller SONET0/1/4/1
  clock source internal
!
controller SONET0/1/4/2
  clock source internal
!
controller SONET0/1/4/3
  clock source internal
!
controller SONET0/6/0/0
  clock source internal
!
controller SONET0/6/0/1
  clock source internal
!
controller SONET0/6/0/3
  clock source internal
!
controller SONET0/6/4/4
  clock source internal
!
controller SONET0/6/4/5
  clock source internal
!
controller SONET0/6/4/6
  clock source internal
!
controller SONET0/6/4/7
  clock source internal
!
interface SBC1
  description Connected to DRP CPU0 in slot 4
  ipv4 address 10.75.75.1 255.255.255.0
  service-location preferred-active 0/4/CPU0
!
interface SBC2
  description Connected to DRP CPU1 in slot 4
  ipv4 address 10.50.50.1 255.255.255.0
  service-location preferred-active 0/4/CPU1
!
router static
  address-family ipv4 unicast
    0.0.0.0/0 172.29.52.1 112
!
!
router ospf 100
  router-id 10.1.1.1
  nsf cisco
  area 0
  mpls traffic-eng
  interface Bundle-POS24
```

```

!
interface Loopback0
  passive enable
!
interface GigabitEthernet0/1/5/1
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
!
interface POS0/1/0/1
!
interface POS0/6/0/0
!
interface POS0/6/0/1
!
interface POS0/6/0/3
!
interface POS0/6/4/4
!
interface POS0/6/4/6
!
interface POS0/6/4/7
!
interface SBC1
  passive enable
!
interface SBC2
  passive enable
!
!
mpls traffic-eng router-id Loopback0
!
mpls oam
!
rsvp
interface POS0/6/0/1
  bandwidth
!
interface POS0/6/0/3
  bandwidth
!
interface POS0/6/4/7
  bandwidth
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
  bandwidth
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
  bandwidth
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
  bandwidth
!
!
mpls traffic-eng
interface POS0/6/0/1
!
interface POS0/6/0/3
!
interface POS0/6/4/7
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
!
!
mpls ldp
  router-id 10.1.1.1

```

```

log
  neighbor
  graceful-restart
!
interface Bundle-POS24
!
interface GigabitEthernet0/1/5/1
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
!
interface POS0/1/0/1
!
interface POS0/6/0/0
!
interface POS0/6/0/1
!
interface POS0/6/0/3
!
interface POS0/6/4/4
!
interface POS0/6/4/6
!
interface POS0/6/4/7
!
!
ssh server
xml agent tty
xml agent corba
http server
sbc service-1
  service-location preferred-active 0/4/CPU0
!
sbc service-2
  service-location preferred-active 0/4/CPU1
!
end

```

```
----- show process blocked location all -----
```

```

node:      node0_1_CPU0
-----
  Jid      Pid Tid      Name State   TimeInState   Blocked-on
  55       8202 1         ksh Reply   114:09:58:0143 8199 devc-ser8250
  51       20503 2         attachd Reply 114:10:03:0745 20501 eth_server
  51       20503 3         attachd Reply 114:10:03:0742 8204 mqueue
  72       20504 6         qnet Reply   0:00:00:0000 20501 eth_server
  72       20504 7         qnet Reply   0:00:00:0001 20501 eth_server
  72       20504 8         qnet Reply   0:00:00:0000 20501 eth_server
  72       20504 9         qnet Reply   0:00:00:0000 20501 eth_server
  52       20508 1         ksh-aux Reply 114:09:58:0360 8199 devc-ser8250
  50       20509 2         attach_server Reply 114:10:03:0515 8204 mqueue
  223      24613 1 reddrv_listener Reply 0:00:02:0217 20501 eth_server
  250      73826 8         spa_t3e3 Reply 0:00:09:0606 8204 mqueue

node:      node0_4_CPU0
-----
65546     8202 1         ksh Reply   114:09:31:0294 8200 devc-conaux
  51       36892 2         attachd Reply 114:09:37:0454 36890 eth_server
  51       36892 3         attachd Reply 114:09:37:0453 12300 mqueue
  73       36893 6         qnet Reply   0:00:00:0000 36890 eth_server
  73       36893 7         qnet Reply   0:00:00:0000 36890 eth_server
  73       36893 8         qnet Reply   0:00:00:0000 36890 eth_server
  73       36893 9         qnet Reply   0:00:00:0000 36890 eth_server
  50       36897 2         attach_server Reply 114:09:37:0414 12300 mqueue
  316     41005 3         reddrv Reply   0:00:00:0188 36890 eth_server
  252     102536 2         lpts_fm Reply 114:05:35:0614 381043 node 0/RP0/Ca

node:      node0_4_CPU1

```

show tech-support bundles

```
-----
65546      8202      1          ksh Reply 114:08:40:0256      8200 devc-conaux
51         36892     2          attachd Reply 114:08:46:0362      36890 eth_server
51         36892     3          attachd Reply 114:08:46:0361      12301 mqueue
73         36893     6          qnet Reply 0:00:00:0000      36890 eth_server
73         36893     7          qnet Reply 0:00:00:0000      36890 eth_server
73         36893     8          qnet Reply 0:00:00:0000      36890 eth_server
73         36893     9          qnet Reply 0:00:00:0000      36890 eth_server
50         36897     2          attach_server Reply 114:08:46:0323      12301 mqueue
316        41005     3          reddrv Reply 0:00:00:0141      36890 eth_server
252        110726    2          lpts_fm Reply 114:05:43:0881      381043 node 0/RP0/Ca
```

```
node:      node0_6_CPU0
```

```
-----
55         8202      1          ksh Reply 114:10:03:0567      8199 devc-ser8250
51         20503     2          attachd Reply 114:10:09:0157      20501 eth_server
51         20503     3          attachd Reply 114:10:09:0154      8204 mqueue
72         20504     6          qnet Reply 0:00:00:0000      20501 eth_server
72         20504     7          qnet Reply 0:00:00:0001      20501 eth_server
72         20504     8          qnet Reply 0:00:00:0001      20501 eth_server
72         20504     9          qnet Reply 0:00:00:0001      20501 eth_server
52         20508     1          ksh-aux Reply 114:10:03:0780      8199 devc-ser8250
50         20509     2          attach_server Reply 114:10:08:0931      8204 mqueue
223        24613     1          reddrv_listener Reply 0:00:01:0285      20501 eth_server
```

```
node:      node0_RP0_CPU0
```

```
-----
65546      8202      1          ksh Reply 114:15:21:0545      8200 devc-conaux
52         40989     2          attachd Reply 114:15:22:0710      36891 eth_server
52         40989     3          attachd Reply 114:15:22:0708      12301 mqueue
78         40991     6          qnet Reply 0:00:00:0026      36891 eth_server
78         40991     7          qnet Reply 0:00:00:0027      36891 eth_server
78         40991     8          qnet Reply 0:00:00:0026      36891 eth_server
78         40991     9          qnet Reply 0:00:00:0027      36891 eth_server
51         40997     2          attach_server Reply 114:15:22:0461      12301 mqueue
387        155730    1          tftp_server Reply 114:14:10:0402      12301 mqueue
211        192609    3          invmgr Reply 114:08:02:0826      41005 node 0/4/CPUv
211        192609    4          invmgr Reply 114:07:59:0038      41005 node 0/4/CPUv
65643      925803    1          exec Reply 0:00:06:0968        1 kernel
271        397510    2          lpts_fm Reply 2:23:10:0893      381043 lpts_pa
264        405735    5          l2vpn_mgr Reply 114:03:49:0301      426229 lsvp_server
285        426236    9          te_control Reply 114:03:34:0062      426229 lsvp_server
282        426237    4          mpls_ldp Reply 114:03:33:0325      426229 lsvp_server
65796      966916    1          showtech_helper Reply 0:00:05:0243        1 kernel
65801      971017    1          show_processes Reply 0:00:00:0000        1 kernel
```

```
node:      node0_RP1_CPU0
```

```
-----
65546      8202      1          ksh Reply 114:15:31:0330      8200 devc-conaux
52         40989     2          attachd Reply 114:15:31:0955      36891 eth_server
52         40989     3          attachd Reply 114:15:31:0953      12301 mqueue
78         40991     6          qnet Reply 0:00:00:0000      36891 eth_server
78         40991     7          qnet Reply 0:00:00:0000      36891 eth_server
78         40991     8          qnet Reply 0:00:00:0000      36891 eth_server
78         40991     9          qnet Reply 0:00:00:0000      36891 eth_server
51         40997     2          attach_server Reply 114:15:31:0765      12301 mqueue
349        135223    1          sc_reddrv Reply 0:00:00:0025      36891 eth_server
172        159809    5          envmon Reply 0:00:00:0001      40994 i2c_server
387        168018    1          tftp_server Reply 114:07:34:0867      12301 mqueue
271        233674    2          lpts_fm Reply 114:05:45:0442      381043 node 0/RP0/Ca
```

```
----- show context location all -----
```

```
node:      node0_1_CPU0
```

```
node:      node0_4_CPU0
```

```
-----
Crashed pid = 41000 (pkg/bin/dsc)
Crashed tid = 5
Crash time: Mon Oct 15, 2007: 04:54:16
Core for process at harddisk:/dumper/dsc.node0_4_CPU0.ppc.Z
```

Stack Trace

```
#0 0xfc1e6d90
#1 0xfc1e6d88
#2 0xfc1e53a0
#3 0xfc1e826c
#4 0xfc16b0c8
#5 0xfc16a7e4
#6 0xfc16a324
#7 0xfc16e7a8
#8 0xfc16ea08
#9 0x48200e20
```

Registers info

```

      r0      r1      r2      r3
R0  00000000 4811bc50 48215204 00000000
      r4      r5      r6      r7
R4  00000000 00000002 00000000 00000000
      r8      r9      r10     r11
R8  00000000 ffffffff 00000000 00000000
      r12     r13     r14     r15
R12 ee6b2800 48215170 00000000 00000000
      r16     r17     r18     r19
R16 00000000 00000000 00000000 00000000
      r20     r21     r22     r23
R20 fc250000 fc16b0c8 4811be6c fc250000
      r24     r25     r26     r27
R24 00000000 fc24a184 00000005 fc22d628
      r28     r29     r30     r31
R28 fc1e826c fc24a580 0000a028 00000019
      cnt     lr      msr     pc
R32 fc1e72b4 fc1e6d88 0000d932 fc1e6d90
      cnd     xer
R36 28000024 20000001
```

DLL Info

```
DLL path      Text addr. Text size  Data addr. Data size  Version
/hfr-os-3.6.0.16I/lib/libinfra.dll 0xfc15a000 0x000397b0 0xfc194000 0x000000
/hfr-os-3.6.0.16I/lib/libc.dll 0xfc1ce000 0x0007b6e0 0xfc24a000 0x00002000 0
```

show tech-support cef

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support cef** コマンドを使用します。

```
show tech-support cef [vrf vrf-name [ipv4|ipv6|mpls] [A.B.C.D|A.B.C.D/length|detail|brief|interface|
rack]] [file send-to] [compress] [location node-id] {terminal [page]| file send-to [background] [compressed|
uncompressed]}
```

構文の説明

vrf	(任意) VRF インスタンスを指定します。
<i>vrf-name</i>	(任意) VRF の名前。
ipv4	(任意) IPv4 CEF 情報を指定します。
ipv6	(任意) IPv6 CEF 情報を指定します。
mpls	(任意) マルチプロトコル ラベル スイッチング CEF 情報を指定します。
A.B.C.D	(任意) IPv4 プレフィックス エントリを指定します。
A.B.C.D/length	(任意) IPv4 プレフィックス マスクを指定します。
detail	(任意) 詳細な CEF のデバッグ情報を指定します。
brief	(任意) 簡単な CEF のデバッグ情報を指定します。
file	(任意) コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。

<i>sent-to</i>	(任意) ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• <i>filename</i>• bootflash: <i>filename</i>• compactflash: <i>filename</i>• disk0: <i>filename</i>• disk1: <i>filename</i>• flash: <i>filename</i>• ftp: <i>filename</i>• harddisk: <i>filename</i>• harddiska: <i>filename</i>• nvr: <i>filename</i>• rep: <i>filename</i>• slot0: <i>filename</i>• slot1: <i>filename</i>• tftp: <i>filename</i>
compress	(任意) トレース ファイルの圧縮を指定します。
<i>interface</i>	(任意) CEF インターフェイスのステータスおよび設定を指定します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rack	(任意) ラックのリストを指定します。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。 Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト IPv4 がデフォルトです。
コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

CEF のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support cef** コマンドを使用します。このコマンドは、より一般的にはシスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) と呼ばれる転送情報ベース (FIB) の問題を特定するために使用されます。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ CEF のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注) ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support cef コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- show version
- show running
- show route {ipv4 | ipv6} unicast
- show proc blocked
- show cef {ipv4 | ipv6 | mpls} exceptions
- show cef {ipv4 | ipv6 | mpls} drop

- **show ipv4 interface brief**
- **show cef {ipv4 | ipv6} summary**
- **show cef {ipv4 | ipv6 | mpls} interface**
- **show cef ipv4 non-recursive**
- **show cef {ipv4 | ipv6}**
- **show cef {ipv4 | ipv6 | mpls} adjacency**
- **show mpls forwarding** (mpls キーワードが指定されている場合)

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services または cisco-support	read
cef	read

例

次に、**show tech-support cef** コマンドの切り詰められた出力の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support cef terminal page
-----
show tech-support cef ipv4 brief
-----

----- show version -----

Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0
Copyright (c) 2007 by Cisco Systems, Inc.

ROM: System Bootstrap, Version 1.43(20061109:045749) [CRS-1 ROMMON],

CRS-1 uptime is 1 week, 2 days, 20 hours, 29 minutes
System image file is "disk0:hfr-os-mbi-3.5/mbihfr-rp.vm"

cisco CRS-1/S (7457) processor with 4194304K bytes of memory.
7457 processor at 1197Mhz, Revision 1.2

16 GigabitEthernet/IEEE 802.3 interface(s)
4 Ethernet/IEEE 802.3 interface(s)
20 Packet over SONET/SDH network interface(s)
20 SONET/SDH Port controller(s)
2043k bytes of non-volatile configuration memory.
```

show tech-support cef

```

38079M bytes of hard disk.
1000592k bytes of ATA PCMCIA card at disk 0 (Sector size 512 bytes).
1000640k bytes of ATA PCMCIA card at disk 1 (Sector size 512 bytes).

Configuration register on node 0/1/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
hfr-sbc, V 3.8.0, Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.8.0
    Built on Thu Mar 15 01:47:29 UTC 2007
    By cisco.com in /file/3.8.0

hfr-pagent, V 3.8.0, Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.8.0
    Built on Thu Mar 15 02:27:23 UTC 2007
    By cisco.com in /file/3.8.0

hfr-fpd, V 3.8.0, Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.8.0
    Built on Thu Mar 15 01:32:22 UTC 2007
    By cisco.com in /file/3.8.0
:
:
:
hfr-os-mpi, V 3.8.0, Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mpi-3.8.0
    Built on Thu Mar 15 00:18:08 UTC 2007
    By cisco.com in /file/3.8.0

```

```

----- show running -----
!! Last configuration change at Fri Mar 23 18:03:27 2007 by user_a
!
hostname CRS-1
line console
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
line default
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
logging console informational
telnet vrf default ipv4 server max-servers no-limit
domain ipv4 host p1 172.16.52.72
domain ipv4 host p2 172.16.52.77
domain ipv4 host ce6 172.16.52.73
domain ipv4 host ce7 172.16.52.78
domain ipv4 host pe6 172.16.52.128
domain ipv4 host pe7 172.16.52.182
domain ipv4 host pe11 172.16.52.83
domain lookup disable
vty-pool default 0 25
ipv4 virtual address 172.16.52.72 255.255.255.0
interface Loopback0
  ipv4 address 10.1.1.1 255.255.255.255
!
interface MgmtEth0/RP0/CPU0/0
  description Connected to aaa LAN
  ipv4 address 172.16.52.70 255.255.255.0
!
interface MgmtEth0/RP1/CPU0/0
  description Connected to aaa LAN
  ipv4 address 172.16.52.71 255.255.255.0
!
router static
  address-family ipv4 unicast
    0.0.0.0/0 172.29.52.1 200
!
!
mpls ldp
  router-id 10.1.1.1
  log
  neighbor
  graceful-restart
!

```

```

interface GigabitEthernet0/1/5/1
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
!
interface POS0/1/0/1
!
!
ssh server
xml agent tty
xml agent corba
http server
sbc service-1
  service-location preferred-active 0/4/CPU0
!
sbc service-2
  service-location preferred-active 0/4/CPU1
!
end

```

```
----- show route ipv4 unicast -----
```

```
% No matching routes found
```

```
----- show proc blocked -----
```

```
Location: 0/1/CPU0
```

Jid	Pid	Tid	Name	State	TimeInState	Blocked-on
55	8202	1	ksh	Reply	236:24:17:0421	8199 devc-ser8250
51	16407	2	attachd	Reply	236:24:24:0686	16405 eth_server
51	16407	3	attachd	Reply	236:24:24:0684	8204 mqueue
72	16408	6	qnet	Reply	0:00:00:0001	16405 eth_server
72	16408	7	qnet	Reply	0:00:00:0000	16405 eth_server
72	16408	8	qnet	Reply	0:00:00:0001	16405 eth_server
72	16408	9	qnet	Reply	0:00:00:0000	16405 eth_server
52	16412	1	ksh-aux	Reply	236:24:19:0271	8199 devc-ser8250
50	16413	2	attach_server	Reply	236:24:24:0493	8204 mqueue
218	20516	1	reddrv_listener	Reply	0:00:04:0086	16405 eth_server

show tech-support cfgmgr

コンフィギュレーション マネージャに関する情報を収集するための情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support cfgmgr** コマンドを使用します。

show tech-support cfgmgr {file *send-to* [**background**] [**compressed**|**uncompressed**] **terminal** [**page**]}

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • nvram: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。
page	(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。

コマンドモード EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

コンフィギュレーションマネージャに関する情報を収集するには、**show tech-support cfgmgr** コマンドを使用します。このコマンドは、コンフィギュレーションコマンドの実行に関連する問題を特定するために使用されます。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support cfgmgr** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support cfgmgr terminal
```

```
-----  
show tech-support cfgmgr  
-----
```

show tech-support cfgmgr

```

----- show platform -----
Node           Type           PLIM           State           Config State
-----
0/1/CPU0       MSC            Jacket Card    IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON
0/1/0          MSC (SPA)      4XOC3-POS     OK              PWR, NSHUT, MON
0/1/1          MSC (SPA)      4T3E3         OK              PWR, NSHUT, MON
0/1/4          MSC (SPA)      4XOC48-POS    OK              PWR, NSHUT, MON
0/1/5          MSC (SPA)      8X1GE         OK              PWR, NSHUT, MON
0/4/CPU0       DRP (Active)   DRP-ACC       IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON
0/4/CPU1       DRP (Active)   DRP-ACC       IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON
0/6/CPU0       MSC            Jacket Card    IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON
0/6/0          MSC (SPA)      4XOC3-POS     OK              PWR, NSHUT, MON
0/6/4          MSC (SPA)      8XOC3/OC12-POS OK             PWR, NSHUT, MON
0/6/5          MSC (SPA)      8X1GE         OK              PWR, NSHUT, MON
0/RP0/CPU0     RP (Active)    N/A           IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON
0/RP1/CPU0     RP (Standby)  N/A           IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON

```

```

----- show running-config -----
Building configuration...
!! Last configuration change at Wed Oct 10 20:05:13 2007
!
hostname P1_CRS-8
line console
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
line default
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
clock timezone PST 8
clock summer-time DST recurring 2 sunday march 02:00 first sunday november 02:00
logging console informational
telnet vrf default ipv4 server max-servers no-limit
domain ipv4 host p1 172.29.52.72
domain ipv4 host p2 172.29.52.77
domain ipv4 host ce6 172.29.52.73
domain ipv4 host ce7 172.29.52.78
domain ipv4 host p11 172.29.52.83
domain ipv4 host pe6 172.29.52.128
domain ipv4 host pe7 172.29.52.182
domain ipv4 host ce25 172.29.52.85
domain ipv4 host ce28 172.29.52.1
domain ipv4 host ce29 172.29.52.178
domain ipv4 host pe21 172.29.52.163
domain ipv4 host pe22 172.29.52.219
domain ipv4 host ce28_nme 172.29.52.177
domain ipv4 host ce29_nme 172.29.52.179
domain lookup disable
username P2_CRS-8
  password 7 13061E010803
!
aps group 1
  revert 1
  channel 0 local SONET0/1/4/3
  channel 1 local SONET0/1/4/2
!
vty-pool default 0 25
alias cr copy run disk0:/usr/P1_base_config
alias sa show alias
alias sc show config commit list
alias sd show diag
alias si show ip int brief
alias sl show led
alias sm show mpls forwarding
alias sp show platform
alias sr show run
alias su show users
alias sv show version
alias sir show ip route
control-plane
management-plane

```


show tech-support cfgmgr

```

!
interface GigabitEthernet0/1/5/5
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/5/6
 description Connected to P2_CRS-8 GE 0/1/5/6
 bundle id 28 mode active
!
interface GigabitEthernet0/1/5/7
 description Connected to P2_CRS-8 GE 0/1/5/7
 bundle id 28 mode active
!
interface GigabitEthernet0/6/5/0
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
 description Connected to P2_CRS-8 GE 0/6/5/1
 ipv4 address 10.12.20.1 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
 description Connected to PE6_C12406 GE 0/4/0/2
 ipv4 address 10.16.8.1 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/6/5/3
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/4
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/5
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/6
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/6/5/7
 description Connected to P2_CRS-8 GE 0/6/5/7
 ipv4 address 10.12.40.1 255.255.255.0
!
interface POS0/1/0/0
 shutdown
!
interface POS0/1/0/1
 description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/0/1
 ipv4 address 10.12.8.1 255.255.255.0
!
interface POS0/1/0/2
 shutdown
!
interface POS0/1/0/3
 shutdown
!
interface POS0/1/4/0
 description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/4/0
 bundle id 24 mode active
!
interface POS0/1/4/1
 description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/4/1
 bundle id 24 mode active
!
interface POS0/1/4/2
 description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/4/2
 ipv4 address 10.12.32.1 255.255.255.0
 encapsulation ppp
 ppp pap sent-username P1_CRS-8 password encrypted 01100F175804
 ppp authentication chap pap
 ppp chap password encrypted 13061E010803
!
interface POS0/1/4/3
 description Connected to P2_CRS-8 POS 0/1/4/3
 ipv4 address 10.12.32.1 255.255.255.0
 encapsulation ppp
 ppp pap sent-username P1_CRS-8 password encrypted 070C285F4D06

```

```
ppp authentication chap pap
ppp chap password encrypted 1511021F0725
!
interface POS0/6/0/0
description Connected to P11_CRS-4 POS 0/2/1/0
ipv4 address 10.111.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/0/1
description Connected to P2_CRS-8 POS 0/6/0/1
ipv4 address 10.12.12.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/0/2
shutdown
!
interface POS0/6/0/3
description Connected to PE21_C12406 POS 0/2/0/3
ipv4 address 10.121.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/4/0
shutdown
!
interface POS0/6/4/1
shutdown
!
interface POS0/6/4/2
shutdown
!
interface POS0/6/4/3
shutdown
!
interface POS0/6/4/4
description Connected to P4_C12810 POS 0/3
ipv4 address 10.14.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/4/5
description Connected to P2_CRS-8 POS 0/6/4/5
ipv4 address 10.12.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/4/6
description Connected to P3_C12008 POS 5/2
ipv4 address 10.13.4.1 255.255.255.0
!
interface POS0/6/4/7
description Connected to PE7_C12406 POS 0/5/0/1
ipv4 address 10.71.4.1 255.255.255.0
!
interface Serial0/1/1/0
shutdown
!
interface Serial0/1/1/1
shutdown
!
interface Serial0/1/1/2
shutdown
!
interface Serial0/1/1/3
shutdown
!
controller SONET0/1/0/1
clock source internal
!
controller SONET0/1/4/0
clock source internal
!
controller SONET0/1/4/1
clock source internal
!
controller SONET0/1/4/2
clock source internal
!
controller SONET0/1/4/3
clock source internal
!
```

```

controller SONET0/6/0/0
  clock source internal
!
controller SONET0/6/0/1
  clock source internal
!
controller SONET0/6/0/3
  clock source internal
!
controller SONET0/6/4/4
  clock source internal
!
controller SONET0/6/4/5
  clock source internal
!
controller SONET0/6/4/6
  clock source internal
!
controller SONET0/6/4/7
  clock source internal
!
interface SBC1
  description Connected to DRP CPU0 in slot 4
  ipv4 address 10.75.75.1 255.255.255.0
  service-location preferred-active 0/4/CPU0
!
interface SBC2
  description Connected to DRP CPU1 in slot 4
  ipv4 address 10.50.50.1 255.255.255.0
  service-location preferred-active 0/4/CPU1
!
router static
  address-family ipv4 unicast
    0.0.0.0/0 172.29.52.1 112
!
!
router ospf 100
  router-id 10.1.1.1
  nsf cisco
  area 0
  mpls traffic-eng
  interface Bundle-POS24
  !
  interface Loopback0
    passive enable
  !
  interface GigabitEthernet0/1/5/1
  !
  interface GigabitEthernet0/1/5/2
  !
  interface GigabitEthernet0/6/5/1
  !
  interface GigabitEthernet0/6/5/2
  !
  interface POS0/1/0/1
  !
  interface POS0/6/0/0
  !
  interface POS0/6/0/1
  !
  interface POS0/6/0/3
  !
  interface POS0/6/4/4
  !
  interface POS0/6/4/6
  !
  interface POS0/6/4/7
  !
  interface SBC1
    passive enable
  !
  interface SBC2
    passive enable

```

```
!
!
mpls traffic-eng router-id Loopback0
!
mpls oam
!
rsvp
interface POS0/6/0/1
  bandwidth
!
interface POS0/6/0/3
  bandwidth
!
interface POS0/6/4/7
  bandwidth
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
  bandwidth
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
  bandwidth
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
  bandwidth
!
!
mpls traffic-eng
interface POS0/6/0/1
!
interface POS0/6/0/3
!
interface POS0/6/4/7
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
!
!
mpls ldp
router-id 10.1.1.1
log
neighbor
 graceful-restart
!
interface Bundle-POS24
!
interface GigabitEthernet0/1/5/1
!
interface GigabitEthernet0/1/5/2
!
interface GigabitEthernet0/6/5/1
!
interface GigabitEthernet0/6/5/2
!
interface POS0/1/0/1
!
interface POS0/6/0/0
!
interface POS0/6/0/1
!
interface POS0/6/0/3
!
interface POS0/6/4/4
!
interface POS0/6/4/6
!
interface POS0/6/4/7
!
!
ssh server
xml agent tty
```

show tech-support cfgmgr

```
xml agent corba
http server
sbc service-1
  service-location preferred-active 0/4/CPU0
!
sbc service-2
  service-location preferred-active 0/4/CPU1
!
end
```

```
----- show configuration failed startup -----
!!10:28:35 UTC Thu Oct 11 2007
```

show tech-support chdlc

Cisco ハイレベルデータ リンク制御 (CHDLC) プロトコルに関するデバッグ情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support chdlc** コマンドを使用します。

show tech-support chdlc file *send-to* [interface| slow] [location *node-id*] [rack]

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
send-to	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
interface	(任意) 特定のインターフェイスの情報を表示します。
slow	(任意) chdlc のデバッグ出力を表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。

コマンド モデル

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

CHDLC のデバッグ情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support chdlc** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、ルータで **show tech-support chdlc** コマンドを実行する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support chdlc interface gigabitEthernet 0/6/5/0
```

show tech-support control-ethernet

イーサネット制御のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、管理 EXEC モードで **show tech-support control-ethernet** コマンドを使用します。

```
show tech-support control-ethernet [fast] [location node-id] {terminal [page] file send-to [background] [compressed] uncompressed}
```

構文の説明

fast	(任意) マルチシャーシ ルータの複数のラインカードから出力を同時に収集します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。 Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。 使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。

sent-to ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。

- *filename*
- **bootflash:** *filename*
- **compactflash:** *filename*
- **disk0:** *filename*
- **disk1:** *filename*
- **flash:** *filename*
- **ftp:** *filename*
- **harddisk:** *filename*
- **harddiska:** *filename*
- **nvr:** *filename*
- **rcp:** *filename*
- **slot0:** *filename*
- **slot1:** *filename*
- **tftp:** *filename*

background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード 管理 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

**ヒント**

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

イーサネット制御のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support control-ethernet** コマンドを使用します。このコマンドは、イーサネットインターフェイスの問題に固有の情報を表示するために使用されます。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つイーサネット制御の情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。

**(注)**

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support control-ethernet コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show version**
- **show controller fabric connectivity all**
- **show controller switch 0 ports node-id**
- **show controller switch 1 ports node-id**
- **show controller switch 0 statistics node-id**
- **show controller switch 1 statistics node-id**
- **show controller switch uddl node-id**
- **show controller switch stp node-id**
- **show controller switch inter-rack ports all node-id**
- **show controller switch inter-rack statistics brief all node-id**
- **show controller switch inter-rack statistics detail all node-id**
- **show controller switch inter-rack uddl all node-id**
- **show controller switch inter-rack stp all node-id**
- **show controller backplane ethernet detail node-id**
- **show controller backplane ethernet trace node-id**

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

show tech-support control-ethernet コマンドは、ここに表示されていないログファイルも生成します。ログファイルの詳細については、コマンド出力を参照してください。

タスク ID

タスク ID	操作
admin	read

例

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)#show tech-support control-ethernet terminal page
```

```
Number of nodes 13
```

```
Gathering required commands for show tech control-ethernet
```

```
Finding available nodes in the system
```

```
Node - 0/1/CPU0
```

```
Node - 0/1/SP
```

```
Node - 0/4/CPU0
```

```
Node - 0/4/CPU1
```

```
Node - 0/4/SP
```

```
Node - 0/6/CPU0
```

```
Node - 0/6/SP
```

```
Node - 0/SM0/SP
```

```
Node - 0/SM1/SP
```

```
Node - 0/SM2/SP
```

```
Node - 0/SM3/SP
```

```
-----  
show tech-support control-ethernet  
-----
```

```
----- show version -----
Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0.20I[DT_IMAGE]
Copyright (c) 2009 by Cisco Systems, Inc.

ROM: System Bootstrap, Version 1.51(20080807:092259) [CRS-1 ROMMON],

P2_CRS-8 uptime is 1 day, 18 hours, 10 minutes
System image file is "bootflash:disk0/hfr-os-mpi-3.8.0.20I/mbihfr-rp.vm"

cisco CRS-8/S (7457) processor with 4194304K bytes of memory.
7457 processor at 1197Mhz, Revision 1.2

4 Management Ethernet
16 GigabitEthernet
20 SONET/SDH
20 Packet over SONET/SDH
1019k bytes of non-volatile configuration memory.
1000592k bytes of disk0: (Sector size 512 bytes).
1000640k bytes of disk1: (Sector size 512 bytes).

Boot device on node 0/1/SP is bootflash:
Package active on node 0/1/SP:
hfr-pagent, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:24:33 DST 2008
By iox13.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-fpd, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:19 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-diags, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:01 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-admin, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-admin-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:08:13 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-base, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-base-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:07:35 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-os-mpi, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mpi-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 15:45:48 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

Configuration register on node 0/1/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
hfr-services, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-services-3.8.0I
Built on Wed Oct 29 17:03:08 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-pagent, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:24:33 DST 2008
By iox13.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-fpd, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:19 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-diags, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:01 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-mcast, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-mcast-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 18:18:37 DST 2008
By iox22.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-mps, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-mps-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 18:18:25 DST 2008
By iox22.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0
```

show tech-support control-ethernet

```

hfr-lc, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-lc-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:18:36 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-fwdg, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-fwdg-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:13:27 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

--More--

```

次に、ASR 9000 シリーズ ルータでの **show tech-support control-ethernet** コマンドの出力例を示します。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)# show tech-support control-ethernet terminal

-----
                                show tech-support control-ethernet
-----

----- show version -----

Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0[SIT_IMAGE]
Copyright (c) 2009 by Cisco Systems, Inc.

ROM: System Bootstrap, Version 1.2(20090903:202931) [ASR9K ROMMON],

Router uptime is 14 hours, 53 minutes
System image file is
"tftp://202.153.144.25//auto/tftp-blr-users1/thia/image/comp-asr9k-mini.vm-3.9.0.34I.SIT_IMAGE"

cisco ASR9K Series (MPC8641D) processor with 4194304K bytes of memory.
MPC8641D processor at 1333MHz, Revision 2.2

4 Management Ethernet
40 GigabitEthernet
219k bytes of non-volatile configuration memory.
975M bytes of compact flash card.
33994M bytes of hard disk.
1605616k bytes of disk0: (Sector size 512 bytes).
1605616k bytes of disk1: (Sector size 512 bytes).

Configuration register on node 0/RSP0/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/RSP0/CPU0 is mem:
Package active on node 0/RSP0/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-scfclient-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 09:46:13 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-diags, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-diags-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 09:46:16 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-mcast, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-mcast-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 11:11:06 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-rout, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-rout-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 09:46:26 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-lc, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-lc-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 10:57:43 UTC 2009

```

```
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-fwdg, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-fwdg-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:36:23 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-admin, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-admin-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:25:42 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-base-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:29:48 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-os-mpi-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 08:35:56 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

Configuration register on node 0/RSP1/CPU0 is 0x1922
Boot device on node 0/RSP1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/RSP1/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-scfclient-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:46:13 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-diags, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-diags-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:46:16 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-mcast, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-mcast-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 11:11:06 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-rout, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-rout-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:46:26 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-lc, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-lc-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 10:57:43 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-fwdg, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-fwdg-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:36:23 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-admin, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-admin-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:25:42 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-base-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 09:29:48 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-os-mpi-3.9.0.34I
Built on Tue Dec 8 08:35:56 UTC 2009
By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
```

show tech-support control-ethernet

```

asr9k-scfclient, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-scfclient-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 09:46:13 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-diags, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-diags-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 09:46:16 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-mcast, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-mcast-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 11:11:06 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-lc, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-lc-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 10:57:43 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-fwdg, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-fwdg-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 09:36:23 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-admin, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-admin-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 09:25:42 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-base-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 09:29:48 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0.34I[SIT_IMAGE], Cisco Systems, at mem:asr9k-os-mpi-3.9.0.34I
  Built on Tue Dec  8 08:35:56 UTC 2009
  By sjc-lds-511 in /auto/ioxbuild6/production/3.9.0.34I.SIT_IMAGE/asr9k/workspace for
c4.2.1-p0

```

```

----- show platform -----
Node           Type                               State           Config State
-----
0/RSP0/CPU0    A9K-RSP-4G (Active)                IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON
0/RSP1/CPU0    A9K-RSP-4G (Standby)               IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON
0/1/CPU0       A9K-40GE-B                          IOS XR RUN      PWR, NSHUT, MON

```

```
Location: *CPU*
```

```
-----
show tech-support control-ethernet complete
-----
```

show tech-support ethernet

イーサネットのデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support ethernet** コマンドを使用します。

show tech-support ethernet [*file send-to*] [**background**] [**compressed**|**uncompressed**]] [*interface*|*location node-id*] **rack**]

構文の説明

file	(任意) コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	(任意) ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
interface	(任意) 特定のインターフェイスのステータスおよび設定情報を収集します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rack	(任意) ラックのリストを指定します。
コマンド デフォルト	IPv4 がデフォルトです。

コマンド出力は圧縮されます。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース

変更箇所

リリース 3.7.2

このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

**ヒント**

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

VLAN およびイーサネット インフラストラクチャのデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support ethernet** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つイーサネットのデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。

**(注)**

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support ethernet コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show version**
- **show running**
- **show route {ipv4 | ipv6} unicast**
- **show proc blocked**
- **show ethernet {ipv4 | ipv6 | mpls} exceptions**
- **show ethernet {ipv4 | ipv6 | mpls} drop**
- **show ipv4 interface brief**
- **show mpls forwarding** (mpls キーワードが指定されている場合)

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show tech-support ethernet** コマンドの切り詰められた出力の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support ethernet
-----
show tech-support ethernet
-----

+++++++ show process blocked [15:01:51.358 UTC Thu Dec 17 2009] ++++++

  Jid      Pid Tid      Name State      TimeInState      Blocked-on
65549     16397 1          ksh Reply      22:06:27:0772    16396 devc-conaux
65554     69650 2          devb-umass Reply      0:00:00:0259    49194 io-usb
  95      45090 2          umass-enum Reply      22:30:23:0232    1 kernel
  95      45090 3          umass-enum Reply      22:30:22:0715    1 kernel
  95      45090 5          umass-enum Reply      22:30:16:0703    49194 io-usb
  95      45090 6          umass-enum Reply      22:30:20:0148    1 kernel
  95      45090 7          umass-enum Reply      22:30:18:0707    1 kernel
  95      45090 8          umass-enum Reply      22:30:16:0704    1 kernel
65579     69675 2          devb-umass Reply      22:28:55:0126    49194 io-usb
65583     98351 2          devb-umass Reply      0:00:07:0370    49194 io-usb
  52      86067 2          attachd Reply      22:30:18:0708    49196 eth_server
  52      86067 3          attachd Reply      22:30:18:0708    24595 mqueue
  86      86068 6          qnet Reply      0:00:00:0326    49196 eth_server
  51      98363 2          attach_server Reply      22:30:17:0894    24595 mqueue
  436     213083 1          tftp_server Reply      22:28:25:0936    24595 mqueue
65719     290999 1          exec Reply      0:00:12:0040    1 kernel
  294     270546 2          lpts_fm Reply      0:31:02:0906    237695 lpts_pa
open /proc/8577304 failed: No such file or directory
65822     8266014 1          showtech_cat Reply      0:00:00:0055    24593 pipe
65823     8454431 1          showtech_cat Reply      0:00:00:0432    24593 pipe
65825     8552737 1          show_processes Reply      0:00:00:0000    1 kernel

----- show process blocked [15:01:52.688 UTC Thu Dec 17 2009] -----

+++++++ show context [15:01:53.014 UTC Thu Dec 17 2009] ++++++

----- show context [15:01:53.820 UTC Thu Dec 17 2009] -----

-----
```

```
show tech-support ether common
```

```
-----
+++++++ show ethernet driver trace [15:01:55.942 UTC Thu Dec 17 2009] +++++++

152 unique entries (320 possible, 0 filtered)
Dec 16 16:33:19.238 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: Allocated port array, size
3
Dec 16 16:33:19.242 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_TRACE: ethernet_event_mgr_init:
Creating EVM
Dec 16 16:33:19.242 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: ethernet_event_mgr_init: EVM
created 0x5005a910, msgch 0x5005a9f0, node 0/RSP0/CPU0
Dec 16 16:33:19.260 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: ethernet_chkpt_init: checkpoint
init succeeded: restart 0, 0x1f50
Dec 16 16:33:19.261 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: ethernet_timer_system_init:
Timer init successful
Dec 16 16:33:20.725 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t1 ETH_IM: Carrier delay timer created
for None (0x00000000)
Dec 16 16:33:20.726 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t1 ETH_INFO: Port created ok for bay=0,
port=1
Dec 16 16:33:20.726 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_TRACE: ethernet_evmt_thread: Ethernet
EVM thread
Dec 16 16:33:20.726 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: G-Ether library initialization
successful
Dec 16 16:33:20.726 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 Created IDB tree RW lock
Dec 16 16:33:20.726 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 DB: Module initialized: Success
Dec 16 16:33:20.726 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: ethernet_netio_connection_init:
Connecting to NetIO, dll_name libether_ctrl_mgmt_netio.dll, dll_init_func
ether_ctrl_mgmt_netio_init_func, node 1
Dec 16 16:33:20.726 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_TRACE: ethernet_im_connection_init:
Connecting to IM
Dec 16 16:33:20.832 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: ethernet_netio_conn_open:
notify event has been created
Dec 16 16:33:20.832 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: ethernet_netio_conn_open:
Bind & initialization of netio done
Dec 16 16:33:20.832 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO:
ethernet_netio_conn_notify handler: load NetIO dll libether_ctrl_mgmt_netio.dll
Dec 16 16:33:20.833 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: Event conn open to IM failed
- retry scheduled
Dec 16 16:33:20.833 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: ethernet_im_connection_init:
IM connection init done
Dec 16 16:33:20.833 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: Initializing connection to
Cfgmgr
Dec 16 16:33:20.974 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: Cfgmgr connection
initialization successful
Dec 16 16:33:21.397 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_TRACE: Successfully initialized
PFI protect.
Dec 16 16:33:21.397 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: ethernet_if_owner_edm_init:
Interface owner EDM init
Dec 16 16:33:22.161 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t1 ETH_INFO: ethernet_netio_connection_init:
Netio connection init done, node 1
Dec 16 16:33:23.679 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_TRACE: Successfully initialized
Attributes Library.
Dec 16 16:33:23.684 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_SYSDB: ethernet_sysdb_edm_init:
Sysdb bind to /oper/ethernet_drvr/if/ successful, node 1
Dec 16 16:33:23.686 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_SYSDB: ethernet_sysdb_init:
Connecting to Sysdb, config mask 0x0, node 1
Dec 16 16:33:23.686 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_SYSDB: ethernet_sysdb_conn_open:
Connected to Sysdb, config mask 0x0, node 1
Dec 16 16:33:23.688 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_SYSDB: ethernet_sysdb_conn_open:
Sysdb bind to /cfg/if/act/ successful, node 1
Dec 16 16:33:23.688 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_SYSDB: ethernet_sysdb_init: Sysdb
connection init done, node 1
Dec 16 16:33:23.688 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: Initializing termination
timers
Dec 16 16:33:23.688 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_ERR: ethernet_im_conn_open:
im_control_server_bind failed: Error: 'ifmgr' detected the 'warning' condition 'Failed to
contact the server'
Dec 16 16:33:25.690 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 3# t4 ETH_IM: ethernet_im_conn_open: Connecting
```

```
to IM
Dec 16 16:33:25.795 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: ethernet_im_conn_open: Registered
IM control handler
Dec 16 16:33:25.795 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: ethernet_im_conn_notify_handler:
Notify condition is 4096
Dec 16 16:33:25.801 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: Initialising connection to
NetIO
Dec 16 16:33:25.801 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: Binding to NetIO
Dec 16 16:33:25.819 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: Connection to NetIO succeeded
Dec 16 16:33:25.852 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_STATS: Stats collection initialized
Dec 16 16:33:25.852 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IIR: Initializing connection to
IIR
Dec 16 16:33:25.859 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_ERR: IIR connection failed, scheduled
for retry, bound=0, ERR: Error: No such file or directory
Dec 16 16:33:25.859 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IIR: Initialized connection to IIR
Dec 16 16:33:25.859 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: Port pre-enable for port=1
Dec 16 16:33:25.859 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: IM pre-create: sorted list of
2 interfaces
Dec 16 16:33:25.859 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: IM create: about to send batch
of 2 interfaces
Dec 16 16:33:33.194 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: IM create: sent batch of 2
interfaces, return: Success
Dec 16 16:33:33.194 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 DB: physical IDB added for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040)
Dec 16 16:33:33.196 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get BIA called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) MAC address 0024.f716.4b20
Dec 16 16:33:33.207 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Port Create called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) create event
Dec 16 16:33:33.207 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: Port post-enable for port=1
Dec 16 16:33:33.208 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get BIA called for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) (bay=0, port=1) MAC address 0024.f716.4b21
Dec 16 16:33:33.208 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 DB: physical IDB added for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080)
Dec 16 16:33:33.208 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: ethernet_port_chkpt_recover:
checkpoint create succeeded: interface Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080), id 0x2fb8
Dec 16 16:33:33.208 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_TRACE: ethernet_enable_port:
Enabling the interface Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080)
Dec 16 16:33:33.218 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_SYSDB: ethernet_sysdb_edm_init:
Sysdb edm reg successful, node 1
Dec 16 16:33:33.222 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Port Create called for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) (bay=0, port=1) create event
Dec 16 16:33:33.222 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: ethernet_enable_port: Interface
MgmtEth0_RSP0_CPU0_1 enabled
Dec 16 16:33:33.222 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: Port enabled ok for port=1
Dec 16 16:33:33.569 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t9 ETH_INFO: Client thread started
Dec 16 16:33:33.569 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: IM Owned Resource End processing
successful
Dec 16 16:33:33.570 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_IIR: Opening connection to IIR
Dec 16 16:33:33.571 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IIR: Successfully opened connection
to IIR
Dec 16 16:33:33.571 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IIR: 0 bundle member IDBs marked
as stale
Dec 16 16:33:45.875 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get MTU called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) MTU 1514
Dec 16 16:33:45.875 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: fwd_specify_plim_interface
call for interface Mg0/RSP0/CPU0/0 (bay 0, port 0, fwd port 0, ifh 0x40) delayed
Dec 16 16:33:45.937 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get Loopback called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) Loopback type None
Dec 16 16:33:45.961 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get Autoneg called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) Autoneg configured: speed not restricted,
duplex not restricted, flowcontrol not restricted
Dec 16 16:33:45.961 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get Admin State called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) read state: disabled
Dec 16 16:33:45.963 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 2# t4 HW API: Get Operational MAC called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) MAC Address 0024.f716.4b20
Dec 16 16:33:46.051 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get Duplex called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) Duplex type Half Duplex
Dec 16 16:33:46.052 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 2# t4 HW API Port Notification batch of size
1 for Port Available event processed successfully
Dec 16 16:33:46.052 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get MTU called for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) (bay=0, port=1) MTU 1514
Dec 16 16:33:46.052 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: fwd_specify_plim_interface
call for interface Mg0/RSP0/CPU0/1 (bay 0, port 1, fwd port 1, ifh 0x80) delayed
```

show tech-support ethernet

```

Dec 16 16:33:46.052 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: Initial notification for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) ok, (bay=0, port=1)
Dec 16 16:33:46.094 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get Loopback called for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) (bay=0, port=1) Loopback type None
Dec 16 16:33:46.094 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: ethernet_set_autonegotiation:
interface Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) autoneg enabled
Dec 16 16:33:46.118 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get Autoneg called for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) (bay=0, port=1) Autoneg configured: speed not restricted,
duplex not restricted, flowcontrol not restricted
Dec 16 16:33:46.118 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get Admin State called for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) (bay=0, port=1) read state: disabled
Dec 16 16:33:46.118 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 2# t4 HW API: Get Operational MAC called for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) (bay=0, port=1) MAC Address 0024.f716.4b21
Dec 16 16:33:46.118 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: H/W replay successful for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080)
Dec 16 16:33:46.206 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Get Duplex called for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080) (bay=0, port=1) Duplex type Half Duplex
Dec 16 16:33:46.207 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: 6 attributes published
successfully for Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080)
Dec 16 16:33:46.207 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: Restoring config for
Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080), current state = Config not_applied
Dec 16 16:33:46.207 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: Added Mg0/RSP0/CPU0/1
(0x00000080) to cfgmgr restore batch
Dec 16 16:33:46.216 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_INFO: Cfgmgr restore batch successful
for 2 interfaces
Dec 16 16:33:46.217 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IIR: IIR RESYNC_END notification
received
Dec 16 16:33:46.217 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IIR: 0 IIR stale flags cleared
Dec 16 16:33:46.217 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IIR: IIR RESYNC_END notification
processed ok
Dec 16 16:33:57.284 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_STATS: Stats type register callback
invoked, count=2
Dec 16 16:33:57.284 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_STATS: Private stats types
registered, type=10002, type=10003
Dec 16 16:34:06.221 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_STATS: New periodic block allocated,
ptr=0x50036994
Dec 16 16:34:32.828 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API Config Restore batch of size 2
processed successfully
Dec 16 16:34:32.828 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 2# t4 ETH_INFO: Config restore completed ok
for Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040)
Dec 16 16:34:32.846 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 3# t4 ETH_INFO: Starting cfgmgr restore
batch, size=0, rc=0x0
Dec 16 16:34:32.846 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_IM: IM_STATE_DOWN_IMM_ADMIN walk
completed for Mg0/RSP0/CPU0/1 (0x00000080)
Dec 16 16:34:32.916 gether/0/fast 0/RSP0/CPU0 1# t4 HW API: Port Enable called for
Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040) (bay=0, port=0) new state: enabled, hw link down
Dec 16 16:34:32.916 gether/0/main 0/RSP0/CPU0 1# t4 ETH_EVENTS: FSM action: Port admin
state enabled event for Mg0/RSP0/CPU0/0 (0x00000040); succeeded; link state: DOWN

```

show tech-support fabric

ファブリックのデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、管理 EXEC モードで **show tech-support fabric** コマンドを使用します。

show tech-support fabric [terminal] file *send-to*]

コマンド デフォルト

コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカルサポート担当者に送信することも容易になります。

ファブリックのデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support fabric** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者に役立つファブリック情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support fabric multicast コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show controllers fabric fgid stat all detail**
- **show controllers fabric fgid info**

- **show process fgid_allocator**
- **show process fgid_aggregator**
- **show process fgid_server**
- **show process fgid_allocator**

show tech-support fabric traffic コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されま
す。

- **show controllers fabric plane all detail**
- **show controllers fabric plane all stat brief**
- **show controllers fabric plane all stat detail**
- **show controllers fabric link port**
- **show controller fabricq stat**
- **show controllers fabricq queues**
- **show controllers fabricq eio links all**
- **show controller ingressq stat**
- **show controller ingressq queue all**
- **show controller ingressq fabric pla**
- **show control ingressq block ssm bpmem 0**
- **show controllers ingressq block fqm queue**
- **show controllers ingressq vports all**
- **show controllers ingressq interfaces all**
- **show controllers ingressq eio links all**
- **show controller fia rxslice all uq all channel all**
- **show controllers cpuctrl devices ingressq pdma queue all act**
- **show controllers cpuctrl devices egressq pdma queue all act**
- **show controllers cpuctrl devices fabricq pdma queue all act**

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
admin	read

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

```

RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)# show tech-support fabric multicast page

show tech-support fabric script - (/pkg/bin/fabric_showtech.tcl)
Error matching ALL in node_id_mapping
show tech fabric multicast
MSC: 0/1/CPU0 is running
DRP: 0/4/CPU0 is running
MSC: 0/6/CPU0 is running
RP: 0/RP0/CPU0 is running
RP: 0/RP1/CPU0 is running
SM: type: 0, 0/SM0/SP is running
SM: type: 0, 0/SM1/SP is running
SM: type: 0, 0/SM2/SP is running
SM: type: 0, 0/SM3/SP is running

This is a single chassis router.

There are 2 RPs to be checked

There are 1 DRP to be checked

There are 4 SM cards to be checked

There are 2 MSC cards to be checked

Location: all, collection option: 1

Running general FGID related commands and gathering data
Please wait...

Nodeid 0x : hfr_fgid_show_items s all all detail
Nodeid 0x : hfr_fgid_show_items i 1024 2 diag no_diag
Nodeid 0x : hfr_fgid_show_items i 1524 2 diag no_diag

=====
INFO: Show All RP/SC/DRP FGID related information
=====

-----Show FGID information on location 0/1/CPU0-----
show contr ingressq fabric pla
-----Show FGID information on location 0/4/CPU0-----
Nodeid 0x65 : sysmgr_show -o -A -p fgid_aggregator -n 65
show contr fabric trace fgid-client loc 0/4/CPU0
show contr fabric trace fgid-aggr info loc 0/4/CPU0
show contr fabric trace fgid-aggr err loc 0/4/CPU0
show contr fabric trace fgid-aggr dev loc 0/4/CPU0
-----Show FGID information on location 0/6/CPU0-----
show contr ingressq fabric pla
-----Show FGID information on location 0/RP0/CPU0-----
Nodeid 0x513 : sysmgr_show -o -A -p fgid_allocator -n 513
Nodeid 0x513 : sysmgr_show -o -A -p fgid_aggregator -n 513
Nodeid 0x513 : sysmgr_show -o -A -p fgid_server -n 513
show contr fabric trace fgid-client loc 0/RP0/CPU0
show contr fabric trace fgid-alloc info loc 0/RP0/CPU0
show contr fabric trace fgid-alloc err loc 0/RP0/CPU0
show contr fabric trace fgid-alloc dev loc 0/RP0/CPU0
show contr fabric trace fgid-svr info loc 0/RP0/CPU0
show contr fabric trace fgid-svr err loc 0/RP0/CPU0
show contr fabric trace fgid-svr dev loc 0/RP0/CPU0

```

show tech-support fabric

```

show contr fabric trace fgid-aggr info loc 0/RP0/CPU0
show contr fabric trace fgid-aggr err loc 0/RP0/CPU0
show contr fabric trace fgid-aggr dev loc 0/RP0/CPU0
-----Show FGID information on location 0/RP1/CPU0-----
Nodeid 0x529 : sysmgr_show -o -A -p fgid_allocator -n 529
Nodeid 0x529 : sysmgr_show -o -A -p fgid_aggregator -n 529
Nodeid 0x529 : sysmgr_show -o -A -p fgid_server -n 529
show contr fabric trace fgid-client loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-alloc info loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-alloc err loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-alloc dev loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-svr info loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-svr err loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-svr dev loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-aggr info loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-aggr err loc 0/RP1/CPU0
show contr fabric trace fgid-aggr dev loc 0/RP1/CPU0

```

```

=====
INFO: Show All SM FGID related information
=====

```

```

-----Show FGID information on location 0/SM0/SP-----
show contr fabric trace fgid-cons dev loc 0/SM0/SP
show contr fabric trace fgid-cons err loc 0/SM0/SP
-----Show FGID information on location 0/SM1/SP-----
show contr fabric trace fgid-cons dev loc 0/SM1/SP
show contr fabric trace fgid-cons err loc 0/SM1/SP
-----Show FGID information on location 0/SM2/SP-----
show contr fabric trace fgid-cons dev loc 0/SM2/SP
show contr fabric trace fgid-cons err loc 0/SM2/SP
-----Show FGID information on location 0/SM3/SP-----
show contr fabric trace fgid-cons dev loc 0/SM3/SP
show contr fabric trace fgid-cons err loc 0/SM3/SP

```

Copying the information from /tmp/fabric_showtech.log to stdout

```

-----HFR Card/Module Status-----

```

Node	Type	PLIM	State	Config State
0/1/SP	MSC (SP)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/1/CPU0	MSC	Jacket Card	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/1/0	MSC (SPA)	4XOC3-POS	OK	PWR, NSHUT, MON
0/1/4	MSC (SPA)	4XOC48-POS	OK	PWR, NSHUT, MON
0/1/5	MSC (SPA)	8X1GE	OK	PWR, NSHUT, MON
0/4/SP	DRP (SP)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/4/CPU0	DRP (Active)	DRP-ACC	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/4/CPU1	DRP	DRP-ACC	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/6/SP	MSC (SP)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/6/CPU0	MSC	Jacket Card	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/6/0	MSC (SPA)	4XOC3-POS	OK	PWR, NSHUT, MON
0/6/4	MSC (SPA)	8XOC3/OC12-POS	OK	PWR, NSHUT, MON
0/6/5	MSC (SPA)	8X1GE	OK	PWR, NSHUT, MON
0/RP0/CPU0	RP (Active)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/RP1/CPU0	RP (Standby)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/SM0/SP	FC/S (SP)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/SM1/SP	FC/S (SP)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/SM2/SP	FC/S (SP)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON
0/SM3/SP	FC/S (SP)	N/A	IOS XR RUN	PWR, NSHUT, MON

```

MSC: 0/1/CPU0 is running
DRP: 0/4/CPU0 is running
MSC: 0/6/CPU0 is running
RP: 0/RP0/CPU0 is running
RP: 0/RP1/CPU0 is running
SM: 0/SM0/SP is running
SM: 0/SM1/SP is running
SM: 0/SM2/SP is running
SM: 0/SM3/SP is running

```

```

----- SNAPSHOT show controllers fabric fgid stat all detail -----

```

Fabric FGID Resource Statistics Information:

System wide Fabric multicast resource statistics:

Total number of FGIDs in the system is 1000000
Current number of InUse FGIDs in the system is 1012
High Water Mark of InUse FGIDs in the system is 1512

.
.
.

show tech-support gsp

ギガビットスイッチプラットフォーム（GSP）のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support gsp** コマンドを使用します。

```
show tech-support gsp [client| group| rack] [location node-id] {terminal [page]| file send-to [background]
[compressed| uncompressed]}
```

構文の説明

client	(任意) クライアントのテクニカル サポート情報を表示します。
group	(任意) グループのテクニカル サポート情報を表示します。
rack	(任意) ラック数を表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。 Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。

<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

GSP のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support gsp** コマンドを使用します。GSP は、ノード間の通信で Cisco IOS XR ソフトウェアが使用する共通の IPC です。このコマンドは、ノード間の GSP の通信に問題があるかどうかを判断するために使用されます。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ GSP のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support gsp コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show gsp group addresses**
- **show gsp group admin addresses**
- **show gsp group lr-control addresses**
- **show gsp group gid 0**
- **show gsp group gid 1000**
- **show gsp group gid 2000**
- **show gsp memory**
- **show gsp stats client**
- **show gsp stats server jid 0**
- **show gsp trace server bootstrap location all**
- **show gsp trace server timeout slow location all**
- **show gsp trace server timeout fast location all**
- **show gsp trace server limp fast location all**
- **show gsp trace server limp slow location all**
- **show gsp trace server error api location all**
- **show gsp trace server error minor location all**

• show gsp trace server ens location all

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services または cisco-support	read
sysmgr	read

例

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support gsp terminal page
-----
show tech-support gsp
-----

----- show gsp group addresses -----

List of groups in LR Plane
Grp_ID Grp_Name                               Grp Address
***** *****                               *****
 2000 gsp                                     00 00. 04 00. 00 00
 2001 ens_group                               00 00. 04 02. 00 00
 2002 _async_group                             00 00. 04 04. 00 00
 2003 gang_sched_group                         00 00. 04 06. 00 00
 2004 RDS_CGRP_NRS_CLASS_RDS_LR_1             00 00. 04 08. 00 00
 2005 RDS_WTR_LWG_GRP_NRS_CLASS_RDS_L        00 00. 04 0a. 00 00
.
.
.
----- show gsp group lr-control addresses -----

List of groups in Lctrl Plane
Grp_ID Grp_Name                               Grp Address
***** *****                               *****
 1000 gsp_lctrl                               01 00. 00 00. 00 64
 1001 ens_lctrl_group                         01 00. 00 00. 00 66
 1002 _async_lctrl_group                       01 00. 00 00. 00 68
 1003 gang_sched_lctrl_group                   01 00. 00 00. 00 6a
 1004 lrd_lctrl_grp                            01 00. 00 00. 00 6c
 1005 sysdb_medusae                            01 00. 00 00. 00 6e
 1006 QSM_LR_GRP                               01 00. 00 00. 00 70
 1007 sysdb_medusae_s_lr_shared               01 00. 00 00. 00 72
 1008 PuF group: persisted placement          01 00. 00 00. 00 74

----- show gsp group gid 0 -----
----- group -----
name          : gsp_admin
gid           : 0
parent gid    : 65535
```

show tech-support gsp

```

      attrs          :[0x9 0x4]
                    STATIC,
                    CLOSED,
                    PRIVATE
                    ADMIN PLANE

      addr           : 01 00. 00 00. 27 74
      addr flags     : 3
      addr media     : 4
      grp_snv nodecnt : d
      grp_snv sns_cnt : 1
      grp_snv[0]     : 0x1fff
      writer_snv nodecnt: 0
      writer_snv sns_cnt: 0
      writer snv is NULL
      grp_stub_state : 0
      last-leaving client: 0
      gsp_seq_state  : 0
      gsp_seq_retrycnt : 0

Basic Info
*****
      gsp node id    : 0
      writer         : FALSE
      in service     : 1
      adding_to_grp  : 0
      node state     : 0
      local mbr cnt  : 0
      local writer cnt : 0
      seq state      : 0x1
      seq state election: 0x0
      ack_snv nodecnt : 13
      ack_snv sns_cnt : 1
      ack_snv[0]    : 0x1fff

Seqnums
*****
      def ord next seq : 0x0
      ctrl next seq   : 0xac
      oob seq         : 0xa

Def Ord Windowing Parameters
*****
      def ord win quota : 0
      def ord win cnt   : 0
      def ord win owner : 0xffff
      def ord owner idx : 0xffff
      def min msg id   : 0x0
      def ord win state : 0x0

Tx queue info
*****
      blocked for win : 0
      tinfo elems priv : 0
      resv elems priv : 0
      tinfo elems ctrl : 0
      tinfo elems no resv: 0

      retrans timer   : 0
      refcount        : 1

Other info
*****
      recv window size : 0x5000
      downed node      : 0x40
      downed node      : 0x42
      downed node      : 0x41

Gsp seq_info
*****
      seq info flags   : 0x9
      seq addr         : 1 0. 0 0. 27 75. 0 0
      seq addr flags   : 3

```

```
seq_addr media      : 4
seq_snv_nodecnt     : 4
seq_snv_sns_cnt     : 1
seq_snv[0]          : 0x701
```

```
Number of sync variables: 0
*****
```

Nodevec Entries

```
----- node idx 0 -----
node_RSI_id         :0x201
node_str             :0/RP0/CPU0
node_state           :0
node_nacked          :0
node_next_seqnum    :0
node_next_ctrl_seq  :78
node_mbr_cnt         :0
node_uc_tx_seqnum   :0
node_uc_rx_seqnum   :0
node_uc_ctrl_flag   :0
node_addr            :0x0
node_ucast_quota    :0
node_ucast_cnt       :0
ucast_min_msg_id    :0x0
----- node idx 1 -----
node_RSI_id         :0x810
node_str             :0/SM1/SP
node_state           :0
node_nacked          :0
node_next_seqnum    :0
node_next_ctrl_seq  :f
node_mbr_cnt         :0
node_uc_tx_seqnum   :0
```

show tech-support igmp snooping

IGMP スヌーピングに固有のデバッグ情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support igmp snooping** コマンドを使用します。

show tech-support igmp snooping [*file send-to*] [*location node-id*] [*terminal*]

構文の説明

file	(任意) コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
send-to	(任意) ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。
page	(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
EXEC	出力は端末画面に出力されます。

コマンド モデル

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ IGMP スヌーピングのデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support igmp snooping コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show version**
- **show running-config sanitize**
- **show redundancy**
- **show logging**
- **show platform**
- **show install active detail**
- **show install committed detail**
- **show install inactive detail**
- **show pkgfs trace location all**
- **show install trace loadpath location** *node-id*
- **show install trace io location** *node-id*
- **show install trace instdir-lr location** *node-id*
- **show install trace insthelper location** *node-id*

- **show install trace notify location** *node-id*
- **show install trace replicator location** *node-id*
- **show install trace pkg location** *node-id*
- **show install trace inv location** *node-id*
- **show install trace platform location** *node-id*
- **show install trace ior location** *node-id*
- **show install trace state-file-replication location** *node-id*
- **show install trace sds location** *node-id*
- **show memory summary location** *node-id*
- **show context location** *node-id*
- **show processes memory location** *node-id*
- **show processes aborts location** *node-id*
- **show processes blocked location** *node-id*
- **show pkgfs trace location** *node-id*
- **show filesystem location** *node-id*
- **run diskinfo** (各種)

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show tech-support igmp snooping** コマンドの切り詰められた出力の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support igmp snooping terminal
```

```
-----
show tech-support igmp snooping
-----
----- show version -----
```

```
Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0[00]
Copyright (c) 2009 by Cisco Systems, Inc.
```

```
ROM: System Bootstrap, Version 1.1(20090521:183759) [ASR9K ROMMON],

MCAST-6 uptime is 6 days, 20 hours, 50 minutes
System image file is "bootflash:disk0/asr9k-os-mpi-3.9.0/mbiasr9k-rp.vm"

cisco ASR9K Series (MPC8641D) processor with 4194304K bytes of memory.
MPC8641D processor at 1333MHz, Revision 2.2

2 Management Ethernet
45 GigabitEthernet
219k bytes of non-volatile configuration memory.
975M bytes of compact flash card.
33994M bytes of hard disk.
1605616k bytes of disk0: (Sector size 512 bytes).
1605616k bytes of disk1: (Sector size 512 bytes).

Configuration register on node 0/RSP0/CPU0 is 0x1922
Boot device on node 0/RSP0/CPU0 is disk0:
Package active on node 0/RSP0/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-rout, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-rout-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:56 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
```

show tech-support igmp snooping

```

asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

Boot device on node 0/2/CPU0 is mem:
Package active on node 0/2/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

----- show running-config igmp snooping -----
igmp snooping profile prof1
  ttl-check disable
  router-alert-check disable
!

----- show igmp snooping summary statistics debug -----

```

```

Bridge Domains: 1
IGMP Snooping Bridge Domains: 1
Ports: 2
IGMP Snooping Ports: 1
Mrouters: 0
STP Forwarding Ports: 0
IGMP Groups: 0
  Member Ports: 0
IGMP Source Groups: 0
  Static/Include/Exclude: 0/0/0
  Member Ports (Include/Exclude): 0/0
Traffic Statistics (elapsed time since last cleared 6d20h):
  Received  Reinjected  Generated
Messages:
  IGMP General Queries: 0 0 0
  IGMP Group Specific Queries: 0 0 0
  IGMP G&S Specific Queries: 0 0 0
  IGMP V2 Reports: 0 0 0
  IGMP V3 Reports: 0 0 0
  IGMP V2 Leaves: 0 0 0
  IGMP Global Leaves: 0 - 0
  PIM Hellos: 0 0 -
Rx Packet Treatment:
  Packets Flooded: 0
  Packets Forwarded To Members: 0
  Packets Forwarded To Mrouters: 0
  Packets Consumed: 0
Rx Errors:
  None
Rx Other:
  None
Tx Errors:
  None
L2FIB Statistics (elapsed time since last cleared 6d20h):
  BD Created Notifications: 2
  BD Deleted Notifications: 1
  EFP Added Notifications: 9
  EFP Removed Notifications: 2
  EFP STP Change Notifications: 4
  BD Topology Change Notifications: 0
  BD Added: 2
  BD Deleted: 1
  BD Profile Change: 0
  BD Profile Added: 0
  BD Profile Removed: 0
  BD Batch Start: 4
  BD Batch End: 4
  BD Mark: 0
  BD Sweep: 1
  EFP Added: 4
  EFP Deleted: 2
  EFP Profile Changed: 0
  EFP Profile Unchanged: 5
  EFP Profile Added: 0
  EFP Profile Removed: 0
  EFP Oper State To Up: 3
  EFP Oper State To Down: 1
  EFP STP State To Forwarding: 2
  EFP STP State To Blocked: 0
  EFP STP State To Not Participating: 0
  EFP Batch Start: 10
  EFP Batch End: 10
  EFP Mark: 0
  EFP Sweep: 1
  L2FIB Replay: 3
  Mroute Msgs Sent: 4
  Cfg Msgs Sent: 8
  BDXC Send: 8
  Errors:
    None
Network Statistics (elapsed time since last cleared 6d20h):
  Socket Event: 0
  Network Connection Open Event: 2

```

show tech-support igmp snooping

```

Network Connection Close Event:          0
Packet Event:                            2
Packet Event Disconnect:                 0
Packet Event Empty:                      0
Packet Event Empty Watermark:            2
Rx IGMP Packet Attempt:                  0
Rx IGMP Packet Success:                  0
Rx PIM Packet Attempt:                   0
Rx PIM Packet Success:                   0
Tx IGMP Packet Attempt:                   0
Tx IGMP Packet Success:                   0
Errors:
  None
Internal Data:
  Ltrace:      Enabled
  Error Debug: Disabled
  Other Debug: Disabled
  System Mac:  00:00:00:00:00:00
Internal Statistics (elapsed time since last cleared 6d20h):
  None

```

----- show igmp snooping bridge-domain detail statistics debug -----

Bridge Domain	Profile	Act	Ver	#Ports	#Mrtrs	#Grps	#SGs
bg:bd	profl	Y	--	2	0	0	0

```

Profile Configured Attributes:
  System IP Address:      0.0.0.0
  Minimum Version:       2
  Report Suppression:    Enabled
  Unsolicited Report Interval: 1000 (milliseconds)
  TCN Query Solicit:    Disabled
  TCN Flood:             Enabled
  TCN Flood Query Count: 2
  Router Alert Check:    Disabled
  TTL Check:             Disabled
  Internal Querier Support: Disabled
  Querier Query Interval: 60 (seconds)
  Querier LMQ Interval:  1000 (milliseconds)
  Querier LMQ Count:     2
  Querier Robustness:    2
Querier:                  Not Present
Mrouter Ports:            0
STP Forwarding Ports:    0
Groups:                   0
  Member Ports:          0
V3 Source Groups:        0
  Static/Include/Exclude: 0/0/0
  Member Ports (Include/Exclude): 0/0
XID:                      BD:0x0
Creation Time:            1d00h
Snooping Creation Time:  1d00h
Flood Mode:              Disabled
Star Star Mroute PD Data:
  Size:                   4
  Data:                   0x00 0x00 0x80 0x81
Client L2Info:           None
MTU:                     1400
Traffic Statistics (elapsed time since last cleared 5d20h):
  Received  Reinjectd  Generated
Messages:
  IGMP General Queries:      0          0          0
  IGMP Group Specific Queries: 0          0          0
  IGMP G&S Specific Queries: 0          0          0
  IGMP V2 Reports:           0          0          0
  IGMP V3 Reports:           0          0          0
  IGMP V2 Leaves:            0          0          0
  IGMP Global Leaves:        0          -          0
  PIM Hellos:                 0          0          -
Rx Packet Treatment:

```

```
Packets Flooded: 0
Packets Forwarded To Members: 0
Packets Forwarded To Mrouters: 0
Packets Consumed: 0
Rx Errors:
  None
Rx Other:
  None
Tx Errors:
  None
```

show tech-support install

インストール情報に固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードおよび管理 EXEC モードで **show tech-support install** コマンドを使用します。

show tech-support install [*file send-to*] [*location node-id*] [*rack*]

構文の説明

file	(任意) コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	(任意) ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。

コマンド デフォルト 出力は端末画面に出力されます。

コマンド モード EXEC

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

インストール情報に固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support install** コマンドを使用します。このコマンドは、インストールのアクティブ化、インストールの追加、削除またはコミット中に、システムでインストール動作を実行したときに問題が発生した場合に役立ちます。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つインストール情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support install コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show install request**
- **show version**
- **show install active summary**
- **show install committed summary**
- **show install package all detail**
- **show install log verbose**
- **show running-config sanitize**
- **show redundancy**
- **show logging**
- **show platform**
- **show install active detail**

- **show install committed detail**
- **show install inactive detail**
- **show pkgfs trace location all**
- **show install trace loadpath location** *node-id*
- **show install trace io location** *node-id*
- **show install trace instdir-lr location** *node-id*
- **show install trace insthelper location** *node-id*
- **show install trace notify location** *node-id*
- **show install trace replicator location** *node-id*
- **show install trace pkg location** *node-id*
- **show install trace inv location** *node-id*
- **show install trace platform location** *node-id*
- **show install trace ior location** *node-id*
- **show install trace state-file-replication location** *node-id*
- **show install trace sds location** *node-id*
- **show memory summary location** *node-id*
- **show context location** *node-id*
- **show processes memory location** *node-id*
- **show processes aborts location** *node-id*
- **show processes blocked location** *node-id*
- **show pkgfs trace location** *node-id*
- **show filesystem location** *node-id*
- **run diskinfo** (各種)

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services または cisco-support	read
pkg-mgmt	read

例

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support install page
```

```
-----  
SDR show install tech-support  
-----
```

```
----- show install request -----  
There are no install requests in operation.
```

```
----- show version -----
```

```
Cisco IOS XR Software, Version 3.8.0  
Copyright (c) 2007 by Cisco Systems, Inc.  
  
ROM: System Bootstrap, Version 1.43(20061109:045749) [CRS-1 ROMMON],  
  
CRS-1 uptime is 1 week, 3 days, 16 hours, 46 minutes  
System image file is "disk0:hfr-os-mpi-3.8.0/mbihfr-rp.vm"  
  
cisco CRS-1 (7457) processor with 4194304K bytes of memory.  
7457 processor at 1197Mhz, Revision 1.2  
  
16 GigabitEthernet/IEEE 802.3 interface(s)  
4 Ethernet/IEEE 802.3 interface(s)  
20 Packet over SONET/SDH network interface(s)  
20 SONET/SDH Port controller(s)  
2043k bytes of non-volatile configuration memory.  
38079M bytes of hard disk.  
1000592k bytes of ATA PCMCIA card at disk 0 (Sector size 512 bytes).  
1000640k bytes of ATA PCMCIA card at disk 1 (Sector size 512 bytes).  
  
Configuration register on node 0/1/CPU0 is 0x102  
Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:  
Package active on node 0/1/CPU0:  
hfr-sbc, V 3.8.0, Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.8.0  
  Built on Thu Mar 15 01:47:29 UTC 2007  
  By cisco.com in /auto/3.8.0  
  
hfr-pagent, V 3.8.0, Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.8.0  
  Built on Thu Mar 15 02:27:23 UTC 2007  
  By cisco.com in /auto/3.8.0  
.  
.  
hfr-os-mpi, V 3.8.0., Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mpi-3.8.0  
  Built on Thu Mar 15 00:18:08 UTC 2007  
  By cisco.com in /auto/3.8.0
```

```
----- show install active summary -----
```

```
Active Packages:  
  disk0:hfr-sbc-3.8.0  
  disk0:hfr-pagent-3.8.0  
  disk0:hfr-fpd-3.8.0  
  disk0:hfr-doc-3.8.0  
  disk0:hfr-diags-3.8.0  
  disk0:hfr-mgbl-3.8.0  
  disk0:hfr-mcast-3.8.0  
  disk0:hfr-mps-3.8.0  
  disk0:hfr-k9sec-3.8.0  
  disk0:comp-hfr-mini-3.8.0
```

```
----- show install committed summary -----
```

```
Committed Packages:  
  disk0:hfr-sbc-3.8.0  
  disk0:hfr-pagent-3.8.0  
  disk0:hfr-fpd-3.8.0  
  disk0:hfr-doc-3.8.0
```

show tech-support install

```

disk0:hfr-diags-3.8.0
disk0:hfr-mgbl-3.8.0
disk0:hfr-mcast-3.8.0
disk0:hfr-mpls-3.8.0
disk0:hfr-k9sec-3.8.0
disk0:comp-hfr-mini-3.8.0

----- show install package all detail -----
disk0:comp-hfr-mini-3.8.0
  disk0:hfr-admin-3.8.0
    hfr-admin V3.8.0 Admin Package
      Vendor : Cisco Systems
      Desc   : Admin Package
      Build  : Built on Thu Mar 15 00:40:36 UTC 2007
      Source : By cisco.com in /auto/3.8.0
      Card(s): RP, DRP, DRPSC, OC3-POS-4, OC12-POS, GE-3, OC12-POS-4, OC48-POS, E3-OC48-POS,
      E3-OC12-POS-4, E3-OC3-POS-16, E3-OC3-
      POS-8, E3-OC3-POS-4, E3-OC48-CH, E3-OC12-CH-4, E3-OC3-CH-16, E3-GE-4, E3-OC3-ATM-4,
      E3-OC12-ATM-4, E5-CEC, E5-CEC-v2, SE-SEC, LC, SP
    , SC
      Restart information:
        Default:
          parallel impacted processes restart
      Components in package disk0:hfr-admin-3.8.0, package hfr-admin:
        envmon V[ci-35/2]  HFR envmon CLI
        eio-lib V[main/54] Elastic Input Output Link Macro ^Mtraining library.
        hfr-aib V[ci-35/5]  AIB for HFR
        hfr-dsc V[ci-35/7]  HFR Designated Shelf Controller
        hfr-pfi V[main/24]  hfr PFI platform APIs
        gaspp-lib V[ci-35/4] Generic ASIC Peek & Poke and Memory dump for all HFR ASICS

        hfr-netio V[main/14] hfr NetIO platform APIs
        hfr-squid V[ci-35/9] Squid FPGA Driver for HFR LC and RP
        sc-reddrv V[ci-35/2] SC Redundancy Driver
        drp-reddrv V[ci-35/4] DRP redundancy driver
        hfr-invmgr V[ci-35/17] Inventory Manager on HFR
        fabric-fgid V[ci-35/17] Fabric Multicast management component
        fabric-fsdb V[ci-35/12] Fabric State management component
        hfr-fabricq V[ci-35/13] Fabric Queue Manager. Driver for the fabric queueing
ASIC.
.
.
.

```

show tech-support l2vpn

レイヤ2 バーチャルプライベート ネットワーク (L2VPN) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support l2vpn** コマンドを使用します。

show tech-support l2vpn {file *send-to* [background] [compressed|uncompressed]} terminal [page] [rack]}

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。
page	(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。

rack (任意) ラックのリストを表示します。

コマンドモード EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つレイヤ 2 VPN 関連の問題に関する情報を収集します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support l2vpn terminal page
```

```
-----  
show tech-support l2vpn (Detail with Event traces)  
-----
```

```
----- show version -----  
Cisco IOS XR Software, Version 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1]  
Copyright (c) 2007 by Cisco Systems, Inc.  
  
ROM: System Bootstrap, Version 1.48(20070928:224557) [CRS-1 ROMMON],  
  
P1_CRS-8 uptime is 4 days, 20 hours, 49 minutes  
System image file is "disk0:hfr-os-mpi-3.6.0.16I/mbihfr-rp.vm"  
  
cisco CRS-8/S (7457) processor with 4194304K bytes of memory.  
7457 processor at 1197Mhz, Revision 1.2  
  
4 T3 Port controller(s)  
20 Packet over SONET/SDH network interface(s)  
20 SONET/SDH Port controller(s)  
4 Serial network interface(s)  
4 Ethernet/IEEE 802.3 interface(s)  
16 GigabitEthernet/IEEE 802.3 interface(s)  
1019k bytes of non-volatile configuration memory.  
38079M bytes of hard disk.  
1000592k bytes of ATA PCMCIA card at disk 0 (Sector size 512 bytes).  
1000640k bytes of ATA PCMCIA card at disk 1 (Sector size 512 bytes).  
  
Configuration register on node 0/1/CPU0 is 0x102  
Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:  
Package active on node 0/1/CPU0:  
hfr-sbc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 15:07:32 DST 2007  
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8  
  
hfr-pagent, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 15:58:47 DST 2007  
  By iox42.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8  
  
hfr-fpd, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 14:48:41 DST 2007  
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8  
  
hfr-diags, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 14:48:32 DST 2007  
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8  
  
hfr-mcast, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mcast-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 14:26:29 DST 2007  
  By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8  
  
hfr-mpis, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mpis-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 14:22:48 DST 2007  
  By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8  
  
hfr-lc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-lc-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 14:02:24 DST 2007  
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8  
  
hfr-fwdg, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fwdg-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 13:57:12 DST 2007  
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8  
  
hfr-admin, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-admin-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 13:53:07 DST 2007  
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8  
  
hfr-base, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-base-3.6.0.16I  
  Built on Tue Oct  2 13:51:10 DST 2007
```

```

By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8
hfr-os-mpi, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mpi-3.6.0.I
  Built on Tue Oct  2 13:28:38 DST 2007
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

Configuration register on node 0/4/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/4/CPU0 is disk0:
Package active on node 0/4/CPU0:
hfr-sbc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 15:07:32 DST 2007
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-pagent, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.6.0.I
  Built on Tue Oct  2 15:58:47 DST 2007
  By iox42.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-fpd, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:48:41 DST 2007
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-doc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-doc-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:48:52 DST 2007
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-diags, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:48:32 DST 2007
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mgbl, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mgbl-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:20:33 DST 2007
  By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mcast, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mcast-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:26:29 DST 2007
  By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mppls, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mppls-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:22:48 DST 2007
  By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-rout, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-rout-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:06:14 DST 2007
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-k9sec, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-k9sec-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:43:56 DST 2007
  By sjce-gf-074.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-lc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-lc-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:02:24 DST 2007
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-fwdg, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fwdg-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 13:57:12 DST 2007
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-admin, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-admin-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 13:53:07 DST 2007
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-base, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-base-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 13:51:10 DST 2007
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-os-mpi, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mpi-3.6.0.I
  Built on Tue Oct  2 13:28:38 DST 2007
  By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

Configuration register on node 0/4/CPU1 is 0x102
Boot device on node 0/4/CPU1 is disk0:
Package active on node 0/4/CPU1:
hfr-sbc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.6.0.16I

```

```
Built on Tue Oct  2 15:07:32 DST 2007
By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-pagent, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.6.0.I
Built on Tue Oct  2 15:58:47 DST 2007
By iox42.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-fpd, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:48:41 DST 2007
By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-doc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-doc-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:48:52 DST 2007
By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-diags, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:48:32 DST 2007
By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mgbl, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mgbl-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:20:33 DST 2007
By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mcast, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mcast-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:26:29 DST 2007
By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mls, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mls-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:22:48 DST 2007
By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-rout, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-rout-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:06:14 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-k9sec, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-k9sec-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:43:56 DST 2007
By sjce-gf-074.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-lc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-lc-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:02:24 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-fwgd, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fwgd-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 13:57:12 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-admin, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-admin-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 13:53:07 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-base, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-base-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 13:51:10 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-os-mpi, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mpi-3.6.0.I
Built on Tue Oct  2 13:28:38 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

Configuration register on node 0/6/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/6/CPU0 is mem:
Package active on node 0/6/CPU0:
hfr-sbc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 15:07:32 DST 2007
By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-pagent, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.6.0.I
Built on Tue Oct  2 15:58:47 DST 2007
By iox42.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-fpd, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:48:41 DST 2007
By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8
```

```
hfr-diags, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:48:32 DST 2007
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mcast, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mcast-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:26:29 DST 2007
  By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8
```

show tech-support lrd

論理ルータ デーモン (LRD) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support lrd** コマンドを使用します。

show tech-support lrd {file *send-to* [background] [compressed|uncompressed]} terminal [page] location {*node-id* | all} [rack]}

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。
page	(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。

location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべての場所を指定します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者へ送信することも容易になります。

セキュア ドメインルータ (SDR) のアーキテクチャを制御する LRD のデバッグには、**show tech-support lrd** コマンドを使用します。システムには、常に少なくとも 1 つの SDR があります。システム内の SDR の管理で問題が発生した場合に、関連する情報を収集します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立ちます。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support lrd** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support lrd terminal page
-----
show tech-support lrd
-----

lrdbg 'i' getting CONFIG INFO
Starting lrdbg commands for local node.
node_name = node0_RP0_CPU0 chan_name is /net/node0_RP0_CPU0/dev/lrd_local
Local nodeid=513 Local lrdname=Owner Local lrid = 0
lrdbg: Successfully connected to channel /net/node0_RP0_CPU0/dev/lrd_local

Starting lrdbg commands for node = node0_RP0_CPU0 lrid = 0

DLRSC Info for Node = node0_RP0_CPU0 Nodeid = 0x201 lrid = 0
We are the dLRSC, Backup dLRSC is 0x211

--More--
liblrd_dl_node_state_0.dll          0.0
liblrd_dl_sw_state_0.dll            0.0
liblrd_dl_fwd_ldr_0.dll              0.0
liblrd_alpha_fwd.dll                1.0
liblrd_envmon_fwd.dll               1.0
liblrd_invmgr_fwd.dll               1.0
Inventory Info for Node = node0_RP0_CPU0 lrid = 0
Success: node_count=6, ready=1
node=0x11, type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=0 lr_n0
node=0x41, type=1, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=1 lr_nf
node=0x42, type=1, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=1 lr_nf
node=0x61, type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=0 lr_n0
node=0x201, type=0, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=1 lr_1
node=0x211, type=0, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=2 lr_1

LR name Info for Node = node0_RP0_CPU0

dSC node:          0/RP0/CPU0
standby dSC node: 0/RP1/CPU0

LRs (Configured, pre-existing) basic info:
Name              LRid  dLRSC          backup_dLRSC
-----
Owner             0     0/RP0/CPU0    0/RP1/CPU0

LRs (Configured, pre-existing) basic info:
Lr-Names          LRid  dLRSC          StbydLRSC    Primary      Primary1     McastAddr
-----
Owner             0     0/RP0/CPU0    0/RP1/CPU0  0/RP0/CPU0  0/RP1/CPU0  0

Client Vector for Node = node0_RP0_CPU0
Received 23 currently connected lrd clients
```

show tech-support lrd

```

PID      op      eFLAGS    cFLAGS
-----
168027   0x1     0x4       0x3
77863    0x11    0x204     0x1
81963    0x10    0x200     0x0
168024   0x2     0x0       0x0
168026   0x2     0x0       0x0
200800   0x1     0x4       0x1f
204909   0x1     0x4       0xb
209006   0x23    0x84      0xb
385148   0x1     0x4       0x7
385149   0x1     0x4       0x7
381047   0x41    0x25      0x3
381043   0x1     0x4       0x3
381041   0x1     0x4       0x7
397456   0x1     0x4       0x3
397485   0x1     0x14      0x4
397484   0x1     0x14      0x4
397498   0x1     0x4       0x4
405725   0x1     0x4       0x7
405735   0x1     0x4       0x4
405744   0x40    0x1       0x0
434434   0x1     0x4       0x7
434435   0x1     0x4       0x7
434433   0x1     0x4       0x7

DLL loaded for Node = node0_RP0_CPU0
      dll name                               version
-----

```

Node State Info for Node = node0_RP0_CPU0

Type	Node	Nodeid	Prev State	Cur State	LRid	(PD c)
LC (2)	0/1/CPU0	0x11	RUNNING_MBI (5)	RUNNING_ENA (6)	0	(5242)
DRP (1)	0/4/CPU0	0x41	RUNNING_MBI (5)	RUNNING_ENA (6)	0	(119)
DRP (1)	0/4/CPU1	0x42	RUNNING_MBI (5)	RUNNING_ENA (6)	0	(119)
LC (2)	0/6/CPU0	0x61	RUNNING_MBI (5)	RUNNING_ENA (6)	0	(5242)
RP (0)	0/RP0/CPU0	0x201	RUNNING_MBI (5)	RUNNING_ENA (6)	0	(19)
RP (0)	0/RP1/CPU0	0x211	PRESENT (1)	RUNNING_ENA (6)	0	(19)

Sw State Info for Node = node0_RP0_CPU0

Type	Node	Nodeid	PrevState (BAND)	CurState (BAND)	Red-Role/ Red-State	Partner node	Par nae
LC (2)	0/1/CPU0	0x11	INFRA	FINAL	Active/Down	0xffffffff	
DRP (1)	0/4/CPU0	0x41	INFRA	FINAL	Active/Down	0xffffffff	
DRP (1)	0/4/CPU1	0x42	INFRA	FINAL	Active/Down	0xffffffff	
LC (2)	0/6/CPU0	0x61	INFRA	FINAL	Active/Down	0xffffffff	
RP (0)	0/RP0/CPU0	0x201	INFRA	FINAL	Active/Down	0x211	
RP (0)	0/RP1/CPU0	0x211	INFRA	FINAL	Standby/Down	0x201	

Config Info for Node = node0_RP0_CPU0
LRd basic configuration data:

```

node           : 0x201
lr_id          : 0
lr_name        : Owner
dsc node       : 0x201
dsc partner node : 0x211
dlrsc node     : 0x201
dlrsc partner node : 0x211
am I dSC       : Yes
am I STBY dSC  : NO
am I dLRSC     : Yes
am I STBY dLRSC : NO
primary node   : 0x201
primary node1  : 0x211
mcast addr     : 0x0
mac addr       : 0x01563c0b00

```

ADMIN CONFIG is APPLIED

```

lrd log file path is /net/node0_RP0_CPU0/tmp/lrd.log
-----LRD LOG START FOR NODE node0_RP0_CPU0-----
10/11 10:19:16.309 1 main: ---LRD starting---
10/11 10:19:16.325 1 main: *****LRD on Node=0x201*****
10/11 10:19:16.327 1 main: mutex init for inv_mutex DONE.
10/11 10:19:17.772 1 lrd_get_dsc: dsc = 201
10/11 10:19:17.774 1 main: We are dsc.
10/11 10:19:17.776 1 main: Registering with SSM as service provider. Once
-----
                                show tech-support lrd
-----

+++ lrdbg -I -1: lrd server inventory [17:21:35.603 UTC Fri Dec 18 2009] ++++

Success: node_count=8, ready=1
node=0x1(0/RSP0/CPU0), type=0, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=1
lr_name=Owner pd_card_type=0x100302, partner=0x11
node=0x11(0/RSP1/CPU0), type=0, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=2
lr_name=Owner pd_card_type=0x100302, partner=0x1
node=0x4a0(0/FT0/SP), type=5, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=1, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0x0
node=0x4b0(0/FT1/SP), type=5, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=1, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0x0
node=0x821(0/0/CPU0), type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0x30207
node=0x841(0/2/CPU0), type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0x30207
node=0x851(0/3/CPU0), type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=0, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0x3020a
node=0xe10(0/PM1/SP), type=5, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=1, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0xf00188

---- lrdbg -I -1: lrd server inventory [17:21:36.023 UTC Fri Dec 18 2009] ----

++ lrdbg -L local_node_lrd: local LR config info [17:21:36.215 UTC Fri Dec 18 2009] +++

lrdbg 'i' getting CONFIG INFO
Starting lrdbg commands for node = 0/RSP0/CPU0
lrdbg: temp_node_name copied is 0/RSP0/CPU0
node_name = node0_RSP0_CPU0 chan_name = /net/node0_RSP0_CPU0/dev/lrd_local
user_nodeid=1 user_lname = Owner
Local nodeid=1 Local lname=Owner
User nodeid=1 User lname = Owner User lrid=0
lrdbg: Successfully connected to channel /net/node0_RSP0_CPU0/dev/lrd_local

Starting lrdbg commands for node = node0_RSP0_CPU0 lrid = 0

DLRSC Info for Node = node0_RSP0_CPU0 Nodeid = 0x1 lrid = 0
We are the dLRSC, Backup dLRSC is 0x11

```

show tech-support lrd

```

Inventory Info for Node = node0_RSP0_CPU0 lrid = 0
Success: node count=5, ready=1
node=0x1(0/RSP0/CPU0), type=0, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=1
lr_name=Owner pd_card_type=0x100302, partner=0x11
node=0x11(0/RSP1/CPU0), type=0, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=2
lr_name=Owner pd_card_type=0x100302, partner=0x1
node=0x821(0/0/CPU0), type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0x30207
node=0x841(0/2/CPU0), type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0x30207
node=0x851(0/3/CPU0), type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=0, red_state=0
lr_name=Owner pd_card_type=0x3020a

LR name Info for Node = node0_RSP0_CPU0

dSC node:          0/RSP0/CPU0
standby dSC node: 0/RSP1/CPU0

LRs (Configured, pre-existing) basic info:
Name                LRid  dLRSC          backup_dLRSC
-----
Owner                0     0/RSP0/CPU0    0/RSP1/CPU0

LRs (Configured, pre-existing) basic info:
Lr-Names            LRid dLRSC          StbydLRSC    Primary    Primary1    McastAddr    MacAddr
-----
Owner                0     0/RSP0/CPU0  0/RSP1/CPU0  0/RSP0/CPU0  0/RSP1/CPU0  0
0211bfcfe7e

Client Vector for Node = node0_RSP0_CPU0
Received 25 currently connected lrd clients
PID    op    eFLAGS    cFLAGS
-----
213071  0x40  0x1       0x0
213090  0x1   0x4       0x3
163876  0x11  0x204     0x1
176173  0x10  0x200     0x0
184381  0x1   0x4       0x1
213089  0x2   0x0       0x0
208966  0x23  0x84      0x1
229494  0x1   0x4       0x1
221289  0x1   0x4       0x1f
241796  0x41  0x15      0x3
245905  0x40  0x1       0x0
245902  0x1   0x14      0x7
245901  0x1   0x14      0x7
237682  0x1   0x4       0x7
237695  0x1   0x4       0x3
245908  0x40  0x1       0x0
245907  0x40  0x1       0x0
213092  0x1   0x14      0x3
254123  0x1   0x14      0x3
254124  0x1   0x4       0x4
262347  0x1   0x4       0x4
262351  0x1   0x14      0x4
270550  0x1   0x4       0x7
254139  0x40  0x1       0x4
270596  0x40  0x1       0x0

DLL loaded for Node = node0_RSP0_CPU0
liblrd_dl_node_state_0.dll          0.0
liblrd_dl_sw_state_0.dll            0.0
liblrd_dl_fwd_ldr_0.dll             0.0
liblrd_alpha_fwd.dll                1.0
liblrd_envmon_fwd.dll               1.0
liblrd_invmgr_fwd.dll               1.0
dll name                             version

Node State Info for Node = node0_RSP0_CPU0

Type      Node      Nodeid    Prev State    Cur State    LRid  (PD ctype)
(old-lr-id)

```

```

-----
RP (0)    0/RSP0/CPU0  0x1    RUNNING_MBI (5)    RUNNING_ENA (6)    0    (0x100302) (-1)
RP (0)    0/RSP1/CPU0  0x11   RUNNING_MBI (5)    RUNNING_ENA (6)    0    (0x100302) (-1)
LC (2)    0/0/CPU0     0x821  RUNNING_MBI (5)    RUNNING_ENA (6)    0    (0x30207) (-1)
LC (2)    0/2/CPU0     0x841  RUNNING_MBI (5)    RUNNING_ENA (6)    0    (0x30207) (-1)
LC (2)    0/3/CPU0     0x851  BRINGDOWN (7)     NOT_PRESENT (0)    0    (0x3020a) (-1)

```

Sw State Info for Node = node0_RSP0_CPU0

```

-----
Type      Node          Nodeid  PrevState  CurState  Red-Role/  Partner  Pair
          (BAND)      (BAND)  Red-State  node      name
-----
RP (0)    0/RSP0/CPU0  0x1    INFRA      FINAL     Active/Down  0x11
RP (0)    0/RSP1/CPU0  0x11   INFRA      FINAL     Standby/Down  0x1
LC (2)    0/0/CPU0     0x821  INFRA      FINAL     Active/Down  0xffffffff
LC (2)    0/2/CPU0     0x841  INFRA      FINAL     Active/Down  0xffffffff
LC (2)    0/3/CPU0     0x851  INFRA      --        Unknown/Down  0xffffffff

```

Config Info for Node = node0_RSP0_CPU0
LRd basic configuration data:

```

-----
node           : 0x1
lr_id          : 0
lr_name        : Owner
dsc node       : 0x1
dsc partner node : 0x11
dlrsc node     : 0x1
dlrsc partner node : 0x11
am I dSC       : Yes
am I STBY dSC  : NO
am I dLRSC     : Yes
am I STBY dLRSC : NO
primary node   : 0x1
primary node1  : 0x11
mcast addr     : 0x0
mac addr       : 0x0211bfcfe7e
-----
ADMIN CONFIG is APPLIED
-----

```

--- lrdbg -L local_node_lrd: local LR config info [17:21:36.695 UTC Fri Dec 18 2009] ---

+++ lrd_show -I for this SDR-s DSDRSC [17:21:36.846 UTC Fri Dec 18 2009] ++++

```

Success: node_count=5, ready=1
node=0x1, type=0, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=1, lr_name=Owner,
pd_card_type=0x100302, partner=0x11
node=0x11, type=0, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=2, lr_name=Owner,
pd_card_type=0x100302, partner=0x1
node=0x821, type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=0, lr_name=Owner,
pd_card_type=0x30207
node=0x841, type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=6, red_state=0, lr_name=Owner,
pd_card_type=0x30207
node=0x851, type=2, memsize=256, cpus=1, speed=100, sw_state=0, red_state=0, lr_name=Owner,
pd_card_type=0x3020a

```

---- lrd_show -I for this SDR-s DSDRSC [17:21:37.240 UTC Fri Dec 18 2009] ----

+++ lrdbg -n -1: lrd server node states [17:21:37.386 UTC Fri Dec 18 2009] ++++

```

Type      Node          Nodeid  Prev State  Cur State  Lrid (PD ctype)

```

show tech-support lrd

```
(old-lr-id)
-----
RP(0) 0/RSP0/CPU0 0x1 RUNNING_MBI(5) RUNNING_ENA(6) 0 (0x100302) (-1)
RP(0) 0/RSP1/CPU0 0x11 RUNNING_MBI(5) RUNNING_ENA(6) 0 (0x100302) (-1)
LC(2) 0/0/CPU0 0x821 RUNNING_MBI(5) RUNNING_ENA(6) 0 (0x30207) (-1)
LC(2) 0/2/CPU0 0x841 RUNNING_MBI(5) RUNNING_ENA(6) 0 (0x30207) (-1)
LC(2) 0/3/CPU0 0x851 BRINGDOWN(7) NOT_PRESENT(0) 0 (0x3020a) (-1)
```

```
--- lrdbg -n -1: lrd server node states [17:21:37.766 UTC Fri Dec 18 2009] ----
```

```
+++ lrdbg -s -1: lrd server software states [17:21:37.914 UTC Fri Dec 18 2009] ++++
```

```
-----
Type      Node          Nodeid  PrevState  CurState  Red-Role/  Partner  Pair
          (BAND)        (BAND)  (BAND)     Red-State node       name
-----
RP(0)    0/RSP0/CPU0  0x1     INFRA      FINAL     Active/Down  0x11
RP(0)    0/RSP1/CPU0  0x11    INFRA      FINAL     Standby/Down 0x1
LC(2)    0/0/CPU0     0x821   INFRA      FINAL     Active/Down  0xffffffff
LC(2)    0/2/CPU0     0x841   INFRA      FINAL     Active/Down  0xffffffff
LC(2)    0/3/CPU0     0x851   INFRA      --        Unknown/Down 0xffffffff
```

```
--- lrdbg -s -1: lrd server software states [17:21:38.294 UTC Fri Dec 18 2009] ----
```

```
+++++++ show ltrd-trace server [17:21:38.439 UTC Fri Dec 18 2009] ++++++
```

```
lrd_show_ltrace -F lrd/sntf -TP1
```

```
41 wrapping entries (1024 possible, 0 filtered, 41 total)
```

```
Shelfmgr Notfs Rcvd:
```

```
adminshut          R/S/I      node_state  cardstate  adminpower

-----
Dec 14 11:19:58.255 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/0/1      RUNNING_ENA      6
1 0
Dec 14 11:19:58.259 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/132/1     PRESENT          1
1 0
Dec 14 11:19:58.264 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/130/1     BOOTING          3
1 0
Dec 14 11:19:58.267 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/75/0      PRESENT          1
1 0
Dec 14 11:19:58.268 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/74/0      PRESENT          1
1 0
Dec 14 11:19:59.320 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/1/1       RUNNING_MBI      5
1 0
Dec 14 11:19:59.335 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/225/0     PRESENT          1
1 0
Dec 14 11:19:59.342 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/132/1     BOOTING          3
1 0
Dec 14 11:19:59.354 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/132/1     BOOTING          3
1 0
Dec 14 11:20:23.304 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/130/1     MBI_BOOTING      4
1 0
Dec 14 11:20:23.314 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/132/1     MBI_BOOTING      4
1 0
Dec 14 11:21:45.710 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/130/1     RUNNING_MBI      5
1 0
Dec 14 11:21:46.237 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/132/1     RUNNING_MBI      5
```

```

1          0
Dec 14 11:22:01.426 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/1/1      RUNNING_ENA      6
1          0
Dec 14 11:23:21.504 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/130/1     RUNNING_ENA      6
1          0
Dec 14 11:23:21.511 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/132/1     RUNNING_ENA      6
1          0
Dec 14 15:42:37.504 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/133/1     PRESENT          1
1          0
Dec 14 15:42:37.608 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/133/1     BOOTING          3
1          0
Dec 14 15:42:37.614 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/133/1     BOOTING          3
1          0
Dec 14 15:43:02.999 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/133/1     MBI_BOOTING     4
1          0
Dec 14 15:43:48.408 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/133/1     RUNNING_MBI     5
1          0
Dec 14 15:45:05.176 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/133/1     RUNNING_ENA     6
1          0
Dec 15 14:53:15.444 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/133/1     BRINGDOWN       7
1          0
Dec 15 14:53:15.461 lrd/sntf 0/RSP0/CPU0 t13 : 0/133/1     NOT_PRESENT     0
1          0

```

----- show ltrd-trace server [17:21:38.840 UTC Fri Dec 18 2009] -----

+++++++ show ltrd-trace server [17:21:38.985 UTC Fri Dec 18 2009] ++++++

lrd_show_ltrace -F lrd/sntf -TP2

41 wrapping entries (1024 possible, 0 filtered, 41 total)

Shelfmgr

Notifs processed:

n-state	pd-ctype	pi-ctype	nodeid	o-LRid	LRid	o-state
Dec 14 11:19:58.261	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/2/CPU0	(0x841)	0	0	NOT_PRESENT
PRESENT	0x0	UNKN				
Dec 14 11:19:58.265	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/0/CPU0	(0x821)	0	0	NOT_PRESENT
BOOTING	0x0	UNKN				
Dec 14 11:19:58.268	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/FT1/SP	(0x4b0)	-1	-1	NOT_PRESENT
PRESENT	0x0	UNKN				
Dec 14 11:19:58.269	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/FT0/SP	(0x4a0)	-1	-1	NOT_PRESENT
PRESENT	0x0	UNKN				
Dec 14 11:19:59.327	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/RSP1/CPU0	(0x11)	0	0	NOT_PRESENT
RUNNING_MBI	0x100000	RP				
Dec 14 11:19:59.341	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/PM1/SP	(0xe10)	-1	-1	NOT_PRESENT
PRESENT	0xf00188	UNKN				
Dec 14 11:19:59.345	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/2/CPU0	(0x841)	0	0	PRESENT
BOOTING	0x0	UNKN				
Dec 14 11:20:23.306	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/0/CPU0	(0x821)	0	0	BOOTING
MBI_BOOTING	0x30207	LC				
Dec 14 11:20:23.316	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/2/CPU0	(0x841)	0	0	BOOTING
MBI_BOOTING	0x30207	LC				
Dec 14 11:21:45.711	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/0/CPU0	(0x821)	0	0	MBI_BOOTING
RUNNING_MBI	0x30207	LC				
Dec 14 11:21:46.239	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/2/CPU0	(0x841)	0	0	MBI_BOOTING
RUNNING_MBI	0x30207	LC				
Dec 14 15:42:37.508	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/3/CPU0	(0x851)	0	0	NOT_PRESENT
PRESENT	0x0	UNKN				
Dec 14 15:42:37.609	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/3/CPU0	(0x851)	0	0	PRESENT
BOOTING	0x0	UNKN				
Dec 14 15:43:03.000	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/3/CPU0	(0x851)	0	0	BOOTING
MBI_BOOTING	0x3020a	LC				
Dec 14 15:43:48.409	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/3/CPU0	(0x851)	0	0	MBI_BOOTING
RUNNING_MBI	0x3020a	LC				
Dec 15 14:53:15.447	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/3/CPU0	(0x851)	0	0	RUNNING_ENA
BRINGDOWN	0x3020a	LC				
Dec 15 14:53:15.462	lrd/sntf	0/RSP0/CPU0 t13 : 0/3/CPU0	(0x851)	0	0	BRINGDOWN

show tech-support lrd

```

NOT_PRESENT      0x3020a  LC

----- show ltrd-trace server [17:21:39.392 UTC Fri Dec 18 2009] -----

+++++++ show ltrd-trace server [17:21:39.548 UTC Fri Dec 18 2009] ++++++

lrd_show_ltrace -F lrd/sreg -TP1

29 wrapping entries (64 possible, 0 filtered, 29 total)

Client New Registrations:
Event-flags  Card-flags                jid      pid      Msg-op
-----
Dec 14 11:19:47.723 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 389      213071  DLRSC
dlrsc-state  Unknwn
Dec 14 11:19:47.725 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 406      213090  Node State
card-state   RP  DRP
Dec 14 11:19:47.727 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 95       163876  Pri LR           Unknwn
Unknwn
Dec 14 11:19:47.731 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 168      176173  Pri LR           Unknwn
Unknwn
Dec 14 11:19:47.739 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 404      184381  Node State
card-state   RP
Dec 14 11:19:47.746 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 283      213089  LR Crt/Del      Unknwn
Unknwn
Dec 14 11:19:47.755 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 225      208966  Node State
card-state   RP
Dec 14 11:19:55.671 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 226      229494  Node State
card-state   RP
Dec 14 11:19:56.522 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 335      221289  Node State
card-state   RP  DRP  LC  Other
Dec 14 11:20:00.929 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 348      241796  DLRSC
dlrsc-state  Unknwn
Dec 14 11:20:02.842 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 245      245905  DLRSC
dlrsc-state  Unknwn
Dec 14 11:20:04.054 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 256      245902  Node State
card-state   sw-state  RP  DRP  LC
Dec 14 11:20:04.054 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 241      245901  Node State
card-state   sw-state  RP  DRP  LC
Dec 14 11:20:04.699 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 219      237682  Node State
card-state   RP  DRP  LC
Dec 14 11:20:09.686 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 289      237695  Node State
card-state   RP  DRP
Dec 14 11:20:09.904 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 246      245908  DLRSC
dlrsc-state  Unknwn
Dec 14 11:20:11.607 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 266      245907  DLRSC
dlrsc-state  Unknwn
Dec 14 11:20:15.748 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 155      213092  Node State
card-state   sw-state  RP  DRP
Dec 14 11:20:20.401 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 341      254123  Node State
card-state   sw-state  RP  DRP
Dec 14 11:20:24.754 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 278      254124  Node State
card-state   LC
Dec 14 11:20:29.079 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 144      262347  Node State
card-state   LC
Dec 14 11:20:33.883 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 342      262351  Node State
card-state   sw-state  LC
Dec 14 11:20:34.194 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 181      270550  Node State
card-state   RP  DRP  LC
Dec 14 11:20:36.280 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 312      254139  DLRSC
dlrsc-state  LC
Dec 14 11:20:53.951 lrd/sreg 0/RSP0/CPU0 t15 : 398      270596  DLRSC
dlrsc-state  Unknwn

----- show ltrd-trace server [17:21:40.125 UTC Fri Dec 18 2009] -----

```

+++++++ show ltrd-trace server [17:21:40.326 UTC Fri Dec 18 2009] ++++++

lrd_show_ltrace -F lrd/sreg -TP2

29 wrapping entries (64 possible, 0 filtered, 29 total)

Event-flags	Card-flags	jid	pid	Client re-Registrations:		
				Curr-msg-op	New-Msg-op	
Dec 14 11:19:47.757	lrd/sreg 0/RSP0/CPU0	t15	: 95	163876	Pri LR	Node
State	Unknwn	Unknwn				
Dec 14 11:20:00.940	lrd/sreg 0/RSP0/CPU0	t15	: 348	241796	DLRSC	Node
State	dlrsc-state	Unknwn				
Dec 14 11:20:46.317	lrd/sreg 0/RSP0/CPU0	t15	: 225	208966	Node State	LR
Crt/Del	card-state	RP				
Dec 14 11:20:46.317	lrd/sreg 0/RSP0/CPU0	t15	: 225	208966	unkwn	DLSRC
Down	card-state	RP				

----- show ltrd-trace server [17:21:40.774 UTC Fri Dec 18 2009] -----

+++++++ show ltrd-trace server [17:21:40.994 UTC Fri Dec 18 2009] ++++++

No messages to display
lrd_show_ltrace -F lrd/sdwn -TP1

----- show ltrd-trace server [17:21:41.511 UTC Fri Dec 18 2009] -----

+++++++ show ltrd-trace server [17:21:41.653 UTC Fri Dec 18 2009] ++++++

No messages to display
lrd_show_ltrace -F lrd/sdwn -TP2

----- show ltrd-trace server [17:21:42.014 UTC Fri Dec 18 2009] -----

+++++++ show ltrd-trace server [17:21:42.150 UTC Fri Dec 18 2009] ++++++

lrd_show_ltrace -F lrd/supd -TP1

20 wrapping entries (1024 possible, 0 filtered, 20 total)

red-role	partner	pi-ctype	LRid	nodeid	SW updates sent:	
					o-state	n-state
Dec 14 11:19:47.645	lrd/supd 0/RSP0/CPU0	t3	: 0/RSP0/CPU0 (0x1)		NO STATE	ARB BAND
Active	0x11	RP	0			
Dec 14 11:19:56.368	lrd/supd 0/RSP0/CPU0	t4	: 0/RSP0/CPU0 (0x1)		ARB BAND	ADMIN BAND
Active	0x11	RP	0			
Dec 14 11:20:18.381	lrd/supd 0/RSP0/CPU0	t1	: 0/RSP0/CPU0 (0x1)		ADMIN BAND	INFRA BAND
Active	0x11	RP	0			
Dec 14 11:20:54.823	lrd/supd 0/RSP0/CPU0	t4	: 0/RSP0/CPU0 (0x1)		INFRA BAND	FINAL BAND
Active	0x11	RP	0			

show tech-support mpls ldp

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support mpls ldp** コマンドを使用します。

show tech-support mpls ldp {file *send-to* [background] [compressed|uncompressed]} terminal [page] location *node-id*}

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。

page	(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。node-id 引数は、rack/slot/module の形式で入力します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。file send-to キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ LDP のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read
mpls-ldp	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support mpls ldp** コマンドの切り詰められた出力を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support mpls ldp terminal page
-----
show tech-support mpls ldp (Detail with Event traces)
-----
----- show version -----
Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0.16I[SIT1_IMAGE1]
Copyright (c) 2009 by Cisco Systems, Inc.

ROM: System Bootstrap, Version 1.48(20070928:224557) [CRS-1 ROMMON],

P1_CRS-8 uptime is 4 days, 21 hours, 43 minutes
System image file is "disk0:hfr-os-mbi-3.6.0.16I/mbihfr-rp.vm"

cisco CRS-8/S (7457) processor with 4194304K bytes of memory.
7457 processor at 1197Mhz, Revision 1.2

4 T3 Port controller(s)
20 Packet over SONET/SDH network interface(s)
20 SONET/SDH Port controller(s)
4 Serial network interface(s)
4 Ethernet/IEEE 802.3 interface(s)
16 GigabitEthernet/IEEE 802.3 interface(s)
1019k bytes of non-volatile configuration memory.
38079M bytes of hard disk.
1000592k bytes of ATA PCMCIA card at disk 0 (Sector size 512 bytes).
1000640k bytes of ATA PCMCIA card at disk 1 (Sector size 512 bytes).

Configuration register on node 0/1/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
hfr-sbc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 15:07:32 DST 2007
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-pagent, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 15:58:47 DST 2007
  By iox42.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-fpd, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:48:41 DST 2007
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-diags, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.6.0.16I
  Built on Tue Oct  2 14:48:32 DST 2007
  By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mcast, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mcast-3.6.0.16I
```

```
Built on Tue Oct  2 14:26:29 DST 2007
By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-mpls, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-mpls-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:22:48 DST 2007
By sjce-gf-061.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-lc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-lc-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 14:02:24 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-fwgd, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fwgd-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 13:57:12 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-admin, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-admin-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 13:53:07 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-base, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-base-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 13:51:10 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-os-mpi, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mpi-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 13:28:38 DST 2007
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

Configuration register on node 0/4/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/4/CPU0 is disk0:
Package active on node 0/4/CPU0:
hfr-sbc, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 15:07:32 DST 2007
By sjce-gf-071.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE8

hfr-pagent, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.6.0.16I
Built on Tue Oct  2 15:58:47 DST 2007
By iox42.cisco.com in /auto/ioxbuild2/production/3.6.0.16I.SIT1_IMAGE1/hfr/8

hfr-fpd, V 3.6.0.16I[SIT1_IMAGE1], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.6.0.16I
```

show tech-support mpls rsvp

マルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) リソース予約プロトコル (RSVP) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support mpls rsvp** コマンドを使用します。

show tech-support mpls rsvp {terminal [page]| file *send-to* [background] [compressed|uncompressed]}

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。

uncompressed (任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

MPLSRSPV のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support mpls** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ **RSVP** のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注) ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support mpls rsvp コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show rsvp interface detail**
- **show rsvp counters pak**
- **show rsvp counters handles**
- **show rsvp counters database private**
- **show rsvp counters messages private**
- **show rsvp counters memory**

- **show rsvp counters events**
- **show rsvp counters notifications-client**
- **show rsvp counters request**
- **show rsvp counters destroy-reasons**
- **show rsvp counters policy**
- **show rsvp graceful-restart**
- **show rsvp fast-reroute summary**
- **show rsvp graceful-restart neighbors detail**
- **show rsvp hello instance detail**
- show rsvp sender detail
- **show rsvp reservation detail**
- **show rsvp request detail**
- **show rsvp session detail**
- **show rsvp authentication**
- **show rsvp sender private**
- **show rsvp reservation private**
- **show rsvp request private**
- **show rsvp interface private**
- **show rsvp installed private**
- **show rsvp trace events**
- **show rsvp trace default**
- **show rsvp trace buffer**
- **show rsvp trace interface**
- **show rsvp trace errors**
- **show rsvp trace client**
- **show rsvp debug-error**

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

タスク ID	操作
mpls-te または oui	read

例

次に、**show tech-support mpls rsvp** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support mpls rsvp terminal page
-----
show tech-support mpls rsvp (Detail with Event traces)
-----

----- show rsvp interface detail -----
INTERFACE: GigE0/1/0/0 (ifh=0x1180060).
VRF ID: 0x0 (Default).
BW (bits/sec): Max=1230M. MaxFlow=1230M.
                Allocated=0 (0%). MaxSub=0.
Signalling: No DSCP marking. No rate limiting.
States in: 0. Max missed msgs: 4.
Expiry timer: Not running. Refresh interval: 45s.
Normal Refresh timer: Not running. Summary refresh timer: Not running.
Refresh reduction local: Enabled. Summary Refresh: Enabled (4096 bytes max).

Reliable summary refresh: Disabled. Bundling: Enabled. (4096 bytes max).
Ack hold: 400 ms, Ack max size: 4096 bytes. Retransmit: 900ms.

----- show rsvp counters pak -----
Number of pak TX=0
Number of pak events received from raw=1
Number of spurious events received from raw=1
Number of packets received from raw=0
Number of errored drops=0
Authentication queue:
  Number of enqueues=0
  Number of drops due to max q size=0
  High water mark=0
  Current queue size=0
High priority queue:
  Number of enqueues=0
  Number of drops due to max q size=0
  High water mark=0
  Current queue size=0
Low priority queue:
  Number of enqueues=0
  Number of drops due to max q size=0
  High water mark=0
  Current queue size=0

----- show rsvp counters handles -----
All allocated handles:      5
Unallocated cached handles: 1019
-----
LXSB handles:      1
ISB handles:      2
KI handles:       1
-----
Total handles ever allocated: 5
Total handles ever freed:   0
```

```
----- show rsvp counters database private -----
```

```

Sessions: 0
  Locally created and incoming Paths: 0
    Outgoing Paths: 0
Locally created and incoming Reservations: 0
  Outgoing Reservations: 0
    Interfaces: 2
    Installed: 0
    New LSP count: 0
    Refreshed LSP count: 0
LSP count recovered from checkpoint: 0
  Proxy Senders: 0
  Proxy Reservations: 0
  Proxy Listeners: 1
  TMB allocation: 0
  Local Routes: 22

```

```
----- show rsvp counters messages private -----
```

Routed	Recv	Xmit		Recv	Xmit
Path		0	Resv		0
PathError		0	ResvError		0
PathTear		0	ResvTear		0
ResvConfirm		0	Hello		0
Ack		0	SRefresh		0
Challenge		0	ChallengeRsp		0
Retransmit		0	Rate Limited		0
OutOfOrder					
Bundle		0	AckSubmsg		0
PathSubmsg		0	ResvSubmsg		0
PathTearSubmsg		0	ResvTearSubmsg		0
PathErrorSubmsg		0	ResvErrorSubmsg		0
PathQuery		0			
POS0/1/0/0	Recv	Xmit		Recv	Xmit
Path	0	0	Resv	0	0
PathError	0	0	ResvError	0	0
PathTear	0	0	ResvTear	0	0
ResvConfirm	0	0	Hello	0	0
Ack	0	0	SRefresh	0	0
Challenge	0	0	ChallengeRsp	0	0
Retransmit		0	Rate Limited		0
OutOfOrder	0				
Bundle	0	0	AckSubmsg	0	0
PathSubmsg	0	0	ResvSubmsg	0	0
PathTearSubmsg	0	0	ResvTearSubmsg	0	0
PathErrorSubmsg	0	0	ResvErrorSubmsg	0	0
PathQuery	0	0			
All RSVP Interfaces	Recv	Xmit		Recv	Xmit
Path	0	0	Resv	0	0
PathError	0	0	ResvError	0	0
PathTear	0	0	ResvTear	0	0
ResvConfirm	0	0	Hello	0	0
Ack	0	0	SRefresh	0	0
Challenge	0	0	ChallengeRsp	0	0
Retransmit		0	Rate Limited		0
OutOfOrder	0				
Bundle	0	0	AckSubmsg	0	0
PathSubmsg	0	0	ResvSubmsg	0	0
PathTearSubmsg	0	0	ResvTearSubmsg	0	0
PathErrorSubmsg	0	0	ResvErrorSubmsg	0	0
PathQuery	0	0			

```
----- show rsvp counters memory -----
```

Pool size	Count
32	0
48	0
96	0

```

128                0
192                0
256                0
Dynamic            0

```

```

----- show rsvp counters events -----
POS0/1/0/0                All RSVP Interfaces
Expired Path states      0                Expired Path states      0
Expired Resv states     0                Expired Resv states     0
NACKs received          0                NACKs received          0

```

```

----- show rsvp counters notifications-client -----
Total notifications      Total filtered notifications
Path delete              0 Path delete              0
Path error               0 Path error                0
Path change              0 Path change               0
Matching Resv create     0 Matching Resv create     0
Matching Resv change     0 Matching Resv change     0
Matching Resv delete     0 Matching Resv delete     0
Async Path create        0 Async Path create        0
Resv delete              0 Resv delete               0
Resv error                0 Resv error                0
Resv confirm              0 Resv confirm              0
Async Resv create        0 Async Resv create        0
Listener Path create     0 Listener Path create     0
Listener Path change     0 Listener Path change     0
Listener Path delete     0 Listener Path delete     0
Listener Path FRR        0 Listener Path FRR        0
Listener Assign Backup err 0 Listener Assign Backup err 0
Listener Resv create     0 Listener Resv create     0
Listener Resv change     0 Listener Resv change     0
Listener Resv delete     0 Listener Resv delete     0
Restart Time             0 Restart Time             0
Recovery Done            0 Recovery Done            0

```

show tech-support mpls traffic-eng

マルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング (TE) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support mpls traffic-eng** コマンドを使用します。

show tech-support mpls traffic-eng {terminal [page]| file *send-to* [background] [compressed|uncompressed]} [forwarding tunnel-name *tunnel name*] [tunnel-number *number*]

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
forwarding	(任意) トンネルのフォワーディング情報を表示します。
tunnel-name	(任意) RSVP プロセスで使用されるトンネル名を表示します。
<i>tunnel name</i>	(任意) トンネルの名前。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。

page	(任意) コマンド出力が一度に1ページずつ表示されるように指定します。 Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
tunnel-number	(任意) RSVP プロセスで使用されるトンネル番号を指定します。
number	(任意) トンネルの番号。有効な範囲は 0 ~ 65535 です。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。**file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカルサポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ MPLS-TE の情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read
mpls-te	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support mpls traffic-eng** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support mpls traffic-eng terminal page
-----
show tech-support mpls traffic-eng
-----
----- show mpls traffic-eng tunnels summary -----
Signalling Summary:
    LSP Tunnels Process: running
    RSVP Process: running
    Forwarding: enabled
    Head: 0 interfaces, 0 active signalling attempts, 0 established
          0 explicit, 0 dynamic
          0 activations, 0 deactivations
          0 recovering, 0 recovered
    Mids: 2
    Tails: 0
    Periodic reoptimization: every 3600 seconds, next in 2703 seconds
    Periodic FRR Promotion: every 300 seconds, next in 106 seconds
    Periodic auto-bw collection: disabled

Fast ReRoute Summary:
    Head: 0 FRR tunnels, 0 protected, 0 rerouted
    Mid: 0 FRR tunnels, 0 protected, 0 rerouted
    Summary: 0 protected, 0 link protected, 0 node protected, 0 bw protected
    Backup: 0 tunnels, 0 assigned
    Interface: 0 protected, 0 rerouted

----- show mpls traffic-eng counters tunnels summary -----
Head:                               Mid:                               Tail:
Total:                               0 Total:                               8 Total:                               0
Sender Create:                       0 Path Create:                       2 Path Create:                       0
Sender Modify:                       0 Path Change:                       0 Path Change:                       0
Sender Delete:                       0 Path Delete:                       0 Path Delete:                       0
RESV Create:                         0 Receiver Create:                   2 Receiver Create:                   0
RESV Change:                         0 Receiver Modify:                   0 Receiver Modify:                   0
RESV Delete:                         0 Receiver Delete:                   0 Receiver Delete:                   0
Path Delete:                         0 RESV Create:                       2 RESV Create:                       0
Path Error:                          0 RESV Delete:                       0 RESV Delete:                       0
Path Change:                         0 RESV Change:                       0 RESV Change:                       0
Path Create:                         0 Sender Create:                     2 RESV Error:                       0
RESV Confirm:                        0 Sender Modify:                     0
                                         Sender Delete                       0
Other:                               0 Other:                             0 Other:                             0

----- show mpls traffic-eng counters batch -----
Messages  Batches  MinSize  MaxSize  AverageSize  Description
-----
0          0         0         0         0             IF CREATE
0          0         0         0         0             CAPS ADD
```

```

0          0          0          0          0          MTU UPDATE
0          0          0          0          0          STATE UPDATE
0          0          0          0          0          IF REPLICATE
0          0          0          0          0          IF DEL CONFIRM
0          0          0          0          0          IF DELETE
25         23         1          2          1          NOTFN from IM
4          2          2          2          2          MESSAGE to RSVP
9          6          1          2          1          MESSAGES from RSVP
0          0          0          0          0          MESSAGES to IGP
0          0          0          0          0          SYSDB VRFNs
0          0          0          0          0          SYSDB APPLYs
2          1          2          2          2          MESSAGE to LSD
2          2          2          2          1          MESSAGES from LSD
12         6          1          6          2          MESSAGES to IPARM

```

```
----- show mpls traffic-eng link-management statistics summary -----
```

```
LSP Admission Statistics::
```

	Setup Requests	Setup Admits	Setup Rejects	Setup Errors	Tear Requests	Tear Preempts	Tear Errors
Path	2	2	0	0	0	0	0
Resv	2	2	0	0	0	0	0

```
----- show mpls traffic-eng link-management summary -----
```

```
System Information::
```

```

Links Count       : 6 (Maximum Links Supported 100)
Flooding System   : enabled
IGP Areas Count   : 1

```

```
IGP Areas
```

```
-----
```

```
IGP Area[1]:: OSPF 100 area 0
```

```

Flooding Protocol : OSPF
Flooding Status   : flooded

```

```
--More-- Zero Nodes Found.
```

```

Periodic Flooding : enabled (every 180 seconds)
Flooded Links     : 6
IGP System ID     : 10.1.1.1
MPLS TE Router ID : 10.1.1.1
IGP Neighbors     : 6

```

```
----- show mpls traffic-eng fast-reroute database summary -----
```

```
Status      Count
```

```
-----
```

```

Active      0
Ready       0
Partial     0

```

```
----- show mpls forwarding summary -----
```

```
Forwarding entries:
```

```

Label switching: 60
MPLS TE tunnel head: 0
MPLS TE fast-reroute: 0 via 0 protected next-hops
MPLS TE internal: 0

```

```
Forwarding updates:
```

```
392 updates, 37 messages
```

```
Labels in use:
```

```

Reserved: 3
Lowest: 0
Highest: 16059
Deleted stale label entries: 0

```

```
Pkt drops=0, fragm=0, fail_look=0
```

```

Pkts dropped: 0
Pkts fragmented: 0
Failed lookups: 0

```

```
----- show cef drop location 0/0/cpu0 -----  
CEF Drop Statistics
```

```
----- show cef drop location 0/1/cpu0 -----
```

```
CEF Drop Statistics
```

```
Node: 0/1/CPU0
```

Unresolved drops	packets :	0
Unsupported drops	packets :	0
Null0 drops	packets :	0
No route drops	packets :	0
No Adjacency drops	packets :	0
Checksum error drops	packets :	0

show tech-support multicast

マルチキャスト関連情報に固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support multicast** コマンドを使用します。

```
show tech-support multicast [address-family] classic [group group-address] {terminal [page]| file send-to}
[background| compressed| uncompressed] [source source address] [location node-id] [rack] [vrf vrf-name]
```

構文の説明

address-family	(任意) アドレス ファミリ固有の情報を収集します。 ipv4 または IPv6 を指定できます。
classic	(任意) 非高速メソッドを使用してマルチキャスト関連情報を取得します。
group	(任意) マルチキャスト グループ アドレスを指定します。
<i>group-address</i>	(任意) マルチキャスト グループのアドレスまたは名前。 4 分割ドット付き 10 進表記で記載されたマルチキャスト グループのアドレスです。 名前はドメインネーム システム (DNS) のホストテーブルで定義されています。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。 Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。 使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。
file	(任意) コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。

<i>sent-to</i>	(任意) ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rep: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
source	(任意) マルチキャスト送信元アドレスを表示します。
<i>source address</i>	(任意) マルチキャストの送信元アドレス。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。
vrf	(任意) VRF インスタンスを指定します。
<i>vrf-name</i>	(任意) VRF の名前。

コマンド デフォルト
 コマンド モード

出力は端末画面に出力されます。
 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

PIM、IGMP、および mcast のマルチキャスト関連情報に固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support multicast** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つマルチキャスト情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support multicast コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show version**
- **show running-config**
- **show ip interface brief**
- **show install**
- **show processes aborts location all**
- **show processes blocked location all**
- **show context location all**
- **show memory summary location all**
- **show ip access-lists show ip mhost default-interface**
- **show msdp summary**
- **show msdp globals**
- **show msdp sa-cache summary**
- **show msdp statistics peer**

- **show pim group-map**
- **show pim topology route-count**
- **show pim topology** *ip-address*
- **show pim rpf count**
- **show pim rpf**
- **show pim traffic**
- **show pim join-prune statistic**
- **show pim interface state-on**
- **show pim tunnel info all**
- **show pim neighbor**
- **show pim nsf**
- **show pim summary**
- **show igmp groups summary**
- **show igmp groups** *group-address*
- **show igmp interface**
- **show igmp traffic**
- **show igmp nsf**
- **show igmp summary**
- **show mrib client filter**
- **show mrib route summary**
- **show mrib route** *source-address*
- **show mrib nsf**
- **show cef ipv4** *prefix location node-id*
- **show mfib route summary location** *node-id*
- **show mfib route** *source-address location node-id*
- **show mfib counter location** *node-id*
- **show mfib nsf location** *node-id*
- **show mfib hardware route mofrr location** *node-id*
- **show mfib hardware route olist detail** *source-address location node-id*
- **show mfib hardware interface detail location** *node-id*
- **show mfib hardware route statistics** *source-address location node-id*
- **show mfib hardware resource-counter location** *node-id*
- **show mfib hardware adjacency detail location** *node-id*

• **show mfib hardware route accept-bitmap detail *source-address* location *node-id***

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services または cisco-support	read
multicast	read

例

次に、**show tech-support multicast** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support multicast terminal page
```

```
-----
show tech-support multicast location all
-----
```

```
----- show version -----
```

```
Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0
Copyright (c) 2009 by Cisco Systems, Inc.
```

```
ROM: System Bootstrap, Version 1.43(20061109:045749) [CRS-1 ROMMON],
```

```
Router uptime is 1 week, 4 days, 19 hours, 57 minutes
System image file is "disk0:hfr-os-mpi-3.8.0/mbihfr-rp.vm"
```

```
cisco CRS-1/S (7457) processor with 4194304K bytes of memory.
7457 processor at 1197Mhz, Revision 1.2
```

```
16 GigabitEthernet/IEEE 802.3 interface(s)
4 Ethernet/IEEE 802.3 interface(s)
20 Packet over SONET/SDH network interface(s)
20 SONET/SDH Port controller(s)
2043k bytes of non-volatile configuration memory.
38079M bytes of hard disk.
1000592k bytes of ATA PCMCIA card at disk 0 (Sector size 512 bytes).
1000640k bytes of ATA PCMCIA card at disk 1 (Sector size 512 bytes).
```

```
Configuration register on node 0/1/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
hfr-sbc, V 3.8.0, Cisco Systems, at disk0:hfr-sbc-3.8.0
  Built on Thu Mar 15 10:47:29 DST 2007
  By cisco.com in /auto/3.8.0
```

```
.
.
.
```

```
----- show ip interface brief -----
```

show tech-support multicast

Interface	IP-Address	Status	Protocol
Loopback0	10.1.1.1	Up	Up
SBC1	10.75.75.1	Up	Up
SBC2	10.50.50.1	Up	Up
Bundle-POS24	10.12.24.1	Up	Up
Bundle-Ether28	10.12.28.1	Up	Up
Bundle-Ether28.1	10.12.29.1	Up	Up
Bundle-Ether28.2	10.12.30.1	Up	Up
Bundle-Ether28.3	10.12.31.1	Up	Up
MgmtEth0/RP0/CPU0/0	172.29.52.70	Up	Up
POS0/1/0/0	unassigned	Shutdown	Down
POS0/1/0/1	10.12.8.1	Up	Up
POS0/1/0/2	unassigned	Shutdown	Down
POS0/1/0/3	unassigned	Shutdown	Down
POS0/1/4/0	unassigned	Up	Up
POS0/1/4/1	unassigned	Up	Up
POS0/1/4/2	10.12.32.1	Up	Up
POS0/1/4/3	10.12.32.1	Down	Down
GigabitEthernet0/1/5/0	10.12.16.1	Up	Up
GigabitEthernet0/1/5/1	10.14.8.1	Up	Up
GigabitEthernet0/1/5/2	10.16.4.1	Up	Up
GigabitEthernet0/1/5/3	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/1/5/4	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/1/5/5	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/1/5/6	unassigned	Up	Up
GigabitEthernet0/1/5/7	unassigned	Up	Up
MgmtEth0/4/CPU0/0	unassigned	Up	Up
MgmtEth0/4/CPU1/0	unassigned	Up	Up
POS0/6/0/0	unassigned	Shutdown	Down
POS0/6/0/1	10.12.12.1	Up	Up
POS0/6/0/2	unassigned	Shutdown	Down
POS0/6/0/3	unassigned	Shutdown	Down
POS0/6/4/0	unassigned	Shutdown	Down
POS0/6/4/1	unassigned	Shutdown	Down
POS0/6/4/2	unassigned	Shutdown	Down
POS0/6/4/3	unassigned	Shutdown	Down
POS0/6/4/4	10.14.4.1	Up	Up
POS0/6/4/5	10.12.4.1	Up	Up
POS0/6/4/6	10.13.4.1	Up	Up
POS0/6/4/7	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/6/5/0	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/6/5/1	10.12.20.1	Up	Up
GigabitEthernet0/6/5/2	10.16.8.1	Up	Up
GigabitEthernet0/6/5/3	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/6/5/4	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/6/5/5	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/6/5/6	unassigned	Shutdown	Down
GigabitEthernet0/6/5/7	10.12.40.1	Up	Up
MgmtEth0/RP1/CPU0/0	172.29.52.71	Up	Up

```
----- show install -----
```

```
Node 0/1/CPU0 [LC] [SDR: Owner]
  Boot Device: mem:
  Boot Image: /disk0/hfr-os-mbi-3.8.0/lc/mbihfr-lc.vm
  Active Packages:
    disk0:hfr-sbc-3.8.0
    disk0:hfr-pagent-3.8.0
    disk0:hfr-fpd-3.8.0
    disk0:hfr-diags-3.8.0
    disk0:hfr-mcast-3.8.0
    disk0:hfr-mpls-3.8.0
    disk0:comp-hfr-mini-3.8.0
```

```
.
.
.
```

```
----- show processes aborts location all -----
```

```
node:      node0_1_CPU0
```

```
-----
No process aborts found
```

```

-----
node:      node0_4_CPU0
-----
03/27/2007 08:18:35.326 chkpt_proxy(3) (jid 373) abnormally terminated, restart scheduled
-----
node:      node0_4_CPU1
-----
03/27/2007 08:18:33.265 chkpt_proxy(4) (jid 374) abnormally terminated, restart scheduled
-----
node:      node0_6_CPU0
-----
No process aborts found
-----
node:      node0_RP0_CPU0
-----
03/27/2007 03:13:23.722 tcp(1) (jid 343) abnormally terminated, restart scheduled
03/16/2007 15:00:59.658 ip_app(1) (jid 203) abnormally terminated, restart scheduled
-----
node:      node0_RP1_CPU0
-----
03/27/2007 08:18:35.784 te_control(1) (jid 387) abnormally terminated, restart scheduled
-----

```

```

----- show processes blocked location all -----

```

```

node:      node0_1_CPU0
-----
  Jid      Pid Tid      Name State      TimeInState      Blocked-on
  55       8202  1          ksh Reply      283:52:32:0368   8199 devc-ser8250
  51       16407  2          attachd Reply      283:52:39:0627   16405 eth_server
  51       16407  3          attachd Reply      283:52:39:0625   8204 mqueue
  72       16408  6          qnet Reply      0:00:00:0000     16405 eth_server
  72       16408  7          qnet Reply      0:00:00:0000     16405 eth_server
  72       16408  8          qnet Reply      0:00:00:0000     16405 eth_server
  72       16408  9          qnet Reply      0:00:00:0000     16405 eth_server
  52       16412  1          ksh-aux Reply      283:52:34:0211   8199 devc-ser8250
  50       16413  2          attach_server Reply      283:52:39:0432   8204 mqueue
  218      20516  1          reddrv_listener Reply      0:00:01:0053     16405 eth_server
node:      node0_4_CPU0
.
.
.

```

show tech-support netflow

netflow のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support netflow** コマンドを使用します。

show tech-support netflow file *send-to* [*location node-id*] [*rack*]

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • nvram: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ **netflow** のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support netflow** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support netflow
```

```
-----  
show tech-support netflow  
-----
```

show tech-support netflow

```
Summary ALL -----
```

```
show process blocked
show flow trace all
```

```
Summary LC -----
```

```
show im trace operation all | include netflow
show process nfma
show process nfea
show process nfsvr
follow process 4116614 verbose iteration 1
follow process 4116615 verbose iteration 1
follow process 4116616 verbose iteration 1
show flow exporter
show flow monitor
show flow monitor cache
IRP data
```

```
+++++++ show process blocked [09:29:25.008 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

Jid	Pid	Tid	Name	State	TimeInState	Blocked-on
88	36889	2	umass-enum	Reply	165:49:43:0995	1 kernel
88	36889	3	umass-enum	Reply	165:49:43:0787	1 kernel
88	36889	5	umass-enum	Reply	165:49:33:0152	40992 io-usb
88	36889	6	umass-enum	Reply	165:49:33:0152	1 kernel
52	36890	1	ksh	Reply	165:49:44:0049	12296 serdrv
51	53276	2	attachd	Reply	165:49:42:0534	40996 eth_server
51	53276	3	attachd	Reply	165:49:42:0533	16397 mqueue
65569	49185	2	devb-umass	Reply	165:49:33:0152	40992 io-usb
80	53282	6	qnet	Reply	0:00:01:0314	40996 eth_server
50	53288	2	attach_server	Reply	165:49:42:0472	16397 mqueue
65676	13709452	1	showtech_cat	Reply	0:00:00:0197	16396 pipe
65678	13914254	1	show_processes	Reply	0:00:00:0000	1 kernel

```
----- show process blocked [09:29:25.302 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show flow trace all [09:29:25.408 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

```
137 wrapping entries (4352 possible, 0 filtered, 137 total)
Jan 18 07:41:39.745 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x4000004e for
classname=NetflowFlowRecordMapClass.
Jan 18 07:41:39.746 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x4000004f for
classname=NetflowFlowExportMapClass.
Jan 18 07:41:39.748 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000050 for
classname=NetflowFlowSampleMapClass.
Jan 18 07:41:39.749 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000051 for
classname=NetflowFlowMonitorMapClass.
Jan 18 07:41:39.750 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000052 for
classname=NetflowRtrIdClass.
Jan 18 07:41:39.752 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000053 for
classname=NetflowIRPClass.
Jan 18 07:41:39.753 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000053:1)
Jan 18 07:41:39.755 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000054 for
classname=NetflowControlClass.
Jan 18 07:41:39.756 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000053:1)
Jan 18 07:41:39.789 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 DLSRC is virtual active
Jan 18 07:41:39.791 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Ready for processing events
Jan 18 07:41:39.803 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Fmon verify item[1]. Batchsz=1 proto=ipv4
dir=input
Jan 18 07:41:39.803 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Verifying fmon tuple.
{ifname=GigabitEthernet0_1_0_28,proto=ipv4,fmm_name=fmm,dir=input,fsm_name=smm,opc=0}
Jan 18 07:41:39.804 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Batch dpc for {proto=ipv4, dir=input, cmd=0,
count=1}
Jan 18 07:41:39.926 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x4000004e for
classname=NetflowFlowRecordMapClass.
Jan 18 07:41:39.927 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x4000004f for
classname=NetflowFlowExportMapClass.
Jan 18 07:41:39.929 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000050 for
classname=NetflowFlowSampleMapClass.
Jan 18 07:41:39.931 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000051 for
classname=NetflowFlowMonitorMapClass.
```

```

Jan 18 07:41:39.932 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000052 for
classname=NetflowRtrIdClass.
Jan 18 07:41:39.934 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000053 for
classname=NetflowIRPClass.
Jan 18 07:41:39.935 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000053:1)
Jan 18 07:41:39.938 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000054 for
classname=NetflowControlClass.
Jan 18 07:41:39.939 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000053:1)
Jan 18 07:41:39.953 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Maximum number of threads allowed: 2147483647
Jan 18 07:41:39.970 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Successful completion of nfsvr_pak_connect
initialization
Jan 18 07:41:39.978 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Successful completion of nfsvr_netio_connect
initialization
Jan 18 07:41:39.978 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Successful completion of
nfsvr_setup_netio_connection initialization
Jan 18 07:41:40.057 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x4000004e for
classname=NetflowFlowRecordMapClass.
Jan 18 07:41:40.059 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x4000004f for
classname=NetflowFlowExportMapClass.
Jan 18 07:41:40.060 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000050 for
classname=NetflowFlowSampleMapClass.
Jan 18 07:41:40.062 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000051 for
classname=NetflowFlowMonitorMapClass.
Jan 18 07:41:40.063 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000052 for
classname=NetflowRtrIdClass.
Jan 18 07:41:40.064 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000053 for
classname=NetflowIRPClass.
Jan 18 07:41:40.066 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000053:1)
Jan 18 07:41:40.068 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Got NRS class handle=0x40000054 for
classname=NetflowControlClass.
Jan 18 07:41:40.069 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000053:1)
Jan 18 07:41:40.069 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Registering for RTRID{RouterId} with ENS/NRS.
Jan 18 07:41:40.071 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000052:1)
Jan 18 07:41:40.071 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x5000c09c was added
successfully
Jan 18 07:41:40.071 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 ENS Query Producer status = No error after
0 attempts
Jan 18 07:41:40.071 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobjget Req for RTRID{RouterId}.
Jan 18 07:41:40.071 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 No data in fobjp. Pulling from producer via
ens_read()
Jan 18 07:41:40.074 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Get Req status = No error
Jan 18 07:41:40.074 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Router ID changed from 0.0.0.0 to 2.2.2.2
Jan 18 07:41:40.098 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Context at 0x6262c000, input ring at 0x6262c02c
Jan 18 07:41:40.098 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Initializing shared memory - must not be a
restart
Jan 18 07:41:40.099 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Shared memory magic1: 0xbabeface magic2:
0xbefaceba, version: 0x7d901
Jan 18 07:41:40.100 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 IRP initialization for thread 1 completed:
ok
Jan 18 07:41:40.114 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Ready for processing events
Jan 18 07:41:40.115 netflow/nfsvr 0/1/CPU0 t1 Rcvd code 0x7c, event 0xd9bfff418 from client
Jan 18 07:41:40.116 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Connection with NFSVR is UP
Jan 18 07:41:40.116 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Bulk downloading fmons to NFSVR
Jan 18 07:41:40.142 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 imp ECM CONN-OPEN event
Jan 18 07:41:40.142 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Ready for processing events
Jan 18 07:41:40.144 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Registering for FSM{smm} with ENS/NRS.
Jan 18 07:41:40.144 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Processing dpc batch. caps=10, proto=12,
count=1, cmd=0
Jan 18 07:41:40.144 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Processing
dpc[0]={ifh=0x6000780,cmd=0,proto=12,caps=10}
Jan 18 07:41:40.144 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Verifying 1 fmons for proto=ipv4, insz=76
Jan 18 07:41:40.144 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Verifying limit check
fmon={opc=ADD,ifh=0x6000780,proto=ipv4,dir=input,fmm=fmm,fsm=smm}
Jan 18 07:41:40.144 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Reg fsm fmon oper=0x50020af4 for smm
Jan 18 07:41:40.146 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000050:1)
Jan 18 07:41:40.146 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x50020af4 was added
successfully
Jan 18 07:41:40.146 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 ENS Query Producer status = No error after
0 attempts
Jan 18 07:41:40.146 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobjget Req for FSM{smm}.
Jan 18 07:41:40.146 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 No data in fobjp. Pulling from producer via
ens_read()
Jan 18 07:41:40.149 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Get Req status = No error

```

show tech-support netflow

```

Jan 18 07:41:40.149 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Registering for FMM{fmm} with ENS/NRS.
Jan 18 07:41:40.149 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Reg fmm fmon_oper=0x50020af4 for fmm
Jan 18 07:41:40.150 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000051:1)
Jan 18 07:41:40.151 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x50020af4 was added
successfully
Jan 18 07:41:40.151 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 ENS Query Producer status = No error after
0 attempts
Jan 18 07:41:40.151 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobjget Req for FMM{fmm}.
Jan 18 07:41:40.151 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 No data in fobjp. Pulling from producer via
ens_read()
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Get Req status = No error
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Unregistering from FSM{smm} with ENS/NRS.
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x50020af4 was deleted
successfully
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj has no more references. Doing cleanup...
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Cleaning up FSM{smm}
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Fmon limit check:
index=0,ifh=0x6000780,fmm=fmm,proto=ipv4,dir=input
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Found 0 fmons in idb
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Verifying hw
fmon={opc=ADD,ifh=0x6000780,proto=ipv4,dir=input,fmm=fmm,fsm=smm}
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Fmon verification Verify requests to batched
message hw verify config FAILED. 'nfea' detected the 'warning' condition 'Requested operation
not supported'
Jan 18 07:41:40.153 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Verifying nfsvr msg
fmon={opc=SKIP-OPC,ifh=0x6000780,proto=ipv4,dir=input,fmm=fmm,fsm=smm}
Jan 18 07:41:40.154 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Unregistering from FMM{fmm} with ENS/NRS.
Jan 18 07:41:40.154 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x50020af4 was deleted
successfully
Jan 18 07:41:40.154 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj has no more references. Doing cleanup...
Jan 18 07:41:40.154 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Cleaning up FMM{fmm}
Jan 18 07:41:40.154 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 imp_caps_dpc_distribute() api failed for
caps=10, proto=12, count=1. Cerr='ifmgr' detected the 'warning' condition 'One of the
arguments is invalid'
Jan 18 07:41:40.155 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Fmon cfg apply rejected in batched EA status
for opc=0 fmm=fmm fsm=smm proto=ipv4 dir=input on ifh=0x6000780. Cerr='nfea' detected the
'warning' condition 'Requested operation not supported'
Jan 18 07:41:40.155 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Batch dpc for {proto=ipv4, dir=input, cmd=2,
count=1}
Jan 18 07:41:40.155 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Processing dpc batch. caps=10, proto=12,
count=1, cmd=2
Jan 18 07:41:40.155 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Processing
dpc[0]={ifh=0x6000780,cmd=2,proto=12,caps=10}
Jan 18 07:41:40.155 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 imp_caps_dpc_distribute() api failed for
caps=10, proto=12, count=1. Cerr='ifmgr' detected the 'warning' condition 'One of the
arguments is invalid'
Jan 18 07:41:40.156 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Fmon vrfn status[1] = 'nfea' detected the
'warning' condition 'Requested operation not supported'
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Registering for FSM{smm} with ENS/NRS.
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Fmon verify item[1]. Batchsz=1 proto=ipv4
dir=input
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Verifying fmon tuple.
{ifname=GigabitEthernet0_1_0_28,proto=ipv4,fmm_name=fmm,dir=input,fsm_name=smm,opc=0}
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Batch dpc for {proto=ipv4, dir=input, cmd=0,
count=1}
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Processing dpc batch. caps=10, proto=12,
count=1, cmd=0
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Processing
dpc[0]={ifh=0x6000780,cmd=0,proto=12,caps=10}
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Verifying 1 fmons for proto=ipv4, insz=76
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Verifying limit check
fmon={opc=ADD,ifh=0x6000780,proto=ipv4,dir=input,fmm=fmm,fsm=smm}
Jan 18 07:43:41.911 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Reg fsm fmon_oper=0x50020af4 for smm
Jan 18 07:43:41.913 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000050:1)
Jan 18 07:43:41.913 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x50020af4 was added
successfully
Jan 18 07:43:41.913 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 ENS Query Producer status = No error after
0 attempts
Jan 18 07:43:41.913 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobjget Req for FSM{smm}.
Jan 18 07:43:41.913 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 No data in fobjp. Pulling from producer via
ens_read()
Jan 18 07:43:41.916 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Get Req status = No error
Jan 18 07:43:41.916 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Registering for FMM{fmm} with ENS/NRS.

```

```

Jan 18 07:43:41.916 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Reg fmm fmon_oper=0x50020af4 for fmm
Jan 18 07:43:41.917 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 nrs_register() succeeded. (handle=40000051:1)
Jan 18 07:43:41.917 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x50020af4 was added
successfully
Jan 18 07:43:41.917 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 ENS Query Producer status = No error after
0 attempts
Jan 18 07:43:41.917 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobjget Req for FMM{fmm}.
Jan 18 07:43:41.917 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 No data in fobjp. Pulling from producer via
ens_read()
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Get Req status = No error
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Unregistering from FSM{smm} with ENS/NRS.
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x50020af4 was deleted
successfully
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj has no more references. Doing cleanup...
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Cleaning up FSM{smm}
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Unregistering from FMM{fmm} with ENS/NRS.
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj reference 0x50020af4 was deleted
successfully
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Fobj has no more references. Doing cleanup...
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfmgr 0/1/CPU0 t1 Cleaning up FMM{fmm}
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Fmon limit check:
index=0, ifh=0x6000780, fmm=fmm, proto=ipv4, dir=input
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Found 0 fmons in idb
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Verifying hw
fmon={opc=ADD, ifh=0x6000780, proto=ipv4, dir=input, fmm=fmm, fsm=smm}
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Fmon verification Verify requests to batched
message hw verify config FAILED. 'nfea' detected the 'warning' condition 'Requested operation
not supported'
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Verifying nfsvr msg
fmon={opc=SKIP-OPC, ifh=0x6000780, proto=ipv4, dir=input, fmm=fmm, fsm=smm}
Jan 18 07:43:41.920 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 imp_caps_dpc_distribute() api failed for
caps=10, proto=12, count=1. Cerr='ifmgr' detected the 'warning' condition 'One of the
arguments is invalid'
Jan 18 07:43:41.921 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Fmon cfg apply rejected in batched EA status
for opc=0 fmm=fmm fsm=smm proto=ipv4 dir=input on ifh=0x6000780. Cerr='nfea' detected the
'warning' condition 'Requested operation not supported'
Jan 18 07:43:41.921 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Batch dpc for {proto=ipv4, dir=input, cmd=2,
count=1}
Jan 18 07:43:41.921 netflow/nfma 0/1/CPU0 t1 Fmon vrfn status[1] = 'nfea' detected the
'warning' condition 'Requested operation not supported'
Jan 18 07:43:41.921 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Processing dpc batch. caps=10, proto=12,
count=1, cmd=2
Jan 18 07:43:41.921 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 Processing
dpc[0]={ifh=0x6000780, cmd=2, proto=12, caps=10}
Jan 18 07:43:41.921 netflow/nfea 0/1/CPU0 t1 imp_caps_dpc_distribute() api failed for
caps=10, proto=12, count=1. Cerr='ifmgr' detected the 'warning' condition 'One of the
arguments is invalid'

```

----- show flow trace all [09:29:25.734 UTC Mon Jan 18 2010] -----

show tech-support nrs

Name Registration Service (NRS) 情報に固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support nrs** コマンドを使用します。

show tech-support nrs {file *send-to* [**background** | **compressed** | **uncompressed**] | **terminal** [**page**] [**rack**]}

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。
page	(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。

rack (任意) ラックのリストを表示します。

コマンドモード EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

NRS のデータを収集するには、**show tech-support nrs** コマンドを使用します。NRS は中央登録局で、Replication Data Service (RDS) および Event Notification Service (ENS) によって使用されます。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ NRS のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support nrs** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support nrs terminal page
```

```
-----
show tech-support nrs
-----
```

```
----- show platform -----
Node           Type           PLIM           State          Config State
-----
0/1/CPU0       MSC            Jacket Card    IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/1/0          MSC (SPA)      4XOC3-POS     OK             PWR, NSHUT, MON
0/1/1          MSC (SPA)      4T3E3         OK             PWR, NSHUT, MON
0/1/4          MSC (SPA)      4XOC48-POS    OK             PWR, NSHUT, MON
0/1/5          MSC (SPA)      8X1GE         OK             PWR, NSHUT, MON
0/4/CPU0       DRP (Active)   DRP-ACC       IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/4/CPU1       DRP (Active)   DRP-ACC       IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/6/CPU0       MSC            Jacket Card    IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/6/0          MSC (SPA)      4XOC3-POS     OK             PWR, NSHUT, MON
0/6/4          MSC (SPA)      8XOC3/OC12-POS OK             PWR, NSHUT, MON
0/6/5          MSC (SPA)      8X1GE         OK             PWR, NSHUT, MON
0/RP0/CPU0     RP (Active)    N/A           IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/RP1/CPU0     RP (Standby)  N/A           IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
```

```
----- follow NRS processes -----
```

Note that these commands will only run on the currently attached node, regardless of location specified

These commands are run once now and once towards the end of the command. This is to avoid the delay between iterations of follow

```
----- follow process 155731 iteration 1 verbose -----
```

Attaching to process pid = 155731 (pkg/bin/nrsvr)
No tid specified, following all threads

DLL Loaded by this process

```
-----
DLL path           Text addr. Text size  Data addr. Data size  Version
-----
/pkg/lib/libsystemgr.dll 0xfc131000 0x00013748 0xfc145000 0x0000066c 0
/pkg/lib/libcerror.dll 0xfc146000 0x00002f94 0xfc088eb0 0x00000128 0
/pkg/lib/libcerror_dll_tbl.dll 0xfc149000 0x00004bb0 0xfc0c5cc0 0x00000148 0
/pkg/lib/libltrace.dll 0xfc14e000 0x000095d8 0xfc14566c 0x00000328 0
/pkg/lib/libplatform_infra_ltrace.dll 0xfc158000 0x00001044 0xfc0c5e08 0x00000000 0
/pkg/lib/libinfra.dll 0xfc15a000 0x000397b0 0xfc194000 0x00000cc0 0
/pkg/lib/cerror/libinfra_error.dll 0xfc1211dc 0x00000cd8 0xfc0c5e90 0x000000a8 0
/pkg/lib/libbios.dll 0xfc195000 0x0002d510 0xfc1c3000 0x00002000 0
/pkg/lib/cerror/libevent_manager_error.dll 0xfc159044 0x00000e88 0xfc0c5f38 0x00000000 0
/pkg/lib/libc.dll 0xfc1ce000 0x0007b6e0 0xfc24a000 0x00002000 0
/pkg/lib/libplatform.dll 0xfc250000 0x0000cd14 0xfc25d000 0x00002000 0
/pkg/lib/lib_procfs_util.dll 0xfc261000 0x00004e8c 0xfc194cc0 0x000002a8 0
/pkg/lib/libsyslog.dll 0xfc266000 0x0000564c 0xfc26c000 0x00000328 0
/pkg/lib/libbackplane.dll 0xfc26d000 0x000013f0 0xfc145ea0 0x000000a8 0
/pkg/lib/libnodeid.dll 0xfc279000 0x0000af28 0xfc26c8b0 0x00000260 0
/pkg/lib/libdebug.dll 0xfc2d7000 0x00012764 0xfc2d61c8 0x00000630 0
/pkg/lib/cerror/libdebug_error.dll 0xfc2ea000 0x00000db0 0xfc26ce50 0x000000e8 0
/pkg/lib/libchkpt.dll 0xfc5e4000 0x000436f0 0xfc628000 0x00000b3c 0
/pkg/lib/libsysdb.dll 0xfc629000 0x00050b00 0xfc67a000 0x00000b74 0
```

```
/pkg/lib/cerrno/libsystemgr_error.dll 0xfc585058 0x00000f94 0xfc4feee4 0x000000880  
/pkg/lib/libsysdbutils.dll 0xfc690000 0x0000d378 0xfc5ddabc 0x0000046c 0  
/pkg/lib/cerrno/libsysdb_error_v1v2.dll 0xfc6a0000 0x00001e08 0xfc575e6c 0x00000
```

show tech-support password

デバッグの出力にパスワードを含めるための情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support password** コマンドを使用します。

show tech-support password {file *send-to* [**background**| **compressed**| **uncompressed**]} **terminal** [**page**]
[**location** {*node-id*| **all**}]

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。
page	(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。

location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべての場所を指定します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース

変更箇所

リリース 3.7.2

このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つデバッグ情報として、パスワードを含む出力を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンド リファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンド リファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID

操作

basic-services

read

例

次に、端末に表示される **show tech-support password** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support password terminal page
-----
show tech-support
-----
----- show running-config -----
Building configuration...
!! Last configuration change at Wed Oct 10 20:05:13 2007
!
hostname P1_CRS-8
line console
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
line default
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
clock timezone PST 8
clock summer-time DST recurring 2 sunday march 02:00 first sunday november 02:00
logging console informational
telnet vrf default ipv4 server max-servers no-limit
domain ipv4 host p1 172.29.52.72
domain ipv4 host p2 172.29.52.77
domain ipv4 host ce6 172.29.52.73
domain ipv4 host ce7 172.29.52.78
domain ipv4 host p11 172.29.52.83
domain ipv4 host pe6 172.29.52.128
domain ipv4 host pe7 172.29.52.182
domain ipv4 host ce25 172.29.52.85
domain ipv4 host ce28 172.29.52.1
domain ipv4 host ce29 172.29.52.178
domain ipv4 host pe21 172.29.52.163
domain ipv4 host pe22 172.29.52.219
domain ipv4 host ce28_nme 172.29.52.177
domain ipv4 host ce29_nme 172.29.52.179
domain lookup disable
username P2_CRS-8
  password 7 13061E010803
!
aps group 1
  revert 1
  channel 0 local SONET0/1/4/3
  channel 1 local SONET0/1/4/2
!
vty-pool default 0 25
alias cr copy run disk0:/usr/P1_base_config
alias sa show alias
alias sc show config commit list
alias sd show diag
alias si show ip int brief
alias sl show led
alias sm show mpls forwarding
alias sp show platform
alias sr show run
alias su show users
alias sv show version
alias sir show ip route
control-plane
```


show tech-support performance-traffic

ビデオモニタリングに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support performance-traffic** コマンドを使用します。

show tech-support performance-traffic file *send-to* [**background**|**compressed**|**uncompressed**] [**location** {*node-id*|**rack** *rack-id*}]

構文の説明

performance-traffic	ビデオ モニタリング サポート情報を収集するキーワードを指定します。これは必須です。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rack	(任意) ラックのリストを指定します。
<i>rack-id</i>	(任意) ラック ID を指定します。

コマンド デフォルト

location が指定されていない場合、テクニカル サポート情報は、デフォルトですべてのノードから収集されます。 **file** が指定されている場合、コマンドはバックグラウンドで実行され、出力はデフォルトで圧縮されます。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。 ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

show tech-support performance-traffic コマンドを実行すると、次の show コマンドが自動的に実行されます。

- **show install package all detail**
- **show logging**
- show interfaces summary
- show interfaces brief
- **show running-config**
- show policymap targets type performance-traffic
- show policymgr process trace all location all
- show policy-lib trace all location all
- show afmon-lib trace client afmon_ea both location all
- show afmon-ma trace location all

- show app-obj trace location all
- show im database brief location
- show app-obj db afmon_ma_intf_db proc afmon_ma location
- show process blocked location
- show processes afmon_ma
- show processes afmon_ma location
- show app-obj db policy_map_afmon_db proc afmon_ea location
- show app-obj db class_map_afmon_db proc afmon_ea location
- show processes afmon_ea location
- show performance traffic platform flow all-entries detail location
- show performance traffic platform flow summary location
- show performance traffic platform resource-counters location
- show performance traffic platform ha chkpt all info location
- show performance traffic platform ha state location
- show performance traffic platform trace all location

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、ルータで **show tech-support performance-traffic** コマンドを実行する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support performance-traffic location 0/1/cpu0
```

show tech-support pfi

すべてのコンポーネントに対するパケット転送インフラストラクチャ（PFI）のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support pfi** コマンドを使用します。

```
show tech-support pfi {file send-to [background| compressed| uncompressed] | terminal [page] | trace-only}
[location {node-id | all}]
```

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。

page	(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
location	(任意) ノードを指定します。
node-id	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。
trace-only	トレース情報だけを表示します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース

変更箇所

リリース 3.7.2

このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

NetIO およびインターフェイス マネージャに関するインターフェイス関連の日付で構成される PFI の情報を収集するには、**show tech-support pfi** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ出力 PFI のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support pfi** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support pfi terminal page
```

```
-----
show tech-support pfi control
-----

----- show im trace location all -----
11 wrapping entries (1024 possible, 0 filtered, 11 total)
7 unique entries (384 possible, 0 filtered)
Oct 11 19:24:10.699 ifmgr/errors 0/RP0/CPU0 2# t1 Failed to bind to pfi_ifh se'
Oct 11 19:26:02.019 ifmgr/errors 0/6/CPU0 2# t1 Failed to bind to pfi_ifh serv'
Oct 11 19:26:02.694 ifmgr/errors 0/1/CPU0 2# t1 Failed to bind to pfi_ifh serv'
Oct 11 19:26:48.033 ifmgr/errors 0/4/CPU1 2# t1 Failed to bind to pfi_ifh serv'
Oct 11 19:26:49.737 ifmgr/errors 0/RP1/CPU0 2# t1 Failed to bind to pfi_ifh se'
Oct 11 19:26:50.199 ifmgr/errors 0/4/CPU0 2# t1 Failed to bind to pfi_ifh serv'
Oct 11 19:30:34.372 ifmgr/errors 0/RP0/CPU0 13# t10 Cannot send async download y
10503 wrapping entries (89088 possible, 0 filtered, 60319 total)
Oct 11 19:23:57.839 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t1 IM is (re)starting
Oct 11 19:24:06.442 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t1 IIR initialisation successful
Oct 11 19:24:06.458 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t1 IM received LR state 0x5 from sysmr
Oct 11 19:24:06.744 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Opening IIR to IM connection
Oct 11 19:24:06.747 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Failed to open IM connection: No sy
Oct 11 19:24:06.748 ifmgr/iir_resync 0/RP0/CPU0 t6 IIR resync message entry co0
Oct 11 19:24:06.748 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 IIR sending GSP message 1 to ALL Is
Oct 11 19:24:07.749 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Opening IIR to IM connection
Oct 11 19:24:07.755 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Failed to open IM connection: No sy
Oct 11 19:24:08.756 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Opening IIR to IM connection
Oct 11 19:24:08.758 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Failed to open IM connection: No sy
Oct 11 19:24:09.340 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 im_tree_id_array_init: Virtual 2
Oct 11 19:24:09.340 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t1 IM is going active physical
Oct 11 19:24:09.378 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 Registered chkpt table with ID E
Oct 11 19:24:09.378 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 Registered chkpt table with ID E
Oct 11 19:24:09.378 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 Registered chkpt table with ID E
Oct 11 19:24:09.378 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 Registered chkpt table with ID E
Oct 11 19:24:09.383 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Received IM request for op IFMGR_A0
Oct 11 19:24:09.383 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 IIR: Going active
Oct 11 19:24:09.533 ifmgr/errors 0/RP0/CPU0 t1 Failed to bind to pfi_ifh serve'
Oct 11 19:24:09.534 ifmgr/bundle 0/RP0/CPU0 t1 im_bundle_gsp_init complete
Oct 11 19:24:09.555 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t1 IM is going active virtual on RESTT
Oct 11 19:24:09.569 ifmgr/bundle 0/RP0/CPU0 t1 Recovering bundles info from ch.
Oct 11 19:24:09.569 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 Registered chkpt table with ID E
Oct 11 19:24:09.569 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 Registered chkpt table with ID E
Oct 11 19:24:09.569 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 Registered chkpt table with ID E
```

```

Oct 11 19:24:09.569 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 Registered chkpt table with ID E
Oct 11 19:24:09.571 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t1 Blast mode start. Main intf 0x00000
Oct 11 19:24:09.579 ifmgr/imd 0/RP0/CPU0 t9 Successfully transmitted message t2
Oct 11 19:24:09.581 ifmgr/imd 0/RP0/CPU0 t9 Successfully transmitted message t2
Oct 11 19:24:09.763 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Opening IIR to IM connection
Oct 11 19:24:09.780 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Failed to open IM connection: No sy
Oct 11 19:24:10.638 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t1 Letting IM connect to IMP
Oct 11 19:24:10.670 ifmgr/repl 0/RP0/CPU0 t1 Storing NOTIFY DPC info: gnid 0x01
Oct 11 19:24:10.670 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t1 Produced download element intr
Oct 11 19:24:10.670 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t1 Sending pulse code 124 to imp0
Oct 11 19:24:10.670 ifmgr/repl 0/RP0/CPU0 t1 Storing NOTIFY DPC info: gnid 0xf3
Oct 11 19:24:10.670 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t1 Download empty (cb idx 1 (INig
Oct 11 19:24:10.670 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t1 Produced download element intr
Oct 11 19:24:10.670 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t1 Outstanding pulse to improxy.1
Oct 11 19:24:10.671 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t1 Publishing lwm channel
Oct 11 19:24:10.691 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Received IM request for op PEER_NOO
Oct 11 19:24:10.694 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t1 PFI_IFH broadcast success snv=0r
Oct 11 19:24:10.696 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t10 IM entering event loop
Oct 11 19:24:10.699 ifmgr/errors 0/RP0/CPU0 t1 Failed to bind to pfi_ifh serve'
Oct 11 19:24:10.699 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t1 IM received LR state 0x4 from sysmr
Oct 11 19:24:10.717 ifmgr/repl 0/RP0/CPU0 t1 Received GSP notification 16 (NEWP
Oct 11 19:24:10.717 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Received notification - procel
Oct 11 19:24:10.717 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Download result: element ID 0r
Oct 11 19:24:10.717 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Async rules download complete
Oct 11 19:24:10.717 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Completed processing of 1 dowl
Oct 11 19:24:10.736 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Received notification - proce0
Oct 11 19:24:10.736 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Download result: element ID 0r
Oct 11 19:24:10.736 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Async initial download compler
Oct 11 19:24:10.736 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Completed processing of 1 dow0
Oct 11 19:24:10.782 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Opening IIR to IM connection
Oct 11 19:24:10.790 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 Successfully opened IM connection
Oct 11 19:24:10.792 ifmgr/iir 0/RP0/CPU0 t6 IIR Publishing channel: No error
Oct 11 19:24:11.456 ifmgr/register 0/RP0/CPU0 t10 im_notify_queue: Inserting ca]
Oct 11 19:24:11.458 ifmgr/register 0/RP0/CPU0 t10 Returned TRUE for ACTIVE_VIRT0
Oct 11 19:24:11.556 ifmgr/iir_notify 0/RP0/CPU0 t6 Adding 1 wildcard registrati
Oct 11 19:24:11.556 ifmgr/iir_notify 0/RP0/CPU0 t6 Sending RESYNC_END notifica0
Oct 11 19:24:11.828 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t10 grow_id array: Growing id array8
Oct 11 19:24:11.830 ifmgr/intf_exist 0/RP0/CPU0 t10 create (bulk 7) intf:0x00083
Oct 11 19:24:11.830 ifmgr/caps_exist 0/RP0/CPU0 t10 bulk 7[0] base caps defined'
Oct 11 19:24:11.830 ifmgr/mdr 0/RP0/CPU0 t10 Marking client with handle 0x30000r
Oct 11 19:24:11.830 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t10 grow_id array: Growing id array4
Oct 11 19:24:11.831 ifmgr/create 0/RP0/CPU0 t10 PFI_IFH broadcast success snv=0r
Oct 11 19:24:11.831 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Produced download element intr
Oct 11 19:24:11.831 ifmgr/download 0/RP0/CPU0 t10 Sending pulse code 124 to imp0
Oct 11 19:24:12.008 ifmgr/register 0/RP0/CPU0 t10 im_notify_queue: Inserting ca]
Oct 11 19:24:12.331 ifmgr/register 0/RP0/CPU0 t10 im_notify_queue: Inserting ca]

```

show tech-support platform

プラットフォームに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support platform** コマンドを使用します。

show tech-support platform {terminal [page] [redundancy]| file *send-to*| rack}

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
redundancy	(任意) テクニカルサポート用のプラットフォームの冗長性関連診断を表示します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
send-to	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• <i>filename</i>• bootflash: <i>filename</i>• compactflash: <i>filename</i>• disk0: <i>filename</i>• disk1: <i>filename</i>• flash: <i>filename</i>• ftp: <i>filename</i>• harddisk: <i>filename</i>• harddiska: <i>filename</i>• nvr: <i>filename</i>• rcp: <i>filename</i>• slot0: <i>filename</i>• slot1: <i>filename</i>• tftp: <i>filename</i>
rack	(任意) ラックのリストを表示します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

プラットフォーム固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support platform** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つプラットフォームのデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support platform コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show controller squid summary**
- **show controller plim ASIC statistics summary location node-id**

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンド リファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンド リファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、**show tech-support platform** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support platform

----- show controller squid summary -----
Cpuctrl discovered 14 device on node 0/1/CPU0:

Cpuctrl HW version string for this node is:
Squid FPGA v2.07 Fri Jan 23 16:21:01 2004 userb

-----
device_name:      Fabricq      device instance:  0
Cpuctrl net port: 3          pci_base:         0x8c000000
-----
device_name:      Fabricq      device instance:  1
Cpuctrl net port: 4          pci_base:         0x90000000
-----
device_name:      Ingressq     device instance:  0
Cpuctrl net port: 8          pci_base:         0xa0000000
-----
device_name:      Egressq      device instance:  0
Cpuctrl net port: 7          pci_base:         0x9c000000
-----
device_name:      FIA          device instance:  0
Cpuctrl net port: 1          pci_base:         0x84000000
-----
device_name:      FIA          device instance:  1
Cpuctrl net port: 2          pci_base:         0x88000000
-----
device_name:      Cpuctrl      device instance:  0
Cpuctrl net port: 0          pci_base:         0x80000000
-----
device_name:      PSE          device instance:  1
Cpuctrl net port: 6          pci_base:         0x98000000
-----
device_name:      PSE          device instance:  0
Cpuctrl net port: 5          pci_base:         0x94000000
-----
device_name:      PlimAsic for SPA device instance:  0
Cpuctrl net port: 9          pci_base:         0xa4000000
.
.
.
----- show controller plim asic statistics summary location 0/1/CPU0 -----
Node: 0/1/CPU0
-----
Instance# 0 Statistics
-----
To PSE          : 1034176          BP count       : 2615809697
```

show tech-support platform

```

RMC Runt      : 0
RMC Tail Drop: 1
From Egressq : 924513
TLK Drop     : 0

RMC Giant    : 0
L2P Drop    : 0
SIF Drop     : 0

Port 0
To SPA      : 0
RSI FIFO Drop: 0
QPM OVFL    : 0

From SPA    : 0
QPM Drop   : 0
RPB Drop   : 0

Port 1
To SPA      : 0
RSI FIFO Drop: 0
QPM OVFL    : 0

From SPA    : 0
QPM Drop   : 0
RPB Drop   : 0

Port 2
To SPA      : 924513
RSI FIFO Drop: 0
QPM OVFL    : 0

From SPA    : 1034177
QPM Drop   : 0
RPB Drop   : 0

Instance# 1 Statistics
-----
To PSE      : 9217833
RMC Runt    : 0
RMC Tail Drop: 2590
From Egressq : 9317309
TLK Drop    : 0

BP count    : 2323530765
RMC Giant   : 0
L2P Drop   : 0
SIF Drop    : 0

Port 0
To SPA      : 0
RSI FIFO Drop: 0
QPM OVFL    : 0

From SPA    : 0
QPM Drop   : 0
RPB Drop   : 0

Port 1
To SPA      : 537745
RSI FIFO Drop: 0
QPM OVFL    : 0

From SPA    : 546867
QPM Drop   : 0
RPB Drop   : 0

Port 2
To SPA      : 8779564
RSI FIFO Drop: 0
QPM OVFL    : 0

From SPA    : 8673556
QPM Drop   : 0
RPB Drop   : 0

```

show tech-support ppp

ポイントツーポイントプロトコル (PPP) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support ppp** コマンドを使用します。

show tech-support ppp [**file send-to**] [**background**] [**compressed**|**uncompressed**] [**interface type instance**] [**location node-id**|**all**] [**rack**]

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
interface	特定のインターフェイスに関する情報を収集します。
<i>type</i>	インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。

<i>instance</i>	<p>次に示す、物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスのいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 物理インターフェイス インスタンス。名前表記は <i>rack/slot/module/port</i> です。値の間に表記の一部としてスラッシュが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ <i>rack</i> : ラックのシャーシ番号。 ◦ <i>slot</i> : モジュラ サービス カードまたはラインカードの物理スロット番号。 ◦ <i>module</i> : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。 ◦ <i>port</i> : インターフェイスの物理ポート番号。 <p>(注) ルートプロセッサ カードにある管理イーサネット インターフェイスについては、物理スロット番号は英数字 (RP0 または RP1)、モジュールは CPU0 です。例: インターフェイス MgmtEth0/RP1/CPU0/0。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイス タイプによって異なります。
-----------------	--

ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。

location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべての場所を指定します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

**ヒント**

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカルサポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ PPP のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。

**(注)**

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support routing ppp** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support ppp
```

```
-----
show tech-support ppp
-----
```

```
----- show running-config -----
Building configuration...
!! Last configuration change at Wed Oct 10 20:05:13 2007
!
hostname P1_CRS-8
line console
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
line default
```

show tech-support ppp

```
exec-timeout 600 0  
session-timeout 600
```

show tech-support qos

プラットフォーム依存およびプラットフォーム非依存の Quality of Service (QoS) のデバッグ情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support qos** コマンドを使用します。

show tech-support qos {pd| pi} [file send-to] [background] [compressed| uncompressed] [location node-id| all] [rack]

構文の説明

pd	プラットフォーム依存の QoS 関連情報を収集し、ディスクに保存します。
pi	プラットフォーム非依存の QoS 関連情報を収集し、ディスクに保存します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• <i>filename</i>• bootflash: <i>filename</i>• disk0: <i>filename</i>• disk0a: <i>filename</i>• disk1: <i>filename</i>• disk1a: <i>filename</i>• ftp: <i>filename</i>• harddisk: <i>filename</i>• harddiska: <i>filename</i>• harddiskb: <i>filename</i>• nvram: <i>filename</i>• rcp: <i>filename</i>• tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。

コマンドモード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.9.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ QoS のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注) ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

タスク ID	タスク ID	操作
	basic-services	read
	cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support routing qos** コマンドのプラットフォームに依存する QoS 情報の出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support qos pd
-----
show tech-support qos pd
-----

+++++++ show version [09:10:28.558 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++

Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0[00]
Copyright (c) 2009 by Cisco Systems, Inc.

ROM: System Bootstrap, Version 1.1(20090521:183759) [ASR9K ROMMON],

MCAST-6 uptime is 6 days, 21 hours, 33 minutes
System image file is "bootflash:disk0/asr9k-os-mpi-3.9.0/mbiasr9k-rp.vm"

cisco ASR9K Series (MPC8641D) processor with 4194304K bytes of memory.
MPC8641D processor at 1333MHz, Revision 2.2

2 Management Ethernet
45 GigabitEthernet
219k bytes of non-volatile configuration memory.
975M bytes of compact flash card.
33994M bytes of hard disk.
1605616k bytes of disk0: (Sector size 512 bytes).
1605616k bytes of disk1: (Sector size 512 bytes).

Configuration register on node 0/RSP0/CPU0 is 0x1922
Boot device on node 0/RSP0/CPU0 is disk0:
Package active on node 0/RSP0/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-rout, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-rout-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:56 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
```

show tech-support qos

```

    Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

Boot device on node 0/2/CPU0 is mem:
Package active on node 0/2/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
    By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
    Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009

```

```

By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

```

```
----- show version [09:10:29.427 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show logging [09:10:29.532 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

```

Syslog logging: enabled (33 messages dropped, 0 flushes, 0 overruns)
  Console logging: Disabled
  Monitor logging: level debugging, 0 messages logged
  Trap logging: level informational, 0 messages logged
  Buffer logging: level debugging, 319 messages logged

```

```
Log Buffer (10000000 bytes):
```

```

RP/0/RSP0/CPU0::Jan 18 09:09:59.858 : config[65761]: %MGBL-SYS-5-CONFIG_I : Configured from
console by lab
RP/0/RSP0/CPU0::Jan 18 09:10:14.046 : config[65761]: %MGBL-CONFIG-6-DB_COMMIT : Configuration
committed by user 'lab'. Use 'show configuration commit changes 1000000094' to view the
changes.
RP/0/RSP0/CPU0::Jan 18 09:10:14.066 : config[65761]: %MGBL-SYS-5-CONFIG_I : Configured from
console by lab

```

```
----- show logging [09:10:29.855 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show interfaces summary [09:10:29.960 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

Interface Type	Total	UP	Down	Admin Down
ALL TYPES	49	5	1	43
IFT_ETHERNET	45	2	1	42
IFT_LOOPBACK	1	1	0	0
IFT_ETHERNET	2	1	0	1
IFT_NULL	1	1	0	0

```
----- show interfaces summary [09:10:30.310 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show interfaces brief [09:10:30.426 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

Intf Name	Intf State	LineP State	Encap Type	MTU (byte)	BW (Kbps)
Lo0	up	up	Loopback	1500	Unknown
Nu0	up	up	Null	1500	Unknown
Mg0/RSP0/CPU0/0	up	up	ARPA	1514	100000
Mg0/RSP0/CPU0/1	admin-down	admin-down	ARPA	1514	10000
Gi0/1/0/0	down	down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/1	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/2	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000

show tech-support qos

```

Gi0/1/0/3 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/4 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/5 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/6 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/7 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/8 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/9 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/10 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/11 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/12 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/13 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/14 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/15 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/16 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/17 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/18 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/19 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/20 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/21 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/22 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/23 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/24 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/25 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/26 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/27 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/28 admin-down up ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/29 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/30 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/31 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/32 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/33 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/34 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/35 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/36 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/37 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/38 admin-down up ARPA 1514 1000000
Gi0/1/0/39 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/0 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/1 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/2 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/3 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/4 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000

```

```
----- show interfaces brief [09:10:31.021 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show running-config [09:10:31.127 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

```

Building configuration...
!! IOS XR Configuration 3.9.0
!! Last configuration change at Mon Jan 18 09:10:13 2010 by lab
!
service unsupported-transceiver
hostname MCAST-6
clock timezone UTC 5
logging console disable
logging buffered 1000000
telnet vrf default ipv4 server max-servers 5
line console
exec-timeout 0 0
!
ntp
interface GigabitEthernet0/1/0/28
 broadcast destination 10.0.0.1
!
server 8.42.10.1
master 6
!
!
class-map match-any a

```

```
    match precedence 1
  end-class-map
!
class-map match-any b
  match precedence 1
end-class-map
!
policy-map a
  class b
    set dscp af11
  !
  class class-default
  !
end-policy-map
!
flow monitor-map fmm
  record ipv4
  cache entries 10000
  cache timeout active 70
!
sampler-map smm
  random 1 out-of 1
!
interface Loopback0
  ipv4 address 2.2.2.2 255.255.255.255
!
interface MgmtEth0/RSP0/CPU0/0
  ipv4 address 8.42.10.12 255.255.255.0
!
interface MgmtEth0/RSP0/CPU0/1
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/0
  negotiation auto
  l2transport
!
!
interface GigabitEthernet0/1/0/1
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/2
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/3
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/4
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/5
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/6
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/7
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/8
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/9
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/10
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/11
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/12
  shutdown
!
```

```
interface GigabitEthernet0/1/0/13
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/14
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/15
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/16
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/17
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/18
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/19
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/20
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/21
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/22
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/23
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/24
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/25
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/26
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/27
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/28
 service-policy input a
 ipv4 address 10.0.0.2 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/1/0/29
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/30
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/31
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/32
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/33
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/34
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/35
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/36
 shutdown
!
```

```

interface GigabitEthernet0/1/0/37
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/38
 negotiation auto
 l2transport
!
!
interface GigabitEthernet0/1/0/39
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/0
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/1
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/2
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/3
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/4
 shutdown
!
router static
 address-family ipv4 unicast
  1.1.1.1/32 GigabitEthernet0/1/0/38
  202.153.0.0/16 MgmtEth0/RSP0/CPU0/0
!
!
router ospf 100
 router-id 2.2.2.2
 area 0
  interface Loopback0
  !
  interface GigabitEthernet0/1/0/28
  !
!
!
l2vpn
 bridge group bg
  bridge-domain bd
  igmp snooping profile prof1
  interface GigabitEthernet0/1/0/0
  !
  interface GigabitEthernet0/1/0/38
  !
!
!
igmp snooping profile prof1
 ttl-check disable
 router-alert-check disable
!
end

----- show running-config [09:10:31.524 UTC Mon Jan 18 2010] -----

+++++++ show policymap targets [09:10:31.632 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++++

1) Policymap: a      Type: qos
   Targets (applied as main policy):
     GigabitEthernet0/1/0/28 input
   Total targets: 1

   Targets (applied as child policy):
   Total targets: 0

```

```

----- show policymap targets [09:10:32.917 UTC Mon Jan 18 2010] -----

+++++++ show processes policymgr_rp [09:10:33.027 UTC Mon Jan 18 2010] +++++++
      Job Id: 353
      PID: 45109519
      Executable path: /disk0/asr9k-base-3.9.0/bin/policymgr_rp
      Instance #: 1
      Version ID: 00.00.0000
      Respawn: ON
      Respawn count: 1
      Max. spawns per minute: 12
      Last started: Mon Jan 18 09:09:24 2010
      Process state: Run
      Package state: Normal
      Started on config: cfg/gl/policymgr/classmap/type/0x1/name/a/def
      Feature name: policymgr_rp
      core: MAINMEM
      Max. core: 0
      Placement: Placeable
      startup_path: /pkg/startup/policymgr_rp.startup
      Ready: 0.591s
      Process cpu time: 0.081 user, 0.011 kernel, 0.092 total
JID   TID CPU Stack pri state      TimeInState  HR:MM:SS:MSEC  NAME
353   1   0   48K  10 Receive    0:00:00:0408  0:00:00:0080  policymgr_rp
353   2   0   48K  10 Receive    0:00:01:0386  0:00:00:0008  policymgr_rp
353   3   0   48K  10 Receive    0:00:19:0933  0:00:00:0004  policymgr_rp
-----

----- show processes policymgr_rp [09:10:33.322 UTC Mon Jan 18 2010] -----

+++++++ show uidb data-dump [09:10:33.432 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++++

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_0
Index = 1
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_1
Index = 3
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_2
Index = 5
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_3
Index = 7
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_4

```

```
Index = 9
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_5
Index = 11
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_6
Index = 13
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_7
Index = 15
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_8
Index = 17
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_9
Index = 19
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_10
Index = 21
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_11
Index = 23
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_12
Index = 25
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_13
Index = 27
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_14
Index = 29
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_15  
Index = 31  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_16  
Index = 33  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_17  
Index = 35  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_18  
Index = 37  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_19  
Index = 39  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_20  
Index = 41  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_21  
Index = 43  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_22  
Index = 45  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_23  
Index = 47  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0  
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_24  
Index = 49  
EXTENSION table  
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----  
Location = 0/1/CPU0
```

```
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_25
Index = 51
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_26
Index = 53
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_27
Index = 55
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_28
Index = 57
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_29
Index = 59
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_30
Index = 61
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_31
Index = 63
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_32
Index = 65
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_33
Index = 67
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_34
Index = 69
EXTENSION table
----UIDB Data Print Here.

-----

Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_35
Index = 71
EXTENSION table
```

```
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_36
Index = 73
EXTENSION table
```

```
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_37
Index = 75
EXTENSION table
```

```
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_38
Index = 77
EXTENSION table
```

```
----UIDB Data Print Here.
```

```
-----
Location = 0/1/CPU0
Ifname = GigabitEthernet0_1_0_39
Index = 79
EXTENSION table
```

```
----UIDB Data Print Here.
```

```
----- show uidb data-dump [09:10:33.832 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

次に、**show tech-support routing qos** コマンドのプラットフォームに依存しない QoS 情報の出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support qos pi
```

```
-----
show tech-support qos pi
```

```
-----
show tech-support qos pi
```

```
+++++++ show version [09:11:30.767 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

```
Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0[00]
Copyright (c) 2009 by Cisco Systems, Inc.
```

```
ROM: System Bootstrap, Version 1.1(20090521:183759) [ASR9K ROMMON],
```

```
MCAST-6 uptime is 6 days, 21 hours, 34 minutes
System image file is "bootflash:disk0/asr9k-os-mpi-3.9.0/mbiasr9k-rp.vm"
```

```
cisco ASR9K Series (MPC8641D) processor with 4194304K bytes of memory.
MPC8641D processor at 1333MHz, Revision 2.2
```

```
2 Management Ethernet
45 GigabitEthernet
219k bytes of non-volatile configuration memory.
```

```
975M bytes of compact flash card.
33994M bytes of hard disk.
1605616k bytes of disk0: (Sector size 512 bytes).
1605616k bytes of disk1: (Sector size 512 bytes).

Configuration register on node 0/RSP0/CPU0 is 0x1922
Boot device on node 0/RSP0/CPU0 is disk0:
Package active on node 0/RSP0/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-rout, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-rout-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:56 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0
```

show tech-support qos

```

asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

Boot device on node 0/2/CPU0 is mem:
Package active on node 0/2/CPU0:
asr9k-scfclient, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-scfclient-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:43 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-diags, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-diags-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:38:44 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-mcast, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mcast-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:33:02 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-mpls, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-mpls-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:31:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-lc, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-lc-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 13:28:31 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-fwdg, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-fwdg-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:34:50 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-admin, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-admin-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:29:39 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-base, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-base-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:32:17 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

asr9k-os-mpi, V 3.9.0[00], Cisco Systems, at disk0:asr9k-os-mpi-3.9.0
  Built on Mon Dec 14 12:12:19 UTC 2009
  By sjc-lds-524 in /auto/srcarchive3/production/3.9.0/asr9k/workspace for c4.2.1-p0

```

```
----- show version [09:11:31.646 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show logging [09:11:31.751 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

```

Syslog logging: enabled (33 messages dropped, 0 flushes, 0 overruns)
  Console logging: Disabled
  Monitor logging: level debugging, 0 messages logged
  Trap logging: level informational, 0 messages logged
  Buffer logging: level debugging, 319 messages logged

```

```
Log Buffer (10000000 bytes):
```

```

RP/0/RSP0/CPU0::Jan 18 09:09:59.858 : config[65761]: %MGBL-SYS-5-CONFIG_I : Configured from
console by lab
RP/0/RSP0/CPU0::Jan 18 09:10:14.046 : config[65761]: %MGBL-CONFIG-6-DB_COMMIT : Configuration
committed by user 'lab'. Use 'show configuration commit changes 1000000094' to view the
changes.
RP/0/RSP0/CPU0::Jan 18 09:10:14.066 : config[65761]: %MGBL-SYS-5-CONFIG_I : Configured from
console by lab

```

```
----- show logging [09:11:32.077 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show interfaces summary [09:11:32.183 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

Interface Type	Total	UP	Down	Admin Down
ALL TYPES	49	5	1	43
IFT_GETHERNET	45	2	1	42
IFT_LOOPBACK	1	1	0	0
IFT_ETHERNET	2	1	0	1
IFT_NULL	1	1	0	0

```
----- show interfaces summary [09:11:32.512 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show interfaces brief [09:11:32.629 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

Intf Name	Intf State	LineP State	Encap Type	MTU (byte)	BW (Kbps)
Lo0	up	up	Loopback	1500	Unknown
Nu0	up	up	Null	1500	Unknown
Mg0/RSP0/CPU0/0	up	up	ARPA	1514	100000
Mg0/RSP0/CPU0/1	admin-down	admin-down	ARPA	1514	10000
Gi0/1/0/0	down	down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/1	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/2	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/3	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/4	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/5	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/6	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/7	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/8	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/9	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/10	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/11	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/12	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/13	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/14	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/15	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/16	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/17	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/18	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/19	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/20	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/21	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/22	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/23	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/24	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/25	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/26	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/27	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/28	up	up	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/29	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/30	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/31	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/32	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/33	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/34	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/35	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/36	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/37	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/38	up	up	ARPA	1514	1000000
Gi0/1/0/39	admin-down	admin-down	ARPA	1514	1000000

show tech-support qos

```

Gi0/2/0/0 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/1 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/2 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/3 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000
Gi0/2/0/4 admin-down admin-down ARPA 1514 1000000

```

```
----- show interfaces brief [09:11:33.216 UTC Mon Jan 18 2010] -----
```

```
+++++++ show running-config [09:11:33.325 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++
```

```

Building configuration...
!! IOS XR Configuration 3.9.0
!! Last configuration change at Mon Jan 18 09:10:13 2010 by lab
!
service unsupported-transceiver
hostname MCAST-6
clock timezone UTC 5
logging console disable
logging buffered 10000000
telnet vrf default ipv4 server max-servers 5
line console
  exec-timeout 0 0
!
ntp
interface GigabitEthernet0/1/0/28
  broadcast destination 10.0.0.1
!
server 8.42.10.1
master 6
!
!
class-map match-any a
  match precedence 1
end-class-map
!
class-map match-any b
  match precedence 1
end-class-map
!
policy-map a
  class b
    set dscp af11
!
class class-default
!
end-policy-map
!
flow monitor-map fmm
  record ipv4
  cache entries 10000
  cache timeout active 70
!
sampler-map smm
  random 1 out-of 1
!
interface Loopback0
  ipv4 address 2.2.2.2 255.255.255.255
!
interface MgmtEth0/RSP0/CPU0/0
  ipv4 address 8.42.10.12 255.255.255.0
!
interface MgmtEth0/RSP0/CPU0/1
  shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/0
  negotiation auto
  l2transport
!
!
interface GigabitEthernet0/1/0/1
  shutdown

```

```
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/2  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/3  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/4  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/5  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/6  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/7  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/8  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/9  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/10  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/11  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/12  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/13  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/14  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/15  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/16  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/17  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/18  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/19  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/20  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/21  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/22  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/23  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/24  
 shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/0/25  
 shutdown  
!
```

```
interface GigabitEthernet0/1/0/26
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/27
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/28
 service-policy input a
 ipv4 address 10.0.0.2 255.255.255.0
!
interface GigabitEthernet0/1/0/29
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/30
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/31
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/32
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/33
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/34
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/35
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/36
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/37
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/1/0/38
 negotiation auto
 l2transport
!
!
interface GigabitEthernet0/1/0/39
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/0
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/1
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/2
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/3
 shutdown
!
interface GigabitEthernet0/2/0/4
 shutdown
!
router static
 address-family ipv4 unicast
  1.1.1.1/32 GigabitEthernet0/1/0/38
  202.153.0.0/16 MgmtEth0/RSP0/CPU0/0
!
!
router ospf 100
 router-id 2.2.2.2
 area 0
  interface Loopback0
  !
  interface GigabitEthernet0/1/0/28
  !
```

```
!  
!  
l2vpn  
bridge group bg  
  bridge-domain bd  
    igmp snooping profile prof1  
  interface GigabitEthernet0/1/0/0  
  !  
  interface GigabitEthernet0/1/0/38  
  !  
!  
!  
igmp snooping profile prof1  
  ttl-check disable  
  router-alert-check disable  
!  
end
```

----- show running-config [09:11:33.742 UTC Mon Jan 18 2010] -----

+++++++ show platform [09:11:33.851 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++

Failed to spawn executable shelfmgr_show_hfr: 2, No such file or directory
The following show command failed: show platform

----- show platform [09:11:34.068 UTC Mon Jan 18 2010] -----

+++++++ show policymap targets [09:11:34.177 UTC Mon Jan 18 2010] ++++++

```
1) Policymap: a      Type: qos  
  Targets (applied as main policy):  
    GigabitEthernet0/1/0/28 input  
  Total targets: 1  
  
  Targets (applied as child policy):  
  Total targets: 0
```

----- show policymap targets [09:11:35.467 UTC Mon Jan 18 2010] -----

show tech-support rdsfs

Replication Data Services File System (RDSFS) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support rdsfs** コマンドを使用します。

show tech-support rdsfs {terminal [page]| file *send-to* [background] [compressed|uncompressed] [rack]}

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

rack	(任意) ラックのリストを表示します。
-------------	---------------------

コマンドモード	EXEC
---------	------

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.8.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

**ヒント**

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者へ送信することも容易になります。

RDSFS のデバッグに固有で、準備状態への移行に関連する情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support rdsfs** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ RDSFS のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。

**(注)**

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID	タスク ID	操作
	cisco-support	read

例

次に、**show tech-support rdsfs** コマンドを実行する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support rdsfs
```

show tech-support rib

ルーティング情報ベース（RIB）のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support rib** コマンドを使用します。

show tech-support rib {**terminal** [**page**] **file** *send-to* [**background**] [**compressed**| **uncompressed**]} [**ipv4**| **ipv6**]

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	<p>(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします（つまり、改ページで停止しません）。</p> <p>コマンド出力を停止するには、Ctrl+C キーを押します。</p>
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>send-to</i>	<p>ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

ipv4 (任意) IPv4 コマンドの出力を表示します。

ipv6 (任意) IPv6 コマンドの出力を表示します。

コマンドモード EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

RIB データには、データ構造を構築するために FIB に送信されるルーティング プロトコルの最適パス情報が保存されます。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ RIB のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例 次に、出力が端末に表示される **show tech-support rib** コマンドの実行例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support rib ipv6 location active terminal page
```

show tech-support routing bfd

双方向フォワーディング検出 (BFD) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support routing bfd** コマンドを使用します。

show tech-support routing bfd {terminal [page] file *send-to* [background] [compressed|uncompressed] [rack]}

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。

uncompressed (任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

rack (任意) ラックのリストを表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

BFD のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support routing bfd** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ BFD のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support routing bfd コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show bfd session**
- **show bfd**
- **show memory heap fail all**
- **show memory summary location all**

- **show process blocked location all**
- **show adjacency**
- **show bfd location**
- **show bfd session detail location** *node-id*
- **show bfd session agent detail location**
- **show bfd timer-groups location**
- **show bfd index-mgrs location**
- **show bfd session-array location** *node-id*
- **show bfd interfaces location** *node-id*
- **show bfd bundles detail location** *node-id*
- **show bfd counters packet invalid** location *node-id*
- **show bfd counters packet private location** *node-id*
- **show bfd client private**
- **show bfd trace all-cards**
- **show controllers cpuctrl summary**
- **show controllers cpuctrl client pdma bfd active location all**
- **show controllers cpuctrl ports ingressq pdma all active location** *node-id*
- **show controllers cpuctrl ports egressq pdma all active location** *node-id*
- **show controllers pse statistics location** *node-id*

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、**show tech-support routing bfd** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support routing bfd terminal page
```

```
-----
show tech-support bfd (Detail with Event traces)
-----
```

```

----- show bfd session -----
----- show bfd -----
IPV4 Sessions Up: 0, Down: 0, Total: 0
----- show memory heap fail all -----
----- show memory summary location all -----

node:      node0_1_CPU0
-----
Physical Memory: 2048M total
Application Memory : 1905M (1401M available)
Image: 14M (bootram: 14M)
Reserved: 128M, IOMem: 2028M, flashfsys: 0
Total shared window: 55M

node:      node0_4_CPU0
-----
Physical Memory: 4096M total
Application Memory : 3947M (3549M available)
Image: 19M (bootram: 19M)

Reserved: 128M, IOMem: 2028M, flashfsys: 0
Total shared window: 21M

node:      node0_4_CPU1
-----
Physical Memory: 4096M total
Application Memory : 3947M (3518M available)
Image: 19M (bootram: 19M)
Reserved: 128M, IOMem: 2028M, flashfsys: 0
Total shared window: 21M

node:      node0_6_CPU0
-----
Physical Memory: 2048M total
Application Memory : 1905M (1408M available)
Image: 14M (bootram: 14M)
Reserved: 128M, IOMem: 2028M, flashfsys: 0
Total shared window: 55M

node:      node0_RP0_CPU0
-----
Physical Memory: 4096M total
Application Memory : 3945M (3192M available)
Image: 22M (bootram: 22M)
Reserved: 128M, IOMem: 2028M, flashfsys: 0
Total shared window: 21M

node:      node0_RP1_CPU0
-----
Physical Memory: 4096M total
Application Memory : 3945M (3372M available)
Image: 22M (bootram: 22M)
Reserved: 128M, IOMem: 2028M, flashfsys: 0
Total shared window: 21M

----- show process blocked location all -----

node:      node0_1_CPU0
-----
Jid      Pid Tid      Name State      TimeInState      Blocked-on
55       8202 1          ksh Reply    304:11:57:0624   8199 devc-ser8250
51       16407 2          attachd Reply 304:12:04:0893   16405 eth_server
51       16407 3          attachd Reply 304:12:04:0891   8204 mqueue
72       16408 6          qnet Reply    0:00:00:0000    16405 eth_server
72       16408 7          qnet Reply    0:00:00:0000    16405 eth_server
72       16408 8          qnet Reply    0:00:00:0000    16405 eth_server
72       16408 9          qnet Reply    0:00:00:0000    16405 eth_server
52       16412 1          ksh-aux Reply 304:11:59:0480   8199 devc-ser8250

```

show tech-support routing bfd

```
    50      16413    2  attach_server Reply  304:12:04:0703    8204  mqueue
    218      20516    1  reddrv_listener Reply    0:00:02:0206    16405  eth_server
.
.
.
----- show bfd location -----
Location: 0/1/CPU0
IPV4 Sessions Up: 0, Down: 0, Standby: 0, Total: 0

Location: 0/1/SP
.
.
.
```

show tech-support routing isis

Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support routing isis** コマンドを使用します。

show tech-support routing isis {terminal [page] file *send-to* [background] [compressed|uncompressed]}

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
send-to	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• <i>filename</i>• bootflash: <i>filename</i>• compactflash: <i>filename</i>• disk0: <i>filename</i>• disk1: <i>filename</i>• flash: <i>filename</i>• ftp: <i>filename</i>• harddisk: <i>filename</i>• harddiska: <i>filename</i>• nvr: <i>filename</i>• rcp: <i>filename</i>• slot0: <i>filename</i>• slot1: <i>filename</i>• tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。

uncompressed (任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

IS-IS のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support isis** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ IS-IS のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support routing isis コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- show isis trace all location all
- show isis all
- show clns statistics
- show imds interface all
- show ipv4 int brief
- show ipv6 int brief

- show route ipv4
- show route ipv6
- show inst which comp clns-isis

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、**show tech-support routing isis** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support isis terminal page
-----
show tech-support isis
-----
----- show isis instance isp trace all -----
184 wrapping entries (6144 possible, 0 filtered, 184 total)
Mar 29 08:38:18.437 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 STARTUP_START
Mar 29 08:38:18.437 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 STARTUP_MODULE
Mar 29 08:38:18.438 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 STARTUP_MODULE
Mar 29 08:38:18.438 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 THREAD_CREATING
Mar 29 08:38:18.451 isis/isp/det 0/RP0/CPU0 t1 THREAD_THREAD_ID
Mar 29 08:38:18.451 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 THREAD_CREATING
Mar 29 08:38:18.451 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 THREAD_CREATING
Mar 29 08:38:18.452 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 THREAD_CREATING
Mar 29 08:38:18.452 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 THREAD_CREATING
Mar 29 08:38:18.536 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 STARTUP_MODULE
Mar 29 08:38:19.274 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 STARTUP_MODULE
Mar 29 08:38:19.470 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 IO_PAK_SERVER_CONNECTED
Mar 29 08:38:19.551 isis/isp/det 0/RP0/CPU0 t1 IO_SOCKET_CREATE_SUCCESS
Mar 29 08:38:19.555 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t1 IO_SOCKET_CONN_OPEN
Mar 29 08:38:20.561 isis/isp/std 0/RP0/CPU0 t1 ROUTE_RIB_PURGE_TIME_SET
.
.
.
Mar 29 08:38:27.622 isis/isp/det 0/RP0/CPU0 t4 THREAD_FOP_PROCESS
Mar 29 08:38:27.622 isis/isp/det 0/RP0/CPU0 t4 SSM_TICK_TIMER FIRES CR-SYNC-LSPDB
Mar 29 08:38:27.622 isis/isp/det 0/RP0/CPU0 t4 SSM_STATE_RESULT CR-SYNC-LSPDB
Mar 29 08:38:27.622 isis/isp/det 0/RP0/CPU0 t4 SSM_STATE_TIME_BUDGET CR-SYNC-LSPDB
Mar 29 08:38:27.622 isis/isp/sev 0/RP0/CPU0 t4 SSM_STATE_RUN CR-SYNC-LSPDB
----- show isis all -----
No IS-IS isp levels found
```

show tech-support routing isis

```

No IS-IS isp levels found
No IS-IS isp IPv4 Unicast levels found
IS-IS Router: isp
  System Id: 0000.0000.0000 (Not configured, protocol disabled)
  IS Levels: level-1-2
  Manual area address(es):
  Routing for area address(es):
  Non-stop forwarding: Disabled
  Most recent startup mode: Cold Restart
  Topologies supported by IS-IS:
    IPv4 Unicast
    No protocols redistributed
    Distance: 115
  Interfaces supported by IS-IS:
    POS0/1/0/0 is disabled (active in configuration)

No IS-IS isp host data available

IS-IS isp Interfaces
POS0/1/0/0                Disabled (No NET configured)

IS-IS isp Interfaces
  Interface           All      Adjs    Adj Topos  Adv Topos  CLNS  MTU    Prio
                    OK       L1  L2    Run/Cfg   Run/Cfg  -----  ---  ---
  -----
PO0/1/0/0             No
No IS-IS isp mesh-groups found

IS-IS isp statistics:
IS-IS statistics:
  Fast PSNP cache (hits/tries): 0/0
  LSP checksum errors received: 0
  LSP Dropped: 0
  SNP Dropped: 0
  UPD Max Queue size: 0

IS-IS isp neighbor summary:
State      L1      L2      L1L2
Up          0        0        0
Init        0        0        0
Failed      0        0        0

IS-IS isp neighbors:
System Id   Interface      SNPA                State Holdtime Type IETF-NSF

IS-IS isp Database Summary for all LSPs
                    Active          Purged          All
                    L1  L2  Total  L1  L2  Total  L1  L2  Total
-----
Fragment 0 Counts
  Router LSPs:      0    0    0    0    0    0    0    0    0
  Pseudo-node LSPs: 0    0    0    0    0    0    0    0    0
  All LSPs:         0    0    0    0    0    0    0    0    0

All Fragment Counts
  Router LSPs:      0    0    0    0    0    0    0    0    0
  Pseudo-node LSPs: 0    0    0    0    0    0    0    0    0
  All LSPs:         0    0    0    0    0    0    0    0    0

IS-IS isp IS Topology Summary IPv4 Unicast
                    L1                L2
                    Reach UnReach Total  Reach UnReach Total
-----
Router nodes:      0    0    0    0    0    0
Pseudo nodes:     0    0    0    0    0    0

```

```

Total nodes:          0          0          0          0          0          0

IS-IS isp IPv4 Unicast routes

Codes: L1 - level 1, L2 - level 2, ia - interarea (leaked into level 1)
       df - level 1 default (closest attached router), su - summary null
       C - connected, S - static, R - RIP, B - BGP, O - OSPF
       i - IS-IS (redistributed from another instance)

Maximum parallel path count: 8

IS-IS isp checkpoint interface
Interface      Handle      CircNum  DIS Areas  Adj  Chkpt ID
No 'checkpoint interfaces' found in IS-IS isp

IS-IS isp checkpoint adjacencies
System ID      Interface      SNPA          Lvl  Hold Pri  CID  Chkpt ID Nexthops
No 'checkpoint adjacencies' found in IS-IS isp

IS-IS isp checkpoint LSPs
Level  LSPID          Chkpt ID
No 'checkpoint LSPs' found in IS-IS isp

Total LSP count: 0 (L1: 0, L2 0, local L1: 0, local L2 0)

----- show clns statistics -----
CLNS Statistics:
Last counter clear:          1067929 seconds ago
Total number of packets sent: 0
Total number of packets received: 0
Send packets dropped, total: 0
Send packets dropped, buffer overflow: 0
Send packets dropped, out of memory: 0
Send packets dropped, netio: 0
Send packets dropped, other: 0
Receive socket max queue size: 0
Receive packets dropped, total: 0
Receive packets dropped, other: 0
Receive packets dropped per pdu class:

Class  Overflow/Max  Rate Limit/Max
IIH    0/0          0/0
LSP    0/0          0/0
SNP    0/0          0/0
OTHER  0/0          0/0
Total  0            0

----- show imds interface all -----
IMDS INTERFACE DATA (Node 0x201)

MgmtEth0_RP0_CPU0_0 (0x00080000)
-----
flags: 0x0001002f   type: 8 (IFT_ETHERNET)   encap: 30 (ether)
state: 3 (up)      mtu: 1514   protocol count: 4
control parent: 0x00000000   data parent: 0x00000000
      protocol      capsulation      state      mtu
-----
7 (arp)

```

show tech-support routing ospf

Open Shortest Path First (OSPF) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support routing ospf** コマンドを使用します。

show tech-support routing ospf [*process-id*] [**no-trace**] [**active**|**standby**] {**terminal** [**page**] **file send-to** [**background**] [**compressed**|**uncompressed**]}

構文の説明

<i>process-id</i>	(任意) OSPF プロセスの名前。
no-trace	(任意) コマンド出力からトレース情報を除外します。
active	(任意) アクティブなルート プロセッサの情報だけを表示します。
standby	(任意) スタンバイ ルート プロセッサの情報だけを表示します。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。

<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • nvram: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

OSPF のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support routing ospf** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ OSPF のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support routing ospf コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されません。

- show ospf
- **show ospf vrf all**
- show ospf summary
- **show ospf vrf all summary**
- show ospf interface
- show ospf vrf all interface
- show ospf virtual-links
- show ospf vrf all virtual-links
- show ospf neighbor detail
- show ospf vrf all neighbor detail
- show ospf database database-summary
- show ospf vrf all database database-summary
- show ospf database router self-originate
- show ospf vrf all database router self-originate
- show ospf statistics prot
- show ospf statistics raw-io
- show ospf statistics te

- **show ospf statistics spf**
- **show ospf statistics rib-thread**
- **show ospf statistics rib-batch**
- **show ospf message-queue**
- **show ospf border-routers**
- **show ospf vrf all border-routers**
- **show ospf retransmission-list**
- **show ospf vrf all retransmission-list**
- **show ospf request-list**
- **show ospf vrf all request-list**
- **show ospf flood-list**
- **show ospf vrf all flood-list**
- **show ospf maxage-list**
- **show ospf vrf all maxage-list**
- **show ospf bad-checksum**
- **show ospf vrf all bad-checksum**
- **show ospf standby**
- **show ospf vrf all standby**
- **show ip interface brief**
- **show route ipv4 summary**
- **show route vrf all ipv4 summary**
- **show ospf trace all**
- **show logging process ospf**



(注)

- オプションを指定しなかった場合は、デフォルトですべての情報が収集されます。
- **active** オプションと **standby** オプションは相互排他で、これらのうち 1 つだけを使用できます。 **active** も **standby** も使用しない場合、両方の RP から情報が収集されます。
- **no-trace** オプションは、**active** または **standby** オプションの指定の有無に関係なく使用できます。
- **standby** オプションが指定されている場合、スタンバイ RP の OSPF 関連情報だけが出力に含まれます。バージョン、配置情報、ロギングなど、一般的な非 OSPF 情報は含まれません。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、**show tech-support routing ospf** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support routing ospf terminal page
```

```
-----
                                show tech-support ospf
-----
----- show ospf -----
Routing Process "ospf 100" with ID 10.1.1.1
Supports only single TOS(TOS0) routes
Supports opaque LSA
Initial SPF schedule delay 5000 msec
Minimum hold time between two consecutive SPFs 10000 msec
Maximum wait time between two consecutive SPFs 10000 msec
Initial LSA throttle delay 500 msec
Minimum hold time for LSA throttle 5000 msec
Maximum wait time for LSA throttle 5000 msec
Minimum LSA interval 5000 msec. Minimum LSA arrival 1 sec
Flood pacing interval 33 msec. Retransmission pacing interval 66 msec
Maximum number of configured interfaces 255
Number of external LSA 0. Checksum Sum 00000000
Number of opaque AS LSA 0. Checksum Sum 00000000
Number of DCbitless external and opaque AS LSA 0
Number of DoNotAge external and opaque AS LSA 0
Number of areas in this router is 1. 1 normal 0 stub 0 nssa
External flood list length 0
Non-Stop Forwarding enabled
  Area BACKBONE(0)
    Number of interfaces in this area is 12
    SPF algorithm executed 350 times
    Number of LSA 31. Checksum Sum 0x10c978
    Number of opaque link LSA 0. Checksum Sum 00000000
    Number of DCbitless LSA 0
    Number of indication LSA 0
    Number of DoNotAge LSA 0
    Flood list length 0
----- show ospf vrf all -----
----- show ospf summary -----
Number of OSPF interfaces 12
Number of OSPF interfaces up 12
Number of OSPF virtual interfaces up 0
Number of neighbors 9
Number of neighbors adjacent 9
Number of areas 1
  LSA Type          Count
```

```

Router      : 13
Network    : 11
Summary Net : 7
Summary ASBR : 0
Type-7 Ext : 0
Opaque Link : 0
Opaque Area : 0
Type-5 Ext : 0
Opaque AS  : 0

```

```
----- show ospf vrf all summary -----
```

```
----- show ospf interface -----
```

```

POS0/1/0/1 is up, line protocol is up
Internet Address 10.12.8.1/24, Area 0
Process ID 100, Router ID 10.1.1.1, Network Type POINT_TO_POINT, Cost: 1
Transmit Delay is 1 sec, State POINT_TO_POINT,
Timer intervals configured, Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
Non-Stop Forwarding (NSF) enabled
  Hello due in 00:00:08
Index 3/3, flood queue length 0
Next 0(0)/0(0)
Last flood scan length is 1, maximum is 19
Last flood scan time is 0 msec, maximum is 1 msec
Neighbor Count is 1, Adjacent neighbor count is 1
  Adjacent with neighbor 10.2.2.2
Suppress hello for 0 neighbor(s)
Multi-area interface Count is 0
GigabitEthernet0/1/5/1 is up, line protocol is up
Internet Address 10.14.8.1/24, Area 0
Process ID 100, Router ID 10.1.1.1, Network Type BROADCAST, Cost: 1
Transmit Delay is 1 sec, State BDR, Priority 1
Designated Router (ID) 10.4.4.4, Interface address 10.14.8.4
Backup Designated router (ID) 10.1.1.1, Interface address 10.14.8.1
Timer intervals configured, Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
Non-Stop Forwarding (NSF) enabled
  Hello due in 00:00:05
Index 2/2, flood queue length 0
Next 0(0)/0(0)
Last flood scan length is 1, maximum is 4
Last flood scan time is 0 msec, maximum is 0 msec
Neighbor Count is 1, Adjacent neighbor count is 1
  Adjacent with neighbor 10.4.4.4 (Designated Router)
Suppress hello for 0 neighbor(s)
Multi-area interface Count is 0
GigabitEthernet0/1/5/2 is up, line protocol is up
Internet Address 10.16.4.1/24, Area 0
Process ID 100, Router ID 10.1.1.1, Network Type BROADCAST, Cost: 1
Transmit Delay is 1 sec, State BDR, Priority 1
Designated Router (ID) 10.6.6.6, Interface address 10.16.4.6
Backup Designated router (ID) 10.1.1.1, Interface address 10.16.4.1
Timer intervals configured, Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
Non-Stop Forwarding (NSF) enabled
  Hello due in 00:00:04
Index 4/4, flood queue length 0
Next 0(0)/0(0)
Last flood scan length is 1, maximum is 4
Last flood scan time is 0 msec, maximum is 1 msec
Neighbor Count is 1, Adjacent neighbor count is 1
  Adjacent with neighbor 10.6.6.6 (Designated Router)
Suppress hello for 0 neighbor(s)
Multi-area interface Count is 0
POS0/6/0/1 is up, line protocol is up
Internet Address 10.12.12.1/24, Area 0
Process ID 100, Router ID 10.1.1.1, Network Type POINT_TO_POINT, Cost: 1
Transmit Delay is 1 sec, State POINT_TO_POINT,
Timer intervals configured, Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
Non-Stop Forwarding (NSF) enabled
  Hello due in 00:00:01
Index 8/8, flood queue length 0
Next 0(0)/0(0)
Last flood scan length is 1, maximum is 4

```

show tech-support routing ospf

```
Last flood scan time is 0 msec, maximum is 0 msec
Neighbor Count is 1, Adjacent neighbor count is 1
  Adjacent with neighbor 10.2.2.2
Suppress hello for 0 neighbor(s)
Multi-area interface Count is 0
.
```

show tech-support routing ospfv3

Open Shortest Path First バージョン 3 (OSPFv3) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support routing ospfv3** コマンドを使用します。

```
show tech-support routing ospfv3 [ instance ] [detail] {terminal [page]| file send-to [background]
[compressed| uncompressed]}
```

構文の説明

<i>instance</i>	(任意) OSPFv3 インスタンスの名前。
detail	(任意) 使用可能なすべての OSPFv3 情報を表示します。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rep: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>

background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート 担当者に送信することも容易になります。

OSPFv3 のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support routing ospfv3** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート 担当者にとって役立つ OSPFv3 のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカル サポート の連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support routing ospfv3 コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show version**
- **show run router ospfv3**
- **show route ipv6 ospf**

- **show ospfv3**
- **show ospfv3 interface**
- **show ospfv3 virtual-links**
- **show ospfv3 neighbor**
- **show ospfv3 message-queue**
- **show ospfv3 request-list**
- **show ospfv3 retransmission-list**
- **show ospfv3 flood-list**
- **show ospfv3 border-routers**
- **show ospfv3 database database-summary**
- **show ospfv3 database**
- **show ospfv3 route**

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、**show tech-support routing ospfv3** コマンドの切り詰められた出力の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support routing ospfv3 terminal page
Mon Nov 10 18:36:21.028 PST DST

-----

show tech-support ospfv3

-----

----- show version -----

Cisco IOS XR Software, Version 3.9.0
Copyright (c) 2009 by Cisco Systems, Inc.

ROM: System Bootstrap, Version 1.51(20080807:092259) [<router_type> ROMMON],

Router uptime is 6 days, 16 hours, 38 minutes
System image file is "bootflash:disk0/hfr-os-mbi-3.8.0.20I/mbihfr-rp.vm"
```

show tech-support routing ospfv3

```

cisco CRS-8/S (7457) processor with 4194304K bytes of memory.
7457 processor at 1197Mhz, Revision 1.2

4 Management Ethernet
16 GigabitEthernet
20 SONET/SDH
20 Packet over SONET/SDH
1019k bytes of non-volatile configuration memory.
1000592k bytes of disk0: (Sector size 512 bytes).
1000640k bytes of disk1: (Sector size 512 bytes).

Configuration register on node 0/1/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/1/CPU0 is mem:
Package active on node 0/1/CPU0:
hfr-services, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-services-3.8.0I
Built on Wed Oct 29 17:03:08 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-pagent, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:24:33 DST 2008
By iox13.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-fpd, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:19 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-diags, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:01 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-mcast, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-mcast-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 18:18:37 DST 2008
By iox22.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-mpis, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-mpis-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 18:18:25 DST 2008
By iox22.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-1c, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-1c-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:18:36 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-fwdg, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-fwdg-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:13:27 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-admin, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-admin-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:08:13 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-base, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-base-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:07:35 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-os-mbi, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mbi-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 15:45:48 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

Configuration register on node 0/4/CPU0 is 0x102
Boot device on node 0/4/CPU0 is disk0:
Package active on node 0/4/CPU0:
hfr-services, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-services-3.8.0I
Built on Wed Oct 29 17:03:08 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-pagent, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:24:33 DST 2008
By iox13.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

hfr-doc, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-doc-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:31 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuid6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

```

```
hfr-fpd, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:19 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-diags, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:01 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-k9sec, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-k9sec-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:59:58 DST 2008
By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-mgbl, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-mgbl-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:31:48 DST 2008
By sjc5-gf-021.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/h0

hfr-mcast, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-mcast-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 18:18:37 DST 2008
By iox22.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-mpls, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-mpls-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 18:18:25 DST 2008
By iox22.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-rout, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-rout-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:21:29 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-lc, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-lc-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:18:36 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-fwdg, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-fwdg-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:13:27 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-admin, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-admin-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:08:13 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-base, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-base-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:07:35 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-os-mbi, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-os-mbi-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 15:45:48 DST 2008
By iox30.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

Configuration register on node 0/4/CPU1 is 0x102
Boot device on node 0/4/CPU1 is disk0:
Package active on node 0/4/CPU1:
hfr-services, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-services-3.8.0I
Built on Wed Oct 29 17:03:08 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-pagent, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-pagent-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:24:33 DST 2008
By iox13.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-doc, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-doc-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:31 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-fpd, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-fpd-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:19 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-diags, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-diags-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 17:02:01 DST 2008
By iox3.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/work0

hfr-k9sec, V 3.8.0.20I[DT_IMAGE], Cisco Systems, at disk0:hfr-k9sec-3.8.0.20I
Built on Wed Oct 29 16:59:58 DST 2008
```

show tech-support routing ospfv3

By iox26.cisco.com in /auto/ioxbuild6/production/3.8.0.20I.DT_IMAGE/hfr/wor0

--More--

show tech-support routing rpl

ルーティング ポリシー言語 (RPL) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support routing rpl** コマンドを使用します。

show tech-support routing rpl {terminal [page] file *send-to* [background] [compressed|uncompressed]}

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を1ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
send-to	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• <i>filename</i>• bootflash: <i>filename</i>• compactflash: <i>filename</i>• disk0: <i>filename</i>• disk1: <i>filename</i>• flash: <i>filename</i>• ftp: <i>filename</i>• harddisk: <i>filename</i>• harddiska: <i>filename</i>• nvr: <i>filename</i>• rcp: <i>filename</i>• slot0: <i>filename</i>• slot1: <i>filename</i>• tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。

uncompressed (任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

RPL のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support routing rpl** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ RPL のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注) ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

show tech-support routing rpl コマンドを実行すると、次の **show** コマンドが自動的に実行されます。

- **show running-config rpl**
- **show process policy_repository**
- **show rpl route-policy policy-name pxl**
- **show sysdb reg notif path /ipc/gl/policy_lang/policies/routing/ policy-name /pxl s**

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、**show tech-support routing rpl** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support routing rpl terminal page
```

```
Mon Nov 10 18:53:02.220 PST DST
```

```
-----  
start of show tech-support routing rpl  
-----
```

```
-----  
RPL CLients Configuration  
-----
```

```
router ospf 100  
router-id 10.2.2.2  
nsf cisco  
area 0  
mpls traffic-eng  
interface Bundle-POS24  
!  
interface Loopback0  
passive enable  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/1  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/2  
bfd fast-detect  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/1  
!  
interface POS0/1/0/1  
!  
interface POS0/1/0/2  
!  
interface POS0/1/0/3  
!  
interface POS0/6/0/1  
!  
interface POS0/6/4/4  
!  
interface POS0/6/4/6  
!  
interface POS0/6/4/7  
!  
!  
mpls traffic-eng router-id Loopback0  
!  
!
```

```
Mon Nov 10 18:53:03.313 PST DST
```

show tech-support routing rpl

```

% No such configuration item(s)

Mon Nov 10 18:53:03.975 PST DST
router isis lab
is-type level-2-only
net 49.1122.0000.0000.0002.00
interface Loopback0
passive
address-family ipv4 unicast
!
!
interface POS0/1/0/2
address-family ipv4 unicast
!
!
interface POS0/1/0/3
address-family ipv4 unicast
!
!
!

Mon Nov 10 18:53:04.699 PST DST
% No such configuration item(s)

Mon Nov 10 18:53:05.457 PST DST
router eigrp 24
vrf vrf_1
address-family ipv4
router-id 172.20.0.0
default-metric 100000 4000 200 45 4470
autonomous-system 6
redistribute connected
interface GigE0/1/0/0
site-of-origin 201:1
!
!
!
!

Mon Nov 10 18:53:06.181 PST DST
% No such configuration item(s)

Mon Nov 10 18:53:07.004 PST DST

-----
show process policy_repository
-----

Job Id: 312
PID: 794895
Executable path: /disk0/hfr-rout-3.8.0.20I/bin/policy_repository
Instance #: 1
Version ID: 00.00.0000
Respawn: ON
Respawn count: 2
Max. spawns per minute: 12
Last started: Tue Nov 4 02:56:20 2008
Process state: Run (last exit status : 203)
Package state: Normal
Started on config: cfg/gl/policy_lang/policies/
core: MAINMEM
Max. core: 0
Level: 172
Placement: ON
startup_path: /pkg/startup/pr.startup
Ready: 10.672s
Process cpu time: 0.198 user, 0.046 kernel, 0.244 total
JID   TID  Stack pri state      TimeInState      HR:MM:SS:MSEC NAME
312   2    28K  10 Receive    156:58:40:0190   0:00:00:0240 policy_reposiy
-----

Mon Nov 10 18:53:07.633 PST DST
% No such configuration item(s)

```

```

Mon Nov 10 18:53:08.002 PST DST
SysDB Verification Registrations:
jid:      nid:      tid:      handle:      reg_path:
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000606 '/cfg/gl/pim/./ip4/b/rpf/topology'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000597 '/cfg/gl/pim/./ip4/b/rpf/topology'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000607 '/cfg/gl/pim/./ip6/b/rpf/topology'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000598 '/cfg/gl/pim/./ip6/b/rpf/topology'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000595 '/cfg/gl/rip/./ord_t/if/./ord_t/policy'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000571 '/cfg/gl/rip/./ord_t/if/./ord_t/policy'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000596 '/cfg/gl/rip/./ord_t/if/./ord_t/policy'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000573 '/cfg/gl/rip/./ord_t/if/./ord_t/policy'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000588 '/cfg/gl/rip/./ord_t/redist/./7.*'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000564 '/cfg/gl/rip/./ord_t/redist/./.*'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000592 '/cfg/gl/rip/./ord_t/policy-in'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000568 '/cfg/gl/rip/./ord_t/policy-in'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000594 '/cfg/gl/rip/./ord_t/policy-out'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000569 '/cfg/gl/rip/./ord_t/policy-out'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000590 '/cfg/gl/rip/./ord_t/defaultinformation'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000566 '/cfg/gl/rip/./ord_t/defaultinformation'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000578 '/cfg/gl/rsi/vrf/./ord_z/afi_safi/././de'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000553 '/cfg/gl/rsi/vrf/./ord_z/afi_safi/././de'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000579 '/cfg/gl/rsi/vrf/./ord_z/afi_safi/././de'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000555 '/cfg/gl/rsi/vrf/./ord_z/afi_safi/././de'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000602 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000587 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000603 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000589 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000600 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000584 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000601 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000586 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000599 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000583 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000604 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000591 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000605 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000593 '/cfg/gl/eigrp/proc/././ord_m/af/./or'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000565 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000540 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000570 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000543 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000585 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000562 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000576 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000550 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000560 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000538 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000580 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000557 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000541 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000530 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000581 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000559 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000546 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./nbr./edm/.'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000532 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./nbr./edm/.'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000552 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./nbr./edm/.'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000534 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./nbr./edm/.'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000556 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./nbr./edm/.'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000536 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./nbr./edm/.'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000574 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./nbr./edm/.'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000547 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_a./nbr./edm/.'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000567 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000542 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000572 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000545 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000577 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000551 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000563 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000539 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000544 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000531 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000582 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'
00000312 0/RP1/CPU0 0002 00000561 '/cfg/gl/ip-bgp/./ord_b./gbl/edm/ord_'

```

```
show tech-support routing rpl
```

```
00000312 0/RP0/CPU0 0002 00000549 '/cfg/gl/ip-bgp/.*/ord_b./*/nbr./*/edm/.'  
--More--
```

show tech-support serial

シリアルデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support serial** コマンドを使用します。

```
show tech-support serial {terminal [page]| file send-to [background] [compressed| uncompressed]}
[interface type instance] [show-only] [trace-only] [location node-id] all
```

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
sent-to	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tfoot: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
interface	(任意) 特定のインターフェイスの情報を収集します。
type	インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。

<i>instance</i>	<p>次に示す、物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスのいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物理インターフェイス インスタンス。名前表記は <i>rack/slot/module/port</i> です。値の間に表記の一部としてスラッシュが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <i>rack</i> : ラックのシャーシ番号。 <i>slot</i> : モジュラ サービス カードまたはラインカードの物理スロット番号。 <i>module</i> : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。 <i>port</i> : インターフェイスの物理ポート番号。 <p>(注) ルートプロセッサ カードにある管理イーサネット インターフェイスについては、物理スロット番号は英数字 (RP0 または RP1)、モジュールは CPU0 です。例: インターフェイス MgmtEth0/RP1/CPU0/0。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイス タイプによって異なります。 <p>ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。</p>
show-only	(任意) show コマンドの情報だけを収集します。
terminal	コマンド出力が端末に表示されるように指定します。
trace-only	(任意) トレース情報だけを収集します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべての場所を指定します。
page	<p>(任意) コマンド出力が一度に 1 ページずつ表示されるように指定します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。</p> <p>コマンド出力を停止するには、Ctrl+C キーを押します。</p>

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者へ送信することも容易になります。

T1/E1 などシリアル関連のデータには、**show tech-support serial** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つシリアルのデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support serial** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support serial terminal page
```

```
-----
show tech-support serial
-----
```



```
description Connected to P2_CRS-8 Bundle-Ether 28.1
ipv4 address 10.12.29.1 255.255.255.0
dot1q vlan 29
!
interface Bundle-Ether28.2
description Connected to P2_CRS-8 Bundle-Ether 28.2
ipv4 address 10.12.30.1 255.255.255.0
dot1q vlan 30
!
interface Bundle-Ether28.3
description Connected to P2_CRS-8 Bundle-Ether 28.3
ipv4 address 10.12.31.1 255.255.255.0
```

show tech-support sanitized

サニタイズされたコンフィギュレーション出力に固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support sanitized** コマンドを使用します。

show tech-support sanitized {**terminal** [**page**] **file** *send-to* [**background**] [**compressed**| **uncompressed**]} [**location** *node-id*] [**all**] [**rack**]

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。

uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべての場所を指定します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者へ送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つデバッグ情報として、サニタイズされたコンフィギュレーション出力を生成します。シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support sanitized** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support sanitized terminal page
```

```
-----
show tech-support
-----
```

```
----- show running-config (sanitized) -----
Building configuration...
!! Last configuration change at Wed Oct 10 20:05:13 2007 by <removed>
!
hostname <removed>
line console
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
line default
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
clock timezone <removed> 8
clock summer-time <removed> recurring 2 sunday march 02:00 first sunday november0
logging console informational
telnet vrf <removed> ipv4 server max-servers no-limit
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.1
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.2
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.3
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.4
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.5
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.6
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.7
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.8
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.9
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.10
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.11
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.12
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.13
domain ipv4 host <removed> 10.0.0.14
domain lookup disable
username <removed>
  password 7 <removed>
!
aps group 1
  revert 1
  channel 0 local SONET0/1/4/3
  channel 1 local SONET0/1/4/2
!
vty-pool default 0 25
alias <removed> <removed>
alias <removed> <removed>
alias <removed> <removed>
alias <removed> <removed>
```



```
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/2  
description <removed>  
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/3  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/4  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/5  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/6  
description <removed>  
bundle id 28 mode active  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/7  
description <removed>  
bundle id 28 mode active  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/0  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/1  
description <removed>  
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/2  
description <removed>  
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/3  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/4  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/5  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/6  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/6/5/7  
description <removed>  
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0  
!  
interface POS0/1/0/0  
shutdown  
!  
interface POS0/1/0/1  
description <removed>  
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0  
!  
interface POS0/1/0/2  
shutdown  
!  
interface POS0/1/0/3  
shutdown  
!  
interface POS0/1/4/0  
description <removed>  
bundle id 24 mode active  
!  
interface POS0/1/4/1  
description <removed>  
bundle id 24 mode active  
!  
interface POS0/1/4/2  
description <removed>  
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0
```

```
encapsulation ppp
ppp pap sent-username <removed> password encrypted <removed>
ppp authentication chap pap
ppp chap password encrypted <removed>
!
interface POS0/1/4/3
description <removed>
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0
encapsulation ppp
ppp pap sent-username <removed> password encrypted <removed>
ppp authentication chap pap
ppp chap password encrypted <removed>
!
interface POS0/6/0/0
description <removed>
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0
!
interface POS0/6/0/1
description <removed>
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0
!
interface POS0/6/0/2
shutdown
!
interface POS0/6/0/3
description <removed>
ipv4 address 10.0.0.14 255.0.0.0
!
interface POS0/6/4/0
```

show tech-support services

サービスに関連するテクニカル サポート情報に固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support services** コマンドを使用します。

show tech-support services diversion {**terminal** [**page**] **file** *send-to* [**background**] [**compressed**]
uncompressed]} [**location** *node-id*] **all**

構文の説明

diversion	パケット転送に関する情報を収集します。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。

compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべての場所を指定します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者へ送信することも容易になります。

Cisco IOS XR プラットフォーム用のサービス ブレードで使用される、サービス転送インフラストラクチャに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support services** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つサービスのデバッグ情報に関連するテクニカルサポート情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンド リファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンド リファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support services** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support services diversion terminal page
-----
show tech-support service diversion
-----

Global information
-----

----- show platform -----
Node           Type           PLIM           State          Config State
-----
0/1/CPU0       MSC            Jacket Card    IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/1/0          MSC (SPA)      4XOC3-POS     OK             PWR, NSHUT, MON
0/1/1          MSC (SPA)      4T3E3         OK             PWR, NSHUT, MON
0/1/4          MSC (SPA)      4XOC48-POS    OK             PWR, NSHUT, MON
0/1/5          MSC (SPA)      8X1GE         OK             PWR, NSHUT, MON
0/4/CPU0       DRP (Active)   DRP-ACC       IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/4/CPU1       DRP (Active)   DRP-ACC       IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/6/CPU0       MSC            Jacket Card    IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/6/0          MSC (SPA)      4XOC3-POS     OK             PWR, NSHUT, MON
0/6/4          MSC (SPA)      8XOC3/OC12-POS OK             PWR, NSHUT, MON
0/6/5          MSC (SPA)      8X1GE         OK             PWR, NSHUT, MON
0/RP0/CPU0     RP (Active)    N/A           IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/RP1/CPU0     RP (Standby)  N/A           IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON

----- show redundancy -----
Redundancy information for node 0/4/CPU0:
=====
Node 0/4/CPU0 is in ACTIVE role
Node 0/4/CPU0 has no valid partner

Reload and boot info
-----
DRP reloaded Thu Oct 11 19:23:45 2007: 6 days, 17 hours, 25 minutes ago
Active node booted Thu Oct 11 19:23:45 2007: 6 days, 17 hours, 25 minutes ago

Redundancy information for node 0/4/CPU1:
=====
Node 0/4/CPU1 is in ACTIVE role
Node 0/4/CPU1 has no valid partner

Reload and boot info
-----
DRP reloaded Thu Oct 11 19:24:38 2007: 6 days, 17 hours, 25 minutes ago
Active node booted Thu Oct 11 19:24:38 2007: 6 days, 17 hours, 25 minutes ago

Redundancy information for node 0/RP0/CPU0:
=====
```

```

Node 0/RP0/CPU0 is in ACTIVE role
Partner node (0/RP1/CPU0) is in STANDBY role
Standby node in 0/RP1/CPU0 is ready
Standby node in 0/RP1/CPU0 is NSR-ready

```

```

Reload and boot info
-----

```

```

RP reloaded Thu Oct 11 19:18:01 2007: 6 days, 17 hours, 31 minutes ago
Active node booted Thu Oct 11 19:18:01 2007: 6 days, 17 hours, 31 minutes ago
Standby node boot Thu Oct 11 19:17:51 2007: 6 days, 17 hours, 31 minutes ago
Standby node last went not ready Thu Oct 11 20:13:05 2007: 6 days, 16 hours, 36o
Standby node last went ready Thu Oct 11 20:13:06 2007: 6 days, 16 hours, 36 mino
Standby node last went not NSR-ready Thu Oct 11 19:29:45 2007: 6 days, 17 hourso
Standby node last went NSR-ready Thu Oct 11 19:29:45 2007: 6 days, 17 hours, 19o
There have been 0 switch-overs since reload

```

```

----- show context location all -----

```

```

node:      node0_1_CPU0
-----

```

```

node:      node0_4_CPU0
-----

```

```

Crashed pid = 41000 (pkg/bin/dsc)
Crashed tid = 5
Crash time: Mon Oct 15, 2007: 04:54:16
Core for process at harddisk:/dumper/dsc.node0_4_CPU0.ppc.Z

```

```

Stack Trace

```

```

#0 0xfc1e6d90
#1 0xfc1e6d88
#2 0xfc1e53a0
#3 0xfc1e826c
#4 0xfc16b0c8
#5 0xfc16a7e4
#6 0xfc16a324
#7 0xfc16e7a8
#8 0xfc16ea08
#9 0x48200e20

```

```

Registers info

```

```

          r0      r1      r2      r3
R0  00000000  4811bc50  48215204  00000000

```

show tech-support snmp

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）エージェントに関連するテクニカル サポート情報に固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support snmp** コマンドを使用します。

show tech-support snmp [entitymib| ifmib] [rack] [location node-id| all] file send-to

構文の説明

entitymib	(任意) entitymib のデバッグ情報を表示します。
ifmib	(任意) ifmib のデバッグ情報を表示します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
send-to	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • compactflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • flash: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • slot0: <i>filename</i> • slot1: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
location	(任意) ノードを指定します。

node-id (任意) ノード ID。 *node-id* 引数は、 *rack/slot/module* の形式で入力します。

all (任意) すべての場所を指定します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース

変更箇所

リリース 3.7.2

このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。 ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。 ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカルサポート担当者に送信することも容易になります。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。 Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID

操作

basic-services

read

cisco-support

read

例

次に、端末に表示される **show tech-support snmp** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support snmp
```

show tech-support spaipc

SPA プロセス間通信 (SPAIPC) のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support spaipc** コマンドを使用します。

```
show tech-support spaipc {terminal [page]| file send-to [background] [compressed|uncompressed]}
[interface type interface-path-id] [show-only] [trace-only] [location node-id] all
```

構文の説明

file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
interface	(任意) 特定のインターフェイスの情報を収集します。
<i>type</i>	インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。

<i>interface-path-id</i>	物理インターフェイスまたは仮想インターフェイス。 (注) ルータに現在設定されているすべてのインターフェイスのリストを表示するには、 show interfaces コマンドを使用します。ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用してください。
show-only	(任意) show コマンドの情報だけを収集します。
terminal	端末にコマンド出力を表示します。
trace-only	(任意) トレース情報だけを収集します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべての場所を指定します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。 Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース

変更箇所

リリース 2.0

このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。 ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者に送信することも容易になります。

このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つ SPAIPC のデバッグ情報を生成します。 シスコのテクニカル サポートの連絡先については、ページiiiの「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。 Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show tech-support spaipc** コマンドを実行する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support spaipc terminal page
-----
show tech-support spaipc
-----

----- show running-config -----
Building configuration...
!! Last configuration change at Wed Oct 10 20:05:13 2007
!
hostname P1_CRS-8
line console
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
line default
  exec-timeout 600 0
  session-timeout 600
!
clock timezone PST 8
clock summer-time DST recurring 2 sunday march 02:00 first sunday november 02:00
logging console informational
telnet vrf default ipv4 server max-servers no-limit
domain ipv4 host p1 172.29.52.72
domain ipv4 host p2 172.29.52.77
domain ipv4 host ce6 172.29.52.73
domain ipv4 host ce7 172.29.52.78
```



```
!  
interface MgmtEth0/4/CPU0/0  
description Connected to Lab LAN  
ipv4 address 172.29.52.46 255.255.255.0  
!  
interface MgmtEth0/4/CPU1/0  
description Connected to Lab LAN  
ipv4 address 172.29.52.47 255.255.255.0  
!  
interface MgmtEth0/RP0/CPU0/0  
description Connected to Lab LAN  
ipv4 address 172.29.52.70 255.255.255.0  
!  
interface MgmtEth0/RP1/CPU0/0  
description Connected to Lab LAN  
ipv4 address 172.29.52.71 255.255.255.0  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/0  
description Connected to P2_CRS-8 GE 0/1/5/0  
ipv4 address 10.12.16.1 255.255.255.0  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/1  
description Connected to P4_C12810 GE 5/2  
ipv4 address 10.14.8.1 255.255.255.0  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/2  
description Connected to PE6_C12406 GE 0/4/0/1  
ipv4 address 10.16.4.1 255.255.255.0  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/3  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/4  
shutdown  
!  
interface GigabitEthernet0/1/5/5
```

show tech-support sysdb

システム データベース (SysDB) に固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support sysdb** コマンドを使用します。

```
show tech-support sysdb {terminal [page]| file send-to [background] [compressed| uncompressed]}
[shared-plane| rack] [location node-id]
```

構文の説明

terminal	端末にコマンド出力を表示します。
page	(任意) コマンド出力を 1 ページずつ表示します。Return キーを押して、出力の次の行を表示するか、スペースバーを使用して、次の情報ページを表示します。使用しない場合、出力がスクロールします (つまり、改ページで停止しません)。 コマンド出力を停止するには、 Ctrl+C キーを押します。
file	コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
<i>sent-to</i>	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i> <i>l</i>am
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。

shared-plane	(任意) 共有プレーンのデータを表示します。
rack	(任意) ラックのリストを表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
node-id	(任意) ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント

このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカル サポート担当者へ送信することも容易になります。

システム データベースは、一部の IPC データの設定および統計データを保存するメモリ データベースです。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカル サポート担当者にとって役立つデバッグ情報に関連するシステム データベース情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」を参照してください。



(注)

ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

これらのコマンドの詳細およびコマンド出力に関する説明については、Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスを参照してください。Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドリファレンスは、次の URL にあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps5845/prod_command_reference_list.html

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、端末に表示される **show tech-support sysdb** コマンドの出力の一部を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support sysdb terminal page
-----
show tech-support sysdb on location all
-----
----- show platform -----
Node          Type          PLIM          State          Config State
-----
0/1/CPU0      L3 Service Eng N/A           IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/2/CPU0      L3LC Eng 5+   Jacket Card   IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/2/0         SPA           SPA-4XOC3-POS-V  READY         PWR, NSHUT
0/2/1         SPA           SPA-IPSEC-2G-2  READY         PWR, NSHUT
0/4/CPU0      L3LC Eng 5+   Jacket Card   IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON
0/4/0         SPA           SPA-2X1GE-V2    READY         PWR, NSHUT
0/4/1         SPA           SPA-8X1FE-TX-V2  READY         PWR, NSHUT
0/5/CPU0      PRP(Active)   N/A           IOS XR RUN     PWR, NSHUT, MON

----- show redundancy -----
Redundancy information for node 0/5/CPU0:
=====
Node 0/5/CPU0 is in ACTIVE role
Node 0/5/CPU0 has no valid partner

Reload and boot info
-----
PRP reloaded Thu Oct 11 03:17:26 2007: 1 week, 18 hours, 10 minutes ago
Active node booted Thu Oct 11 03:17:26 2007: 1 week, 18 hours, 10 minutes ago

----- follow sysdb processes -----

Note that these commands will only run on the currently attached
node, regardless of location specified

These commands are run once now and once towards the end of the
command. This is to avoid the delay between iterations of follow

----- follow process 94284 iteration 1 verbose -----
Attaching to process pid = 94284 (pkg/bin/sysdb_mc)
No tid specified, following all threads

DLL Loaded by this process
-----
DLL path          Text addr. Text size Data addr. Data size Version
-----
/pkg/lib/libsysmgr.dll 0xfc133000 0x00013750 0xfc147000 0x0000066c 0
/pkg/lib/libcerno.dll 0xfc148000 0x00002f94 0xfc088eb0 0x00000128 0
/pkg/lib/libcerr_dll_tbl.dll 0xfc14b000 0x00004bb0 0xfc0c5cc0 0x00000148 0
/pkg/lib/libltrace.dll 0xfc150000 0x000095d8 0xfc14766c 0x00000328 0
```

```

/pkg/lib/lib_platform_infra ltrace.dll 0xfc15a000 0x00001044 0xfc0c5e08 0x00000000
/pkg/lib/libinfra.dll 0xfc15c000 0x000397b0 0xfc196000 0x000000cc0 0
/pkg/lib/cerrno/libinfra_error.dll 0xfc1211dc 0x00000cd8 0xfc0c5e90 0x000000a8 0
/pkg/lib/libbios.dll 0xfc197000 0x0002d510 0xfc1c5000 0x00002000 0
/pkg/lib/cerrno/libevent_manager_error.dll 0xfc130144 0x00000e88 0xfc0c5f38 0x00
/pkg/lib/libss_common.dll 0xfc1c7000 0x000088f0 0xfc147994 0x00000274 0
/pkg/lib/libc.dll 0xfc1d0000 0x0007b6e0 0xfc24c000 0x00002000 0
/pkg/lib/lib_procfs_util.dll 0xfc252000 0x00004e8c 0xfc196cc0 0x000002a8 0
/pkg/lib/libplatform.dll 0xfc25e000 0x0000e144 0xfc26d000 0x00002000 0
/pkg/lib/libsyslog.dll 0xfc26f000 0x0000564c 0xfc25d258 0x00000328 0
/pkg/lib/libdebug.dll 0xfc275000 0x00012764 0xfc25d580 0x00000630 0
/pkg/lib/cerrno/libdebug_error.dll 0xfc26c144 0x00000db0 0xfc147e20 0x000000e8 0
/pkg/lib/lib_mbus_api.dll 0xfc288000 0x00014670 0xfc29d000 0x00002000 0
/pkg/lib/libc12000_device_info.dll 0xfc2be000 0x00002c40 0xfc147f70 0x00000068 0
/pkg/lib/libnodeid.dll 0xfc2c2000 0x00008204 0xfc25dbb0 0x000001e0 0
/pkg/lib/libshmwin.dll 0xfc474000 0x00013c1c 0xfc488000 0x00000834 0
/pkg/lib/cerrno/libshmwin_error.dll 0xfc489000 0x000013e0 0xfc3bef44 0x000000880
/pkg/lib/libgroup.dll 0xfc629000 0x00018fd4 0xfc642000 0x00000508 0
/pkg/lib/libsysdb.dll 0xfc643000 0x00050b00 0xfc694000 0x00000b74 0
/pkg/lib/libgsputils.dll 0xfc6ba000 0x0000aaa8 0xfc6c5000 0x000007e8 0
/pkg/lib/cerrno/libsysmgr_error.dll 0xfc5ca058 0x00000f94 0xfc5b3ecc 0x000000880
/pkg/lib/libsysdbutils.dll 0xfc6db000 0x0000d378 0xfc694b74 0x0000046c 0
/pkg/lib/cerrno/libsysdb_error_v1v2.dll 0xfc6eb000 0x00001e08 0xfc613d1c 0x000000
/pkg/lib/cerrno/libsysdb_error_v2only.dll 0xfc6f5000 0x00002848 0xfc613da4 0x000
/pkg/lib/cerrno/libsysdb_error_callback.dll 0xfc6fb000 0x0000168c 0xfc613f14 0x0
/pkg/lib/cerrno/libsysdb_error_distrib.dll 0xfc6fd000 0x0000183c 0xfc6c5c04 0x00
/pkg/lib/libltrace_shmem.dll 0xfc728000 0x00003714 0xfc6daae0 0x00000168 0
/pkg/lib/libens.dll 0xfc824000 0x0000f304 0xfc834000 0x00002000 0
/pkg/lib/libsysdbsvr_common.dll 0xfca28000 0x0000622c 0xfc9a95b0 0x00000288 0
/pkg/lib/libnrsutils.dll 0xfca53000 0x00004254 0xfca3ed64 0x000000e8 0
/pkg/lib/libnrs.dll 0xfcaf4000 0x00007fd4 0xfcaed958 0x00000628 0
/pkg/lib/cerrno/libnrs_error.dll 0xfcb39000 0x000015ec 0xfca8aebc 0x00000068 0
/pkg/lib/libasync.dll 0xfcb74000 0x0000cb10 0xfcb81000 0x00000b74 0
/pkg/lib/cerrno/libasync_error.dll 0xfca52010 0x00000ed8 0xfcb36f50 0x00000088 0
/pkg/lib/libport_un.dll 0xfd165000 0x00001678 0xfd0d0b30 0x00000068 0
/pkg/lib/libatc_cache.dll 0xfd243000 0x000063b4 0xfd242108 0x00000294 0

```

Iteration 1 of 1

```

-----
Current process = "pkg/bin/sysdb_mc", PID = 94284 TID = 1 (main)
registers_info:      r0      r1      r2      r3
registers_info: R0  00000020  481ffad0  4823b6c0  481ffb38
registers_info:      r4      r5      r6      r7
registers_info: R4  00000000  0000000c  00000000  fc24c618
registers_info:      r8      r9      r10     r11
registers_info: R8  fc250000  fc250000  481ffffc0  00000000
registers_info:      r12     r13     r14     r15
registers_info: R12 48231ee8  4823b510  481ffbb0  00000002
registers_info:      r16     r17     r18     r19
registers_info: R16 481ffbc4  00000001  00000000  00000000
registers_info:      r20     r21     r22     r23
registers_info: R20 00000001  481ffb38  00000001  48230000
registers_info:      r24     r25     r26     r27
registers_info: R24 48220000  24000024  48238e60  00000000
registers_info:      r28     r29     r30     r31
registers_info: R28 00000001  481ffaf8  48230000  00000000

```

show tech-support tty

TTY に関連するテクニカル サポート情報に固有の情報を表示する **show** コマンドを自動的に実行するには、EXEC モードで **show tech-support services** コマンドを使用します。

show tech-support tty [**file** *sent-to* [**background** | **compressed** | **uncompressed**]] **location** *node-id* | **rack** *rack-id*]

構文の説明

file	(任意) コマンド出力が指定されたファイルに格納されるように指定します。
sent-to	ファイルの名前。有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>filename</i> • bootflash: <i>filename</i> • disk0: <i>filename</i> • disk0a: <i>filename</i> • disk1: <i>filename</i> • disk1a: <i>filename</i> • disk2: <i>filename</i> • ftp: <i>filename</i> • harddisk: <i>filename</i> • harddiska: <i>filename</i> • harddiskb: <i>filename</i> • lcdisk0: <i>filename</i> • lcdisk0a: <i>filename</i> • nvr: <i>filename</i> • rcp: <i>filename</i> • tftp: <i>filename</i>
background	(任意) コマンドがバックグラウンドで実行されるように指定します。
compressed	(任意) 圧縮されたコマンド出力を表示します。
uncompressed	(任意) 圧縮なしでコマンド出力を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) ノードを指定します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

rack *rack-id* (任意) ラックのリストを指定します。
rack-id はラック番号を示します。

コマンド デフォルト コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 4.3.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



ヒント このコマンドは大量の出力を生成することがあります。 **file send-to** キーワードと引数を使用して、出力をファイルにリダイレクトすることができます。ファイルに出力をリダイレクトすると、出力をシスコのテクニカルサポート担当者に送信することも容易になります。

tty のデバッグに固有の情報を表示する **show** コマンドを実行するには、**show tech-support tty** コマンドを使用します。このコマンドは、ルータのトラブルシューティング時に、シスコのテクニカルサポート担当者にとって役立つ tty のデバッグ情報を生成します。シスコのテクニカルサポートの連絡先については、ページ iii の「はじめに」の「マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート」を参照してください。



(注) ルータの通常の使用時に、このコマンドは不要です。

タスク ID	タスク ID	操作
	cisco-support	read

例

次に、**show tech-support tty** コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tech-support tty
Tue Sep  4 09:41:21.414 UTC
++ Show tech start time: 2012-Sep-04.094121.UTC ++
Tue Sep 04 09:41:22 UTC 2012 Waiting for gathering to complete
.....
Tue Sep 04 09:44:31 UTC 2012 Compressing show tech output
Show tech output available at 0/RP0/CPU0 :
harddisk:/showtech/showtech-tty-2012-Sep-04.094121.UTC.tgz
++ Show tech end time: 2012-Sep-04.094432.UTC ++
```

show tty details

TTY セッション情報を表示するには、EXEC モードで **show tty details** コマンドを使用します。

show tty details [*location node-id*]

構文の説明

location node-id (任意) ノードを指定します。 *node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 4.3.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
tty-access	read

例

次に、**show tty details** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tty details
Mon Sep  3 08:18:19.057 UTC
```

	Session Id	Exec Pid	Master Pid	PTY Count	Net Count	IBuf Count
Con	0	39280825	----	----	----	----
Aux	0	8201	----	----	----	----

	Session Id	Exec Pid	Master Pid	PTY Count	Net Count	IBuf Count
VTY	0	1077467	1077452	642	40582	655

次に、**show tty details location 0/RP0/CPU0** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show tty details location 0/RP0/CPU0
Mon Sep  3 08:20:29.469 UTC
```

	Session Id	Exec Pid	Master Pid	PTY Count	Net Count	IBuf Count
Con	0	39280825	----	----	----	----
Aux	0	8201	----	----	----	----
	Session Id	Exec Pid	Master Pid	PTY Count	Net Count	IBuf Count
VTY	0	1077467	1077452	642	40582	655



WatchDog コマンド

このモジュールでは、Cisco IOS XR ソフトウェアを実行中のルータのメモリ状態およびしきい値をモニタするために使用するコマンドについて説明します。

- [show critmon context, 306 ページ](#)
- [show critmon deadline, 311 ページ](#)
- [show critmon statistics, 314 ページ](#)
- [show critmon trace all, 322 ページ](#)
- [show critmon trace error, 325 ページ](#)
- [show critmon trace info, 327 ページ](#)
- [show critmon trace lib-error, 329 ページ](#)
- [show critmon trace lib-info, 331 ページ](#)
- [show reboot first, 333 ページ](#)
- [show reboot graceful, 336 ページ](#)
- [show reboot history, 338 ページ](#)
- [show reboot last, 341 ページ](#)
- [show reboot pcds, 344 ページ](#)
- [show watchdog, 347 ページ](#)

show critmon context

wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **show critmon context** コマンドを使用します。

show critmon context {**all**| **deadline** [**client** *client-name*]| **ticker**| **watcher**} **location** {*node-id*| **all**}

構文の説明

all	wd-critical-mon プロセスのすべてのコンテキスト情報を表示します。
deadline	期限モニタリング クライアント アプリケーションのコンテキスト情報を表示します。
client	(任意) 指定されたクライアントの情報だけを表示します。
<i>client-name</i>	クライアントの名前。
ticker	wd-critical-mon プロセスのティックャー コンテキストの情報を表示します。
watcher	wd-critical-mon プロセスのウォッチャ コンテキストの情報を表示します。
location	フィルタするノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示するには、**show critmon context** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show critmon context** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show critmon context all location all
```

```
-----
Ticker context info (Node: 0/5/CPU0)
-----
```

```
CPU#           : 0
Ticker counter  : 2245
Ticker last ran timestamp : 02/10/2008 01:11:10
```

```
-----
Watcher context info (Node: 0/5/CPU0)
-----
```

```
Watcher counter : 751
Watcher last ran : 02/10/2008 01:11:10
```

```
-----
Deadline monitoring context info (Node: 0/5/CPU0)
-----
```

```
Client           : wdsysmon
PunchTimestamp   : 02/10/2008 01:11:09
PunchCounter     : 226
```

```
-----
Ticker context info (Node: 0/4/CPU0)
-----
```

```
CPU#           : 0
Ticker counter  : 74
Ticker last ran timestamp : 02/10/2008 01:11:10
```

```
-----
Watcher context info (Node: 0/4/CPU0)
-----
```

```
Watcher counter : 24
Watcher last ran : 02/10/2008 01:11:09
-----
```

```
Deadline monitoring context info (Node: 0/4/CPU0)
```

```
-----
Client          : wdsysmon
PunchTimestamp  : 02/10/2008 01:11:10
PunchCounter    : 8
-----
```

```
-----
Ticker context info (Node: 0/2/CPU0)
-----
```

```
CPU#           : 0
Ticker counter  : 61
Ticker last ran timestamp : 02/10/2008 01:11:10
-----
```

```
-----
Watcher context info (Node: 0/2/CPU0)
-----
```

```
Watcher counter : 21
Watcher last ran : 02/10/2008 01:11:10
-----
```

```
-----
Deadline monitoring context info (Node: 0/2/CPU0)
-----
```

```
Client          : wdsysmon
PunchTimestamp  : 02/10/2008 01:11:09
PunchCounter    : 6
-----
```

```
-----
Ticker context info (Node: 0/1/CPU0)
-----
```

```
CPU#           : 0
Ticker counter  : 2093
Ticker last ran timestamp : 02/10/2008 01:11:10
-----
```

```
-----
Watcher context info (Node: 0/1/CPU0)
-----
```

```
Watcher counter : 703
Watcher last ran : 02/10/2008 01:11:10
-----
```

```
-----
Deadline monitoring context info (Node: 0/1/CPU0)
-----
```

```
Client          : wdsysmon
PunchTimestamp  : 02/10/2008 01:11:09
PunchCounter    : 211
-----
```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 13 : *show critmon context* のフィールドの説明

フィールド	説明
Ticker context info	ノードの wd-critical-mon プロセスのティックャーコンテキスト情報。
CPU	CPU 番号。

フィールド	説明
Ticker counter	wd-critical-mon ティッカー スレッドの現在のカウンタ。 ticker counter フィールドはティッカー スレッドが実行された回数を指定します。
Ticker last ran timestamp	wd-critical-mon ティッカー スレッドが実行された前回の時刻のタイムスタンプ。
Watcher context info	ノードに使用される wd-critical-mon ウォッチャ スレッド コンテキスト情報。
Watcher counter	wd-critical-mon ウォッチャ スレッドの現在のカウンタ。 watcher counter フィールドはウォッチャ スレッドが実行された回数を指定します
Watcher last ran	wd-critical-mon ウォッチャ スレッドの前回の実行に使用されるタイムスタンプ。
Deadline monitoring context info	ノードに使用される wd-critical-mon 期限モニタリング情報。
Client	期限モニタリングのクライアント名。
PunchTimestamp	クライアントアプリケーションの前回の実行に使用されるタイムスタンプ。
PunchCounter	期限モニタリングクライアントの現在のカウンタ。 このフィールドは、クライアントアプリケーションがカウンタをパンチできる回数を指定します。

関連コマンド

コマンド	説明
show critmon deadline , (311 ページ)	期限モニタリングに関する情報を表示します。
show critmon statistics , (314 ページ)	重要なモニタ統計情報に関する情報を表示します。
show critmon trace all , (322 ページ)	重要なモニタのすべてのトレースに関する情報を表示します。
show critmon trace error , (325 ページ)	重要なモニタのエラートレースに関する情報を表示します。
show critmon trace info , (327 ページ)	重要なモニタの情報タイプのトレースデータを表示します。

コマンド	説明
show critmon trace lib-error , (329 ページ)	重要なモニタのライブラリ エラーのトレース データに関する情報を表示します。
show critmon trace lib-info , (331 ページ)	重要なモニタのライブラリ情報のトレース データを表示します。

show critmon deadline

期限モニタリングに関する情報を表示するには、EXECモードと管理EXECモードで **show critmon deadline** コマンドを使用します。

show critmon deadline registration [**client** *client-name*] **location** {*node-id*| **all**}

構文の説明

registration	期限モニタリング登録情報を表示します。
client	(任意) 指定されたクライアントの情報だけを表示します。
<i>client-name</i>	クライアントの名前。
location	フィルタするノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

期限モニタリングに関する情報を表示するには、 **show critmon deadline** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show critmon deadline** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show critmon deadline registration location all
```

```
-----
Deadline monitoring registration info (Node: 0/5/CPU0)
-----
```

```
ID ClientName          Activated  tick address  timeout vale(sec)
-----
0  wdsysmon             Yes        0x6023d000   60
```

```
-----
Deadline monitoring registration info (Node: 0/4/CPU0)
-----
```

```
ID ClientName          Activated  tick address  timeout vale(sec)
-----
0  wdsysmon             Yes        0x38146000   60
```

```
-----
Deadline monitoring registration info (Node: 0/2/CPU0)
-----
```

```
ID ClientName          Activated  tick address  timeout vale(sec)
-----
0  wdsysmon             Yes        0x38146000   60
```

```
-----
Deadline monitoring registration info (Node: 0/1/CPU0)
-----
```

```
ID ClientName          Activated  tick address  timeout vale(sec)
-----
0  wdsysmon             Yes        0x38101000   60
```

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 14: **show critmon deadline** のフィールドの説明

フィールド	説明
Deadline monitoring registration info	ノードに使用される期限モニタリング登録情報。
ID	wd-critical-mon プロセスによって内部で管理されているクライアント ID。
ClientName	クライアントの名前。

フィールド	説明
Activated	このフィールドは、期限モニタリングがアクティブであるかそうでないかを指定します。
tick address	クライアントアプリケーションのティックメモリアドレス。
timeout vale(sec)	期限のタイムアウト値。

関連コマンド

コマンド	説明
show critmon context , (306 ページ)	wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示します。
show critmon statistics , (314 ページ)	重要なモニタ統計情報に関する情報を表示します。
show critmon trace all , (322 ページ)	重要なモニタのすべてのトレースに関する情報を表示します。
show critmon trace error , (325 ページ)	重要なモニタのエラートレースに関する情報を表示します。
show critmon trace info , (327 ページ)	重要なモニタの情報タイプのトレースデータを表示します。
show critmon trace lib-error , (329 ページ)	重要なモニタのライブラリエラーのトレースデータに関する情報を表示します。
show critmon trace lib-info , (331 ページ)	重要なモニタのライブラリ情報のトレースデータを表示します。

show critmon statistics

重要なモニタ統計情報に関する情報を表示するには、EXEC モードと管理 EXEC モードで **show critmon statistics** コマンドを使用します。

```
show critmon statistics {all|congestion|deadline client client-name|ticker|watcher} last hours location
{node-id|all}
```

構文の説明

all	重要なモニタに関するすべての情報を表示します。
congestion	重要なモニタのすべての CPU 輻輳情報を表示します。
deadline	期限モニタに関するすべての統計情報を表示します。
client	指定されたクライアントの情報だけを表示します。
<i>client-name</i>	クライアントの名前。
ticker	wd-critical-mon プロセスのティックャー統計情報を表示します。
watcher	wd-critical-mon プロセスのウォッチャ統計情報を表示します。
last	最後の時間数だけを表示します。
hours	最後の時間数。範囲は 1 ~ 24 です。
location	フィルタするノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

重要なモニタ統計情報に関する情報を表示するには、**show critmon statistics** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show critmon statistics** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show critmon statistics all last 5 location all
```

```
-----
Ticker statistics info (Node: 0/5/CPU0)
-----
```

Period (min)	CPU#	SnapshotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	tick count	Frequency (count/min)
15	cpu:0	10/22/2007 14:33:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 14:48:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 15:03:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 15:18:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 15:33:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 15:48:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 16:03:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 16:18:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 16:33:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 16:48:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 17:03:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 17:18:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 17:33:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 17:48:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 18:03:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 18:18:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 18:33:39	4478	298
15	cpu:0	10/22/2007 18:48:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 19:03:39	4477	298
15	cpu:0	10/22/2007 19:18:39	4478	298

```
-----
Watcher statistics info (Node: 0/5/CPU0)
-----
```

show critmon statistics

Period (min)	SnapShotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	watch count	Frequency (count/min)
15	10/22/2007 14:33:39	1498	99
15	10/22/2007 14:48:39	1497	99
15	10/22/2007 15:03:39	1498	99
15	10/22/2007 15:18:39	1497	99
15	10/22/2007 15:33:39	1498	99
15	10/22/2007 15:48:39	1497	99
15	10/22/2007 16:03:39	1498	99
15	10/22/2007 16:18:39	1497	99
15	10/22/2007 16:33:39	1498	99
15	10/22/2007 16:48:39	1497	99
15	10/22/2007 17:03:39	1498	99
15	10/22/2007 17:18:39	1497	99
15	10/22/2007 17:33:39	1498	99
15	10/22/2007 17:48:39	1497	99
15	10/22/2007 18:03:39	1498	99
15	10/22/2007 18:18:39	1497	99
15	10/22/2007 18:33:39	1498	99
15	10/22/2007 18:48:39	1497	99
15	10/22/2007 19:03:39	1498	99
15	10/22/2007 19:18:39	1497	99

CPU congestion history (Node: 0/5/CPU0)

No congestion history

Deadline monitoring statistics info (Node: 0/5/CPU0)

client (name)	SnapShotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	tick count	Frequency (count/min)
wdsysmon	10/22/2007 14:33:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 14:48:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 15:03:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 15:18:39	449	29
wdsysmon	10/22/2007 15:33:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 15:48:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 16:03:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 16:18:39	449	29
wdsysmon	10/22/2007 16:33:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 16:48:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 17:03:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 17:18:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 17:33:39	449	29
wdsysmon	10/22/2007 17:48:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 18:03:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 18:18:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 18:33:39	449	29
wdsysmon	10/22/2007 18:48:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 19:03:39	450	30
wdsysmon	10/22/2007 19:18:39	450	30

Ticker statistics info (Node: 0/4/CPU0)

Period (min)	CPU#	SnapShotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	tick count	Frequency (count/min)
15	cpu:0	10/22/2007 14:25:38	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 14:40:38	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 14:55:38	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 15:10:37	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 15:25:37	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 15:40:37	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 15:55:37	4454	296

```

15      cpu:0  10/22/2007 16:10:37 4455      297
15      cpu:0  10/22/2007 16:25:37 4455      297
15      cpu:0  10/22/2007 16:40:37 4454      296
15      cpu:0  10/22/2007 16:55:37 4455      297
15      cpu:0  10/22/2007 17:10:37 4455      297
15      cpu:0  10/22/2007 17:25:37 4455      297
15      cpu:0  10/22/2007 17:40:37 4454      296
15      cpu:0  10/22/2007 17:55:37 4455      297
15      cpu:0  10/22/2007 18:10:37 4454      296
15      cpu:0  10/22/2007 18:25:37 4454      296
15      cpu:0  10/22/2007 18:40:37 4455      297
15      cpu:0  10/22/2007 18:55:36 4455      297
15      cpu:0  10/22/2007 19:10:36 4455      297

```

 Watcher statistics info (Node: 0/4/CPU0)

Period (min)	SnapShotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	watch count	Frequency (count/min)
15	10/22/2007 14:25:38	1496	99
15	10/22/2007 14:40:38	1495	99
15	10/22/2007 14:55:38	1495	99
15	10/22/2007 15:10:37	1495	99
15	10/22/2007 15:25:37	1495	99
15	10/22/2007 15:40:37	1495	99
15	10/22/2007 15:55:37	1495	99
15	10/22/2007 16:10:37	1495	99
15	10/22/2007 16:25:37	1495	99
15	10/22/2007 16:40:37	1495	99
15	10/22/2007 16:55:37	1495	99
15	10/22/2007 17:10:37	1495	99
15	10/22/2007 17:25:37	1495	99
15	10/22/2007 17:40:37	1495	99
15	10/22/2007 17:55:37	1495	99
15	10/22/2007 18:10:37	1495	99
15	10/22/2007 18:25:37	1495	99
15	10/22/2007 18:40:37	1495	99
15	10/22/2007 18:55:36	1495	99
15	10/22/2007 19:10:36	1495	99

 CPU congestion history (Node: 0/4/CPU0)

No congestion history

 Deadline monitoring statistics info (Node: 0/4/CPU0)

client (name)	SnapShotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	tick count	Frequency (count/min)
wdsysmon	10/22/2007 14:25:38	449	29
wdsysmon	10/22/2007 14:40:38	450	30
wdsysmon	10/22/2007 14:55:38	449	29
wdsysmon	10/22/2007 15:10:37	450	30
wdsysmon	10/22/2007 15:25:37	449	29
wdsysmon	10/22/2007 15:40:37	450	30
wdsysmon	10/22/2007 15:55:37	449	29
wdsysmon	10/22/2007 16:10:37	450	30
wdsysmon	10/22/2007 16:25:37	449	29
wdsysmon	10/22/2007 16:40:37	450	30
wdsysmon	10/22/2007 16:55:37	449	29
wdsysmon	10/22/2007 17:10:37	450	30
wdsysmon	10/22/2007 17:25:37	449	29
wdsysmon	10/22/2007 17:40:37	450	30
wdsysmon	10/22/2007 17:55:37	449	29
wdsysmon	10/22/2007 18:10:37	450	30
wdsysmon	10/22/2007 18:25:37	449	29

show critmon statistics

```

wdsysmon          10/22/2007 18:40:37 450      30
wdsysmon          10/22/2007 18:55:36 449      29
wdsysmon          10/22/2007 19:10:36 450      30

```

----- Ticker statistics info (Node: 0/2/CPU0) -----

Period (min)	CPU#	SnapshotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	tick count	Frequency (count/min)
15	cpu:0	10/22/2007 14:25:41	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 14:40:41	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 14:55:41	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 15:10:41	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 15:25:41	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 15:40:41	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 15:55:41	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 16:10:41	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 16:25:41	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 16:40:41	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 16:55:40	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 17:10:40	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 17:25:40	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 17:40:40	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 17:55:40	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 18:10:40	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 18:25:40	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 18:40:40	4454	296
15	cpu:0	10/22/2007 18:55:40	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 19:10:40	4455	297

----- Watcher statistics info (Node: 0/2/CPU0) -----

Period (min)	SnapshotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	watch count	Frequency (count/min)
15	10/22/2007 14:25:41	1495	99
15	10/22/2007 14:40:41	1495	99
15	10/22/2007 14:55:41	1495	99
15	10/22/2007 15:10:41	1495	99
15	10/22/2007 15:25:41	1495	99
15	10/22/2007 15:40:41	1495	99
15	10/22/2007 15:55:41	1495	99
15	10/22/2007 16:10:41	1495	99
15	10/22/2007 16:25:41	1495	99
15	10/22/2007 16:40:41	1496	99
15	10/22/2007 16:55:40	1495	99
15	10/22/2007 17:10:40	1495	99
15	10/22/2007 17:25:40	1495	99
15	10/22/2007 17:40:40	1495	99
15	10/22/2007 17:55:40	1495	99
15	10/22/2007 18:10:40	1495	99
15	10/22/2007 18:25:40	1495	99
15	10/22/2007 18:40:40	1495	99
15	10/22/2007 18:55:40	1495	99
15	10/22/2007 19:10:40	1495	99

----- CPU congestion history (Node: 0/2/CPU0) -----

No congestion history

----- Deadline monitoring statistics info (Node: 0/2/CPU0) -----

client (name)	SnapshotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	tick count	Frequency (count/min)
------------------	--	------------	--------------------------

```

-----
wdsysmon      10/22/2007 14:25:41 449      29
wdsysmon      10/22/2007 14:40:41 450      30
wdsysmon      10/22/2007 14:55:41 449      29
wdsysmon      10/22/2007 15:10:41 450      30
wdsysmon      10/22/2007 15:25:41 449      29
wdsysmon      10/22/2007 15:40:41 450      30
wdsysmon      10/22/2007 15:55:41 449      29
wdsysmon      10/22/2007 16:10:41 450      30
wdsysmon      10/22/2007 16:25:41 449      29
wdsysmon      10/22/2007 16:40:41 450      30
wdsysmon      10/22/2007 16:55:40 449      29
wdsysmon      10/22/2007 17:10:40 450      30
wdsysmon      10/22/2007 17:25:40 449      29
wdsysmon      10/22/2007 17:40:40 450      30
wdsysmon      10/22/2007 17:55:40 449      29
wdsysmon      10/22/2007 18:10:40 450      30
wdsysmon      10/22/2007 18:25:40 449      29
wdsysmon      10/22/2007 18:40:40 450      30
wdsysmon      10/22/2007 18:55:40 449      29
wdsysmon      10/22/2007 19:10:40 450      30
-----

```

Ticker statistics info (Node: 0/1/CPU0)

Period (min)	CPU#	SnapshotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	tick count	Frequency (count/min)
15	cpu:0	10/22/2007 14:33:53	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 14:48:53	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 15:03:53	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 15:18:53	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 15:33:53	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 15:48:53	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 16:03:53	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 16:18:52	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 16:33:52	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 16:48:52	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 17:03:52	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 17:18:52	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 17:33:52	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 17:48:52	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 18:03:52	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 18:18:52	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 18:33:52	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 18:48:52	4455	297
15	cpu:0	10/22/2007 19:03:52	4456	297
15	cpu:0	10/22/2007 19:18:52	4455	297

Watcher statistics info (Node: 0/1/CPU0)

Period (min)	SnapshotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	watch count	Frequency (count/min)
15	10/22/2007 14:33:53	1495	99
15	10/22/2007 14:48:53	1495	99
15	10/22/2007 15:03:53	1495	99
15	10/22/2007 15:18:53	1495	99
15	10/22/2007 15:33:53	1495	99
15	10/22/2007 15:48:53	1495	99
15	10/22/2007 16:03:53	1495	99
15	10/22/2007 16:18:52	1495	99
15	10/22/2007 16:33:52	1496	99
15	10/22/2007 16:48:52	1495	99
15	10/22/2007 17:03:52	1495	99
15	10/22/2007 17:18:52	1495	99
15	10/22/2007 17:33:52	1495	99
15	10/22/2007 17:48:52	1495	99
15	10/22/2007 18:03:52	1495	99
15	10/22/2007 18:18:52	1495	99

show critmon statistics

```

15      10/22/2007 18:33:52 1495      99
15      10/22/2007 18:48:52 1495      99
15      10/22/2007 19:03:52 1495      99
15      10/22/2007 19:18:52 1495      99

```

```
-----
CPU congestion history (Node: 0/1/CPU0)
-----
```

```
No congestion history
```

```
-----
Deadline monitoring statistics info (Node: 0/1/CPU0)
-----
```

client (name)	SnapshotTimestamp MM/DD/YYYY hh:mm:ss	tick count	Frequency (count/min)
wdsysmon	10/22/2007 14:33:53	449	29
wdsysmon	10/22/2007 14:48:53	450	30
wdsysmon	10/22/2007 15:03:53	449	29
wdsysmon	10/22/2007 15:18:53	450	30
wdsysmon	10/22/2007 15:33:53	449	29
wdsysmon	10/22/2007 15:48:53	450	30
wdsysmon	10/22/2007 16:03:53	450	30
wdsysmon	10/22/2007 16:18:52	449	29
wdsysmon	10/22/2007 16:33:52	450	30
wdsysmon	10/22/2007 16:48:52	449	29
wdsysmon	10/22/2007 17:03:52	450	30
wdsysmon	10/22/2007 17:18:52	449	29
wdsysmon	10/22/2007 17:33:52	450	30
wdsysmon	10/22/2007 17:48:52	449	29
wdsysmon	10/22/2007 18:03:52	450	30
wdsysmon	10/22/2007 18:18:52	450	30
wdsysmon	10/22/2007 18:33:52	449	29
wdsysmon	10/22/2007 18:48:52	450	30
wdsysmon	10/22/2007 19:03:52	449	29
wdsysmon	10/22/2007 19:18:52	450	30

次の表に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 15: show critmon statistics のフィールドの説明

フィールド	説明
Ticker statistics info	ノードに使用されるティックースレッド統計情報。
Period	統計情報サンプリング期間。
CPU	CPU 番号。
SnapshotTimestamp	統計情報が保存される時のタイムスタンプ。
tick count	サンプリング期間のティックーカウンタ
Frequency	ティックーまたはウォッチャのパンチカウント。

フィールド	説明
Watcher statistics info	ノードに使用されるウォッチャスレッド統計情報。
watch count	サンプリング期間に使用されるウォッチャカウント。
CPU congestion history	CPU 輻輳の履歴。
Deadline monitoring statistics info	ノードに使用される期限モニタリング統計情報。
client	期限モニタリングクライアントの名前。

関連コマンド

コマンド	説明
show critmon context , (306 ページ)	wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示します。
show critmon deadline , (311 ページ)	期限モニタリングに関する情報を表示します。
show critmon trace all , (322 ページ)	重要なモニタのすべてのトレースに関する情報を表示します。
show critmon trace error , (325 ページ)	重要なモニタのエラートレースに関する情報を表示します。
show critmon trace info , (327 ページ)	重要なモニタの情報タイプのトレースデータを表示します。
show critmon trace lib-error , (329 ページ)	重要なモニタのライブラリエラーのトレースデータに関する情報を表示します。
show critmon trace lib-info , (331 ページ)	重要なモニタのライブラリ情報のトレースデータを表示します。

show critmon trace all

重要なモニタのすべてのトレースに関する情報を表示するには、EXEC モードと管理 EXEC モードで **show critmon trace all** コマンドを使用します。

show critmon trace all [*file filename original*] [*hexdump*] [*last entries*] [*reverse*] [*stats*] [*tailf*] [*unique*] [*verbose*] [*wrapping*] [*location {node-id| all}*]

構文の説明

file	(任意) 特定のファイルを表示します。
<i>filename</i>	特定のファイルの名前。
original	ファイルの元の位置を指定します。
hexdump	(任意) 16 進数表記のトレースを表示します。
last	(任意) 一定数のエントリのトレース情報を表示します
<i>entries</i>	エントリの数。エントリを、表示するエントリの数で置き換えます。たとえば、5 を入力すると、トレースデータの最後の 5 個のエントリが表示されます。範囲は 1 ~ 4294967295 です。
reverse	(任意) 最新のトレースから順に表示します。
stats	(任意) 統計情報をコマンド出力に表示します。
tailf	(任意) 追加された新しいトレースをコマンド出力に表示します。
unique	(任意) 一意のエントリとそのカウントをコマンド出力に表示します。
verbose	(任意) 内部デバッグ情報をコマンド出力に表示します。
wrapping	(任意) 折り返しエントリをコマンド出力に表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。

コマンド モデル **EXEC** ルートの動作または値はありません。

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show critmon trace all** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show critmon trace all hexdump
1 wrapping entries (768 possible, 0 filtered, 1 total)
Oct 11 03:18:11.584 wd-critical-mon/lib/info 0/5/CPU0 t10 tp0x00000302000000a0
Oct 11 03:18:11.584 wd-critical-mon/lib/info 0/5/CPU0 t10 critmon_deadline_regin
```

関連コマンド

コマンド	説明
show critmon context , (306 ページ)	wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示します。
show critmon deadline , (311 ページ)	期限モニタリングに関する情報を表示します。
show critmon statistics , (314 ページ)	重要なモニタ統計情報に関する情報を表示します。
show critmon trace error , (325 ページ)	重要なモニタのエラートレースに関する情報を表示します。
show critmon trace info , (327 ページ)	重要なモニタの情報タイプのトレースデータを表示します。
show critmon trace lib-error , (329 ページ)	重要なモニタのライブラリエラーのトレースデータに関する情報を表示します。

コマンド	説明
show critmon trace lib-info , (331 ページ)	重要なモニタのライブラリ情報のトレースデータを表示します。

show critmon trace error

重要なモニタのエラー トレースに関する情報を表示するには、EXEC モードと管理 EXEC モードで **show critmon trace error** コマンドを使用します。

show critmon trace error [*file filename original*] [*hexdump*] [*last entries*] [*reverse*] [*stats*] [*tailf*] [*unique*] [*verbose*] [*wrapping*] [*location {node-id all}*]

構文の説明

file	(任意) 特定のファイルを表示します。
<i>filename</i>	特定のファイルの名前。
original	ファイルの元の位置を指定します。
hexdump	(任意) 16 進数表記のトレースを表示します。
last	(任意) 数が指定された最後のエントリを表示します。
<i>entries</i>	エントリの数。 範囲は 1 ~ 4294967295 です。
reverse	(任意) 最新のトレースから順に表示します。
stats	(任意) 統計情報を表示します。
tailf	(任意) 新たに追加されたトレースを表示します。
unique	(任意) 一意のエントリとそのカウントを表示します。
verbose	(任意) 内部デバッグ用の情報を表示します。
wrapping	(任意) 折り返しエントリをコマンド出力に表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show critmon trace error** コマンドの使用例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show critmon trace error
```

関連コマンド

コマンド	説明
show critmon context , (306 ページ)	wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示します。
show critmon deadline , (311 ページ)	期限モニタリングに関する情報を表示します。
show critmon statistics , (314 ページ)	重要なモニタ統計情報に関する情報を表示します。
show critmon trace all , (322 ページ)	重要なモニタのすべてのトレースに関する情報を表示します。
show critmon trace info , (327 ページ)	重要なモニタの情報タイプのトレースデータを表示します。
show critmon trace lib-error , (329 ページ)	重要なモニタのライブラリエラーのトレースデータに関する情報を表示します。
show critmon trace lib-info , (331 ページ)	重要なモニタのライブラリ情報のトレースデータを表示します。

show critmon trace info

重要なモニタの情報タイプのトレース データを表示するには、EXEC モードと管理 EXEC モードで **show critmon trace info** コマンドを使用します。

show critmon trace info [*file filename original*] [*hexdump*] [*last entries*] [*reverse*] [*stats*] [*tailf*] [*unique*] [*verbose*] [*wrapping*] [*location {node-id all}*]

構文の説明

file	(任意) 特定のファイルを表示します。
<i>filename</i>	特定のファイルの名前。
original	ファイルの元の位置を指定します。
hexdump	(任意) 16 進数表記のトレースを表示します。
last	(任意) 数が指定された最後のエントリを表示します。
<i>entries</i>	エントリの数。 範囲は 1 ~ 4294967295 です。
reverse	(任意) 最新のトレースから順に表示します。
stats	(任意) 統計情報を表示します。
tailf	(任意) 新たに追加されたトレースを表示します。
unique	(任意) 一意のエントリとそのカウントを表示します。
verbose	(任意) 内部デバッグ用の情報を表示します。
wrapping	(任意) 折り返しエントリをコマンド出力に表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show critmon trace info** コマンドの使用例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show critmon trace info
```

関連コマンド

コマンド	説明
show critmon context , (306 ページ)	wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示します。
show critmon deadline , (311 ページ)	期限モニタリングに関する情報を表示します。
show critmon statistics , (314 ページ)	重要なモニタ統計情報に関する情報を表示します。
show critmon trace all , (322 ページ)	重要なモニタのすべてのトレースに関する情報を表示します。
show critmon trace error , (325 ページ)	重要なモニタのエラートレースに関する情報を表示します。
show critmon trace lib-error , (329 ページ)	重要なモニタのライブラリエラーのトレースデータに関する情報を表示します。
show critmon trace lib-info , (331 ページ)	重要なモニタのライブラリ情報のトレースデータを表示します。

show critmon trace lib-error

重要なモニタのライブラリ エラーのトレース データに関する情報を表示するには、EXEC モードと管理 EXEC モードで **show critmon trace lib-error** コマンドを使用します。

show critmon trace lib-error [*file filename original*] [*hexdump*] [*last entries*] [*reverse*] [*stats*] [*tailf*] [*unique*] [*verbose*] [*wrapping*] [*location {node-id| all}*]

構文の説明

file	(任意) 特定のファイルを表示します。
<i>filename</i>	特定のファイルの名前。
original	ファイルの元の位置を指定します。
hexdump	(任意) 16 進数表記のトレースを表示します。
last	(任意) 数が指定された最後のエントリを表示します。
<i>entries</i>	エントリの数。 範囲は 1 ~ 4294967295 です。
reverse	(任意) 最新のトレースから順に表示します。
stats	(任意) 統計情報を表示します。
tailf	(任意) 新たに追加されたトレースを表示します。
unique	(任意) 一意のエントリとそのカウントを表示します。
verbose	(任意) 内部デバッグ用の情報を表示します。
wrapping	(任意) 折り返しエントリをコマンド出力に表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

EXEC

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show critmon trace lib-error** コマンドの使用例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show critmon trace lib-error
```

関連コマンド

コマンド	説明
show critmon context , (306 ページ)	wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示します。
show critmon deadline , (311 ページ)	期限モニタリングに関する情報を表示します。
show critmon statistics , (314 ページ)	重要なモニタ統計情報に関する情報を表示します。
show critmon trace all , (322 ページ)	重要なモニタのすべてのトレースに関する情報を表示します。
show critmon trace error , (325 ページ)	重要なモニタのエラートレースに関する情報を表示します。
show critmon trace info , (327 ページ)	重要なモニタの情報タイプのトレースデータを表示します。
show critmon trace lib-info , (331 ページ)	重要なモニタのライブラリ情報のトレースデータを表示します。

show critmon trace lib-info

重要なモニタのライブラリ情報のトレースデータを表示するには、EXECモードまたは管理EXECモードで **show critmon trace lib-info** コマンドを使用します。

```
show critmon trace lib-info [file filename original] [hexdump] [last entries] [reverse] [stats] [tailf] [unique]
[verbose] [wrapping] [location {node-id all}]
```

構文の説明

file	(任意) 特定のファイルを表示します。
<i>filename</i>	特定のファイルの名前。
original	ファイルの元の位置を指定します。
hexdump	(任意) 16進数表記のトレースを表示します。
last	(任意) 数が指定された最後のエントリを表示します。
<i>entries</i>	エントリの数。範囲は 1 ~ 4294967295 です。
reverse	(任意) 最新のトレースから順に表示します。
stats	(任意) 統計情報を表示します。
tailf	(任意) 新たに追加されたトレースを表示します。
unique	(任意) 一意のエントリとそのカウントを表示します。
verbose	(任意) 内部デバッグ用の情報を表示します。
wrapping	(任意) 折り返しエントリをコマンド出力に表示します。
location	(任意) ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	すべての場所を指定します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

EXEC

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
cisco-support	read

例

次に、**show critmon trace lib-info** コマンドの使用例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show critmon trace lib-info
```

関連コマンド

コマンド	説明
show critmon context , (306 ページ)	wd-critical-mon プロセスのコンテキストに関する情報を表示します。
show critmon deadline , (311 ページ)	期限モニタリングに関する情報を表示します。
show critmon statistics , (314 ページ)	重要なモニタ統計情報に関する情報を表示します。
show critmon trace all , (322 ページ)	重要なモニタのすべてのトレースに関する情報を表示します。
show critmon trace error , (325 ページ)	重要なモニタのエラートレースに関する情報を表示します。
show critmon trace info , (327 ページ)	重要なモニタの情報タイプのトレースデータを表示します。
show critmon trace lib-error , (329 ページ)	重要なモニタのライブラリエラーのトレースデータに関する情報を表示します。

show reboot first

ノードのリブート情報を最初に表示するには、EXEC モードで **show reboot first** コマンドを使用します。

show reboot first {*crashinfo*|*syslog*|*trace*} *location node-id*

構文の説明

crashinfo	クラッシュ情報を表示します。
syslog	システム ログの情報を表示します。
trace	リブート トレースのログを表示します。
location	ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
system	read

例

次に、**show reboot first** コマンドの出力例を示します。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# show reboot first syslog location 0/4/cpu0

Syslog Timestamp: Mon Jul 28 14:27:26 2008

DRP/0/4/CPU0:Jan 1 00:00:00.000 : wd-critical-mon[79]: HW Watchdog: disabled o.
DRP/0/4/CPU0:Jan 1 00:00:00.000 : wd-critical-mon[79]: HW Watchdog: registratir
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:24:12.258 : init[65540]: %OS-INIT-7-MBI_STARTED : total
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:24:28.088 : insthelper[59]: %INSTALL-INSTHELPER-7-START
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:24:38.547 : insthelper[59]: %INSTALL-INSTHELPER-7-PKG_DO
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:40.345 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-5-NOTICE : Card is CO
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:41.449 : init[65540]: %OS-INIT-7-INSTALL_READY : tota
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:42.360 : dsc[151]: Memory Sanity Check Enabled
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:44.790 : reddrv[297]: %PLATFORM-REDDRV-5-GO_BID : Car
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:44.628 : syslog_dev[76]: reddrv[297]:

DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:44.631 : syslog_dev[76]: reddrv[297]: reddrv: BID - D.

DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:49.100 : reddrv[297]: %PLATFORM-REDDRV-5-GO_ACTIVE :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:49.099 : syslog_dev[76]: reddrv[297]:

DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:49.099 : syslog_dev[76]: reddrv[297]: reddrv: ACTIVE e

DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:49.554 : syslog_dev[76]: reddrv[297]: reddrv: transitn

DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:25:49.555 : syslog_dev[76]: reddrv[297]: Reddrv: msg_sen0

DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:26:03.403 : gsp[178]: cci_pdma_queue_cltn_find: returnin
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:26:03.413 : gsp[178]: cci_pdma_queue_cltn_find: returnin
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:26:03.414 : gsp[178]: cci_pdma_queue_cltn_find: returnin
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:26:03.414 : gsp[178]: cci_pdma_queue_cltn_find: returnin
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:26:03.416 : gsp[178]: cci_pdma_queue_cltn_find: returnin
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:26:11.438 : tty_session_startup[339]: %MGBL-TTY-7-SESSIO
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:26:19.464 : ingressq_spiller[228]: cci_interrupt_source_
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:27:34.271 : fab_svr[180]: cci_pdma_queue_cltn_find: retu
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:27:34.273 : fab_svr[180]: cci_pdma_queue_cltn_find: retu
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:27:34.273 : fab_svr[180]: cci_pdma_queue_cltn_find: retu
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:27:42.764 : ntpd[207]: %ROUTING-NTPD-5-PEER_CLEAR : NTP
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 11:28:09.784 : upgrade_daemon[344]: %PLATFORM-UPGRADE_FPD-4
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 20:29:41.288 : cfgmgr-rp[131]: %MGBL-CONFIG-6-OIR_RESTORE :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 20:29:41.315 : ifmgr[186]: %PKT_INFRA-LINK-3-UPDOWN : Inter
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 20:29:41.318 : ifmgr[186]: %PKT_INFRA-LINEPROTO-5-UPDOWN :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 20:29:41.322 : ifmgr[186]: %PKT_INFRA-LINK-3-UPDOWN : Inter
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 20:29:41.346 : ifmgr[186]: %PKT_INFRA-LINEPROTO-5-UPDOWN :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 20:31:14.945 : ntpd[207]: %ROUTING-NTPD-5-PEER_CLEAR : NTP
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 20:31:14.945 : ntpd[207]: %ROUTING-NTPD-5-SYNC_LOSS : Synch
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 20:31:14.945 : ntpd[207]: %ROUTING-NTPD-5-SYNC_LOSS : Synch
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:07:53.108 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:07:53.831 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:08:57.338 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:08:59.532 : ipsec_pp[370]: %SECURITY-IPP-3-ERR_GENERAL :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:09:02.595 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:10:05.382 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:10:05.617 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:11:13.092 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:11:13.264 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:12:13.803 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:12:14.087 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:12:59.508 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:13:01.213 : sbc[376]: %SERVICES-SBC_PROC-6-INFO : SBC IN
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:13:01.380 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:14:06.104 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:14:06.278 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:15:10.415 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:15:11.174 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:16:30.297 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_NOTIFICATION

```

```

DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:16:35.848 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL FINISHED :
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:34:13.005 : sbc[376]: %SERVICES-SBCSVI BILLING-5-PATHSTA
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:34:13.091 : sbc[376]: %SERVICES-SBCSVI BILLING-5-PATHSTA
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:34:13.351 : squid_sbcmpf[379]: %SERVICES-SBC_MPF-6-INFO
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:34:13.966 : sbcsvi_ea[377]: %SERVICES-SBCSVI_EA-3-LINK_F
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:58:04.777 : syslog_dev[76]: debug_d[143]: sysdb_find fai'

DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:58:04.892 : sysmgr[78]: debug_d(1) (jid 143) (pid 86082)d
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:58:05.537 : syslog_dev[76]: debug_d[143]: sysdb_find fai'
DRP/0/4/CPU0:Jun 10 21:58:05.646 : sysmgr[78]: debug_d(1) (jid 143) (pid 147522d
DRP/0/4/CPU0:Jun 13 16:40:50.173 : exec[65690]: %SECURITY-login-6-AUTHEN_SUCCES
DRP/0/4/CPU0:Jun 13 16:41:45.619 : syslog_dev[76]: debug_d[143]: sysdb_find fai'
DRP/0/4/CPU0:Jun 13 16:41:45.745 : sysmgr[78]: debug_d(1) (jid 143) (pid 151618d
DRP/0/4/CPU0:Jun 13 16:41:46.114 : syslog_dev[76]: debug_d[143]: sysdb_find fai'
DRP/0/4/CPU0:Jun 13 16:41:46.254 : sysmgr[78]: debug_d(1) (jid 143) (pid 458818d

DRP/0/4/CPU0:Jun 13 16:41:51.266 : devc-conaux[54]: %MGBL-RS232-6-DCD_LOST : Lo
DRP/0/4/CPU0:Jun 13 16:42:01.265 : devc-conaux[54]: %MGBL-RS232-6-DCD_DISCOVERE
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:01:10.557 : pfilter_ma[200]: Entering : timer_msg_hdlr
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:01:10.559 : pfilter_ma[200]: Entering : acl_es_get_log_i
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:01:10.559 : pfilter_ma[200]: In acl_es_get_log_info coun0
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:02:10.555 : pfilter_ma[200]: Entering : timer_msg_hdlr
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:02:10.555 : pfilter_ma[200]: Entering : acl_es_get_log_i
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:02:10.555 : pfilter_ma[200]: In acl_es_get_log_info coun0
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:03:10.555 : pfilter_ma[200]: Entering : timer_msg_hdlr
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:03:10.555 : pfilter_ma[200]: Entering : acl_es_get_log_i
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:03:10.555 : pfilter_ma[200]: In acl_es_get_log_info coun0
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:04:10.555 : pfilter_ma[200]: Entering : timer_msg_hdlr
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:04:10.555 : pfilter_ma[200]: Entering : acl_es_get_log_i
DRP/0/4/CPU0:Jun 17 13:04:10.555 : pfilter_ma[200]: In acl_es_get_log_info coun0
DRP/0/4/CPU0:Jul 12 16:12:05.932 : ifmgr[186]: %PKT_INFRA-LINK-3-UPDOWN : Inter
DRP/0/4/CPU0:Jul 12 16:12:05.932 : ifmgr[186]: %PKT_INFRA-LINEPROTO-5-UPDOWN :
DRP/0/4/CPU0:Jul 12 16:12:07.703 : ifmgr[186]: %PKT_INFRA-LINK-3-UPDOWN : Inter
DRP/0/4/CPU0:Jul 12 16:12:07.708 : ifmgr[186]: %PKT_INFRA-LINEPROTO-5-UPDOWN :
DRP/0/4/CPU0:Jul 28 10:21:49.239 : sbc[376]: %SERVICES-SBC_PROC-6-INFO : SBC_IN
DRP/0/4/CPU0:Jul 28 10:21:56.836 : squid_sbcmpf[379]: zmpf_heartbeat_work: Peer
DRP/0/4/CPU0:Jul 28 14:22:26.643 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL NOTIFICATIO
DRP/0/4/CPU0:Jul 28 14:22:31.778 : sysmgr[78]: %OS-SYSMGR-7-INSTALL_FINISHED :

```

関連コマンド

コマンド	説明
show reboot graceful , (336 ページ)	ノードの最後のグレースフルリブートのレポート情報を表示します。
show reboot history , (338 ページ)	最後のグレースフルリブートのレポート情報を表示します。
show reboot last , (341 ページ)	最新のクラッシュ情報を表示します。
show reboot pcads , (344 ページ)	最後のアングレースフルリブートの Persistent Critical Data Store 重要情報を表示します。

show reboot graceful

ノードの最後のグレースフルリブートのリブート情報を表示するには、EXECモードで **show reboot graceful** コマンドを使用します。

show reboot graceful location *node-id*

構文の説明

location	ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノードID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
system	read

例

次に、**show reboot graceful** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show reboot graceful location 0/1/CPU0

Reboot Time   : Thu Oct 11 19:15:55 2007
Reboot Cause  : 0x4f
Reboot Reason : Cause: HBAgent reloading node on receiving reload notification 0
Trace log     :

[0x46ad85b7b5] Map ingressq PCI base address.ingressq_phy_base = 0xa0000000, in0
[0x46ad8af9ba] Perform Node isolation from Fabric. ingressq_phy_base = 0xa000008
```

```
[0x46ad8afe88] Complete Kernel dumper platform task without dumping. rc: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show reboot first, (333 ページ)	ノードのリブート情報を最初に表示します。
show reboot history, (338 ページ)	最後のグレースフル リブートのリブート情報を表示します。
show reboot last, (341 ページ)	最新のクラッシュ情報を表示します。
show reboot pcds, (344 ページ)	最後のアングレースフル リブートの Persistent Critical Data Store 重要情報を表示します。

show reboot history

最後のグレースフルリブートのリブート情報を表示するには、EXEC モードで show reboot history コマンドを使用します。

show reboot history [reverse] location node-id

構文の説明

reverse	(任意) 逆の時間順に表示します。
location	ノードを指定します。
node-id	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

リブート履歴は以前のノードのリセット用に保存されるすべてのリブート原因を示します。

タスク ID

タスク ID	操作
system	read

例

次に、**show reboot history** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show reboot history location 0/1/CPU0
No  Time                               Cause Code Reason
```

```

-----
01 Mon Jul 30 19:27:05 2007 0x2000004f Cause: MBI-HELLO reloading node on rec
    eiving reload notification
    Process: mbi-hello

    Traceback: fc15b1a0 fc15b290 482
    0020c fc1d5fb0 0 0
02 Thu Aug 16 16:32:35 2007 0x21000106 Cause: All fabric links down on Fabric
    q
    Process: fabricq_mgr

    Traceback: fc15b1a0 fc15b290 fc9
    9ded4 fc99ae00 fc99affc fc99affc
03 Thu Aug 16 17:05:20 2007 0x2000004f Cause: MBI-HELLO reloading node on rec
    eiving reload notification
    Process: mbi-hello

    Traceback: fc15b1a0 fc15b290 482
    0020c fc1d5fb0 0 0
04 Mon Sep 10 21:01:34 2007 0x21000106 Cause: All fabric links down on Fabric
    q
    Process: fabricq_mgr

    Traceback: fc15b1a0 fc15b290 fc9
    a3f00 fc9a0e10 fc9a100c fc9a100c
05 Mon Sep 10 21:36:10 2007 0x2000004f Cause: MBI-HELLO reloading node on rec
    eiving reload notification
    Process: mbi-hello

    Traceback: fc1601a0 fc160290 482
    0020c fc1dcbf0 0 0
06 Wed Oct 10 18:28:53 2007 0x21000106 Cause: All fabric links down on Fabric
    q
    Process: fabricq_mgr

    Traceback: fc1601a0 fc160290 fc9
    d9f48 fc9d6e58 fc9d7054 fc9d7054
07 Wed Oct 10 19:04:02 2007 0x2000004f Cause: MBI-HELLO reloading node on rec
    eiving reload notification
    Process: mbi-hello

    Traceback: fc160c38 fc160d34 482
    0020c fc1ddfb0 0 0
08 Wed Oct 10 20:19:39 2007 0x0000004f Cause: HBAgent reloading node on recei
    ving reload notification
    Process: hbagent

    Traceback: fc160c38 fc160d34 482
    00228 fc1ddfb0 0 0
09 Wed Oct 10 20:45:53 2007 0x0000004f Cause: HBAgent reloading node on recei
    ving reload notification
    Process: hbagent

    Traceback: fc160c38 fc160d34 482
    00228 fc1ddfb0 0 0
10 Thu Oct 11 19:15:55 2007 0x0000004f Cause: HBAgent reloading node on recei
    ving reload notification
    Process: hbagent

    Traceback: fc160c38 fc160d34 482
    00228 fc1ddfb0 0 0

```

関連コマンド

コマンド	説明
show reboot first , (333 ページ)	ノードのリポート情報を最初に表示します。

コマンド	説明
show reboot graceful , (336 ページ)	ノードの最後のグレースフルリブートのリポート情報を表示します。
show reboot last , (341 ページ)	最新のクラッシュ情報を表示します。
show reboot pcids , (344 ページ)	最後のアングレースフルリブートの Persistent Critical Data Store 重要情報を表示します。

show reboot last

最新のクラッシュ情報を表示するには、EXEC モードで **show reboot last** コマンドを使用します。

show reboot last {*crashinfo*|*syslog*|*trace*} **location** *node-id*

構文の説明

crashinfo	クラッシュ情報を表示します。
syslog	システム ログの情報を表示します。
trace	リブート トレースのログを表示します。
location	ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
system	read

例

次に、**show reboot last** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show reboot last crashinfo location 0/1/CPU0
```

show reboot last

Crashinfo Timestamp: Wed Oct 10 19:04:02 2007

20071010 10:04:03

Crash Reason: Cause code 0x2000004f Cause: MBI-HELLO reloading node on receivin0

Exception at 0xfc160f60 signal 5 c=1 f=3

Active process(s):

pkg/bin/mbi-hello Thread ID 2 on cpu 0

```

REGISTER INFO
  r0      r1      r2      r3
R0  200004f 4815da60 4820ea44 00000138
  r4      r5      r6      r7
R4  4815da38 00000002 4815da48 00000001
  r8      r9      r10     r11
R8  80000000 60277440 4815da28 00000600
  r12     r13     r14     r15
R12 24000094 4820ea00 00000000 00000000
  r16     r17     r18     r19
R16 00000000 00000000 00000000 00000000
  r20     r21     r22     r23
R20 00000000 00000000 00000000 00000000
  r24     r25     r26     r27
R24 00000000 00000000 00000000 482053cc
  r28     r29     r30     r31
R28 4815df7c 4815db68 0000004f 00000009
  cnt     lr      msr     pc
R32 fc1e800c fc160f38 0002d932 fc160f60
  cnd     xer
R36 48000094 2000000f

```

SUPERVISOR REGISTERS

Memory Management Registers

Instruction BAT Registers

```

Index #      Value
IBAT0U #      0x1ffe
IBAT0L #      0x12
IBAT1U #      0
IBAT1L #      0
IBAT2U #      0x30000ffe
IBAT2L #      0xf0000032
IBAT3U #      0
IBAT3L #      0

```

Data BAT Registers

```

Index #      Value
DBAT0U #      0x1ffe
DBAT0L #      0x12
DBAT1U #      0
DBAT1L #      0x10000012
DBAT2U #      0x30000ffe
DBAT2L #      0xf000006a
DBAT3U #      0
DBAT3L #      0xf0000022

```

Segment Registers

```

Index #      SR-Value
0 #      0
1 #      0
2 #      0
3 #      0
4 #      0
5 #      0
6 #      0
7 #      0

```

```

      8 #          0
      9 #          0
     10 #          0
     11 #          0
     12 #          0
     13 #          0
     14 #          0
     15 #          0

Exception Handling Registers
Data Addr Reg #          DSISR
0x60277440 #          0x42000000
SPRG0 #          SPRG1 #          SPRG2 #          SPRG3
0x4815db68 #          0x4f #          0x9 #          0
SaveNRestore SRR0 #          SaveNRestore SRR1
0xfc160f5c #          0x2d932

Miscellaneous Registers
Processor Id Reg #          0
HID0 #          0x8410c0bc
HID1 #          0x90018c80

MSSCR0 #          0x88000
MSSSR0 #          0

STACK TRACE
#0 0xfc160f38
0

STACK TRACE
#0 0xfc160290
#1 0xfc99ded4
#2 0xfc99ae00
#3 0xfc99affc
#4 0xfc99affc
#5 0xfc99bccc
#6 0xfc646548
#7 0xfc63f074
#8 0xfc16a404
#9 0xfc1688d8
#10 0xfc63f3bc
#11 0xfc1d5fb0

```

関連コマンド

コマンド	説明
show reboot first, (333 ページ)	ノードのリポート情報を最初に表示します。
show reboot graceful, (336 ページ)	ノードの最後のグレースフルリブートのリポート情報を表示します。
show reboot history, (338 ページ)	最後のグレースフルリブートのリポート情報を表示します。
show reboot pcids, (344 ページ)	最後のアングレースフルリブートの Persistent Critical Data Store 重要情報を表示します。

show reboot pcds

最後のアンブレースフル リブートの Persistent Critical Data Store (PCDS) 重要情報を表示するには、**show reboot pcds** コマンドを使用します。

show reboot pcds location *node-id*

構文の説明

location	ノードを指定します。
<i>node-id</i>	ノード ID。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンドモード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
system	read

例

次に、**show reboot pcds** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show reboot pcds location 0/1/CPU0
PCDS Timestamp: Wed Oct 10 19:04:02 2007
PCDS size: 131072 (bytes)
PCDS Data:

000000 03014352 49544d4f 4e000000 00000000 ..CRITMON.....
000010 02000000 00000008 00000000 30d00000 .....0.....
000020 00001a90 00000000 00000000 00000000 .....
000030 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
```

```

000040 470ca354 11000300 00001c41 00000000 G..T.....A....
000050 00000974 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...t....0FO.....
000060 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000070 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000080 470ca354 01000300 00001c44 00000000 G..T.....D....
000090 00000975 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...u....0FO.....
0000a0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0000b0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
0000c0 470ca355 11000300 00001c47 00000000 G..U.....G....
0000d0 00000976 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...v....0FO.....
0000e0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0000f0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000100 470ca355 01000300 00001c4a 00000000 G..U.....J....
000110 00000977 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...w....0FO.....
000120 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000130 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000140 470ca356 11000300 00001c4d 00000000 G..V.....M....
000150 00000978 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...x....0FO.....
000160 b8000003 b8000007 b8000003 b80000ff .....
000170 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000180 470ca357 01000300 00001c50 00000000 G..W.....P....
000190 00000979 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...y....0FO.....
0001a0 b8000003 b8000007 b80000ff b8000007 .....
0001b0 ff0fff0f ff911300 b8000013 b8000017 .....
0001c0 470ca357 11000300 00001c53 00000000 G..W.....S....
0001d0 0000097a 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...z....0FO.....
0001e0 b8000003 b8000007 b80000ff b8000007 .....
0001f0 ff0fff0f ff911300 b8000013 b80000ff .....
000200 470ca358 01000300 00001c56 00000000 G..X.....V....
000210 0000097b 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...{....0FO.....
000220 b8000003 b8000007 b80000ff b8000007 .....
000230 ff0fff0f ff911300 b8000013 b80000ff .....
000240 470ca358 11000300 00001c59 00000000 G..X.....Y....
000250 0000097c 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...|....0FO.....
000260 b8000003 b8000007 b80000ff b8000007 .....
000270 ff0fff0f ff911300 b8000013 b80000ff .....
000280 470ca359 01000300 00001c5c 00000000 G..Y.....\....
000290 0000097d 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...}....0FO.....
0002a0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0002b0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
0002c0 470ca35a 11000300 00001c5f 00000000 G..Z....._....
0002d0 0000097e 00000000 30464fe4 ffffffff00 ...~....0FO.....
0002e0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0002f0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000300 470ca35a 01000300 00001c62 00000000 G..Z.....b....
000310 0000097f 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
000320 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000330 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000340 470ca35b 11000300 00001c65 00000000 G..[.....e....
000350 00000980 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
000360 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000370 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000380 470ca35b 01000300 00001c68 00000000 G..[.....h....
000390 00000981 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
0003a0 b80000ff b80000ff b8000003 b80000ff .....
0003b0 0b0f0b0f 13911300 b80000ff b8000017 .....
0003c0 470ca35c 11000300 00001c6b 00000000 G..\......k....
0003d0 00000982 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
0003e0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0003f0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000400 470ca35d 01000300 00001c6e 00000000 G..].....n....
000410 00000983 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
000420 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000430 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000440 470ca35d 11000300 00001c71 00000000 G..].....q....
000450 00000984 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
000460 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000470 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000480 470ca35e 01000300 00001c74 00000000 G..^.....t....
000490 00000985 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
0004a0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0004b0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
0004c0 470ca35e 11000300 00001c77 00000000 G..^.....w....

```

show reboot pcds

```

0004d0 00000986 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
0004e0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0004f0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000500 470ca35f 01000300 00001c7a 00000000 G...z....
000510 00000987 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
000520 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000530 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000540 470ca360 11000300 00001c7d 00000000 G...}....
000550 00000988 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
000560 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000570 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000580 470ca360 01000300 00001c80 00000000 G...`....
000590 00000989 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
0005a0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0005b0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
0005c0 470ca361 11000300 00001c83 00000000 G..a.....
0005d0 0000098a 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
0005e0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0005f0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000600 470ca361 01000300 00001c86 00000000 G..a.....
000610 0000098b 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
000620 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000630 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000640 470ca362 11000300 00001c89 00000000 G..b.....
000650 0000098c 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
000660 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
000670 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
000680 470ca363 01000300 00001c8c 00000000 G..c.....
000690 0000098d 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....
0006a0 b8000003 b8000007 b8000003 b8000007 .....
0006b0 0b0f0b0f 13911300 b8000013 b8000017 .....
0006c0 470ca363 11000300 00001c8f 00000000 G..c.....
0006d0 0000098e 00000000 30464fe4 ffffffff00 .....0FO.....

```

関連コマンド

コマンド	説明
show reboot first , (333 ページ)	ノードのリブート情報を最初に表示します。
show reboot graceful , (336 ページ)	ノードの最後のグレースフルリブートのリブート情報を表示します。
show reboot history , (338 ページ)	最後のグレースフルリブートのリブート情報を表示します。
show reboot last , (341 ページ)	最新のクラッシュ情報を表示します。

show watchdog

メモリ状態またはしきい値メモリに関する情報を表示するには、EXEC モードで **show watchdog** コマンドを使用します。

show watchdog [**memory-state**| **threshold memory configured**] [**location** *node-id*]

構文の説明

memory-state	(任意) メモリ状態を表示します。
threshold memory	(任意) メモリしきい値を表示します。
configured	設定済みのメモリしきい値を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) ノードを指定します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。 threshold memory キーワードを選択した場合は、 location <i>node-id</i> キーワード/引数を指定する必要があります。

コマンド デフォルト

コマンド出力は、圧縮されません。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

指定された場所のメモリ状態またはしきい値に関する情報を表示するには、**show watchdog** コマンドを使用します。デフォルトまたは設定済みのメモリしきい値を表示できます。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	read

例

次に、**show watchdog** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show watchdog memory-state

Wed Nov  4 00:18:59.575 UTC
Memory information:
  Physical Memory: 4096      MB
  Free Memory:    2623.671 MB
  Memory State:   Normal
```

関連コマンド

コマンド	説明
watchdog threshold memory	各アラームしきい値に使用できるメモリの値を設定します。



索引

C

clear controller fabric コマンド [2](#)

S

show controller fabric コマンド [7](#)
show controllers egressq queue コマンド [4](#)
show controllers plimasic SPAQFPBridgeCtrl コマンド [10](#)
show controllers pse qfp statistics コマンド [12](#)
show controllers pse qfp system state コマンド [14](#)
show critmon context コマンド [306](#)
show critmon deadline コマンド [311](#)
show critmon statistics コマンド [314](#)
show critmon trace all コマンド [322](#)
show critmon trace error コマンド [325](#)
show critmon trace info コマンド [327](#)
show critmon trace lib-error コマンド [329](#)
show critmon trace lib-info コマンド [331](#)
show im database コマンド [22](#)
show imds interface brief コマンド [27](#)
show packet-memory コマンド [16](#)
show reboot first コマンド [333](#)
show reboot graceful コマンド [336](#)
show reboot history コマンド [338](#)
show reboot last コマンド [341](#)
show reboot pcids コマンド [344](#)
show sysdb connections コマンド [29](#)
show sysdb trace verification location コマンド [31](#)
show sysdb trace verification shared-plane コマンド [34](#)
show system verify コマンド [53](#)
show tbm hardware コマンド [37](#)
show tech-support aps コマンド [63](#)
show tech-support bcdl コマンド [75](#)
show tech-support bundles コマンド [83](#)
show tech-support cef コマンド [94](#)

show tech-support cfgmgr コマンド [100](#)
show tech-support chdlc コマンド [109](#)
show tech-support control-ethernet コマンド [111](#)
show tech-support ethernet コマンド [119](#)
show tech-support fabric コマンド [125](#)
show tech-support gsp コマンド [130](#)
show tech-support igmp snooping コマンド [136](#)
show tech-support install コマンド [144](#)
show tech-support l2vpn コマンド [149](#)
show tech-support lrd コマンド [155](#)
show tech-support mpls ldp コマンド [166](#)
show tech-support mpls rsvp コマンド [170](#)
show tech-support mpls traffic-eng コマンド [176](#)
show tech-support multicast コマンド [181](#)
show tech-support netflow コマンド [188](#)
show tech-support nrs コマンド [194](#)
show tech-support password コマンド [198](#)
show tech-support performance-traffic コマンド [202](#)
show tech-support pfi コマンド [205](#)
show tech-support platform コマンド [209](#)
show tech-support ppp コマンド [213](#)
show tech-support qos コマンド [217](#)
show tech-support rdsfs コマンド [238](#)
show tech-support rib コマンド [241](#)
show tech-support routing bfd コマンド [244](#)
show tech-support routing isis コマンド [249](#)
show tech-support routing ospfv3 コマンド [261](#)
show tech-support routing ospf コマンド [254](#)
show tech-support routing rpl コマンド [267](#)
show tech-support sanitized コマンド [278](#)
show tech-support serial コマンド [273](#)
show tech-support services コマンド [284](#)
show tech-support snmp コマンド [288](#)
show tech-support spaipc コマンド [291](#)
show tech-support sysdb コマンド [296](#)
show tech-support tty コマンド [300](#)
show tech-support コマンド [58](#)

show tty details コマンド [303](#)
show uidb data コマンド [40](#)
show uidb index コマンド [45](#)
show uidb trace コマンド [43](#)
show watchdog コマンド [347](#)

W

watchdog threshold memory コマンド [48](#)